

岩手県バドミントン協会
創立70周年記念誌

IWATE 70th
anniversary

岩手県バドミントン協会
創立70周年記念誌



あいさつ

岩手県バドミントン協会
会　長　　竹　林　克　彦

当協会は、１９４８年（昭和２３年）４月１日に設立され、昭和５５年に創立３０周年記念式典を、１９９８年（平成１０年）に創立５０周年式典を挙行し、翌年度５０周年記念誌を発刊しました。２０１８年度は創立７０年目を迎えることから、記念式典を行うとともに５０周年以降の記録等をまとめた記念誌を発行することにしました。

この２０年間の大会開催を振り返ると、全国大会は、１９９９年（平成１１年）３月に全国高等学校選抜大会、同年８月に全国高等学校総合体育大会、平成１７年１０月に全国スポーツレクリエーション祭岩手大会、平成２８年１０月に国民体育大会が開催されました。交流大会は、平成１６・１７年に日韓スポーツ交流、平成２２・２３年日韓青少年スポーツ交流、平成２６年に日韓中ジュニア交流が実施され、日本リーグは9回の開催、東北総合体育大会は４回、そのほか、小学生、中学校、高等学校、レディース、実業団等の東北大会が開催されました。

これら大会の中で、全国高等学校総合体育大会において、前沢高校男子が県勢初のベスト８に入賞、国民体育大会において少年男子が８位入賞、これは４６年振りの入賞でした。また、東北総合体育大会では、平成２４年に、昭和４５年以来、ミニ国体となって初の男子総合優勝を成し、次いで、平成２６年、２８年と同じく優勝を果たし、また、男女総合第２位や青年男子単優勝を始め年代別の優勝も数多くみられました。

本県は、２０１１年３月の東日本大震災により、沿岸部を中心に甚大な被害を蒙りましたが、本会に対し、国内外から義援金や用具の寄贈が数多く寄せられました。心のこもった贈り物に感謝し、被災地のバドミントン愛好者に用具を届けながら、元気づけを図るための講習会等のイベントを催し、これにも各方面から、参加応援していただきました。また、同年以降の本県開催の日本リーグには、沿岸地域の愛好者を招待して参りました。被災地の復興には、今後も数多くの日時がかかるものと思われますが、前述の岩手国体は、この災害をも受けて『広げよう　感動、伝えよう　感謝』をスローガンに開催されたものでした。

近年、日本のバドミントンは、オリンピックを始め世界大会で優勝するなど、その活躍が目覚ましく、メジャースポーツの様相を帯び、競技者や関係者以外の方々も関心が高まっており、各年代層において愛好者の増加がみられます。本県におきましても、平成以降小学生、中学生の競技人口が次第に増加すると共にレベルが上昇してきており、指導委員会の活動の活発化と相まって、各地域においても日常的に熱心な指導が行われていることが窺われ、今後更なる競技力向上がなされるものと期待するところです。

本会がもつ目的の一つには、バドミントンの健全なる普及発展を図ることがあります。その中には、競技力の向上と普及拡大があるものと思います。競技力が年々向上していることは、各年代層の東北や全国大会の成果で窺えるところですが、多くの分野で全国の頂点との距離は隔たりがあります。このような現状ではありますが、本会で生まれ育った選手が留学先で大きく成長していることも幾例かあり、大変喜ばしいことであります。この７０年間、競技人口と指導者人口は年次的に増加してきましたが、まだまだ不足で、その層の厚さと共に指導技術向上と競技力向上が課題と言えると思います。また、普及については、指導委員会が各地で講習会を実施してきて、少しずつ広がりを見せているものの、小中学生人口の減少時代と相まって、まだ十分とは言えません。

今年度は、この創立７０周年の節目の年にあたり、組織体制の見直しと共に、新たに二つの記念事業を設けました。一つには、クラブ対抗のリーグ大会、二つ目は、初心者・ジュニア・指導者を対象とした（公財）日本バドミントン協会主催の全国巡回講習会の誘致開催であります。リーグ戦では、競技人口の拡大を、講習会では、この分野の一層の広がりを狙いとしております。

今後、本会の持っている課題を解決するためには、（公財）日本バドミントン協会及び（公財）岩手県体育協会加盟団体としての意識の下、県内の各市町村協会を始め、諸バドミントン関係団体との一層の連携を図りながら、更なる底辺の拡大･拡充、組織の充実、競技力の向上に努めて参る必要があると考えております。

終わりに、この創立７０周年を迎えた今、改めて、草創期に協会設立にご尽力下さった方々のご努力に深甚なる敬意を表し、またこの７０年を支えて下さった関係各位のこれまでのご協力とご尽力に厚く感謝申し上げますと共に岩手県バドミントン協会に対し今後とも従前同様のご指導ご支援を下さいますようお願い申し上げ、挨拶といたします。

岩手県バドミントン協会旗



東北バドミントン選手権大会男子総合優勝

第39回（2012年）
第41回（2014年）
第43回（2016年）



第39回（2012年）優勝



第43回（2016年）優勝

希望郷いわて国体

東日本大震災復興の架け橋
第71回国民体育大会
(2016希望郷いわて国体)

昭和４５年の国体以来、２巡目となる国体が平成２８年１０月１日～５日までの日程で北上市において開催されました。少年男子が５位入賞を果たし、７．５点という貴重な競技点を獲得しました。多くの競技役員、高校生の補助員、審判員の皆様のおかげで競技運営もスムーズに行われ、成功裏に終了することができました。



総合開会式に参加したバドミントン岩手チーム



会場：北上総合体育館



競技役員：オーダー交換所



競技補助員（高校生）：進行係



少年男子5位入賞 選手と強化スタッフ



5位入賞の少年男子



競技役員



競技補助員



少年男子
監督　菊地　亨
選手　軽石　直人
　　田村　汰稀
　　菊地　拓也

少年男子1回戦
岩手県　2－0　三重県

少年男子準々決勝
岩手県　1－2　岡山県



シングルス：菊地拓也



ダブルス：軽石直人（右）・田村汰稀（左）

少年女子
監督　渡邉　清一
選手　金野　夕香
　　藤井　愛
　　松好　奏海

少年女子1回戦
岩手県　1－2　佐賀県



シングルス：松好奏海



ダブルス：金野夕香（左）・藤井 愛（右）



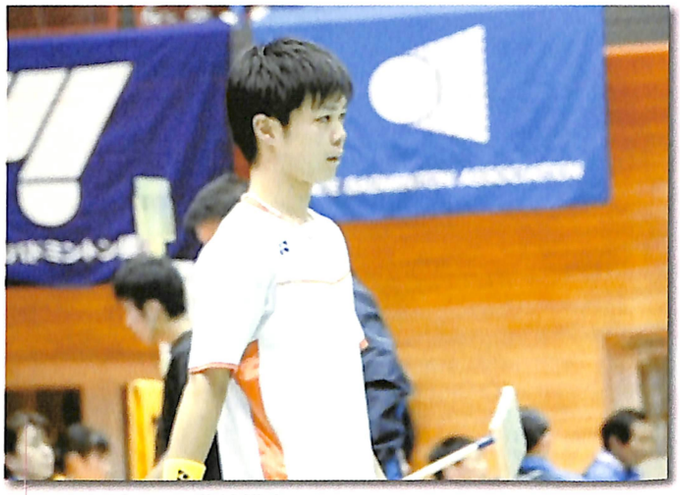
成年男子
監督　石川　　聡
選手　石川　貴寛
　　佐々木翔太
　　菊地　裕太



成年男子1回戦
岩手県　1－2岐阜県



ダブルス：石川貴寛・佐々木翔太



シングルス：菊地裕太



ダブルス：齊藤佳奈・畠山静花





シングルス：古川佳奈

成年女子
監督　外川　正昭
選手　齊藤　佳奈
　　古川　佳奈
　　畠山　静花

成年女子1回戦
岩手県　0－2　石川県

日韓スポーツ交流（2010年8月16日～22日）



韓国 済州島にて

交流大会



第8回　日韓スポーツ交流事業・成人交換交流



2016年 韓国光州広域市にて

第22回　日・韓・中ジュニア交流競技会岩手大会

２０１４年８月２４日～２７日まで、北上総合体育館で開催されました。日本で開催される時は、地元チームも参加することができるため、岩手チームを含めた4チームでのリーグ戦が行われました。岩手の選手はレベルの高い選手と試合をすることができ国体に向けて貴重な体験ができました。





岩手県選手団



男子 中国 対 岩手



女子 岩手 対 韓国

バドミントン日本リーグ・S/Jリーグ

○日本リーグ２０００　釜石大会
○日本リーグ２００３　江刺大会
○日本リーグ２００５　２部リーグ
　江刺大会
○日本リーグ２００８　奥州大会
○日本リーグ２０１１　一関大会
○日本リーグ２０１２　北上大会
○日本リーグ２０１３　花巻大会
○日本リーグ２０１４　盛岡大会
○日本リーグ２０１５　２部リーグ
　北上大会（国体リハーサル大会）
○JTBバドミントンS/Jリーグ２０１８盛岡大会

日本リーグ 2000　釜石大会







日本リーグ 2003　江刺大会



日本リーグ 2005　江刺大会　２部リーグ



日本リーグ 2008　奥州大会



日本リーグ 2011　一関大会



バドミントン日本リーグ

2011　一関大会

最高のプレーヤー達が最大の緊張感を持って勝負する
日本リーグは選手と観客が一体となって
盛り上がる大会です!
がんばろう！ 岩手

【 日　　時 】 2011年11月3日（木 祝日 ）
開場　8:30　　公開練習 9:00 ～ 10:00
ｴｷｼﾋﾞｼｮﾝ 10:10 ～11:00
開会式　11:30 ～
試合開始　12:00 ～
【 会　　場 】 一関市総合体育館 （ユードーム）
【 入 場 料 】

	特別席	一般席(2階)	高校生(2階)	中学生(2階)	小学生(2階)
前売り	2,300円	1,800円	1,000円	500円	500円
当 日	2,500円	2,000円	1,200円	700円	500円

■　男子

日立情報通信エンジニアリング	VS	東北マークス

口　女子

七十七銀行	VS	北都銀行

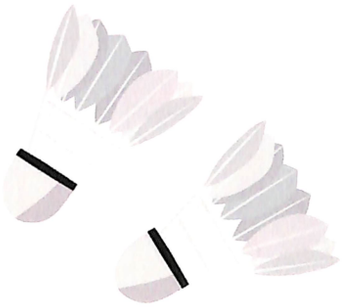
主 催： 公益財団法人日本バドミントン協会・バドミントン日本リーグ運営委員
主 管： バドミントン日本リーグ実行委員会・岩手県バドミントン協会
一関市バドミントン協会
後 援： 読売新聞社・一関市・一関市教育委員会・社団法人一関市体育協会

問い合わせ先
大会事務局　小野寺政博　携帯 090-8253-5823
email: onomasa15jp@yahoo.co.jp

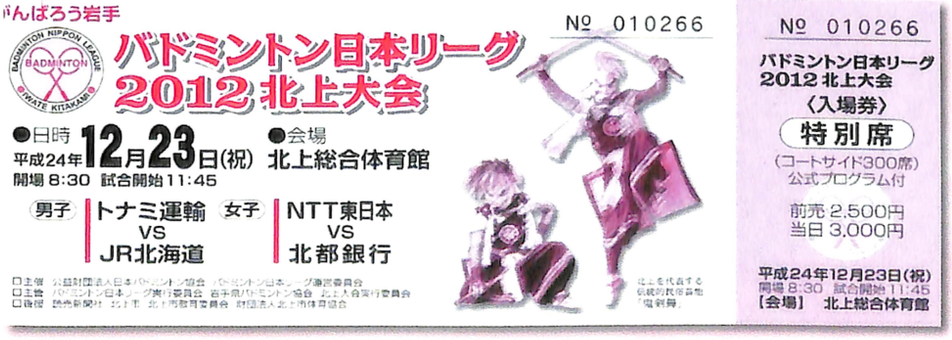
日本リーグ 2012　北上大会



北上大会 レセプション



北上大会 チケット



日本リーグ 2013　花巻大会





日本リーグ 2014　盛岡大会





花巻大会エキビシジョンマッチ参加の小学生



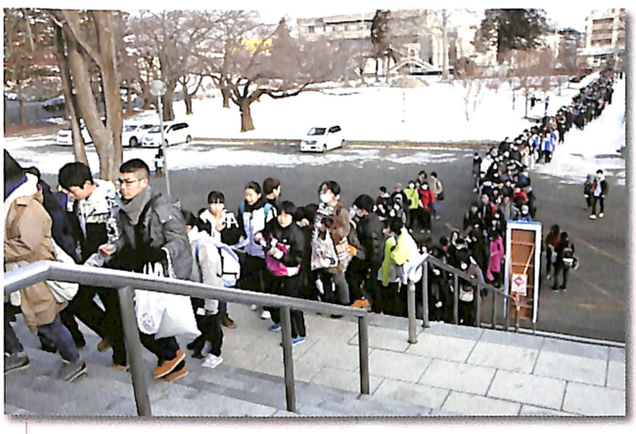
日本リーグ 2014 盛岡大会会場：岩手県営体育館

日本リーグ 2015　2部リーグ　北上大会



JTB バドミントン S/J リーグ2018　盛岡大会

平成３１年２月３日、岩手県営体育館においてJTB バドミントン S/J リーグ２０１８盛岡大会が開催されました。男子 NTT 東日本対東北マークス、女子山陰合同銀行対七十七銀行。世界ランク１位の NTT 桃田賢斗選手、奥州市出身東北マークス菊地裕太選手が来盛するとあって、会場は２４００人の大観衆で溢れました。岩手県バドミントン協会７０周年にふさわしい熱気あふれる試合が展開されました。



開場前から長蛇の列ができました。



（第３種郵便物認可）

NTT東、開幕3連勝　バドS／Jリーグ盛岡大会

バドミントンのS／Jリーグ盛岡大会は3日、盛岡市の県営体育館で男女の計2試合が行われ、男子はNTT東日本が東北マークスを2―1で下し、開幕3連勝を飾った。東北マークスは1勝2敗。女子は山陰合同銀行が2―1で七十七銀行に勝利し、ともに1勝2敗とした。

▽男子ブロック
NTT東日本　2―1　東北マークス
3勝　1勝2敗
○吉田勝　2　21　21　11　13　18　21　○菊地裕
○佐藤駿　1　20　21　18　22　12　21　●鈴木大
●伊藤翔　2　22　12　21　●柳裕太
○西川裕　2　21　21　17　4　○佐藤希
次郎　人

▽女子ブロック
山陰合同銀行　2―1　七十七銀行
1勝2敗　1勝2敗
○徳崎祐　2　21　21　18　7　16　21　●杉野文
○横山絢　2　21　21　22　15　15　24　●毛利栞
○久慈涼　1　7　16　21　●栗原朋
●桃田賢　1　13　12　21　○佳
●河崎優　0　15　12　21　21　○河崎佳
●横山彩　0　15　12　21　21　○濱井瑞
●桃田賢斗（NTT東日本）―○久慈涼介（山陰合同銀行）
●大矢空翔（NTT東日本）―○横山絢（山陰合同銀行）

菊地　東北マークス　凱旋も逆転負け

東北マークスのシングルスで出場した菊地裕太は逆転負けを喫した。それでも大けがを乗り越えて迎えた凱旋試合に「家族や友人らの大応援が力になった。もっと強くなろうと思う」と充実感を漂わせた。

第1ゲームは緩急をつけたショットで相手を揺さぶった。得意のヘアピンも要所で決まり、21―11で先取した。しかし、第2、3ゲームは失速。「相手がうまく対応してきた」と振り返るように、それまで決まっていたショットを拾われ、自身のミスで失点を重ねた。

昨年6月に左アキレス腱を断裂した。昨年12月のリーグ開幕に間に合うか微妙な状態だったが、懸命にリハビリを続けた。本調子ではない中、開幕戦からシングルスで3戦連続の出場を果たした。

「けがをした時はどん底だった。試合に出られるところまで来ることができて良かった。格上の相手が続くが、雪辱を果たしたい」と決意を新たにした。（斉藤人）

▼桃田、エキシビションで魅せる　シングルス

世界ランキング1位の桃田賢斗（NTT東日本）がエキシビションマッチに登場し、約2400人の観客に圧巻のプレーを披露した。

小学生とダブルスで対戦。粘り強く拾い続ける子どもたちに苦戦する場面もあったが、タイミングをずらしたり、コートの隅を狙った技ありのショットで会場を沸かせた。

対戦した大矢空翔君（盛岡・飯岡小5年）は「シャトルを自由自在に動かしていて驚いた。初めて見た技もあった」と笑顔。久慈涼介君（矢巾・不動小5年）は「自分たちのショットが決まってうれしい。桃田選手のような世界で活躍する選手を目指したい」と目を輝かせた。

子どもたちのサインに応じる桃田賢斗（左）

平成31年2月4日岩手日報掲載



エキシビションマッチに出場した、
大矢空翔君、久慈涼介君
NTT 東日本
桃田賢斗選手、齋藤太一選手

女子の試合、山陰合同銀行対七十七銀行



70周年記念事業



バドミントンキャラバン

２０１８年１２月１５日、岩手県立釜石商工高等学校を会場に「バドミントンキャラバン」が開催されました。全国でのバドミントンのさらなる普及と向上を図るため、公益財団法人日本バドミントン協会が主催し、５年間で全国４７都道府県を巡回する事業です。次の３つのコースが開講されました。

（１）はじめてのバドミントン教室
（２）指導者向け講習会
（３）ジュニア教室



岩手県バドミントンリーグ大会

２０１８年１２月２３～２４日、岩手県営体育館において、岩手県バドミントンリーグ大会が７０周年記念事業として、２７チームが参加して開催されました。この大会は3ダブルスで競う団体戦形式のリーグ戦で行われ、大盛況のうちに終了することができました。

競技結果（各リーグ1位）

男子Ａリーグ（年齢無制限）富士大Ａ
　Ｂリーグ（３０歳以上）MOSK
　Ｃリーグ（４０歳以上）TSW４８
　Ｄリーグ（５０歳以上）千厩
女子Ａリーグ（年齢無制限）もんちっち
　Ｂリーグ（３０歳以上）WingHope＆ひめかみ
　Ｄリーグ（５０歳以上）都南クラブ
　Ｅリーグ（６０歳以上）盛岡コピン
　＊Ｃリーグは参加なし



男子Ａリーグ優勝 富士大学Ａ



女子Ａリーグ優勝 もんちっち

東日本大震災 支援活動



NTT 東日本チームによる山田町でのバドミントン教室



北都銀行チームによる大船渡地区バドミントン教室



唐丹中学校にて



釜石商工高校にて



山田中学校にて

岩手県は平成２３年３月１１日の震災に伴い、沿岸地区は甚大な被害を受けました。

大槌町在住の県協会役員であった永沢和彦夫妻も犠牲になりました。

震災後は岩手県バドミントン協会に対して、日本バドミントン協会や各県バドミントン協会のほか、多くの関係団体よりたくさんの義援金や支援物資をいただきました。特にも陣内貴美子さんや小椋久美子さんをはじめ、NTT 東日本チーム、北都銀行チームの監督・選手の皆さんは各地区でバドミントン教室を開催するために来県していただきました。また、本協会は、たくさんの義援金のなかからシューズやラケットを購入し、支援物資とともに沿岸地区に届けることができました。

支援物資としては、（株）ヨネックス様よりたくさんのラケットをいただきました。また、薫風スポーツ株式会社様より倉庫がいっぱいになるほどのシューズをいただいたほか、各県の少年団や東北各地のレディース連盟関係者からもウエアーを送っていただきました。本協会は、その後も（株）KIZUNA ジャパン様はじめ、多くの方々からの継続した支援をいただき、その後に開催された日本リーグに沿岸地区子どもたちを招待するなどの支援活動を行っております。今後もできるかぎりの支援を行ってまいります。（鬼柳孝夫）

岩手県バドミントン協会
70周年記念誌

目　次

あいさつ　岩手県バドミントン協会会長　竹 林 克 彦

巻頭グラフ……4

・岩手県バドミントン協会旗、東北選手権男子総合優勝
・希望郷いわて国体
・海外との交流大会・交流事業
・バドミントン日本リーグ・S/Jリーグ
・７０周年記念事業
・東日本大震災支援活動

Chapter 1

岩手県バドミントン協会の歩み……18

・近２０年の沿革（年表）

Chapter 2

特別寄稿……24

・「草創期の岩手バドミントン競技の思い出」
元バドミントン協会　理事　中 野 昌 造

Chapter 3

希望郷いわて国体……28

・成年男子監督　石 川 　聡　・成年男子　佐々木 翔 太
・成年女子監督　外 川 正 昭　・成年女子　畠 山 静 花
・少年男子監督　菊 地 　亨　・少年男子　軽 石 直 人
・少年女子監督　渡 邉 清 一　・少年女子　金 野 夕 香
・北上市実行委員会　照 井 啓 治
・北上市バドミントン協会　会長　金 原 良 史
・いわて国体記録

Chapter 4

全国大会等の開催……39

・H26日本リーグ（盛岡）　外 川 正 昭
・H12日本リーグ（釜石）　北 野 和 敏
・H23日本リーグ（一関）　小野寺 政 博
・H24日本リーグ（北上）　佐 藤 憲 明
・H25日本リーグ（花巻）　久保田 廣 美
・日本リーグ２部大会　佐 藤 憲 明
・アジア交流大会　菊 池 卓 磨
・日韓中交流大会　菊 地 　亨
・日韓交流　髙 田 　満

Chapter 5
全国大会・東北大会優勝 ……52

・全日本シニア大会　横手智江美　菊池　敏
・全日本教職員大会　伊藤　張二
・東北選手権大会優勝　菊地　生昭　石川　貴寛　戸田　益美　佐藤　慎也
藤澤　正幸　菊池　美杉　菊地　裕太　伊藤　俊幸
高橋　大吉　高橋　英樹

Chapter 6
委員会活動 ……62

・競技委員会　石川　淳　・強化委員会　石川　聡
・指導委員会　千葉　順一　・審判委員会　鈴木　満弥

Chapter 7
連盟活動 ……67

・小学生連盟　新井山浩之　・中体連　下村　智徳
・高体連　渡邉　清一　・学生連盟　佐々木優也
・シニア連盟　鬼柳　孝夫　・レディース連盟　武田さなえ
・教職員連盟　柳原　賢　・実業団連盟　伊藤　俊幸

Chapter 8
市町村協会の活動 ……76

・盛岡市　・花巻市　・北上市　・一関市　・釜石市　・久慈市　・奥州市
・滝沢市　・雫石町　・矢巾町　・紫波町　・山田町　・大槌町

Chapter 9
創立70周年記念表彰者名簿等 ……89

Chapter 10
競技会記録 ……94

Chapter 11
岩手県バドミントン協会名簿等 ……179

あとがき

編集責任者　岩手県バドミントン協会　伊藤　張二

岩手県バドミントン協会の歩み

多くの皆さんに支えられて

岩手県バドミントン協会　理事長　村　上　信　夫

岩手県バドミントン協会が昭和23年4月1日に設立され、歴代の会長をはじめ、役員、会員の皆様のお力添えを頂き、この度70周年という大きな節目の年を迎えることができました。先の50周年においては記念式典、記念誌発刊をしておりまして、今回70周年という節目にも記念事業（式典、記念誌、記念講習会記念大会等）が実施できる事は誠に意義深いものがございます。

私自身がラケットを持ったのは、昭和45年（高1）からでした。岩手国体で岩手バドミントンが全国優勝して盛り上がっていた時でした。昭和59年頃、現役プレーを終了しましたが、選手時代に白澤國雄さん（現県協会参与）から「選手が大会で優勝するまでにどれだけ多くの人が大会運営に係わっているか。いろいろ考えながらプレーしなさい」と指導受けたことが現在まで協会に残って勉強させていただいているところです。強化・指導等各委員会、事務局に係わってきましたが、どのポジションでも協会の多くの皆さんが情熱的に大会運営、選手強化、バドミントン普及に協力を頂き感謝申し上げます。

45年岩手国体全国優勝以降におきましても、全国で活躍する小学生、中学生、高校生が多くみられます。また、一般選手でも成年、シニアを含めて上位で頑張っており競技力向上がみられます。

小学生連盟の立上げは、盛岡、矢巾、花巻地区等のジュニアチーム役員に検討いただきまして大会、指導育成がスタートしました。全国小学校大会も第1回から出場することができました。おかげさまで現在小学生447名（29年度）の登録となり、大会規模も大きく指導強化も充実しております。これもひとえに連盟役員はじめ、保護者、ジュニアクラブの皆さんの献身的なご尽力によるものと感謝するものでございます。

レディース連盟につきましては、家庭婦人大会として始まり、県内の多くのチームが参加し、子供さんも一緒でにぎやか大会であり、その子供さんがジュニアバドミントンという流れとなり愛好者を増やす重要な役割とも考えられます。平成8年頃には県婦人大会が数年間テレビ中継され、県協会から解説者として出演していたことを思い出します。

全日本シニア大会では、昭和59年第1回大会から多くの参加があり、上位入賞者が出て活躍されております。この参加者の皆さんが中心となり、現在の県シニア連盟があり、県大会、東北大会等の運営を行って頂いております。今後とも参加増が見込まれる大会と思われます。

中体連、高体連、高専、大学連盟の先生方、関係者の皆さんには、地区大会、県大会、東北、全国大会と年中大会が続き、選手指導とともに大会

運営と本当にありがとうございます。また、県内中学1年生を対象とした指導会、大会を実施し初心者のレベルアップにも力を頂いておりました。岩手県チームとして全国大会出場の場合には選手強化、監督、コーチとして上位進出のため、毎回お願いしているものでございます。平成16年17年岩手県日韓交流、22年23年岩手県日韓青少年交流、26年日韓中交流岩手大会でも、監督コーチとして先生方には大変ご苦労おかけしました。全国大会といいますと、平成11年3月全国高校選抜大会、平成11年8月岩手インターハイが先生方を中心とし、関係者の皆さんの協力の下、開催されました。このインターハイが岩手開催決定してから、指導・強化委員会スタッフによる強化チームを作り、強化の一環としてJOC全国ジュニア大会を誘致し開催したものでした。

各市町村協会のお力を頂いているものとして、県大会運営の協力と体育館確保でございまして、競技委員会として大会開催できるのは、市町村協会の皆さんのおかげでございます。また、誘致して開催しているもので、S/Jリーグ（日本リーグ）がございます。平成4年盛岡大会から始まり釜石市、奥州市、一関市、北上市、花巻市で開催し、今年度で9回目の開催となっております。毎回1,500名程度の来客がございまして、開催市バドミントン協会の組織力に感謝申し上げます。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、全国からの多大なるご支援を頂きました。バドミントンにおきましてもラケット、シューズ等の用具から、バドミントン実技を交えての支援や激励で元気を頂き、復興に向けて大きな力となりました。現在でも県内外から多様なご支援を賜っているところでございます。

2巡目いわて国体、約10年にわたり多くの皆さんに携わっていただきました。平成19年いわて国体が内々定、20年に協会として北上市開催希望申請、21年北上市開催決定、22年北上総合体育館を中央競技団体が視察し、国体会場として認可され本格的な準備となりました。強化選手指定、監督コーチを決定し、8年間の育成強化。毎年公認審判員資格検定会、国体監督資格取得講習会、日本リーグ開催による競技委員養成、北上市実行委員会との連携。28年10月総力を結集して万全の体制で迎え、成功裏に終了できました。関係者全員が一丸となり取り組んだ国体で、出来るという勇気、明日への希望を教わりました。この培った組織力を更に充実させ、これからも全国大会等開催していきたいと思います。

県協会事業は多くの皆さんに支えられて成り立っております。この70周年記念事業を盛大に行い、今後のさらなる発展に繋げるものにできればと思います。引き続きご支援、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

◆近20年の沿革

年　度	年　　表
平成11年 (1999年)	・平成11年度全国高等学校総合体育大会 第50回全国高等学校バドミントン選手権大会（８月１日～６日）を滝沢村で開催 ・第16回全日本シニア大会４０歳以上女子単・複、村上みゆき　優勝 ・第20回県家庭婦人クラブ対抗大会（９月19日）を岩手産業文化センターアピオで開催 ・岩手県家庭婦人バドミントン大会20周年記念祝賀会(11月27日)をサンセール盛岡で開催
平成12年 (2000年)	・白澤國雄副会長、志村正義氏、日本バドミントン協会顕讃賞受賞 ・理事長に佐々木彦士氏が就任 ・第１回全国ABC大会　３．４年の部　女子単　橋本由衣（ライスヒルズ）　３位 ・バドミントン日本リーグ2000　釜石大会を釜石市で開催
平成13年 (2001年)	・竹林克彦副会長、岩手県教育表彰受賞　東北バドミントン連盟特別功労賞受賞 ・佐々木隆夫顧問、岩手県体育協会功労賞受賞 ・千葉惇氏、加藤治雄氏、日本バドミントン協会顕讃賞受賞 ・千葉志郎氏、日本体育協会公認指導者表彰 ・第30回東北高校バドミントン選手権大会（６月22～24日）を北上総合体育館で開催
平成14年 (2002年)	・杉田忠光副会長、岩手県体育協会功労賞受賞 ・及川好氏、高橋忠夫氏、日本バドミントン協会顕讃賞受賞 ・第32回全国中学校体育大会、男子団体　矢巾中学校　３位
平成15年 (2003年)	・佐々木洋平会長が顧問となり、竹林克彦副会長が会長に就任 ・竹林克彦会長、文部科学大臣表彰受賞 ・竹林克彦会長、日本バドミントン協会名誉理事就任 ・佐々木洋平顧問、岩手県体育協会功労賞受賞 ・小田島祐一氏、金原良史氏、日本バドミントン協会顕讃賞受賞 ・伊藤張二氏、岩手県体育協会栄光賞受賞 ・中野昌造氏、勲四等瑞宝章受章 ・東北バドミントン連盟功労賞 伊藤張二氏、村上信夫氏、髙田　満氏、伊藤一郎氏、石川　淳氏の５名が受賞 ・バドミントン日本リーグ2003　江刺大会を江刺市で開催 ・第10回東北地区レディースバドミントン大会(11月８～９日)を盛岡市立高校体育館で開催 ・第１回岩手県シニアオープン大会を江刺中央体育館で開催 ・第54回全国高等学校大会　男子単　川内崇士（奥州市出身）　３位 ・第42回全日本教職員選手権大会、50歳男子単、伊藤張二　優勝
平成16年 (2004年)	・白澤國雄副会長、岩手県体育協会功労賞受賞 ・吉田征夫氏、藤原静子氏、日本バドミントン協会顕讃賞受賞 ・伊藤張二氏、岩手県体育協会栄光賞受賞 ・第31回東北総合体育大会を北上総合体育館で開催 ・第８回日韓スポーツ交流事業成人交歓交流（韓国）に参加 ・第43回全日本教職員選手権大会、50歳男子単、伊藤張二　優勝（２連覇）
平成１７年 (2005年)	・竹林克彦会長、日本バドミントン協会顧問に就任 ・志村正義副会長、岩手県体育協会功労賞受賞 ・佐々木隆夫顧問、岩手県教育表彰受賞 ・菊地保福氏、中村優子氏、日本バドミントン協会顕讃賞受賞

年　度	年　　表
平成１７年 (2005年)	・全国スポーツレクリエーション祭年齢別バドミントン大会を滝沢市で開催 ・バドミントン日本リーグ2005　江刺大会　２部リーグを江刺市で開催
平成１８年 (2006年)	・佐々木彦士理事長が副会長となり、鬼柳孝夫副理事長が理事長に就任 ・副理事長に、伊藤張二氏、村上信夫氏が就任 ・佐々木彦士副会長、岩手県体育協会功労賞受賞 ・佐々木邦夫氏、永沢和彦氏、日本バドミントン協会顕讃賞受賞
平成１９年 (2007年)	・千葉　惇氏、日本体育協会公認指導者表彰 ・第36回東北高校バドミントン選手権大会（６月22～24日）を花巻市総合体育館で開催
平成２０年 (2008年)	・第15回東北小学生バドミントン大会個人戦（11月２～３日）を紫波町総合体育館で開催 ・金原良史氏、千葉惇氏、岩手県体育協会功労賞受賞 ・東北バドミントン連盟功労賞 日向由和氏、佐々木せつ子氏、畠山静夫氏、佐藤彰彦氏、石川　聡氏の５名が受賞 ・バドミントン日本リーグ2008　奥州大会を奥州市で開催 ・第９回全国ABC大会　１．２年の部　女子単　渡邉ひらり（前田ジュニア）　３位 ・第59回全国高等学校大会　女子単複　橋本由衣（盛岡市出身）　３位
平成２１年 (2009年)	・竹林克彦会長、旭日雙光章受章 ・佐々木隆夫顧問、瑞宝小綬章受章、文部科学大臣表彰受賞 ・加藤治雄氏、岩手県体育協会功労賞受賞 ・佐々木彦士副会長、砂子田智堅氏、日本バドミントン協会顕讃賞受賞 ・第16回東北地区レディースバドミントン大会（10月24～25日）を県営体育館で開催 ・第10回全国ABC大会 1.2年の部 男子単 久慈友也(南城小バドミントン育成会) ３位
平成２２年 (2010年)	・鈴木吉一氏、日本バドミントン協会顕讃賞受賞 ・第２８回東北実業団バドミントン選手権大会（４月16～17日）を北上市で開催 ・第３７回東北総合体育大会（８月19～22日）を北上総合体育館で開催 ・第２回東北シニアバドミントン大会団体戦（10月23～24日）を一関市総合体育館で開催 ・第39回全国高校選抜大会東北予選会（１月21～23日）を北上総合体育館で開催 ・日韓青少年スポーツ交流（韓国・済州島）に参加
平成２３年 (2011年)	・竹林克彦会長、東北総合体育大会功労賞受賞 ・第９回東北小学校バドミントン大会団体戦（11月５～６日）を北上総合体育館で開催 ・バドミントン日本リーグ2011一関大会（11月３日）を一関市総合体育館で開催 ・日韓青少年スポーツ交流を滝沢市で開催 ・第12回全国ABC大会　３．４年の部 男子単 久慈友也(南城小バドミントン育成会)　３位 ・第28回全日本シニア選手権大会、40歳以上女子単、横手智江美　優勝
平成２４年 (2012年)	・鬼柳孝夫理事長が副会長となり、村上信夫副理事長が理事長に就任 ・竹林克彦会長、日本体育協会日本オリンピック委員会功労賞受賞 ・第１回岩手県小学生バドミントン交流会団体戦（２月23日）を紫波町総合体育館で開催 ・第58回東北学生バドミントン大会・春季リーグ戦（６月３～10日）を盛岡市で開催 ・第41回東北高校バドミントン選手権大会（６月22～24日）を奥州市総合体育館で開催 ・第33回東北中学バドミントン選手権大会（８月３～５日）を奥州市総合体育館で開催 ・第４回東北シニアバドミントン大会団体戦（10月13～14日）を江刺中央体育館で開催

年　度	年　　表
平成24年 (2012年)	・第42回全国郵政バドミントン大会（９月22～23日）を奥州市総合体育館で開催 ・第23回全日本都市職員バドミントン大会（10月５～８日）を一関市総合体育館で開催 ・バドミントン日本リーグ2012北上大会（12月３日）を北上総合体育館で開催 ・第１回岩手県実業団バドミントン選手権をつなぎ地区活動センターで開催 ・第55回全日本社会人　女子単　橋本由衣（盛岡市出身）　優勝 ・第39回東北総合体育大会　男子総合優勝
平成25年 (2013年)	・鬼柳孝夫副会長、日本バドミントン協会顕讃賞受賞 ・東北バドミントン連盟功労賞 鈴木満弥氏、北野和敏氏、宮崎和子氏、久保田廣美氏、千葉昭徳氏の５名が受賞 ・第14回東北シニアバドミントン選手権大会(5月18～19日)を奥州市総合体育館で開催 ・第65回東北バドミントン選手権大会（９月20～22日）を奥州市総合体育館で開催 ・バドミントン日本リーグ2013花巻大会（12月22日）を花巻市総合体育館で開催 ・第22回全国小学生バドミントン選手権　団体　岩手県チーム　３位 ・第30回全日本シニア選手権大会、45歳以上女子単、横手智江美　優勝 ・第52回全日本教職員選手権大会、60歳男子単、伊藤張二　優勝
平成26年 (2014年)	・鬼柳孝夫副会長、岩手県体育協会功労賞受賞 ・伊藤張二副理事長、日本バドミントン協会顕讃賞受賞 ・第６回東北シニアバドミントン大会団体戦（10月４～５日）を江刺中央体育館で開催 ・第20回東北小学校バドミントン大会個人戦(10月12～13日)を花巻市総合体育館で開催 ・バドミントン日本リーグ2014盛岡大会（12月22日）を県営体育館で開催 ・第22回日韓中ジュニア交流を北上総合体育館で開催 ・第44回全国中学校選手権　男子単　筑後恵太（花巻市出身）　３位 ・第31回全日本シニア選手権大会、45歳以上女子単、横手智江美　優勝（２連覇）
平成27年 (2015年)	・北野和敏氏、日本バドミントン協会顕讃賞受賞 ・横手智恵美氏、岩手県体育協会栄光賞受賞 ・第33回東北実業団バドミントン選手権大会（４月18～19日）を北上総合体育館で開催 ・第42回東北総合体育大会（８月22～23日）「希望郷いわて国体」リハーサル大会を北上総合体育館で開催 ・東北地区レディースバドミントン大会（10月17～18日）を江刺中央体育館で開催 ・バドミントン日本リーグ2015　２部リーグ（11月21～23日）を北上総合体育館で開催 ・第32回全日本シニア選手権大会、45歳以上女子単、横手智江美　優勝（３連覇） 60歳以上男子複、菊池敏　優勝
平成28年 (2016年)	・髙田満氏、日本バドミントン協会顕讃賞受賞 ・北野和敏氏、岩手県体育協会功労賞受賞 ・横手智恵美氏、菊池　敏氏、岩手県体育協会栄光賞受賞 ・第45回東北高校選抜バドミントン大会(1月19～22日)を奥州市総合体育館で開催 ・第71回国民体育大会　希望郷いわて国体バドミントン競技（10月２～５日）が北上総合体育館で開催され、本県選手団少年男子５位と活躍 ・第33回全日本シニア選手権大会、45歳以上女子単、横手智江美　優勝（４連覇） ・第35回JOC全日本ジュニア選手権　男子複　筑後恵太（花巻市出身）　準優勝 ・第43回東北総合体育大会　男子総合優勝

年　度	年　　表
平成29年 (2017年)	・伊藤張二副理事長、北野和敏氏、岩手県体育協会功労賞受賞 ・石川　淳氏、伊藤一郎氏、日本バドミントン協会研鑽賞受賞 ・横手智恵美氏、岩手県体育協会栄光賞受賞 ・第38回東北中学校バドミントン選手権大会（８月６～８日）を花巻市総合体育館で開催 ・第９回東北シニアバドミントン大会団体戦（10月７～８日）を江刺中央体育館で開催 ・第15回東北小学校県対抗バドミントン大会団体戦(11月3～4日)を北上総合体育館で開催 ・第68回全国高等学校大会　男子複　筑後恵太（花巻市出身）　準優勝 ・第34回全日本シニア選手権大会、45歳以上女子単、横手智江美　優勝（５連覇）
平成30年 (2018年)	・樋口賢一氏、瑞宝雙光章受章 ・髙田満氏、岩手県体育協会功労賞受賞 ・久保田廣美氏、日本バドミントン協会顕讃賞受賞 ・東北バドミントン連盟功労賞 新井山浩之氏、小岩義明氏、谷藤さなえ氏、阿部佳子氏、千葉圭氏の５名が受賞 ・第45回東北高校バドミントン選手権大会（６月21～24日）を花巻市総合体育館で開催 ・岩手県バドミントン協会70周年記念バドミントンキャラバン(12月15日)を釜石商工高校で開催 ・岩手県バドミントン協会70周年記念リーグ大会(12月23～24日)を県営体育館で開催 27チームの参加 ・第19回全国ABC大会　１．２年の部　女子単　畠山来夢（ハイタッチジュニア）　３位 ・第27回全国小学生バドミントン選手権　畠山想来（ハイタッチジュニア）　３位 ・第37回JOC全日本ジュニア選手権　男子複、藤澤佳史（盛岡市出身）　優勝 ・バドミントンS/Jリーグ　2018盛岡大会（２月３日）を県営体育館で開催



特別寄稿…



草創期のバドミントン競技の思い出

元バドミントン協会　理事　中　野　昌　造

私が、バドミントン競技そして県バドミントン協会との関わりを持ったのは、昭和２４年から３０年代前半の約１０年間の短い期間でしたが、その間に得た種々の経験、そして多くの方々との出会い、ご指導、ご支援をいただいた事は、私の人生の上で大きな収穫でありました。

当時私は、盛岡高校（現盛岡一高）の２年生でしたが、旧制中学時代から、柔道、野球、陸上競技、バスケットボール等々の運動が大好きで、特に昭和２１年から始まった国民体育大会には、いつか、何かの種目で出場したいものだと思っていました。それは、私の学校では、国体に出場する選手を校庭の朝礼台に乗せ、国体出場を祝い、健闘を願うための応援歌を皆で歌う習慣がありました。

私も、いつかは、あの台の上で応援歌を聞きたい思いがあったからです。

昭和２３年の終わり頃、同期の山本、安本君が何か新しい運動部をつくろうとしていましたが、それなら、最近始まったバドミントンはどうかと言う事になり、有志が集まり努力した結果、昭和２４年の５月の生徒会で認められ、バドミントン部が誕生しました。

私も、新道君を誘い入部しようとしましたが、新道君は、俺は、ラグビーをやりたいと中々首を縦に振りませんでしたので最後の切り札を出して、バドミントンをやると俺と一緒に国体に行けるぞと、何とか説得し、ここでダブルスのパートナーが決まりました。

新しい部が出来て練習が始まりましたが、当時は体育館の使用は、他の部との割り振りがあり、私共は、週２回と決まりそれでは充分な練習が出来ない状況が続きましたので、新道君と、２～３時間早く登校して練習した事もしばしばありました。

部結成後の初めての試合が、天神下校舎（現盛岡二高）で行われ、盛岡バドミントンクラブ（MBC）、東北毛織、盛岡高校の３チームのリーグ戦でした。

こうして、創立２年目の、県協会の方々とも接する機会が多くなり各面に亘ってご指導、そして、お世話をいただく様になりました。兼原礼輔、川手健二、川村権治、道又貞男、八木橋伸夫、川村仙二、古川公也、布施保男さん等々の方々でした。

昭和２４年９月第１回県民体育大会が開催され勇躍出場しましたが、この年は、バドミントン競技は、一般の人も、高校生も区別することのない大会でした。男子シングルスは、出場４８名、優勝は、川手さん、私は準決勝で、八木橋さんに敗れてしまいました。しかし、男子ダブルスでは、２１組の出場でしたが、中野・新道組が優勝し、私にとっては記念すべき大会となりました。そして、翌２５年高校３年の時には、第５回国民体育大会に山本・安本・新道君等と出場することが出来ました。しかし、この年、私の学校からの国体出場選手は、各種目を合わせると数十人にもなり、あまり人数が多いため朝礼台に乗り切れず、選手を送る応援歌は中止となり残念な思いをしました。

高校を卒業して大学に通うようになってからは、県協会の理事もつとめ、各種大会の企画、運営、そして競技の審判、更には選手としても出場するなどを繰り返して来ましたし、バドミントン競技の普及、指導にもつとめて来ました。

又、第３回東北地区大学総合体育大会が、昭和２７年７月に岩手大学で開催されましたが、この年１年生に山田・向井田の両君が入学して来ましたので、早速、バドミントン部を創り大会に出場しました。参加校は、７校でしたが、私達は、山形大学、東北学院大学に勝って決勝に進みましたが、決勝戦では、東北大学に残念ながら敗れてしまいました。

尚、バドミントンを始めた頃の私のものの考え方は、バドミントンは、羽根を打ち合うスポーツだから、飛んで来る羽根を自分の打ち易い場所と、体勢で打つ事が必要だ。そして、それを支えるものは体力と脚力である。まず、足腰を鍛える事が必要だ、又ラケットは自分の腕の一部であると考え、山田君とよく走り、よくラケット振りをした事が思い出されます。

或る時、何かで耳にしたのが「バドミントンは、エネルギーの消耗度合いは、スポーツの中でもトップクラスだ」と。私の考えも間違っていなかったと意を強くしたこともありました。

大学生時代の最後に、教生活動（教育実習活動）を、盛岡二高で行った事がありましたが、放課後はバドミントン部の人達に指導をしていたところ、そこに校長先生が来られて「勉強とスポーツは両立出来ると思っているので、両面に亘っての指導をよろしく」と言われ、私も同じ考えでしたので非常に心強く思った事もありました。

尚、私は、国体には選手として３回、そして昭和３１年には監督として、水谷・村守・高橋（功）さんら３人の選手と共に参加致しました。しかし、その後は、職場の都合等もありバドミントン競技と疎遠になってしまい残念に思っております。

最後に、７０年に亘り本県バドミントン競技をここまで育て上げて来た協会の方々、そしてその時々の選手諸君の努力、又各面に亘って支援いただいた関係者の方々に感謝致しますと共に、岩手県バドミントン協会の益々の発展を祈念して、思い出の記と致します。

岩手県バドミントンの草創期

資料提供 中野 昌造氏



▲広島国体選手団（昭和26年）
後列左から
山田、中野、道又、福本、山本、柴内
前列左から
丁子、八木橋理事、監督 岡淳一、宮城、小野寺、三浦



第3回東北地区大学総体（昭和27年）▶
岩手大学2位
後列審判団 八木橋、道又、川手、川村
中 選手団 伊藤、（ ）、向井田
前列選手団 中野、山田、佐々木



◀第5回東北大会（昭和28年）
大会役員・選手・協力者
集合写真
前列中央が会長（左から6人目）
前列左が中野昌造さん

資料提供 山本 益生氏（大分県在住）

新秋に躍る六千若人の力

熱戦に新記録続出

県体育大会第二日

第二回県民体育大会

◇バドミントン

▽高校男子【一回戦】（岩谷体育館）

竹林（岩手）2…0 山形（千歳）
菊地（岩手）2…0 高橋（千歳）
高橋（千歳）2…0 及川（岩手）
北村（千歳）2…0 菊地（岩手）
柴内（盛岡）2…0 小山（遠野）
向田（盛岡）
中野（盛岡）2…0 菊地（岩手）
新道（盛岡）
多田（遠野）2…0 高橋（千歳）
金田一（遠野）
柴内（盛岡）2…0 橋本（一関）
向田（盛岡）
山本（盛岡）2…0 村上（遠野）
【決勝】
柴内（盛岡）2…1 中野（盛岡）
向田（盛岡）
金田一（遠野）2…0 加賀（一関）
【一回戦】

【シングルス】
山本（盛岡）2…0 北村（千歳）
加賀（一関）2…0 及川（岩手）
金田一（遠野）2…0 高橋信（千歳）
中野（盛岡）2…0 吉田（千歳）
橋本（一関）2…0 菊地（岩手）
上野（一関）2…0 村上（遠野）
竹林（岩手）2…0 高橋昭（千歳）
新道（盛岡）不戦勝 多田（遠野）
【準々決勝】
山本（盛岡）2…0 加賀（一関）
新道（盛岡）2…0 金田一（遠野）
中野（盛岡）2…0 橋本（一関）
上野（一関）2…1 竹林（岩手）
【準決勝】
山本（盛岡）2…1 新道（盛岡）
【決勝】

▽高校女子【一回戦】ダブルス
似鳥（市立）2…0 水内（遠野）
藤村（市立）
小野寺（一関）2…1 小野寺（盛岡）
平泉（市立）2…0 松崎（遠野）
井上（市立）

▽高校 男子 シングルス
【決勝】
山本（盛岡）2…1 中野（盛岡）
ダブルス【決勝】
山本（盛岡）2…1 柴内（盛岡）
向田（盛岡）
▽高校 女子 シングルス
【決勝】
似鳥（市立）2…1 藤村（市立）
▽高校女子 ダブルス【決勝】
似鳥（市立）2…0 宮城（盛岡）
藤村（市立）三浦
▽一般女子 ダブルス【決勝】
高橋・伊藤（MBC）2…0（須藤・藤沢（東北電線））
▽一般女子（留）【決勝】
須藤（毛越）2…1 伊藤（MBC）
▽女子都市対抗【決勝】
盛岡 2…0 秤賀
▽男子都市対抗【決勝】
MBC 3…0 工事事務所

昭和25年9月10日 岩手日報

昭和26年12月2日 岩手日報

秋の収獲 ポーツの総決算

不敗の金字塔築く 宮城 三浦組


丁字選手


三浦選手


宮城選手

バドミントン

○…本県を示したのが目立っていた。丁字が県内大会では一、二位を占めていた。しかも技術の面から見ても非常のテクニックといい、試合振りといい、一流にゴしてはずかしくない。ことに丁字は国体でも山梨代表にセッティングまで戦い18対17で惜敗したが、現在二年生であるから、来年こそは活躍が期待される。その他は岩谷の竹林が有望。女子は盛岡一高の宮城、三浦組が県内大会では不敗の戦績で絶対的強みをもっていた。シングルスでは、市立高の川井がキックもあり、よい戦法をもげたが、調、不調の激しいのが欠点だ。

○…【一般】ダブルスでは八木橋川手組が群を抜いて強く、若手組を余裕よせつけず圧倒している。それに続いて中野、新道組（盛岡一高OB）が新鋭の健闘を見せ、国体予選では優勝したが、前のチームに比較すれば、コンビネーションもいまだしの感が深い。シングルスでは盛岡一高OBの山本がナンバー・ワンだ。洗練されプレーでしかも相手のウィーク・ポイントを突くついて行く頭脳的プレーがうまい。これに続いては岩大の中野がある。強打もあり、テクニックもうまいが、好敵手がなくてのびないでいる。福本（東北銀線）加賀（農厅）らは年も若いし練習次第では相当にのびれる。女子は高校卒業と同時にスポーツから離れて行くので、かんばしい戦績をあげないでいる。市立OBの藤村、似鳥らも練習を続けていたら相当の成績をあげ得たはずだ。

―終り―

初回の高校総体

高校体育大会（温泉公会堂）

◇バドミントン▽男子 盛岡3…0岩谷堂、盛岡3…0柏、遠野3…2一関【決勝】盛岡3…0遠野

新道 2 1 5 1 5 …1 1 0 多田
山本 2 1 5 1 5 …0 1 村上
安木 2 1 5 1 5 …0 0 菊池
小山

▽女子 盛岡市立2…0遠野 盛岡2…0一関【決勝】盛岡市立2…1盛岡

似鳥 2 1 1 1 …5 0 三浦
藤村 0 2 1 1 4 2 宮城
1 1 0 …6
1 1 1 …4
藤村 2 0 長谷川

昭和25年6月11日 岩手日報

希望郷いわて国体

岩手国体「感動をありがとう!」

成年男子監督　石　川　　聡

人生をかけて思いをもって目指してきた希望郷いわて国体をやり遂げた今、【感動をありがとう！】この言葉しか浮かばない！目を閉じると選手、監督、コーチ、スタッフと長きに渡り数々の喜怒哀楽の中、みんなで悩み最善最適を考え成長していった日々が輝いて見える。特にフラッシュバックするシーンは国体が開幕し４種別の内３種目が感動する最高のパフォーマンスをしてくれたにもかかわらず初戦で姿を消した。唯一、少年男子がベスト８を決め翌日のベスト４をかけた対岡山戦！昨年の和歌山国体と今年の岡山ＩＨと惨敗した難敵であったが、試合直前にチーム岩手としての【思いを結集】する為、今まで苦楽を共にしてきた監督、コーチ、スタッフ、ＩＡＴトレーナーと志なかばで敗退した成年男女、少年女子選手を集め全員で輪になり手を繋ぎ、今まで人生をかけて目指して来た日々への感謝の気持ちと今までの努力で無限の成長を遂げている事を『ペップトーク』にて思いを伝え、背中を押し、全員ハイタッチでコートに送り出した。まさにチーム岩手【魂の結集】だった。３時間に及ぶ激闘の末、ベスト４は惜しくも逃したが【岩手の選手でもやれる】と今後に希望が持てる最高のパフォーマンスであった。心技体の『心』の重要性、モチベーションを上げる仕掛け『ペップトーク』の有効性を感じた瞬間だった。さて、私にとっての岩手国体とは『広げよう感動！伝えよう感謝！』まさに私自身にとっても心のスローガン、心のモチベーションでもあった。東日本大震災を経て岩手国体に向けて動きだした時期、私にとっても胃がん告知、手術後の体調不良と苦しく心が折れそうな日々であった。こんな状態で私が強化責任者としてチーム岩手を牽引していいのか？と自問自答する毎日だったが『常に前を向き、やり遂げる事が復興国体成功に向けての力強いメッセージ』になると信じ、覚悟を決めて一歩を踏みだした。まず国体目標を設定するにあたり私が強くイメージしたポイントは３点である。①チーム岩手として各種別が一つになる事。常に情報の共有化が図られる事に取組み、【強化の見える化】を実践し強化練習、県外遠征等での現状の課題、対策、相談等共通様式【見える化】を作成し状況共有する事によりチーム岩手としての一体感を深めた。②東日本大震災復興国体の意義、広げよう感動！伝えよう感謝！の【思い】を県民にどう伝えるか？を全員で考えながら強化していく事。その中で土台となる『必死に最後まで諦める事なく泥臭く闘志剥き出しで立ち向う』気持ちを植付けていった。時には社会人の成年選手に対して、もっと高い意識で目覚めてほしい！選手にこの思いが届いてほしい！と本気で叱りつけ、心で泣いた。③県外遠征を柱とした外向きの強化。県外強豪県とのネットワークを構築し、繰り返し武者修行させる経験の中から徐々に強豪県に対しても【気後れ】する事なく立ち向う事ができた。この３つのポイントを柱に信念を持ち強化を進めていけば成年男子、少年男子はベスト４、成年女子、少年女子はベスト８も可



観客席の応援に応える成年男子

能と目標を設定しチーム全員で本気かつ必死に取り組んだ。勝負の世界は勝ち切らない限り『記録』として残らないが結果的にチーム岩手として全員でつないだ得点 7.5 点は全種別とも強豪県相手に真っ向から立ち向い、三時間に及ぶ激戦を泥臭く繰り広げ、応援団と一体となった最高のパフォーマンスはまさに【岩手が一つになった瞬間】であったと私は確信する。改めて選手の頑張りに【感動をありがとう！】という感謝の気持ちでしかない。終わりに私たちが強化及び試合に集中できた陰には準備運営でご苦労された方々、最後までバドミントンチーム岩手と一体かつ一員となり熱く本気で支援してくれた国体強化担当の皆様に感謝致します。今後、岩手国体で培ったネットワーク、レガシィを活用し更なる【チーム岩手】の飛躍を期待したい。

いわて国体

成年男子　佐々木　翔　太

「ラブオールプレイ !!」全日本のスター選手のような大歓声の中で試合が始まった。興奮、緊張、プレッシャー、など様々な感情で鼓動が高鳴る舞台。今となっては試合内容はあまり覚えていない。只、応援の熱気や臨場感、自分が試合をしているとは思えないような何ともいえない夢のような感覚を今でもはっきりと覚えている。

私がいわて国体強化に参加したのは国体年度 4 月からだ。以前まで秋田の実業団チームに所属しており、国体の前年にオファーをいただいた。中学卒業後、地元岩手を離れて 10 年以上県外でプレーしている身だったが、いわて国体で飛躍を目指す地元選手として声をかけてもらえたことはたいへん嬉しかった。本気で目標のベスト 4 を目指し岩手の方々への恩返しをする決意を胸に国体に向けた戦いが始まった。活動の中で以前の実業団時代とのギャップを感じる部分もあった。これまでは練習場所が確保されていたが、自分で練習環境を探して地域の練習に参加したり、できない日は自主トレをする現状。せっかくの遠征や強化練習で身につけた技術や感覚、普段の練習でレベルを下げないような努力をした。大学時代の膝のケガから足の調子が悪いときもあり、オーバーワークにならないことを考えたり、自分の体とも向き合う日々。不安になることもあった、本当に自分が国体の大舞台で勝てるのか、膝は大丈夫か、マイナスの感情に駆り立てられることもあったが、コーチの励ましや監督の前向きで強い姿勢や言葉に助けられた。

岩手国体当日、想像以上の大人数の観客席、シビれるような大歓声の中での試合、自分のバドミントン人生の中ではじめての経験だった。最後まで勝利を信じて戦う信念、どんな状況でも下も向かず明るく前向きな姿勢、この二つを自分に誓いがむしゃらに戦った。

試合終了後、悔し涙の先には何とも言えない達成感とどこかホッとするような気持ち、無事に試合に出て自分の力を出せたという達成感があった。自分が感動を与えられるような試合をできたか、恩返しができたかはわからないが、自分の中で「いわて国体」は大きな宝物となった。

今年 30 歳になりいつまで前線でプレーできるかわからないが、自分がバドミントンを通して経験したことを後輩たちに伝えることは今後もずっとできるはず。自分が味わったそれ以上の感動を多くの後輩たちに味わってもらいたい。これまで約 20 年間バドミントンに携わり、その中でたくさんの指導者や仲間と出会い成長することができた。感謝の気持ちを忘れずに今後も岩手バドミントンの力になりたいと思う。自分なりの恩返しのかたちとして。



成年男子ダブルス 石川 貴寛（左）・佐々木翔太（右）

希望郷いわて国体に参加して

成年女子監督　外　川　正　昭

岩手県バドミントン協会設立70周年おめでとうございます。

地元開催での国体という大舞台で私は成年女子監督として参加させて頂きました。人生の中でこの様な貴重な経験をできたことに、感謝申し上げます。

メイン会場で行われた総合開会式にも参加し、入場した際にはスタンドからたくさんの声援が聞こえ、感動で涙が溢れました。

岩手県は実業団チームが無いため、成年女子は県外の大学に進んでいるふるさと選手を頼るしかない状況でした。そのため県内での強化練習はほとんどできず、県外の実業団チームや強豪大学への強化遠征を計画するも、選手3人揃っての強化練習ができず苦労しました。最終的には直前合宿でのコンビネーション練習となりました。



観客席にあいさつする成年女子監督・選手

試合当日は、地元の大声援もあり、格上の石川県を相手に大接戦を繰り広げてくれました。コーチも選手も一体となり非常に充実した時間だったと思います。

大声援と言えば、地元開催ということで、応援団を立ち上げ、応援団長を先頭に日に日に応援の仕方も進化し、応援をしてくれる方々もどんどん増え、まさにチームいわてが一つになった国体だったと思います。

国体までいろいろな研修に参加できた事、また県外遠征でたくさんの方々と繋がりができた事、自分にとって大きな財産となりました。

最後に、国体まで指導・支援下さった国体強化委員会、準備から運営まで様々な場面で御尽力頂いた岩手県バドミントン協会役員の皆様、共に頑張った選手・各監督・コーチ・トレーナー、そして応援して下さった皆様、全ての方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

これからも岩手県バドミントン協会発展のお役に立てるよう活動して行きたいと思います。

いわて国体に参加して

成年女子　畠　山　静　花

私にとって今回の地元国体は今までの競技人生の中で経験したことのない特別な大会となりました。初めて参加した総合開会式では、入場した瞬間多くの地元の方の応援を肌で感じ、今までにない特別な大会であることを実感させられました。

成年女子チームは県外の大学に進んでいる選手で構成されていたため、なかなか集まって練習ができず、不安もありました。ですが大会当日は過去に味わったことのない大声援の中で試合をさせ



古川のシングルスを応援する齊藤佳奈（左）と畠山静花（右）

ていただき、勝つことはできませんでしたが、今持っている力をすべて発揮することはできたと思います。小学生のころからこの地元国体のために強化練習や合宿などにたくさん参加させていただき、慣れ親しんだ会場で地元の大声援を受け試合ができたことは私にとって大きな財産となりました。そして多くの方々の支えを実感したこの国体は貴重な経験となりました。

今回、地元の岩手国体に出場できたことは、私にとって大きな経験となりました。今回の国体経験を大切にし、これからも競技力向上を目指し、将来岩手県に貢献できるよう日々精進していきます。今回の国体に関わって下さったすべての方々に心から感謝いたします。ありがとうございました。

第71回国民体育大会
希望郷いわて国体を振り返って

少年男子監督　菊地　亨

平成30年10月5日、第73回国民体育大会が福井県勝山市で開催され、岩手県成年男子チームが出場しました。今回の成年男子チームは、希望郷いわて国体で少年男子に出場した菊地拓也選手と、成年男子に出場した石川貴寛選手が出場しておりました。

岩手県成年男子の試合を応援し、岩手国体での選手の頑張りを思い出しました。また、福井県選手団の試合を見ながら、地元選手の勢いと応援席のパワーが一体となった試合ぶりに岩手国体を重ね合わせている自分がいました。

私は岩手国体少年男子監督を担当しましたが、目標をベスト４に設定し、5年間という時間を選手たちと過ごしました。

平成28年10月5日は、目標への第1歩である1回戦が行われ、三重県と対戦でした。選手たちは緊張を撥ね除け、はつらつとしたプレーでダブルスを先制し、続く第１シングルスがマッチポイントを迎えました。競技得点獲得まであと１ポイントです。会場内の関係者、応援者が見守る中で、最後のラリーをもぎとり、会場内は歓喜に包まれました。

準々決勝は岡山県と対戦。目標とするベスト4への正念場です。試合直前には全種別の選手団全員が肩を組み、少年男子の出陣に心からのエール送り、準々決勝へ。ダブルスは第１ゲームを勢い良く奪い、第２ゲームも優位に試合を進めましたがファイナルゲームで岡山勝利。第1シングルスは接戦で奪い返し1−1。勝負は第２シングルスに委ねられました。岡山県はU19日本代表。大方の予想は岡山県圧倒的有利。第１ゲームを奪われ、第２ゲームも不利な状況は変わりません。しかし、ここからの応援の力は絶大で、岩手は連続10点をもぎ取りファイナルゲームへ持ち込みました。選手たちがこんな底力を備えていたとは。改めて高校生の可能性に驚かされ、大一番での戦いぶりに感動を覚えました。試合は残念ながら敗れましたが、選手には感謝の気持ちで一杯です。「7.5点」。目標点には及びませんでしたが、全種別が力を合わせて獲得した7.5点です。県内練習は常に成年・少年男子との合同練習でした。これが少年男子強化には好影響を与えました。また、県内関係者はもとより全国のバドミントン関係者のお力添えを戴きました。この場を借りてお力添えを戴いた全ての皆様に感謝申し上げます。

また、岩手国体から2年が経ちましたが、福井国体を観戦しながら感じたことがありました。それは、バドミントン関係者だけでなく、市役所職員の方や、地域ボランティアの方の献身的な支えでした。会場入口で様々な問い合わせや、要望への対応、見えないところで大会を支えているスタッフの存在がありました。いま、2年という時間を超えて「希望郷いわて国体」への感謝の気持ちを感じています。

私は、これまでバドミントンに育てられてきたと感じています。そして「希望郷いわて国体」をきっかけとし、今後の岩手県バドミントン協会が大きく飛躍することを願いながら、バドミントンへの恩返しをしていきたいと思います。



「心はひとつ」健闘を誓う少年男子

いわて国体に参加して

少年男子　軽　石　直　人

私にとっても岩手国体は最初で最後の地元での国体でした。

思い出すと岩手国体に出場するまでの間、数えきれないほどの経験を積んできました。小学校１年生から始めたバドミントンですが、気がつけば岩手国体で活躍することを目標とする私がいました。勉強よりも何よりもバドミントンに打ち込み、様々な場所に遠征に行かせて頂き、沢山の方々からアドバイスを頂き、沢山の方々に支えられ、自分自身の納得のいくコンディションで岩手国体に臨むことが出来たと思います。正直、楽しい事よりも苦しい事やつらい事の方が多かったですが、バドミントンを通して人として成長することができたのではないかと実感しています。

本番の試合は選手と応援の方々の一体感が生まれ、本当に岩手県が一つとなって戦っているのを感じることができました。

沢山の方々への感謝の気持ちを忘れずにこれからもバドミントン人生を楽しんでいきたいです。応援ありがとうございました。



応援団とともに勝利を喜ぶ軽石直人（左）・田村汰稀（右）



岡山県との試合 シングルスの軽石直人

いわて国体を終えて

少年女子監督　渡　邉　清　一

いわて国体に向けて強化事業がスタートしたのは平成23年2月。その１か月後に東日本大震災が発生し、いわて国体の開催も危ぶまれ、強化事業もストップしてしまった。正式に復興国体として開催が決まり強化事業が再スタートしたのが、平成24年5月。当時中学2年生～小学6年生から10名を国体強化選手としてのスタートである。私が監督となり、当時の中体連の先生方の協力を得て練習会を実施した。当時の選手達の実績はJOC等全国大会ではせいぜい２回戦止まり。国体ではベスト８に入り得点を稼ぐことが使命である。この選手達でベスト８に入らなければならないというのは、正直かなり厳しいと思ったが、「国体ベスト8」を目標に強化練習が始まった。

国体練習会は、高校の部活動終了後、土日の夜に実施した。練習にはシャトルと練習場所が不可欠なわけだが、強化費用は潤沢ではなかった。体育館は、選手が集まりやすい県中央部で使用料のかからない所を探し、各種県大会終了後の総合体育館を利用した。また、シャトル代は1回500円を徴収することにした。県の事業で実施するのに、遠方から時間をかけて来る選手もおり、さらに500円徴収することにも大きなためらいがあった。そのために、500円以上の大きな価値のある練習にする事を常に考慮した。

岩手県女子の課題はラリー力をつけること。ラリー力をつけるための課題は２つあった。技術面と体力面である。技術面では同じことを続けてできない事。例えば、ドロップショットだったら、10本続けて入れることができない。体力面では、コート内を移動する脚力不

足。まずはここから手をつけた。基礎力の向上が最優先課題であった。ダブルスの戦術もシングルスの戦術も持たず、個人の能力で試合をしている状況から10名がレベルアップして競い合わせることを行った。

平成25年度国体から中学3年生も出場できることになり、種目別選手権大会で2位となった藤井愛が国体選手としてミニ国体に出場した。東北ブロックは通過できなかったが、良い経験になった。

平成26年度、強化選手達は高校生となり、所属校での練習が中心となった。この年は日韓中ジュニア交流競技会が北上総合体育館で行われ、いわて国体を見据えて、1年生の藤井愛、松好奏海、長岡朱里をメンバーに入れて経験値を上げさせた。また、松好奏海が国体メンバーに入り、2年生の畠山静花、中島葵と東北ブロックを通過し長崎国体に出場。1回戦は徳島県と対戦したが、0－2で敗退。組合せにも恵まれたと思ったものの、国体で勝つことの難しさを痛感し、2年後が不安になった時期であった。

平成27年度、強化選手のキャプテンであり、前年の国体メンバーの松好奏海が5月にアキレス腱断裂で戦線離脱。国体メンバーに藤井愛が入り、3年生とのチームで和歌山国体出場を目指したが、東北ブロックを通過できなかった。いわて国体前年で他競技が、入賞等好成績を残している中で結果が出ず後ろめたい思いがあった。秋頃から選手が力をつけはじめてきた。いわて国体メンバー3人が見えてきた。いわて国体まであと1年を切り、年末年始には強化メンバー全員での合宿を行い少年男女の団結を高めた。さらに国体メンバーが年始の和歌山県での全日本ジュニア合宿、岡山県での倉敷中央高校合宿と8泊9日間の長期遠征を実施した。この頃から、「あの子達結構やるよね」という声が他県の先生方から聞こえ始めてきた。2月からは平日練習も実施し、遠征と練習を繰り返す日々になった。

平成28年度、私の中では国体選手はほぼ決定していたものの、高総体、種目別選手権大会で選手が順当に成績を残し、理事会を経ての正式決定までは、不安があった。しかし、強化メンバーが確実に成績を残し、インターハイに出場し、活躍してくれた。ミニ国体では宮城県に大接戦を展開し、国体までの不安もなくなっていた。遠征に行く度に選手達も手応えをつかみ始め、次回遠征までの練習にも意欲的に取り組むことが、また成長につながった。全国の3強である青森、宮城、福島の強豪校に何度も遠征し、徐々に対等の試合ができるようになり、相手校の監督からは、「本当に強くなってるね」「3年前見たときは、うちの県の小学生レベルだったのに、信じられない」と言われるようになった。あとは、組合せだ。少年女子は全県出場。ベスト8に入るには3回勝たねばならないという厳しい面もあるが、1, 2回は勝てる可能性はある。かつては、地元に有利な組合せも見受けられ、そのために、平成22年千葉国体、平成24年岐阜国体では1回戦が地元チームとの対戦であった。それだけ岩手県は勝ちやすい県に思われていた。平成25年の東京国体から組合せは厳正な抽選となった。一切手心は加えることができなくなった。5年間、国体強化をしてきて、勝機のある県をいくつかあげられるようになってきたのだが、組み合わせ次第で初戦敗退もありえる。国体1ヶ月前に対戦相手が佐賀県と決定。佐賀県は全国高校選抜大会3位のペアがいる。そのペアの一方の選手はJOC、全国選抜でシングルスベスト8の選手である。手強い相手である。しかしここを勝つために5年間練習や遠征を重ねてきたのだ。9月26日から北上総合体育館で最終調整合宿に入った。成年女子選手とも互角の試合をしていい感じであったが、9月29日の栃木県チームとの練習では散々な内容で私も喝を入れた。自信喪失になりかけたが、翌日の栃木県との練習ではまるで邪気が取り除かれたかのような動きで自信を取り戻すことができた。あとは気分良くコートに入るだけ、心技体を最高に高めることに全力を注いだ。少年女子チームで団扇を作りベンチから応援し、前日の夜は、これまでの映像と仲間からの応援メッセージを入れたモチベーションビデオを見て、気持ちを最高潮に高めてコートに入ることができた。

試合当日、少年女子が4種別で先陣を切って試合に臨んだ。この日は大会初日の日曜日であり、超満員の会場であった。朝一番9：30からの試合で、我々の入場時には大応援団の声援に迎えられた。何度も試合や練習を行った体育館であるが、こんなにも雰囲気が変わるものかと実感した。強化練習の度に地元国体は特別な雰囲気の中でやることを伝えてはいたが、初の大舞台で地元国体がプレッシャーになるのではないかと選手を心配したが、大声援に動じず落ち着いた選手をみて、始めの難関は突破したなとほっとした。

対戦相手は佐賀県。ダブルスは金野夕香・藤井愛のペア。第1ゲームを取られ、第2ゲームを取り返し、ファイナルゲームは序盤でリードしたが、流れを自分たちのものにできず負け。続く松好奏海のシングルス。出だしが悪かったが、第1ゲーム取り、第2ゲームは取られ、ファイナルゲームはリードを保ち勝利。第2シングルスの金野夕香に繋いだ。出だしが、バックアウトのエラーが多く波にのれずストレート負けであった。

結局チームは勝利できなかったが、3時間に及ぶ長い試合で5年間の全てを出し切ってくれた。ここまで来られたのは選手の頑張りがあったから。代表選手の3人をはじめ、強化選手達が仲良くまとまって練習の雰囲気を作って来られたからみんなの実力向上ができたのだと思う。そして選手は相当なプレッシャーと戦ってくれた。またその家族の方々もプレッシャーと戦ってくれたことに感謝したい。



観客席の応援に応える少年女子

いわて国体に参加して

少年女子　金　野　夕　香

私は、中学２年生の時から国体の強化練習会に参加してきました。国体までの５年間、仲間と切磋琢磨しあいながら、日々練習を重ねてきました。

結果的には１回戦で敗退してしまいましたが、たくさんの方々の応援のおかげで全ての力を出し切ることができました。

長いようであっという間の５年間でしたがたくさんの貴重な経験をし、地元国体でプレイできたことをとても誇りに思います。指導してくださった方々、共に練習してきた仲間、応援してくださったみなさん、支えてくださった全ての方々への感謝の気持ちは、今でも忘れません。47年に１度の経験をすることができたことは、私の一生の宝物です。

今後は、お世話に成った方々へ恩返しができるように協力していきたいと思います。ありがとうございました。



ダブルス 金野夕香（左）・藤井 愛（右）



岩手国体・北上市開催について

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会
北上市実行委員会
照　井　啓　治

岩手県バドミントン協会の創立70周年を心からお喜び申し上げます。

また、希望郷いわて国体バドミントン競技会の成功に向け、協会を上げてご尽力をいただきましたことにあらためて感謝申し上げます。

私が、岩手県バドミントン協会との深い係わりを持つきっかけは、平成28年に開催される2巡目岩手国体で、北上市が総合開会式・閉会式、陸上競技、バドミントン、ソフトテニス、新体操の会場として既に決定していた平成22年4月に「インターハイ・国体担当」として北上市教育委員会スポーツ振興課に配属となったことに始まります。

同年12月にはバドミントン競技会場に決定していた北上総合体育館を（公財）日本バドミントン協会による正規視察が計画され、それに対応する資料作成のため竹林会長を筆頭にいろいろご相談に乗っていただいたことを契機に、希望郷いわて国体終了までご指導とご支援をいただきました。

そんな折、平成23年３月11日の東日本大震災津波被害の復旧・復興のため開催延期や規模縮小が論議され、１年間開催準備業務が停滞しました。結果としては経費削減、規模縮小でも震災復興支援への感謝を表し、震災復興のシンボルと位置づけた「新しい岩手型国体」で開催することが決定しました。

それからは、リハーサル大会や本大会開催に係る実施計画や開催要項作成、役員・係員・補助員等人員編成計画、運営費予算計画、施設・用具整備計画など膨大な資料の作成が行われましたが、北上市実行委員会にはバドミントンの専門的知識を有する職員がいないことから、必然的に岩手県バドミントン協会に協力をお願いせざるを得ない状況でもあり、村上事務局長とのメールでのやり取りが頻繁に行われ、何とか乗り切った状況でもありました。

そんな中、以前から岩手県バドミントン協会に要望していた競技担当者の北上市実行委員会事務局への派遣について、開催1年前の平成27年4月から伊藤張二副理事長が着任し、準備業務も順調に進むと期待しておりましたが、体調不良により入院されたときは

とても不安になりましたが、不屈の精神と強靭な体力で復帰していただき、その後は順調に準備業務をこなしていただきました。

また、この年は２月に国体600日前イベント「日本リーグトップ選手によるバドミントンクリニック」、８月に東北総合体育大会開催、11月に希望郷いわて国体バドミントン競技リハーサル大会「バドミントン日本リーグ2015　２部リーグ北上大会」を開催し、国体開催機運の醸成と本番に向けた大会運営のチェックを入念に行っていただき、本番に備えていただきました。

そして、平成28年10月２日（日）から５日（水）までの４日間、北上総合体育館において約半世紀に１度の希望郷いわて国体バドミントン競技会が選手・監督860人、大会役員・実施本部員等2,079人、観覧者6,644人、計9,583人の参集者を得て盛大に開催され、大成功のうちに終了することができました。

これもひとえに岩手県バドミントン協会員の国体に対する情熱と行動力、団結力の賜物でありますが、何よりもバドミントンを愛する気持ちが一致団結して大会の成功を支えていただいたものと思います。

今後、ますます岩手県バドミントン協会が光り輝き、ご発展することを祈念し、創立70周年のお祝いとします。



5位入賞を喜ぶ少年男子チームとマスコットの「そばっち」

岩手の地から世界へ

北上市バドミントン協会　会長　金　原　良　史

岩手県バドミントン界の歴史を振り返りますと、２０１６岩手国体での県選手団の活躍が記憶に新しいところです。コート間近の選手の躍動に、観客が一丸となって大声援を送り、成功裏に終えた大会となりましたことは、関係者の一人として喜びに堪えません。

この国体準備期間中、私にとって忘れられない出来事がありました。コート上でおじいちゃんと楽しそうにラリーをしていた５歳の男の子。ハイバックを器用に使いこなす姿に目を奪われ、感心を超え感動すら覚えました。

私がハイバックを体得したのは、大学１年１９歳の時であります。それから５５年の月日が流れ、日本のバドミントン界は、男女ともに世界のトップクラス。そんな日本の未来を支える子供たちが、この岩手にも着々と育っていることを目の当たりにした瞬間でした。最近は、ジュニアの試合を見る機会が増え、その思いを益々強くしているところであります。

順調なジュニア世代育成の一方、小学校を終えた選手の受け皿となる中学校、高校が少ないことは誠に残念で歯痒い思いをしております。優秀な選手が県外の強豪校へと進学する現状を今後の県バドミントン全体の課題として捉え、改善されていくことを願っております。

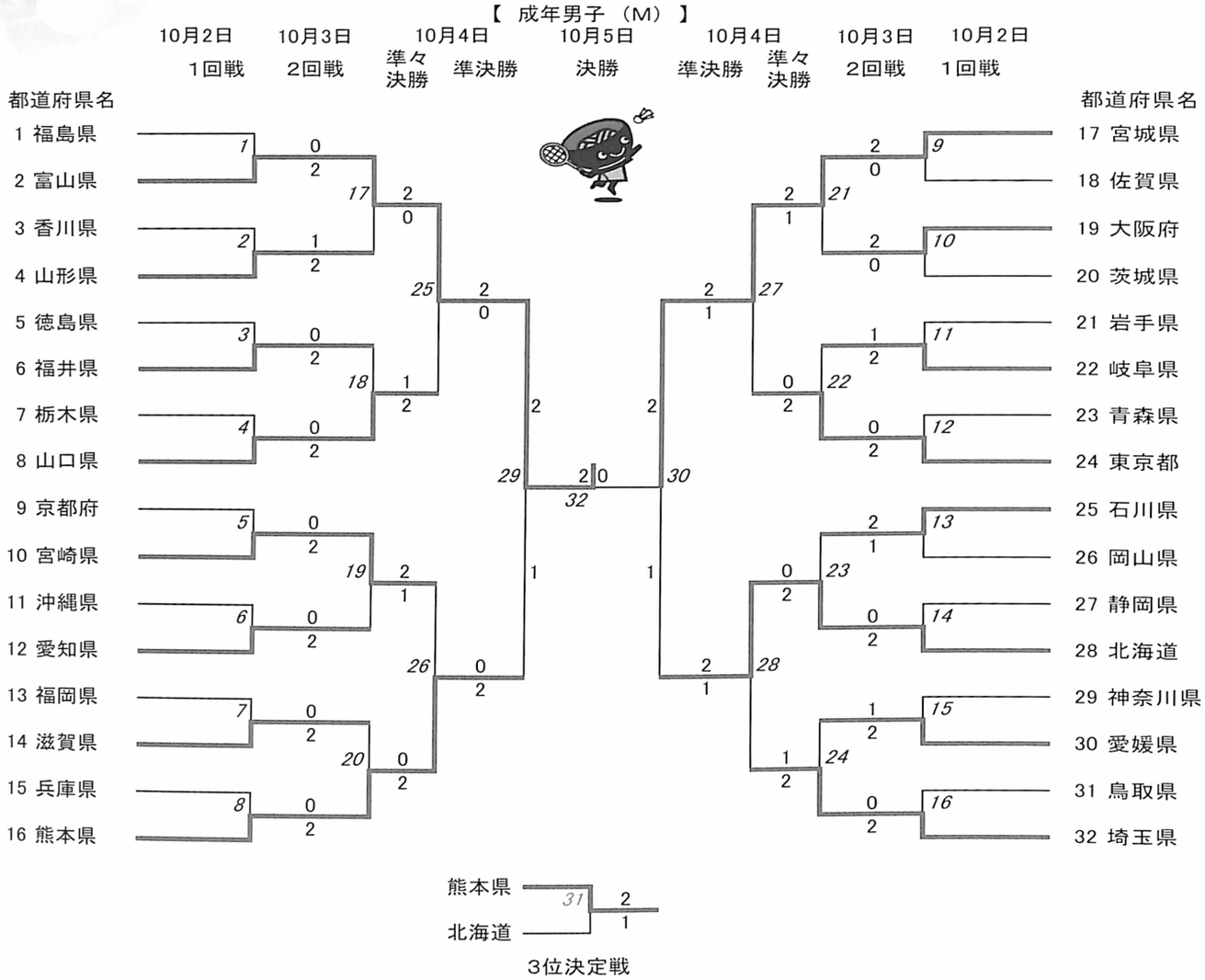
先ほどの５歳の男の子ですが、現在は小学校２年生となり、岩手県のトップクラスの選手に育っております。近い将来、この岩手の地から日本チャンピオンが続々と誕生し、世界へと挑戦していくことに期待と夢を膨らませております。

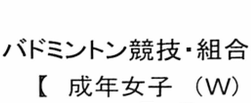
最後に、岩手県のバドミントンが今後益々発展することを願い、県バドミントン協会創立７０周年の寄稿といたします。

いわて国体記録

バドミントン競技・組合せ表

【 成年男子 （M） 】

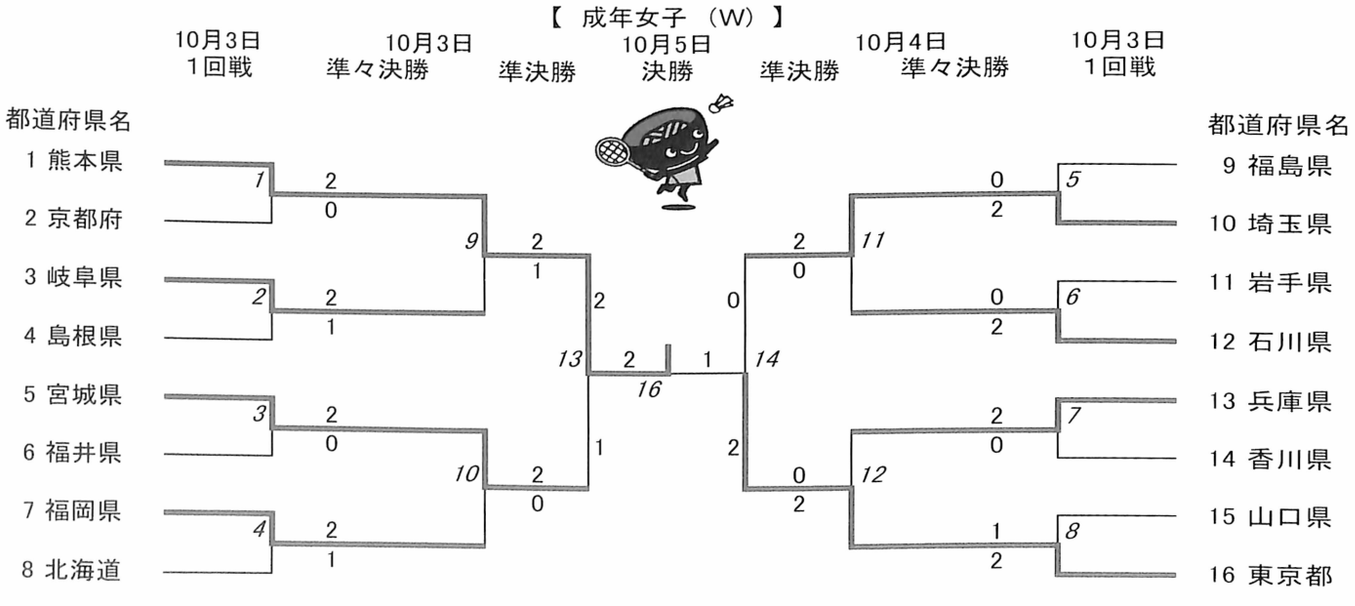


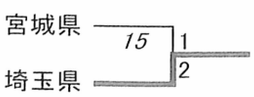


3位決定戦

バドミントン競技・組合せ表

【 成年女子 （W） 】

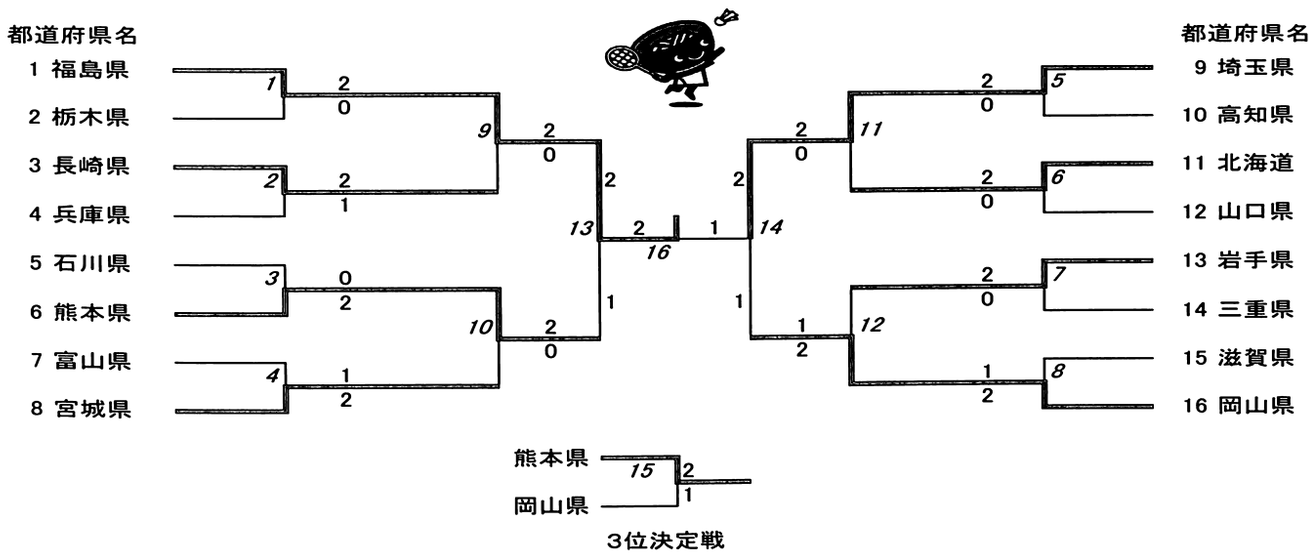




3位決定戦

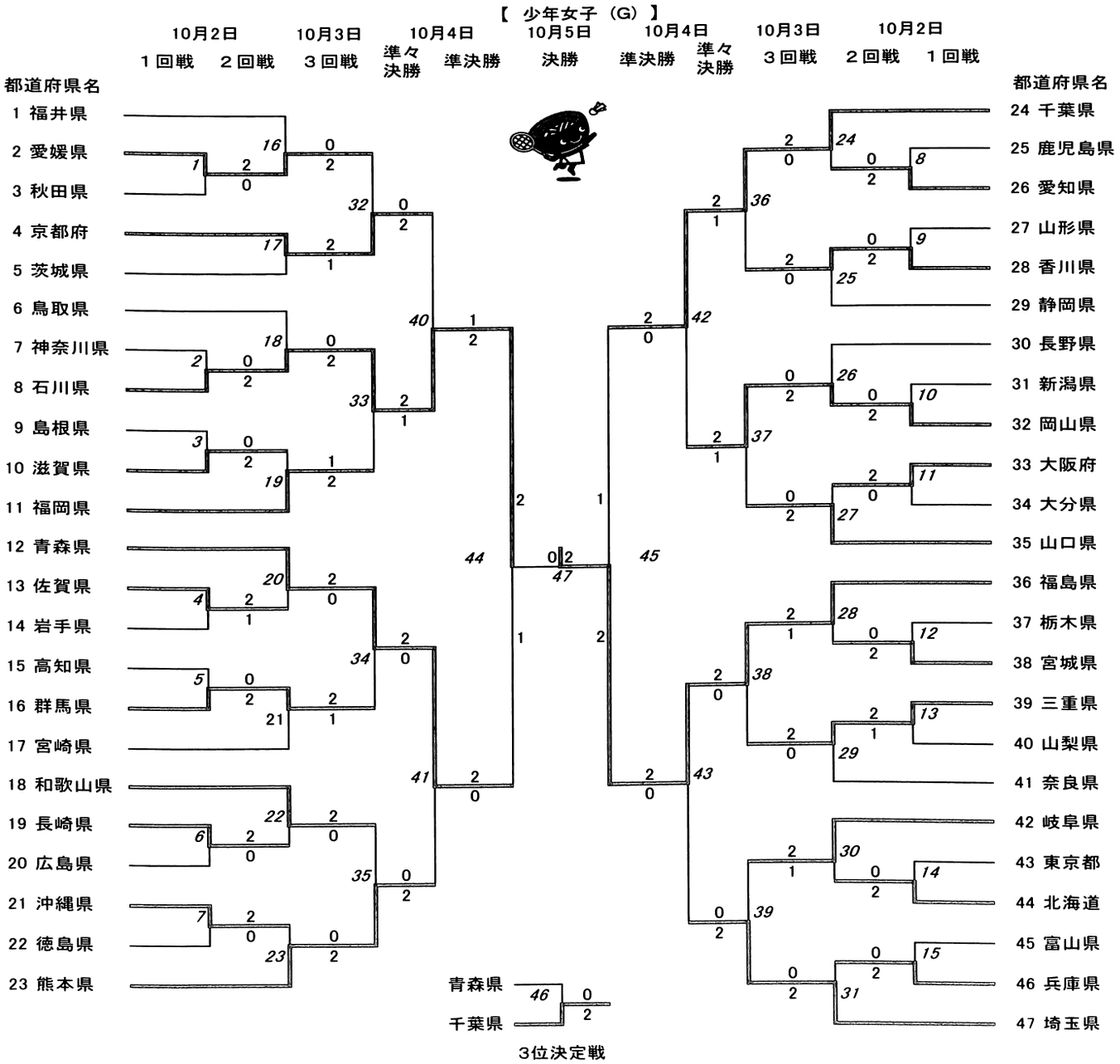
バドミントン競技・組合せ表

【 少年男子 （B） 】



バドミントン競技・組合せ表

【 少年女子 （G） 】



第71回国民体育大会 総合成績一覧表 【 確定 】

競技名		バドミントン													
都道府県名		男女総合成績(天皇杯得点)								女子総合成績(皇后杯得点)					
		順位	得点合計	競技得点	参加得点	成年男子	少年男子	成年女子	少年女子	順位	得点合計	競技得点	参加得点	成年女子	少年女子
1	北海道	8	32.5	22.5	10	15	7.5			14	10	0	10		
2	青森	11	25	15	10				15	7	25	15	10		15
3	岩手	12	17.5	7.5	10		7.5			14	10	0	10		
4	宮城	4	53.5	43.5	10	21	7.5	15		7	25	15	10	15	
5	秋田	20	10	0	10					14	10	0	10		
6	山形	20	10	0	10					14	10	0	10		
7	福島	3	58	48	10		24		24	4	34	24	10		24
8	茨城	20	10	0	10					14	10	0	10		
9	栃木	20	10	0	10					14	10	0	10		
10	群馬	20	10	0	10					14	10	0	10		
11	埼玉	2	64	54	10	7.5	21	18	7.5	3	35.5	25.5	10	18	7.5
12	千葉	10	28	18	10				18	6	28	18	10		18
13	東京	5	38.5	28.5	10	7.5		21		5	31	21	10	21	
14	神奈川	20	10	0	10					14	10	0	10		
15	山梨	20	10	0	10					14	10	0	10		
16	新潟	20	10	0	10					14	10	0	10		
17	長野	20	10	0	10					14	10	0	10		
18	富山	7	34	24	10	24				14	10	0	10		
19	石川	5	38.5	28.5	10			7.5	21	2	38.5	28.5	10	7.5	21
20	福井	20	10	0	10					14	10	0	10		
21	静岡	20	10	0	10					14	10	0	10		
22	愛知	20	10	0	10					14	10	0	10		
23	三重	20	10	0	10					14	10	0	10		
24	岐阜	12	17.5	7.5	10			7.5		9	17.5	7.5	10	7.5	
25	滋賀	20	10	0	10					14	10	0	10		
26	京都	12	17.5	7.5	10				7.5	9	17.5	7.5	10		7.5
27	大阪	20	10	0	10					14	10	0	10		
28	兵庫	12	17.5	7.5	10			7.5		9	17.5	7.5	10	7.5	
29	奈良	20	10	0	10					14	10	0	10		
30	和歌山	20	10	0	10					14	10	0	10		
31	鳥取	20	10	0	10					14	10	0	10		
32	島根	20	10	0	10					14	10	0	10		
33	岡山	8	32.5	22.5	10		15		7.5	9	17.5	7.5	10		7.5
34	広島	20	10	0	10					14	10	0	10		
35	山口	12	17.5	7.5	10	7.5				14	10	0	10		
36	香川	20	10	0	10					14	10	0	10		
37	徳島	20	10	0	10					14	10	0	10		
38	愛媛	20	10	0	10					14	10	0	10		
39	高知	20	10	0	10					14	10	0	10		
40	福岡	12	17.5	7.5	10			7.5		9	17.5	7.5	10	7.5	
41	佐賀	20	10	0	10					14	10	0	10		
42	長崎	12	17.5	7.5	10		7.5			14	10	0	10		
43	熊本	1	77.5	67.5	10	18	18	24	7.5	1	41.5	31.5	10	24	7.5
44	大分	20	10	0	10					14	10	0	10		
45	宮崎	12	17.5	7.5	10	7.5				14	10	0	10		
46	鹿児島	20	10	0	10					14	10	0	10		
47	沖縄	20	10	0	10					14	10	0	10		
合計			902	432	470	108	108	108	108		686	216	470	108	108

全国大会等の開催

日本リーグ開催について

盛岡市バドミントン協会　外川　正昭

岩手県バドミントン協会創立70周年おめでとうございます。

バドミントン日本リーグは2016年から、バドミントンＳ／Ｊリーグに名称が変わっています。

さて盛岡市での開催は３回目となります。１回目は平成４年盛岡市都南村合併記念日本リーグ盛岡大会、岩手県としても初めての開催だったとの事です。２回目は４年前の平成26年バドミントン日本リーグ2014盛岡大会、そして今回３回目、バドミントンＳ／Ｊリーグ2018盛岡大会が平成31年２月３日開催されます。会場はいずれも岩手県営体育館での開催になります。

私は４年前のバドミントン日本リーグ2014盛岡大会で事務局として準備から運営までやらせて頂きました。東京での開催地会議で対戦カード等が決まりその後、開催に向けて約半年前から準備に入るわけですが、盛岡市は体育館の駐車場問題があり、臨時駐車場の手配、臨時駐車場からのシャトルバスの手配、そのための警備員の手配、体育館に移動式支柱と審判台が無いため借用手配と、他の市町村に比べていろいろな面で経費がかかってしまう為、より多くの集客が必要になります。どうやって前売券を買ってもらうか？各市町村協会、各学校・ジュニア等、各所へ案内文とチラシでお知らせするわけですが、チラシ１つ作るにも、パッと見て「行ってみたい‼」と思えるようなチラシにするために時間をかけて考えます。

開催が近づくにつれ、会議も頻繁に開催し最終的には毎回前売券の近況・報告確認になりました。最後の方はスタッフみんなに手渡しでお願いし、声がけをしてもらいました。

大会当日、果たして本当に見に来てくれるのだろうか？と不安しかありませんでしたが、お陰様で1400名の入場者数となり、大成功に終える事ができました。準備から大会当日まで本当に大変でしたが、終わった時は「やって良かった！」と達成感でいっぱいだった事を覚えています。

近年、日本バドミントン界は数々の大会で好成績を収め、今まさに黄金期を迎えています。そんな選手のプレーを岩手でも見れるという、こんな幸せな事はありません。

バドミントンＳ／Ｊリーグ2018盛岡大会に向けて、現在準備を進めている所ですが、前回より更に多くの方々が御来場下さる事を期待しています。皆さんで岩手を熱くしましょう‼
今後もよろしくお願い致します。



日本リーグ盛岡大会

日本リーグ2000釜石大会の思い出

釜石市バドミントン協会　会長　北　野　和　敏

岩手県バドミントン協会創立７０周年おめでとうございます。

思い起こしますと同協会５０周年記念祝賀会が１９９９年３月に盛岡市で執り行われましたが、その祝賀会に当時の釜石市バドミントン協会会長であった故及川好氏を先頭に数人で釜石市から市

協会関係者が参加しました。

その席には、当時の全日本実業団連盟の理事長の職にあった油井秀男氏がおられました。

油井氏は、釜石製鉄所におられた時代に及川氏と製鉄所バドミントン部で活躍されていた関係にあり、及川氏と大いに盛り上がったものと思われます。

その場において釜石市で日本リーグを開催しようと二人の意思決定？がなされたのです。

酔った勢いもあり、みんなも賛同し、大いに盛り上がりました。まさか本当になろうとは・・・

背景には、その頃、釜石製鉄所の体育館（小川体育館）が釜石市へ移管され、釜石市民体育館とするためのリニューアル工事が施工中であり、２０００年春に竣工予定であったことがあります。そのため、当時の釜石市長がこけら落としに何か大会誘致をしたいとの希望があり、釜石市長の側近であった及川氏がその希望に答えたということがありました。

トップダウンで決まったことですが、日本リーグは、その４年前に盛岡市の県営体育館において、岩手県で初めて開催された実績がありました。しかし、交通の便も悪い沿岸部で開催するのは大変不安を覚えたものです。ましてや開催のノウハウも全くないゼロからのスタートとなりました。

そこでノウハウを学ぶため、その年の１２月に開催された仙台市の日本リーグに数人で行ってご教授いただき、必要書類等のひな型などを貰って帰ってきたものです。

開催までには、多くの苦労がありましたが、釜石市のバドミントン協会関係者を総動員しての開催となりました。もちろん審判等の派遣に当たっては、岩手県協会の全面的バックアップもいただき、何とか開催に漕ぎ着けたものです。

ところが開催当日は、１２月初めの沿岸部としては珍しく大寒波が襲来し、大変寒い日となりました。リニューアルした体育館とはいえ、暖房設備はありませんでした。

特に九州から来た２チームはもちろんのこと、観客の皆様に寒い思いをさせて大変申し訳なく思ったものです。

それでも大きな混乱もなく何とか無事終了することができ、数日後には関係者でご苦労会を開催して労をねぎらうこともでき、釜石市協会として大きな実績を残せたものと思っております。
当時ご尽力いただいた多くの方にこの場をお借りして御礼を申し上げます。

その後、数年して、県内各地で毎年のように日本リーグは開催されるようになりました。釜石大会の実績が一助となっているものと勝手に喜ばしく思っているところです。

開催に当たっては、関係者の皆様が大変ご苦労なさっているものと思いますが、日本リーグ開催は、バドミントン競技をする者にとって大変大きな刺激となるものです。

今後もますます岩手県のバドミントン界のために日本リーグ開催にご尽力されるようお願い申し上げます。



日本リーグ釜石大会役員・スタッフ

バドミントン日本リーグ２０００釜石大会記録

開催日２０００年１２月３日

【男子】

NTT東日本宮城		1 対 2		ベスト電器
関根泰則 ハルモノユウオノ	2	15－4 15－1	0	宮田典明 木谷修
上滝賢二	0	16－17 11－15	2	副島浩史
清元敬吾 清元亮太	1	15－12 10－15 11－15	2	清水文武 崔相範

【女子】

東北電力新潟		1 対 2		NEC九州
媚山映里 大下詩織	0	1－15 10－15	2	中島暁子 末綱聡子
嶋田友紀	1	11－7 10－13 9－11	2	吉岡知香
竹野景子 斉藤かおり	2	15－11 7－15 15－3	1	吉富桂子 山崎雅美

日本リーグを開催して

一関市バドミントン協会　事務局長　小野寺　政　博

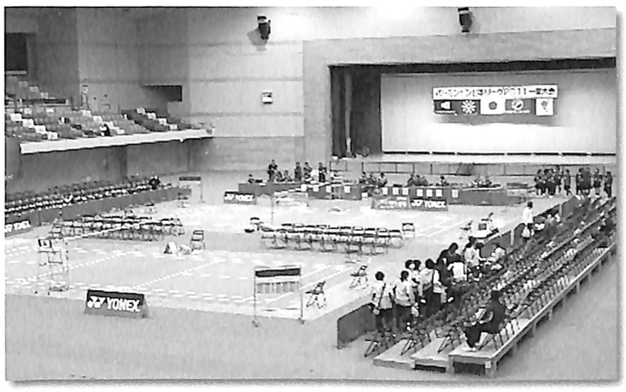
観戦はしたことはあるが、大会を運営することなど思ってもいなかったことが、一関市で行われることになり。不安だらけの出発となりました。そこに、３．１１の東日本大震災がおこり、果たしてうまく開催できるのだろうか、集客はどうだろうとか、不安要素ばかりが先に立ちました。

その中で、岩手県バドミントン協会の方々の素晴らしいバックアップのもとに、一関市バドミントン協会員も何とか成功させようと、一丸となって頑張っていただきました。

一流の選手のプレーを間近見ることができる、そして触れ合える、なかなか経験することができない貴重な体験をさせていただきました。



大会チケット



仮設の特別席を設置した会場



試合前の練習

日本リーグ 2012 北上大会について

北上市バドミントン協会　　佐　藤　憲　明

２０１２年１２月２３日北上総合体育館において、バドミントン日本リーグ２０１２北上大会が開催された。前年に一関大会が行なわれ、審判としては経験済みだが、実際に運営するとなると、ノウハウが無く、とても不安だったことを思い出す。６月になり対戦カードが決まると、チケット、役員ＩＤ、チラシの印刷、地元プログラム広告集め、参加する各チームとの諸連絡、練習時間の配分連絡、会場設営etc…とても目まぐるしかった。大会は男子・ＪＲ北海道ＶＳトナミ運輸。女子・ＮＴＴ東日本ＶＳ北都銀行の対戦となり、１２２３名の観客で盛り上がったが、ロンドンオリンピック代表の佐々木翔選手に、試合を見ないで殺到するファンがあり、アップ会場からベンチまでの誘導をするスタッフを急遽配置したりするなど、想定外のハプニングもあった。サイン会場と時間を設けて、事前に解決させておくべきだったと反省したと同時に、ロンドンオリンピックでバドミントンが更にメジャーになり、注目度が上がっていることを感じた大会でもあった。次回、北上開催があれば（２０２０年予定）、これらの反省点を活かし、見るスポーツとしての視点でも成功させたいと思う。

日本リーグ2013 花巻大会

花巻市バドミントン協会　久保田　廣　美

「２０１６希望郷いわて国体」の開催に向け、2012年北上大会に続き2013年は花巻市開催との県協会の意向を受け、市協会独自事業との日程調整、会場確保について市当局と協議を進め、一定のめどがついた平成24年12月15日に県協会から運営委員会宛に希望申込を提出していただき、平成25年1月23日付バドミントン日本リーグ運営委員長名で、「平成25年12月22日（日）花巻市総合体育館アネックス」の開催地決定通知が届き正式開催の運びとなった。

決定後は、私が開催地協会の連絡担当となり、5月26日の開催地会議に鈴木県審判委員会委員長とともに出席。ここから、開催に向けての本格的なスタートとなり、花巻市バドミントン協会内で逐次打合せ準備作業を行うとともに、県協会と合同の実行員会立ち上げ、7月4日第1回の委員会、以降2回の委員会の中で、入場料の決定及び予算策定を行うとともにスケジュール調整が行われた。

チケット販売を10月4日より開始、県内各協会・学校・関係団体に対し販売・購入依頼するなど、入場料収入の確保に向けた取り組みを行い、当初、開催負担金、運営経費などの面で不安が多かったものの、販売目標を達成できたことで予算の収入見込みをクリアすることができたところです。

また、地元花巻市の後援を受けられたことにより、会場使用料の減免を受け、さらにコートマットも北上市から借用するなど、運営面において関係機関からの多大な支援を受けたことにより無事開催できたものと感謝しております。

本番に向けて、冬の花巻開催ということでいろいろな課題がありましたが、花巻市バドミントン協会の若手会員に、準備・企画段階から大会運営まで積極的に取り組んでいただいたことにより、対戦したチームはもちろん、おいでいただいた大勢の観客の皆様からも満足いただける大会運営ができたと思っています。

開催の成果として、当日のエキジビションで参加チームの選手と対戦した地元花巻の小・中学生は、その後高校・一般でも活躍し実績を残しており、国内でも上位の選手のプレーをまじかで見た



エキシビションマッチに参加した中学生
長岡朱里（左）、藤井 愛（右）

花巻大会試合結果

バドミントン日本リーグ2013　花巻大会

ファイル保存

開催日	平成25年12月22日（日）
場所	花巻市総合体育館アネックス
観客数	1,500人

男子	1部リーグ	大会日 第8日

チーム名		対		チーム名
トナミ運輸	2	複 2－0 / 単 0－1	1	日立情報通信エンジニアリング

種目	選手名	背番号	スコア		選手名	背番号
複-1	平田典靖	9	2	25－23 / 21－19 / －	0	三橋智希 4
	橋本博且	8				山崎裕太 7
単	武下利一	1	0	15－21 / 10－21 / －	2	早崎修平 2
複-2	園田啓悟	2	2	21－14 / 19－21 / 22－20	1	大嶋一彰 0
	嘉村健士	10				海野祐樹 1

バドミントン日本リーグ2013　花巻大会

ファイル保存

開催日	平成25年12月22日（日）
場所	花巻市総合体育館アネックス
観客数	1500人

女子	1部リーグ	大会日 第8日

チーム名		対		チーム名
岐阜トリッキーパンダース	2	複 2－0 / 単 0－1	1	北都銀行

種目	選手名	背番号	スコア		選手名	背番号
複-1	下崎彩	5	2	21－19 / 21－10 / －	0	三木佑里子 9
	程文欣	18				米元小春 10
単	山本紗徳	0	1	7－21 / 21－11 / 15－21	2	楠瀬由佳 6
複-2	脇田侑	7	2	24－22 / 21－19 / －	0	三好奈緒 8
	江藤理恵	1				穴井友喜 3

こと、そして、実際に対戦したことにより新たな目標をもってバドミントンに取り組むことができたことが今につながっていると感じます。

岩手は、トップレベルの実戦を見る機会が少ない中、全国数ある開催希望地の中から選ばれ、地元で観戦できたということは素晴らしいことであり、SJリーグと名称が変わり運営方法も変わる中、今後も岩手県内で開催されることを期待します。



女子ダブルス 北都銀行 三木・米元組

日本リーグ2015 2部大会開催について

北上市バドミントン協会 佐 藤 憲 明

２０１５年１１月、当市において日本リーグ２０１５　２部大会が行われた。この大会準備には、ほぼ１年を要した。前年には和歌山県岩出市に出向き、各所の写真を撮り、運営方法については実行委員会の方々とお話しすることが出来た。また、北上市役所からも視察があり、準備において「行政担当部分」「協会担当部分」に分かれて行うことなど、学ぶことが出来た。翌年５月には実際に動き始め、スタッフ役員の依頼、会場設営について、レセプション会場の選定等、あわただしく過ぎていった。１１月の大会本番においては会場設営、特にもコートマット準備には巻き尺を使って体育館を測り、目印を付けての作業となり苦労した思い出があるが、８面が揃った光景は壮観で、素晴らしい環境で競技が行われることを誇りに思った。大会期間中は小さなミスは有ったものの、概ね予定通りにいき、大会を終えることが出来たと同時に、翌年の「いわて国体」本番に向けて、気が引き締まった瞬間でもあった。



開会式

ジュニアスポーツアジア交流会に参加して

岩手県中体連バドミントン専門部　副委員長 菊 池 卓 磨

この大会は東京オリンピック開催に向け、東京都がジュニア育成のために企画した大会で、例年８月の最終週の土日をかけて、５日間ほどの日程で行われます。

２０１１年の東日本大震災以降、復興支援として岩手、宮城、福島、茨城、被災地４県のジュニアチームを招待することになり、例年およそ１９のアジア諸国チームで対戦します。対戦方式は各男女シングルス、男女ダブルス、混合ダブルスの順。グループリーグで試合を行い、その結果で順

位決定トーナメントへと進む方式です。この日程は競技だけでなく、選手との交流会や指導者フォーラム、各国の指導者によるノック練習などの企画もあり、コミュニケーション力の向上も期待できる内容になっています。

過去の参加メンバー、当時の感想を簡単ではありますが年度毎に紹介します。

２０１１　　１７位

監督　鬼柳 孝夫　多田 義孝　千葉 浩之
選手　村井 聡紀　富山 大地　下坂 竜馬
　　畠山 静香　野田 彩瑛　吉田 朋可

※県中総体の上位入賞選手を引率しての参加でした。多くの選手は初めての国際レベルの大会を経験することとなり、技術面、体力面、精神面等で大きな収穫を得ることができました。

２０１２　　１６位

監督　多田 義孝　菊地　亨　渡邉 清一
選手　軽石 直人　田村 汰稀　小原 楓雅
　　畠山 静香　藤井　愛　外川 実空

※２年連続で出場した選手が他の選手の緊張を和らげる役割を果たしていました。岩手国体を想定したメンバーのため、学年は他のチームより１学年若いメンバーの多いチームでしたが、前大会の情報があるため、様々な面で心構えを持って参加できた大会でした。

２０１３　　１４位

監督　菊池 卓磨　菊地　亨　渡邉 清一
選手　軽石 直人　田村 汰稀　野田 瑞貴
　　藤井　愛　長岡 朱里　松好 奏海

※岩手国体に向けた強化対象の選手から選手を選抜しての参加となった年でした。選手は各国のスピードのあるトリッキーなプレーに対応しながら対戦しました。どんな場面でも単純なミスをしないことが一番大事なことであると痛感しました。

２０１４　　１２位

監督　菊池 卓磨　寺澤　誠　大川 憲一
選手　菊地 拓也　吉田 侑生　長谷川剛之
　　中島 陽菜　市原 杏奈　佐々木良幸

※リーグの中で少しでも上に上がろうと目標を定め、昨年度よりも一つ上のランクの順位決定トーナメントに臨むことができました。トーナメントではよりレベルの高いチームとの試合となり、勝利することができなかったことが残念でしたが、ファイナルゲームまで持ち込むなど、得るものも大きい大会でした。

２０１５　　１３位

監督　寺澤　誠　似内美奈子　阿部 景子
選手　菊川 旭飛　阿部 幹太　千田 壱郎
　　中島 陽菜　小野寺詩織　髙橋 杏奈

※今大会も２年連続で参加した選手が、昨年度よりも安定した力を発揮していました。初めて参加した選手も少し落ち着いてプレーに専念できたと感じました。昨年度もそうでしたが県内のダブルスにおいては、シングルス上位選手の組み合わせも強いが、ダブルスを長く組んできたペアの力もレベルが上がってきていると感じました。

２０１６　　１５位

監督　髙田　満　寺澤　誠　菊池 卓磨
選手　菊川 旭飛　阿部 幹太　千田 壱郎



2018アジア交流（対マニラ）

吉村 美耶　髙橋 南菜　照井 瀬菜

※アジア諸国は将来国旗を背負って活躍する選手を引率してきています。パワー、スピード、反応速度等素晴らしい選手が多い中、岩手県の選手も基本を大事にし、その中で対応力を高めていました。普段決まるはずのショットが確実にレシーブされるため、ラリーを続けることの大切さを実感することができました。

２０１７　　１１位

監督　和田 政男　　下村 智徳　菊池かおる

選手　長谷川祥大　阿部 大地　上村 海斗

　　佐々木梨子　渡邉 美月　千葉陽向子

※この年は全中（全国中学校体育大会）の日程と重なったため国内チームの全中出場選手の参加がなかったとはいえ、岩手県チームは善戦し、過去最高の１１位という好成績を収めました。各地区や県強化の取り組みが選手にも良い影響を与えていることが感じられます。

２０１８　　１２位

監督　加藤　純　下村 智徳　似内美奈子

選手　佐藤　悠　篠田 楓太　渡邊 拓也

　　熊谷　雅　吉田 愛梨　清水 美羽

※昨年より順位が１つ下がったものの、宮城県を上回る好成績を残しました。県内の選手でアジアの国別対抗レベルの選手と戦える力はまだ足りない部分があるが、同じ年代で強いレベルの選手と試合できることが、選手の成長に大きく関わっていると感じます。

最後に、この素晴らしい大会も２０２０東京オリンピックの前年である２０１９年大会で幕を閉じることになります。これまで岩手県を招待していただいた東京都、また大会の日程連絡や今回の原稿執筆のために貴重な資料を送付して頂いた広澤様はじめ東京都スポーツ文化事業団、そしていつも岩手チームを暖かく迎えてくださる岩手県出身の東京都バドミントン協会会長千葉健夫様及び協会員の皆様、連絡調整をしてくださった県協会理事の村上様、積極的な参加について後押ししてくださった竹林県協会会長様そして岩手代表として参加した監督、選手、保護者の皆様のおかげで、私自身様々な経験と貴重な人脈のつながりを共有できました。この誌面をお借りして改めて感謝申し上げます。



2015 ジュニアスポーツアジア交流大会　バドミントン

Asia Junior Sports Exchange Games 2015　Badminton

駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館　2015.8.25-31

Komazawa Olympic Park General Sports Ground Gymnasium

第22回日韓中ジュニア交流競技会を振り返って

菊地　亨

第２２回日韓中ジュニア交流競技会開催にあたり、イメージの無いまま準備を進めることになり、不安ではありましたが、何とか競技会を終えることができました。

この競技会は平成28年度の第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」に向けての強化の一環となる事業でしたので、男子チーム監督、運営委役員への連絡役といった立場で携わることになりました。また、先催県の資料も乏しく、手探り状態だったため、皆さんにご迷惑をおかけすることも多くありました。先催の愛知県、北海道に問い合わせをし、過去の資料の掘り起こしからの準備となり、愛知県、北海道の高体連専門部の先生方にも協力いただきました。ここに、深く感謝申し上げます。

競技会に参加した中国、韓国の選手は交流会の雰囲気が強く、コート外では観光ムードも漂い、スケジュール通りに集合せず、うまくスケジュールが進むのか心配もありました。しかし、コート内でのプレーは岩手県代表選手、日本代表選手を圧倒する面もあり、岩手県代表選手は良い経験となりました。開催から４年が経ち、その間に地元国体も終了しましたが、振り返ってみれば、日韓中ジュニア交流競技会は十分に国体強化事業の役割を果たしていたのだと感じます。

この競技会は平日を利用しての開催であり、役員の皆さんには仕事のスケジュールを調整してご協力いただきました。多くの皆さんのご協力なくして、この事業の実施はあり得ませんでした。この場をお借りし関係の皆様に深く感謝申し上げます。

大　会　概　要

1　期　日　平成26年８月２４日（金）（岩手県選手団集合）～２８日（木）
　　※競技会　８月２５日～２７日（岩手県選手団解散28日）
2　会　場　北上市 北上総合体育館
3　運営について　コートマット搬入　８月２２日（金）（県営体育館より）
　　会場設営　８月２３日（土）
　　会場練習　８月２４日（日）
　　競技会　８月２５日（月）～２７日（水）（終了後会場撤去）
　　コートマット返却　８月２８日（木）（県営体育館へ）
4　岩手県選手団
　総監督　伊藤張二　男子監督　菊地　亨　女子監督　渡邉清一
　男子選手　村井聡紀　原　優介　千田拳士朗　軽石直人　田村汰稀　野田瑞貴
　女子選手　平渡　咲　畠山静花　中島　葵　藤井　愛　松好奏海　長岡朱里
5　競技会結果
　８月26日（月）
　【男子】　日本　３－２　韓国　　中国　５－０　岩手
　【女子】　韓国　３－２　日本　　中国　５－０　岩手

　８月26日（火）
　【男子】　日本　５－０　岩手　　中国　３－２　韓国
　【女子】　日本　５－０　岩手　　中国　３－２　韓国
　８月27日（水）
　【男子】　中国　４－１　日本　　韓国　５－０　岩手
　【女子】　中国　５－０　日本　　韓国　５－０　岩手



「岩手チーム」と「ジャパンチーム」の合同ミーティングから

第22回日韓中ジュニア交流競技会　　平成２６年８月２５日

少年男子団体　Ａ－１

JAPAN		3－2		KOREA	
SHIMONO HASHIRU	0	20-22 18-21	2	LEE JUN SU	
MITSUHASHI KENYA WATANABE YUTA	2	21-14 21-18	0	KIM HWI TAE SON BYEONG SU	
KOGA MINORU	2	21-12 21-19	0	KANG HYUNG SUK	
SHIMONO HASHIRU HIKITA SEIYA	0	11-21 13-21	2	LEE JUN SU CHOI HYUK GYUN	
OGURA YOSHITAKA	2	21-19 12-21 21-13	1	BAK TAE HUN	

少年男子団体　Ａ－２

CHINA		5－0		IWATE	
Sun Fei Xiang	2	21-10 21-14	0	MURAI TOSHIKI	
He Ji Ting Zheng Siwei	2	21-10 21- 8	0	KARUISHI NAOTO TAMURA TAIKI	
Zhou Zeqi	2	21- 8 21- 9	0	NODA MIZUKI	
Zhou Haodong Huang Kaixiang	2	21- 9 21-12	0	MURAI TOSHIKI HARA YUSUKE	
Zheng Siwei	2	21- 8 21- 6	0	CHIDA KENSHIRO	

少年男子団体　Ａ－３

CHINA		4－1		JAPAN	
Sun Fei Xiang	2	21-17 17-21 21-17	1	KOGA MINORU	
Huang Kaixiang Zheng Siwei	2	21-17 21-14	0	MITSUHASHI KENYA WATANABE YUTA	
Zhou Zeqi	2	16-21 21-19 21-10	1	SHIMONO HASHIRU	
He Ji Ting Zhou Haodong	2	21-18 12-21 21-14	1	HIKITA SEIYA OGURA YOSHITAKA	
Zheng Siwei	0	18-21 15-21	2	WATANABE YUTA	

少年男子団体　Ａ－４

KOREA		5－0		IWATE	
BAK TAE HUN	2	21- 8 21- 4	0	NODA MIZUKI	
LEE JUN SU CHOI HYUK GYUN	2	21-10 21-13	0	MURAI TOSHIKI HARA YUSUKE	
KANG HYUNG SUK	2	21-16 21-11	0	CHIDA KENSHIRO	
KIM HWI TAE SON BYEONG SU	2	21-15 21-16	0	KARUISHI NAOTO TAMURA TAIKI	
LEE JUN SU	2	21-11 21-10	0	MURAI TOSHIKI	

少年男子団体　Ａ－５

JAPAN		5－0		IWATE	
KOGA MINORU	2	21-10 21-12	0	KARUISHI NAOTO	
MITSUHASHI KENYA WATANABE YUTA	2	21- 3 21-10	0	MURAI TOSHIKI HARA YUSUKE	
HIKITA SEIYA	2	21-10 21-14	0	CHIDA KENSHIRO	
KOGA MINORU OGURA YOSHITAKA	2	21-11 21-12	0	KARUISHI NAOTO TAMURA TAIKI	
SHIMONO HASHIRU	2	21- 6 21-13	0	NODA MIZUKI	

少年男子団体　Ａ－６

CHINA		3－2		KOREA	
Sun Fei Xiang	2	21-17 21-15	0	KIM HWI TAE	
He Ji Ting Huang Kaixiang	2	21-15 21-11	0	LEE JUN SU CHOI HYUK GYUN	
Zhou Zeqi	1	14-21 21-12 15-21	2	KANG HYUNG SUK	
Zhou Haodong Zheng Siwei	2	21-14 21-13	0	KIM HWI TAE SON BYEONG SU	
He Ji Ting	0	18-21 13-21	2	LEE JUN SU	

第22回日韓中ジュニア交流競技会　　平成２６年８月２５日

少年女子団体　Ａ－１

KOREA		3－2		JAPAN	
KIM HYANG IM	2	21-18 21-18	0	NAKAI YUKINO	
KONG HEE YONG SEONG SEUNG YEON	2	21-19 21-19	0	ARAKI AKANE SHIDA CHIHARU	
BAE JI WON	1	21-19 15-21 12-21	2	KAWAKAMI SAENA	
BANG JI SEON PARK GEUN HYE	2	15-21 22-20 21-19	1	HIGASHINO ARISA HAMAKITA MOMO	
SEONG SEUNG YEON	1	12-21 21-18 11-21	2	ARAKI AKANE	

少年女子団体　Ａ－２

CHINA		5－0		IWATE	
Chen Xiao Xin	2	21- 8 21- 8	0	HIRAWATARI SAKI	
Chen Qingchen Jia Yifan	2	21- 6 21- 9	0	HATAKEYAMA SHIZUKA NAKASIMA AOI	
Gao Fangjie	2	21- 6 21- 6	0	FUJII MANAMI	
Du Yue Li Yinhui	2	21-10 21- 9	0	MATSUYOSHI KANAMI NAGAOKA AKARI	
Jia Yifan	2	21-13 18-21 21-15	1	HATAKEYAMA SHIZUKA	

少年女子団体　Ａ－３

CHINA		5－0		JAPAN	
Gao Fangjie	2	21-18 18-21 21-15	1	NAKAI YUKINO	
Chen Qingchen Jia Yifan	2	21- 5 21-17	0	HIGASHINO ARISA HAMAKITA MOMO	
Chen Xiao Xin	2	21-10 21-15	0	KAWAKAMI SAENA	
Du Yue Li Yinhui	2	21- 9 20-22 21-15	1	ARAKI AKANE SHIDA CHIHARU	
Du Yue	2	21-12 21-19	0	HAMAKITA MOMO	

少年女子団体　Ａ－４

KOREA		5－0		IWATE	
BAE JI WON	2	21-11 14-21 21-13	1	HATAKEYAMA SHIZUKA	
BANG JI SEON PARK GEUN HYE	2	21- 2 21- 6	0	MATSUYOSHI KANAMI NAGAOKA AKARI	
KIM HYANG IM	2	21- 5 21-12	0	HIRAWATARI SAKI	
KONG HEE YONG SEONG SEUNG YEON	2	21- 6 21- 9	0	HATAKEYAMA SHIZUKA NAKASIMA AOI	
PARK GEUN HYE	2	21-15 21-11	0	FUJII MANAMI	

少年女子団体　Ａ－５

JAPAN		5－0		IWATE	
NAKAI YUKINO	2	21-10 21- 9	0	HIRAWATARI SAKI	
HIGASHINO ARISA HAMAKITA MOMO	2	21-12 21-13	0	HATAKEYAMA SHIZUKA NAKASIMA AOI	
KAWAKAMI SAENA	2	21- 8 21- 7	0	FUJII MANAMI	
ARAKI AKANE SHIDA CHIHARU	2	21- 9 21- 6	0	MATSUYOSHI KANAMI NAGAOKA AKARI	
HAMAKITA MOMO	2	21-12 21-13	0	HATAKEYAMA SHIZUKA	

少年女子団体　Ａ－６

CHINA		3－2		KOREA	
Gao Fangjie	2	21-10 18-21 21- 9	1	BAE JI WON	
Chen Qingchen Jia Yifan	2	22-20 21-17	0	KONG HEE YONG SEONG SEUNG YEON	
Chen Xiao Xin	0	17-21 15-21	2	KIM HYANG IM	
Du Yue Li Yinhui	2	21-15 21-16	0	BANG JI SEON PARK GEUN HYE	
Chen Qingchen	0	9-21 19-21	2	KONG HEE YONG	

日韓スポーツ交流に参加して

常務理事　髙　田　　満

期　日　　平成２２年（２０１０年）
　　８月１６日（月）～２２日（日）
派遣先　　済州特別自治道（チェジュ島）

＜はじめに＞

２００２年５月、ワールドカップサッカー大会、日韓共同開催の成功を記念し、両国間の交流をさらに推進することを目的に「青少年交流」「スポーツ交流」が２００３年１月よりスタートしました。平成２２年（２０１０年）、岩手県の青少年夏季スポーツ交流としてバスケットボール、卓球、バドミントンの小中学生が韓国に派遣されました。会場は、人気韓流映画「冬のソナタ」の撮影場所の済州島（チェジュ島）でした。バドミントン小中学生２４名と監督は次の通りです。（＊敬称略）

総監督　髙田　満（紫波町立赤石小学校）
中学生男子監督
大川　憲一（矢巾町立矢巾北中学校）
小学生男子監督
　　新井山 浩之（盛岡市立津志田小学校）
中学生女子監督
　　似内　美奈子（花巻市立湯口中学校）
小学生女子監督
　　伊藤　公子（伊藤ボーリング）

＜中学生男子選手＞
原　　優助（雫石中）　千田 拳士朗（北上中）
北条　　秀（水沢南中）村井 聡紀（大宮中）
藤原　望夢（飯岡中）　佐藤 祐樹（矢巾北中）

＜小学生男子選手＞
軽石　直人（飯豊小）　田村　汰稀（飯豊小）
小原　楓雅（江釣子小）伊藤　賢哉（湯口小）
筑後　恵太（湯本小）　菊地　拓也（江刺愛宕小）

＜中学生女子選手＞
石畠　美穂（矢巾中）　浅沼 美乃里（飯岡中）
久保田　知夏（湯口中）中島　　葵（矢沢中）
久慈　裕美（矢沢中）　畠山　静花（湯口中）

＜小学生女子選手＞
渡邊　美穂（岩大附属小）外川　実空（土淵小）
木立　千夏（城北小）　　菊川　優月（南城小）
兼平　美里（仙北小）　　松好　奏海（衣川小）



＜全体集合写真＞

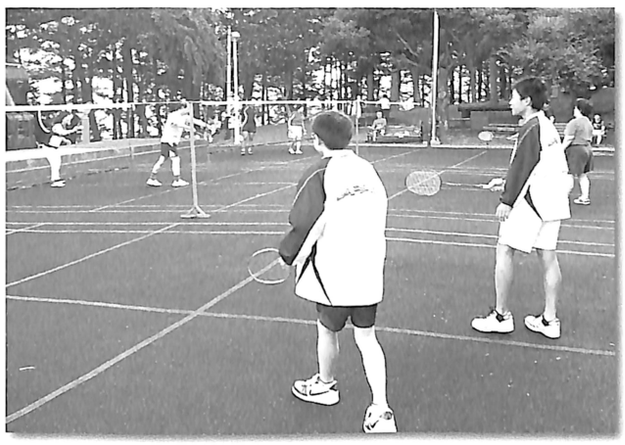


写真1<公園にバドミントンコート>



写真2<公園にトレーニングマシン>

＜日程＞

８月１６日（月）

ＪＲ盛岡駅発⇒青森空港⇒仁川空港⇒金浦空港⇒済州空港着

済州グランドホテルで指導者ミーティング

８月１７日（火）

日本選手団　練習、　オリエンテーション

指導者ミーティング、　歓迎夕食会

８月１８日（水）

韓国団合流、合同練習、　フレンドシップ交流（日韓レクリエーション）

８月１９日（木）

練習試合、文化体験（日出ランド、染色）

８月２０日（金）

公式試合、歴史訪問（済州石文化公園）

歓送夕食会

８月２１日（土）

文化探訪（民俗自然史博物館）

１３：５５済州発⇒ソウル・金浦空港着⇒仁川エアポートホテル宿泊

日本団指導者ミーティング

８月２２日（日）

仁川空港発⇒青森空港⇒ＪＲ盛岡駅着

解散式

＜公式試合、対戦成績＞

中学生男子

日本（岩手）０　－　５　韓国

原　優助　０－２　OH Sang-Ho (7-21 15-21)

原　優助　０－２　OH Sang-Ho

北条　秀　LIM Jeong-Hoon (18-21 15-21)

村井　聡紀　０－２　HONG　Seong-Kee (6-21　10-21)

佐藤　祐樹　０－２　KIM Min-Chiang

藤原　望夢　KIM Hyun-Gyu (11-21　18-21)

千田　拳士朗　０－２　YANG HO-Jae (16-21　22-24)

小学生男子

日本（岩手）０　－　５　韓国

小原　楓雅　０－２　KANG Hyun-Bo (16-18　7-17)

軽石　直人　１－２　LEE Beom-Seck

筑後　恵太　BAE Dong-Hyeong (19-17　15-17　9-17)

田村　汰稀　１－２　OH Dong-Hwen (19-17　13-17　18-20)

伊藤　賢哉　０－２　KANG Hyun-Bo

菊地　拓也　HAN Jun-Seob (5-17　17-19)

軽石　直人　０－２　OH Jeong-Hynk (11-17　10-17)

＜公式試合、対戦成績＞

中学生女子

日本（岩手）0　－　5　韓国

石畠　美穂　0－2　KO Hyo-Ju
(14-21　18-21)

久慈　裕美　0－2　KIM Hyo-Jun

中島　葵　SONG Hyun-Ji
(9-21　9-21)

畠山　静花　0－2　HAN So-Yeon
(10-21　16-21)

畠山　静花　0－2　HAN So-Yeon

久保田 知夏　LEE Jin-Seon
(6-21　11-21)

浅沼　美乃里　0－2　SON Seon-Hea
(9-21　16-21)

小学生女子

日本（岩手）3　－　2　韓国

渡邊　美穂　2－0　KANG Hee-Jung
(17-14　17-11)

松好　奏海　2－0　KO Jin-Hui

渡邊　美穂　JUNG Yeo-Jin
(17-6　17-10)

外川　実空　1－2　PARK So-Hui
(8-17　17-14　5-17)

兼平　美里　1－2　PARK So-Hui

菊川　優月　PARK Jin-Hui
(11-17　17-13　7-17)

木立　千夏　2－0　KO Seong-Hee
(17-13　17-6)



写真4 ＜出し物 ラジオ体操＞



写真3＜練習用ネットが3コート分、一気に＞

＜交流の様子・感想＞

村上事務局長から「小中学生を連れて韓国に遠征してくれませんか？」と言われてびっくりしました。でも詳しく説明を受けると費用はほとんど日体協の持ち出しで岩手県バドミントン協会も補助するのでかからない。さらに冬のソナタで有名なチェジュ島が遠征先であると聞き、つい、引き受けてしまいました。職場の皆様にはご迷惑をおかけしました。

今回の遠征は交流、親睦が目的ですので、日程もゆったり、歓送迎会や文化体験、歴史訪問等も企画されていて、心地よい遠征でした。歓送夕食会では、各選手団の出し物があり、私たちは「ラジオ体操」を準備し、羞恥心を捨てて、思いっきりパフォーマンスしましたら、大変盛り上がり、良かったです。

さて、肝心の公式試合の結果は前述の通り、小学生女子だけがかろうじて３対２で勝利し、あとは全て５対０で敗退でした。感じたのは韓国選手と日本選手を比較すると技術的には互角ですが体力的に韓国選手の方が上で特にパワーがあると思いました。また、精神的に負けん気が強く、粘り強いと感じました。練習態度は日本選手より悪く手抜きをしますが、いざ試合となるとガラッと変わりました。日本選手のひ弱さが露呈した感じでした。

韓国と日本との違うところを少し紹介します。まず、選手のシューズやラケットの用具類は、韓国のバドミントン協会が１年間契約したメーカーのものしか使えないことになっているようです。だから韓国選手は今回のユニホーム交換で日本選

手から有名メーカーのものが手に入るのでかなり喜んでいたようです。

それから、体育館の練習用のネットの張り方が面白く、３つのコートを並べてネットは一気に３コート分の長さに張っていました。(写真３)早朝、チェジュ島の公園を散歩しましたが、公園内にはバドミントンコートが４つぐらいあり、一般の人達が楽しんでいました。(写真１) またスポーツジムにあるようなトレーニングマシンがいくつかあり、そこで体力つくりをしているようです。(写真２)

韓国の監督・コーチ陣から焼き肉店で夕食を招待されたのですが、野菜として生のニンニクがゴロゴロと出てきました。向こうの人は平気でそのままボリボリと食べ、アルコール度数が３５度以上もある強い焼酎を平気で飲んでいました。一緒に付き合っていたら、大変なことになりそうでした。このように韓国人は食事も強烈ですし、韓国語のイントネーションにも強さを感じますので、日本人よりも激しい性格なのかなと感じました。

韓国では様々な体験、交流をさせていただき、とても充実した楽しい５日間でした。

次の年、平成２３年（２０１１年）に韓国選手団を同じような形で岩手県が招待しました。

花巻温泉を宿泊場所として、バドミントン会場は滝沢市総合公園体育館で、コートマットも用意しました。

具体的な内容については省略いたしますが、こちらとしても、招待されたお返しですので精一杯のおもてなしをしたつもりです。

以上、日韓交流の簡単な報告といたします。



写真5 <歴史訪問、楽しそうですね！>



<日本選手団>

全国大会・東北大会優勝

鍛錬千日之行　勝負一瞬之行

横　手　智江美

岩手県バドミントン協会が創立７０周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

私は中学でバドミントンを始めました。当時は「エースをねらえ」が流行っていて、本当はテニス部に入りたかったのですが、薮川中から赴任された多田美保子先生の情熱に引きこまれ入部を決めました。選抜で陸上部も兼ねていて毎日想像以上の厳しい練習でしたが１つ上の憧れの先輩、谷地春子さんも同じく選ばれていたので必死でついていきました。身体の土台はこの時代で作りました。

不器用だけどとりあえずコート内を走れるっという理由で中学、高校（青森・千葉学園）、社会人（ヤマハ）とシングルス中心に試合に出させて頂いてましたが、チーム内でも２・３番手のポジションでした。

「いつか一番になりたい！」という夢は現役時代に叶えることは出来ませんでした。

それから１５年以上がたち健康の為にとやり始めて、たまたま県総合のシングルスを観戦する機



平成21年度東北大会壮年女子複 優勝
石川明美（左）横手智恵美（右）



会がありました。若い選手の皆さんに感動して何時間も観てました。帰ってきて「シングルス、やるぞー」と走ったのを覚えています。そして全日本シニアに初出場し初優勝。終日まで一緒だった佐々木せつ子さん（６０歳代３位）が豪華なお弁当を買ってくれたのですがひと口食べる度に涙がこぼれそうでした。あきらめていた夢が叶い、嬉しいよりも信じられない気持ちの方が大きかったです。

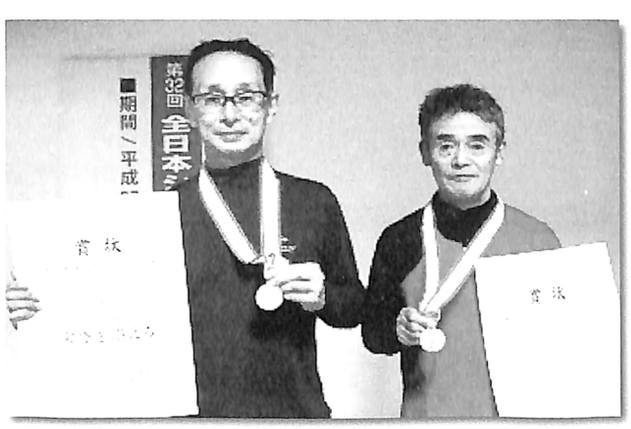
５連覇はしましたが、実はそれほど意識していません。というよりしないようにしています。緊張するタイプなのでイチロー選手の言葉「優勝したのは過去なんで」を自分に言い聞かせて、毎年、目の前の事、やれる事を精一杯頑張り続けていきたいです。たとえ１㎜でも進歩していけたらと思います。

最後に練習から応援までお世話になっている加賀野クラブの皆様、県協会の皆様、いつも本当にありがとうございます。

回想　過去の栄光

菊池　敏

全日本シニア大会第３２回福井大会での６０才以上男子ダブルス優勝について、振り返れば、そもそも前の年には、準優勝（まちがって）する事が出来、ある程度岩手の田舎町でもやれば出来るんだと言う事につながったのかな？。無我夢中で試合をした記憶があります。パートナーの佐藤明海君は、岩手釜石出身であります。私より１学年下であり千葉県で活躍中です。当時紹介していただいた人はＳ４２年～４５年頃岩手で活躍していた吉田寛さんと言う鉄人であります。多分何かの大会で、小さいけどレシーブだけは、よく拾う人だなァーと思い声をかけてくれたのかなと思います。最初に組んでの大会は仙台の七夕大会でした。

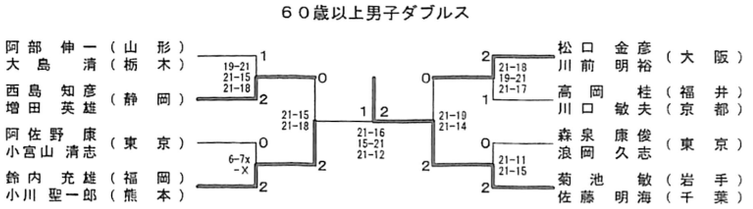


平成 27 年度全日本シニア大会 60 歳以上男子複 優勝
佐藤明海（千葉県、左）菊池 敏（岩手県、右）

１回練習しての全日本大会準優勝、次の福井での優勝。準決勝はシングルスで優勝した選手で大阪の松口という若い頃には日本代表に近い選手と聞きました。だから無理してダブルスは……。決勝は九州のペアでした。疲れもあって大会で初めてファイナルゲームでの試合、勝てたのが１番の収穫だったかなと思います。バドミントンを通して他県の選手と交流出来た事で現在に至っておりますが、当時３０代の私に印象を与えてくれたのが、日々精進して試合に出場した盛岡の福田・舘沢という高年のダブルスペアでした。私も、あの年まで試合に出られるかなァーと思ったものでした。現在６０代後半。試合に出られる喜びを感じて、大きなケガもなく、現在に至っています。練習につき合ってくれる仲間、支えて下さった全ての人々に感謝申し上げたいと思います。練習は、きびしく、大会では笑って試合が出来るような選手をめざそうと若い人に呼びかけています。

岩手県バドミントン協会創立７０周年　おめでとうございます。

６０歳以上男子ダブルス



全日本教職員大会を振り返って

伊藤張二

私は高校時代まで水泳をやっていました。大学からバドミントンに取り組んだものの、岩手に帰ってきてから大会に参加しても１回戦負けをするほど、まだまだバドミントンの競技力は低いものでした。

もちろん大学からバドミントンを始めるにあたっては、自分の心の中では目標を定めていました。大学時代に基礎を覚え、その後の練習で強くなればよい、指導に生かせればよいという考えでした。

私は日本体育大学を卒業後、平成５０年に初任校である遠野高校に赴任し、バドミントン部の顧問となりました。当時の生徒に聞くと、とても厳しい練習であったと言われますが、それは私にとっては当然のことであったのです。

なぜなら、強くなるためにはより多く練習するし

かないのです。より厳しい練習をするしかないのです。私は顧問として指導する立場だけではなく、生徒達と一緒に練習する部員の一人だったのです。自分も強くなるための練習メニューを生徒にも課していたのです。ランニングもフットワークもトレーニングも生徒以上にやっていました。

徐々に競技力も向上していく中で、自分の一番の目標となるのが全日本教職員バドミントン選手権大会でした。佐々木彦士先生や佐々木邦夫先生に誘いを受け参加するようになりましたが、教職員の全国大会で自分の力がどのくらい通じるのかを確かめることができる、目標となる大会でした。当時の全日本教職員大会は日体大の卒業生が多数参加しておりました。上位に入賞するのは、ほとんど日体大のOBでした。先輩であったり、後輩であったり、大学時代には全く歯がたたなかった相手にも接戦をしたり、勝つこともできるようになっていきました。



第52回全日本教職員大会60歳シングルス優勝
左から伊藤張二、佐々木邦夫、佐藤 秀

２０歳代はなかなか上位に勝ち進むことができませんでしたが、３０歳代になるとベスト４以上に勝ちあがるようになりました。４０歳代になって、シングルス３連覇、ダブルスも２回優勝することができました。５０歳代になると、この年から職場を学校から県教育委員会に移ったため、練習が十分できない状況になりましたが、なんとかシングルスで２連覇することができました。退職してからの６０歳代にもシングルスで１回の優勝があり、ダブルスとシングルスを合わせて８回の優勝を経験することができました。

４年前に心臓の手術をしたためにすでに現役を退き、もう試合にでることはないと思いますが、これまでバドミントンで学んできたことを恩返しのつもりで今後の指導等の活動に活かしていきたいと思います。

長い間、あきらめず、コツコツとやり遂げれば、何か自分の納得する成果が表れるものだと強く感じております。教職員大会は指導者を養成するためにも重要な大会です。多忙を極める職業ではありますが、特に若い教職員の皆さんには今後も大いに参加してほしいものです。

バドミントン人生を振り返って

菊 地 生 昭

私がバドミントンに出会ったのが中学生の時。ただ単純に、楽しそうで簡単そうに見えたのがきっかけでした。中学では県団体戦３位、高校では団体と単複で優勝、インターハイにも出場し、全国レベルの高さを強く感じさせられた大会でした。高校卒業後もプレーを続け当時金ケ崎町にできた富士通㈱に入社。選手を集めて数年後、全日本実業団でベスト16。日本リーグ入れ替え戦出場権を獲得するも会社の都合で出場できず、くやしい思いもしてきました。私も今年で58才、今までバドミントン中心の生活を送ってきました。東北選手権大会国体予選会にも数多く出場してきました。混合複とダブルスのタイトルは獲得してきましたが、どうしてもシングルスだけは優勝できずに準優勝が最高成績でした。40才シングルスでも、4回連続２位で結果を出せず、３年連続で決勝で負けた時、当時小学校低学年だった長男が母親に、ねえねえお母さん３回続けて決勝いったら、１回ぐらい優勝するよねと言っているのをいまでも忘れることができません。４年目も同様、そして５年目またしても決勝戦で当時ＮＴＴ東北に所属していた原田選手、かたや40才あがりたてで私は45才です。最後のチャンスと思い、試合に挑みましたが案の定苦しい試合展開でした。試合前、当時前沢高校にインドネシアからコーチとしてサトリオという選手がきており、彼が試合前に私の所

へきてアドバイスをしてくれました。かたことの日本語でスロー・スロー・クイック・クイック、とくり返して私にアドバイスしてくれました。攻め急がずチャンスがくるまで我慢してプレーしなさいという内容でした。そのかいあって念願のタイトルをとることが出来ました。今思うと勝ちを意識しすぎて相手に戦う前に自分を見失っていたことに反省です。また、継続することで後からでも結果がついてくることも感じました。

この齢になるまで色々な方々にお世話になりながら続けてきたバドミントンです。親の背中を見ながら２人の息子達も岩手国体の強化でお世話になりそれなりの結果を残しつつ、この春から県外の実業団チームで自分の目標を持ち結果も出しつつあるようです。私自身も、小中高の子供達の指導をしながら長く楽しくプレーしたいなと思います。最後に県外の実業団でプレーする２人の息子が、いつかは岩手にもどり、バドミントン発展の為に貢献してほしいものだと思います。



平成14年度東北大会壮年男子複 優勝
石川 聡（左）、菊地生昭（右）

東北総体、ミニ国体を振り返って

石 川 貴 寛

このたび岩手県バドミントン協会が70周年を迎えられましたこと心からお祝い申し上げます。私が本県を代表し選手として東北総合大会、国体ブロック予選に出場させていただくことになり早10年が経ちました。振り返ると、毎年いろいろなドラマがあったように思います。日本体育大学在学中に出場した第６２回東北総体では、初めて混合ダブルスに出場させていただき、結果的には格上相手に熱戦を制し優勝することができましたが、その背景には、監督をしていた父の病気が見つかり闘病中の父にいい結果を報告できるようにと当時パートナーであった川村益美さんと強い思いをもって試合に臨んだことが思い出されます。また、いわて国体の年におこなわれた国体ブロック予選では佐々木翔太、菊地裕太と共にいわて国体に向けて『必ず優勝しよう』と誓い、全試合ストレート勝ちで優勝、第66回東北総体でも全種目で好成績を残し男子総合優勝することができ、岩手県選手団が歓喜に沸いたこと今でも鮮明に覚えております。本県は地元選手しかおらず、全国で活躍するような選手が少ない中、〝チーム岩手〟として選手全員が一つとなり優勝旗を勝ち取れたことはこの先岩手県を引っ張っていく世代に大きな希望を与えることができたのではないかと感じております。



平成21年度東北大会で親子3人が出場
左から石川貴寛、石川 聡、石川明美

これまで岩手県を代表し数々の試合を経験する中で、日々の練習、努力はもちろん大事ですが、個々の能力や実績だけが勝敗を分けるわけではないということ、〝強い思い〟をもって試合に臨むことで実力以上の結果を出せることを実感しました。この〝強い思い〟をこれからの選手たちに継承し岩手県のバドミントン競技の未来につなげていきたいと思っております。

最後にこれまでバドミントンを通じて出会いお世話になった多くの方々にこの場をお借りして感謝を申し上げるとともに、岩手県バドミントン協会の益々のご発展を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

バドミントン出来る事の喜びと感謝

戸　田　益　美

岩手県バドミントン協会が創立７０周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。

私に原稿依頼をいただいた時には、正直大きな戸惑いがありました。何を書いたらいいのか悩みましたが、過去の記憶を辿り綴ろうと思います。

私がバドミントンを始めたのは、小学校の時に２つ上の兄が父とバドミントンの練習を始め、それに一緒について行ったのがきっかけです。私は小さい頃から負けず嫌いで兄に負けまいと練習した結果、小中高・大学とバドミントンを続け、岩手県の代表として東北総体に出場することが出来ました。

大会を通して岩手県のために日々、貢献したいと思う気持ちが強くなりました。社会人になり、仕事の両立をしながら、バドミントンを続けることが大変になりましたが、私は東北総体で優勝したいという目標がありました。元々シングルスプイヤーで活躍していましたが、ダブルスの楽しさも覚え練習に励みました。



戸田益美（前列左）

平成２２年度、第６２回東北総体では地元北上市で開催され、私はミックスダブルスに出場しました。接戦を勝ち抜き、決勝戦で対戦した宮城県のチームは実業団でした。実業団で苦しい試合になるかと思いましたが、パートナーの石川君とコンビネーションを組み立てる練習を重ねた結果、シャトルを最後まで追い続け、石川君が決めてくれました。また、地元開催の力もあって、観客の応援が私達にいつも以上の力を発揮させてくれた事が勝利を導き、混合ダブルスで優勝することが出来ました。

バドミントンを始めて２５年となりますが、まだまだ私の挑戦は続きます。次の時代を育てていく事と東北総体で優勝することです。

今まで支えてくれた先生やコーチ、家族に感謝しながら、これからは育児や仕事を両立させ、目標に向かって頑張って行きたいと思います。

最後となりますが、岩手県バドミントン協会が、今以上に発展することを心より祈念申し上げます。

東北選手権 40 歳以上の部男子シングルス３連覇

佐　藤　慎　也

この度、岩手県バドミントン協会 70 周年記念誌に、私の手記を掲載させていただき、誠に光栄でございます。稚拙な文章でございますが、お許しくださいますようお願い申し上げます。

先ずは私の経歴を簡単に下記に記します。

・湯口中学校
　全国中学校総合体育大会
　団体出場（東北大会準優勝）

・花北商業高等学校
　インターハイ団体・個人、単複出場
　国民体育大会出場

・一般・社会人
　国民体育大会に５度出場
　東北選手権　30 歳以上　男子ダブルス　優勝
　40 歳以上　男子シングルス　３連覇

改めて私の主な経歴を見返しますと、自分で

も「スゴイなぁ、よくやったなぁ」と思いますが、中学・高校時代は、常に県大会・東北大会・IH優勝といった凄い先輩方がおり、運動能力的にも平凡な私がここまでやれたということは、バドミントンの面白さでもあるのではないかと考えております。

本題の東北選手権40歳以上男子シングルス3連覇での思い出を語らせていただきます。

① 初優勝時は、40歳以上の部1年目ということもあり、「優勝できる」と思っていたことが仇となり、緊張して試合をしていました。特に決勝戦では、優勝を意識するあまり体が硬直し、ロングサービスがコートの半分程しか飛ばせない始末でしたが、激戦を勝ち抜いてきた対戦相手の山形県選手が、私の浅いロングサービスをジャンピングスマッシュした瞬間に痙攣を起こし、対戦相手の棄権により初優勝となりました。

② 2連覇目は江刺中央体育館が会場でした。地元ということもあり、初日のダブルスから家族で応援に来てもらいましたが、まさかの初戦敗退。「応援に行くと勝てないから」と言って妻はシングルスは応援に来ませんでしたが、当時中学生の長男を連れて会場に行きました。「今日は負けられない」と肩に力が入り過ぎていましたが、順調に勝ち進み決勝は福島県の選手と対戦しました。相手はダブルスで何度も優勝している選手で、スマッシュやドライブで押され1ゲーム目を落としました。攻め急いでいたと感じ、2ゲーム目からは大きく回す展開でファイナルゲームに持ち込みましたが、相手が力を温存しているのを感じ「ファイナルは攻めて来るだろう」と読んでいました。案の定ファイナルはスマッシュで点の取り合いになりましたが、後半に相手の足が止まったこともあり2連覇することができました。地元そして息子の前で2連覇できたことは、最高に良い思い出となりました。

③ 3連覇は、意識しないようにしようと思っても意識してしまい、初戦から思うようなプレイが出来ていませんでした。準決勝で対戦した福島県の選手とは3年連続での対戦となりましたが、年々失点が多くなり、今回はファイナルゲームまでもつれましたが辛くも勝利。決勝は2年連続で福島県の選手との対戦となり、序盤から大量リードを許す展開でしたが、逆に開き直ることができ、奇跡的に1ゲーム目を取った私は勢いに乗り、2ゲーム目も連取して3連覇を達成することができました。この時対戦相手に「おめでとう」と声を掛けて頂き握手をした思い出は忘れられません。私もこのようなプレーヤーになりたいと思いました。



平成24年度から3連覇 東北大会壮年男子単
佐藤慎也

最後に、私がここまでやってこられたのは、やはり岩手県の方々のおかげです。特に毎年真夏の強化練習会はとても苦しかったですが、私は岩手の家族の様な雰囲気がとても好きです。

これからも岩手の良いところはそのままに、全国に羽ばたく選手や地元でバドミントンを楽しむ選手が増え、今よりもっとバドミントンが盛んな県になることを望みます。

100周年には、どのようになっているか楽しみです。そのために私も微力ながら協力していきますので、今後共どうぞよろしくお願いいたします。



東北総体を振り返って

藤　澤　正　幸

岩手県バドミントン協会７０周年おめでとうございます。

いつもながら夏の暑い日に東北総体が開催され、暑さとの戦いがあげられます。水分補給しても、まだ足りない状況下のなか2～3キロくらいのダイエットになるくらいですから、いくら補給しても間に合わない。付け加え、なぜかこの時期は腰痛・ギックリ腰・半月板損傷・肉離れなど毎年のごとく年齢とともに肉体的には万全の状態ではないことがほとんどです。そんな中、試合の所感としては、あまり覚えていませんがスマッシュも決まらない高年の部でのラリーで、一点の重みをかんじながら一点一点の積み重ねが上手く行った記憶だけがよみがえってまいります。

今後とも体調管理に気を付け、年相応にバドミントンに携わって行きたいと思います。

また、岩手県バドミントン協会の更なる発展のため、微力ながら務めてまいりますので、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。ありがとうございました。



平成 28 年度東北大会高年男子複 優勝 藤澤正幸

東北総体を振り返って

菊　池　美　杉

岩手県バドミントン協会が創立 70 周年を迎えられ、記念誌が刊行されますことを心からお慶び申し上げます。この度は寄稿させていただく機会を頂き感謝いたします。

30 代後半に競技から離れている時期もありましたが、40 代になり現在のパートナーである横手智江美さんと組む機会に恵まれ大会に出場しています。

離れている間には、大きなルール改正があり、また久しぶりの大会とあって最初の大会ではどんな試合展開になるのだろうと、とても緊張したことを覚えています。結果は優勝することができ、東北大会でしか味わえない緊張感、高揚感をもう一度体感することができました。その後も出場し、何度か優勝していることは、パートナーをはじめ応援してくださる方々のおかげです。



平成 30 年度東北大会壮年女子複 優勝
菊池美杉（左）、横手智恵美（右）

大会は、他県の選手と交流できる場でもあります。1 年に 1 度お会いする選手の方ばかりですが、元気にプレーする姿に励まされ、また 1 年後を楽しみに練習に行く活力も併せてもらえます。

今後も競技として、またレジャーとして長くバドミントンとお付き合いしていきたいと考えています。

また、最近は全日本選手の活躍で報道でも大きく取り上げられ、バドミントンという種目が多くの方の目に留まるようになりました。プレーをしない方でも関心が高く、周囲でもよく話題になっています。

競技スポーツの楽しさや面白さをもっと地域の子どもたちをはじめ周囲の方々に広められるよう、これからもできる範囲で携わっていきたいと思います。

東北総体優勝について

菊地裕太

大学三年の時に出場した東北総体シングルスでの優勝が、私の人生を大きく変えたと思っています。この優勝があり、今ではS/Jリーグ1部の東北マークスバドミントンチームでプレーをすることができています。その時のことは鮮明に覚えています。

この大会を勝ち上がり優勝するためには疲労が残る最終日に3試合を戦い、勝利しなくてはなりません。準々決勝、準決勝と僅差で勝ち上がった私は決勝戦、のちに同じチームでプレーする堀川選手と戦う前から足の痙攣が止まらない状態でした。なるべく長いラリーはせず、サーブ周りでタイミングやコースを変えることで甘い返球やミスを誘ったり、得意のヘアピンで勝負をすることでロブをアウトにさせたりと、細かいところで自分へのダメージを最小限にしてポイントを取り、勝負どころの試合終盤にギアを上げられるようペース配分を考えながら試合をしました。相手は長い試合をすることなく勝ち上がってきていましたから、疲労はほとんどないようで序盤から攻撃的に、また自分を前後に揺さぶるように作戦を立ててきたように思います。何とか1ゲーム目をもぎ取りましたが、2ゲーム目からはラリー後に下半身が攣り、全く追えない球が増え、何度も負けが頭をよぎりました。そんなとき、ベンチに座る石川貴寛選手と佐々木翔太選手からの「絶対弱気にはなるな!大丈夫。」という言葉が私の心の支えでした。試合をしているのは自分一人ですが、3対1で試合をしているような気がして、とても心強かったです。

2ゲーム目を落とし、ファイナルゲームは点差が拮抗したまま終盤まで進みましたが20対20になった時点で強気に行くしかないと思い、シャトルの交換をしている最中、攻めに徹して2点をどうもぎ取ろうかと考えていました。シャトルを変えたのでロブのバックアウトに気を付けて、低く速い展開で勝負しにいきました。それが功を奏し、22-20で試合に勝つことができました。

話をこの優勝の約2年前に戻すと、私の心の中に今でも引っかかっている出来事があります。長崎国体でマッチポイントを握り、12-20から敗退した事です。練習場所や遠征資金などを提供していただき沢山の方にお世話になっていたにも関わらず、その方たちの前でシングルスの試合を落としました。多くの方に、この負けがあったから強くなったと言えるようなプレイヤーになれ。とアドバイスしていただきましたが、その時はとてもそのようなことを考えられる余裕はなく、バドミントンを再開したのはこの敗戦から1ヶ月後くらいだったと思います。いつかこの借りを結果で返したいと思っていたので、東北総体での優勝は私にとって非常に大きな勝利でした。

私は22年間岩手県に住みバドミントンに取り組んできましたが、良かったこと、反省しなくてはならないことのどちらもたくさん経験させていただきました。そんな育てていただいた岩手県のために何らかの形で貢献したいと思っています。

一番近いところでは、2019年2月3日にはS/Jリーグ第3戦が盛岡市で開かれます。その時に沢山の方の前で勝利し、今までの22年間で高めてきたバドミントンを披露することで見に来てくれる人たちに夢や感動を与え、何かを感じてもらえるようなプレーをしたいです。

まだまだ社会人としての競技人生は始まったばかりですが、これからも日々精進していくことに加え、岩手県の発展に関わる活動をしていけたらと思います。



平成29年度全日本総合選手権大会
東北代表で出場した菊地裕太

第67回東北バドミントン選手権大会について

伊　藤　俊　幸

この年の東北選手権大会は岩手国体の運営側のプレ大会として地元での開催となった。選手としてコートに立つ事は30代になってから毎年の事だが、運営側のサポートもして選手も兼任するのは非常に稀な事で集中出来なかった記憶がある。周りからは選手として頑張れと言われるが地元北上でもあり、国体の運営に携わる事すら人生で一度しかない中で戸惑った中での大会だった！

準決勝に進み相手は優勝候補の鈴木・諸多（宮城県）だった。この大会の山場はこの試合とはペアの大吉とも話してはいたが簡単に試合は進まなかった。１ゲーム目は相手に押されっぱなしで簡単に取られてしまい、２ゲーム目も終盤までは押されたまま。しかし、最後の最後にかろうじて１ゲームを奪い迎えたファイナルゲームはどちらも譲らないまま終盤を迎え最後に２点を取って終わったようなゲームだった記憶がある。ファイナルに入る時に客席から大きな声の応援があった！地元の高校生や市民など今思えば国体に近いような声援だった！そこで冷静さを取り戻し持ってる力以上の力を出せたからこそ勝てた相手であり声援のおかげで勝てた試合というのは過言ではないと思う。

決勝は同じ岩手代表の川村忠広、尾形工ペアだった。準決勝の相手で燃え尽きたのはあったが冷静に分析し自分達の試合をすれば勝てると思い集中した結果勝つ事が出来た！岩手県の決勝と東北の決勝が同じ対戦と言うのは非常に嬉しいが負けられないという辛いものがあった！しかし、点数を取れたことが県のためであり非常に良い事であれば結果は同じなので貢献したのであろう。

近年は同じ岩手県同士の対戦が記憶にはない。今後、よりポイントを取るためにもお互いが切磋琢磨しながら技術を高め岩手県のバドミントンを発展させていくために頑張りたいと思っています。組織や選手個人も意識を変えていかないとダメだと思うので県全体で頑張り、東北選手権大会総合優勝目指していきましょう。



平成27年度東北大会で県勢同士の決勝となった成年男子複
左から 高橋大吉、伊藤俊幸、川村忠広、尾形 工

東北総体優勝

高　橋　大　吉

私にとって東北総体の目標は「優勝」ではなく「入賞」でした。県予選をなんとか１位通過できましたが普段の練習、県の練習会などでは全く勝てない、勝てても内容が悪すぎる。試合はパートナーと会話をしながらすることが多いのだがそれすらなくなる。仕方がない。「自分が不甲斐ない」とわかっている。大会前日まで一向に良くなる気配もなく、自分に不安と不満だけを感じながら大会を迎えました。相手が誰であろうがその時は勝てる気が全くしませんでしたが、パートナーの「楽しみながら」、この一言で救われました。前日までのことがなんだったのかと思うほど楽な気持ちで試合には入れましたし、一回戦をなんとか２－０で勝つことができました。

試合２日目、準決勝の相手は宮城県の諸田・鈴木組。諸田選手は東北マークスの監督兼任選手、

鈴木選手は前回大会の１位。昨年の一回戦で負けている相手。正直勝てる気がしない。「今日もしっかり楽しもう、結果にとらわれず。」が合言葉的な感じになっていた。試合が始まりラリーにはなるが私だけスピードについていけず遅れる。当然のように狙われる。インターバルの時に「やっぱり強いなぁ」と思ったがインターバル後は狙われた甲斐があったのか反応ができるようになっていき、必死に食らいついていったらなんとかゲームカウント１－１に持ち込むことができた。「ここまできたら勝ちたい！」内容を断片的にしか覚えてないので最終ゲームはその気持ちだけで必死に試合をしていたと思います。２１点目は相手のショットがバックアウトになり勝ちました。絶対に勝てないと思っていたので素直に嬉しい以外の言葉がありません。試合中の大声援にも感謝です。この結果もあり決勝戦は岩手県同士になりました。結果は、２－０で勝つことができ優勝することができました。

「入賞」が目標でしたがその上をいく優勝をすることを地元の北上会場でできたことが本当に良かったです。



平成 27 年度東北大会成年男子複 優勝
髙橋大吉（左）、伊藤俊幸（右）

バドミントン人生を振り返り

髙　橋　英　樹

岩手県バドミントン協会創立 70 周年の記念すべき節目を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。また、これまで当協会を支えてこられた関係者の方々の長年にわたるご努力に対しまして深く敬意を表すとともに感謝申し上げます。

私は中学からバドミントンを始め、社会人になるまで目立った成績を残すことが出来ず無名の選手でした。

社会人となり、北上バドミントン協会や県協会の諸先輩方から御指導を頂き、青年時代では県内多数の大会で結果を残すことができましたが、東北総体や国体ではなかなか勝つことはできず実業団や県外選手との実力差を感じました。

成年となり一年目、優勝を目標として挑んだ第 60 回東北総体成年ダブルスで優勝を果たすことができ、自信に繋がりシニアでのおもしろさや可能性を感じました。

今までバドミントン競技を振り返り感じたことは、家族や地域の協力、また練習相手や協会の方々等、周りの人達の支えにより今の自分があると思っています。現在は、地元のジュニアの指導も行っており、その中でも周りの方々への感謝の気持ちを感じられ競技を楽しみ、様々な場で活躍出来る選手が育ってもらえればと思います。

今後の岩手県バドミントン協会の益々の御発展を心よりお祈り申し上げます。



平成 21 年度東北大会（鶴岡）
後列右から二人目が髙橋英樹

委員会活動

競技委員会の歩み

競技委員会　石　川　　淳

岩手県バドミントン協会の創立７０周年を心よりお祝い申し上げます。また、日頃より当委員会の取り組みに対しご支援、ご協力を頂いている市町村協会の皆さまにも感謝申し上げます。競技委員会としては、どちらかと言うと裏方の面が多く、大会日程及び大会会場地の選定から始まりますが、最近では各競技団体との競合で体育館を中々決定する事が出来ず、開催地の協会の皆さまには大変なご苦労をお掛けしている事に改めまして御礼申し上げます。そのような状況で一つの大会を成功裡に導くためには、役員間の連携は勿論のこと、他委員会との意思疎通が図られてこそ、大会運営にこぎ着けることにつながっています。

創立５０周年以降、一番大きな出来事と言えば、今でも忘れられない、平成２３年３月１１日に発生した『東日本大震災』でした。今までに感じた事のない大きな揺れ、そして大きな津波の影響で特に、沿岸地区の皆さまには甚大な被害が発生してしまいました。心よりお見舞い申し上げます。その時期は、岩手県バドミントン協会総会の時期でもあり、次年度の大会日程を作成したばかりで、大会を開催すべきかの議論で悩んだこともありました。また地震の影響で体育館が壊れ使用できなくなった市町村もあり、最終的にはバドミントン競技を愛する皆さまからの熱意とパワーを頂き、大会を継続して開催できたことに感謝を申し上げるしかありませんでした。

またもう一つは、平成２８年１０月１日から５日まで北上市で開催された二順目の『希望郷いわて国体』です。国体を迎えるにあたり一年前の「第７０回紀の国わかやま国体」の視察から国体の成功に向けた取り組みを開始しました。私は担当業務である競技を中心に、様々な取組状況や他部所との連携を確認しましたが、会場が非常に狭いこともあり、担当毎の作業分担も分かりづらく、全体の流れを確認できないまま、個別の作業確認で視察を終えました。そして、視察での整理がつかないまま、リハーサル大会として始まった「日本リーグ２部リーグ北上大会」が開催されました。各ポジションの役員を振り分けていく中で、初対面の方々も多く会話もなく、本当にコミュニケーションが取れるだろうか心配していましたが、各ポジションの主任間の連携が良く大会が進むにつれて、仲間を気遣う姿勢も見え始めました。更に日々の振り返りを実施した事で、様々な意見が出るようになり一体感も生まれ、素晴らしいリハーサル大会になり、本番に向けての手ごたえを感じる事ができました。その後、本番までは「火曜会」と称して月１回の打合せや役員会、そして村上理事長・伊藤副理事長から頂いた資料を参考に、自らの分担作業のマニュアル作成など毎日の生活が国体一色となり、本番が近付くに連れて不安とプ



平成30年度岩手県総合選手権にて



大会運営

レッシャーに負けそうな日々が続きました。

いよいよ国体当日を迎え、注意すべき点である競技に携わる各ポジション間の連携に重点を置き、円滑な競技運営を目指し取り組みました。役員のメンバー構成を見ると、初めて参加される方も数名いましたが、リハーサル大会を経験した役員が多く、役員間で積極的に指導し合いコミュニケーションが図られ仲間意識も向上しました。特にオーダー交換所・進行係・招集係・放送係との連携を重視し、各セクションの主任との打合せを密に、日々の反省点を改善しながら最後まで楽しく取り組むことができました。この結果は自らのポジションで一生懸命に行動し頑張って頂いた役員の皆さまの努力の賜物であり、大きなトラブルもなく目標であった全国からのお客さまに、十分な『おもてなし』やアピールができた事に感謝すると同時に、達成感を感じる事ができ笑顔で終える事ができました。

最後になりますが、これからの１００周年に向け、今回の国体で培った経験を更にレベルアップさせるためにも、多くの全国大会を誘致し経験を重ねた上で、「いわての力」を結集させ、明るい未来に向けて、更なる飛躍を目指しチャレンジしていきましょう。

強化委員会の歩み

強化委員会　石　川　　聡

平成23年3月11日の昼下がり、私は東京にて長男の大学の卒業式を終えて東京発14時40分の新幹線にて家路に急いでいた。上野駅も過ぎて長いトンネルを通過中、突然天地がひっくり返るような今まで経験した事のない大地震、車内は悲鳴が飛び交い、停電によりトンネル内での緊急停車、真っ暗な状態が乗客の恐怖を助長した。三時間後に新幹線は予備電源で上野駅までバックして下車すると道路は人々が帰宅難民となり蟻の行列状態、途方に暮れ凍えながら宿泊場所を探し朝まで彷徨っていた。秋葉原の電気店の前にあるテレビからは人々の悲鳴、目を疑うような巨大津波がふるさと岩手の人々の生活・街を次々とのみ込んでいく。その映像を見ながら私たちは自然の中で生かされている事を気づかされた。当たり前で平凡な日々の生活が何と幸せな事だという事を！あれから8年目を迎え未来に向けて逆境に負けない精神力で前向きに一歩を踏み出して来た心意気を忘れてはいけない。がんばろう　東北！がんばろう　岩手！を合言葉にスポーツ（バドミントン）を通して県民に希望と勇気と感動を与えようという【思い】を！勝ち負けの前に、根底にあるべきこの【思い】は次代に向けて決して風化する事なく継承しなければいけない使命があるので冒頭で述べさせて頂いた。

さて、私は強化委員長として平成12年から平成30年3月まで強化スタッフと共に常に【チーム岩手】を心に刻み歩んで来た。

強化練習終了後は強化スタッフと私の自宅で夜通し酒を酌み交わしながらバドミントン談義で明日の岩手を語りあった日々が懐かしい！具体的に目標に掲げた事は、当時低迷していた東北総体・東北ミニ国体にて必ず男女総合3位以上のＡクラスに押し上げ、かつ、各種別で多くの国体出場権を勝ち取ると目標設定し一枚岩となり週末・平日の夜間を活用し【チーム岩手】として地道に強化に取組み挑み続けた。結果的にこの20年間で男女総合3位以上のＡクラスに6回（H23・H25・H26・H27・H28・H29）男子総合優勝3回（H25・H27・H29）と紆余曲折しながらも近年、徐々に地力は付けてきたと確信し更なる活躍を期待する。

ここで、岩手国体を除く国体の中で私が特に印象に残っている平成26年の長崎国体を伝えたい。まさに天国と地獄を味わい、勝負の怖さと1点の重みを学んだ国体だった。岩手国体を2年後に控え着実に力を付け成年男子は東北ブロック予選を優勝し勢いを持って長崎に乗り込んだ。しかし、組合せを確認すると運命の悪戯か開催県の長崎・翌年の開催県の和歌山・そして2年後開催県の岩手と特に強化を進めている県が並び意地とプライドがぶつかり合う三つ巴の濃厚な戦いとなった。初戦の和歌山は日本リーグの選手2名を補強

した強豪県であったが、岩手のチーム力で２対１で退け、迎えた大一番、開催県長崎戦！体育館が割れんばかりの大応援団の大声援が岩手の選手にプレッシャーをかけるが勢いに乗る岩手はダブルスで圧勝・第１シングルスはフルセットで惜敗して迎えた勝負の最終シングルス、プレッシャーを



平成 30 年度強化練習会（花北青雲高校にて）

力に第１ゲームを圧勝、第２ゲームも勢いにのり 20 対 11 のマッチポイント、長崎の大応援団からは落胆のため息が聞こえ、流れは完全に岩手！私自身、勝利を確信したが１点が遠い！点差が開きすぎかえって心に隙が出たのか強気に攻めきれない！徐々に流れは長崎へ！まさかの逆転負け！勝負の奥深さと来たチャンスは強気に一発で掴まないと逃げていく事を学んだ。しかし、岩手の選手でも全国の強豪と充分戦える事を実感しその後の岩手国体につながる価値のある国体であった事も事実であった。

最後に岩手だから出来る強化スタッフ間の連携力・団結力を発揮して昨日より今日、今日よりも明日と日々の小さな努力を積み重ね、チャンスという波を掴むためにも挑み続けよう！

【がんばろう！岩手】

指導委員会の歩み

指導委員長　千　葉　順　一

２００６年度（平成１８年度）から髙田満先生から指導委員長を引き継いだ。引き継ぐにあたり、３年程、一緒に仕事をし、どんなことをしていけばいいのかを学ばせていただいた。

指導委員会の仕事は、県協会主催の中学生が参加する大会の運営が主なものである。大会運営と言っても当日の進行だけでなく、組み合わせを作ることも含まれる。年に、ＪＯＣ岩手県予選会、中学校１年生シングルス大会、中学校ダブルス大会があった。年々、参加者が増えていくとともにバドミントンの普及拡大につながってきていることを感じることができた。

普及活動も大切なことであり、その主な活動は、中１講習会の開催である。２００６年当初は県内の中学１年生を紫波町総合体育館１ケ所に集めて開催していた。しかし、競技人口の増加に伴い、２００９年度（平成２１年度）には県北、県南、紫波の３会場で開催することにした。さらなる生徒の増加および生徒一人一人への指導の充実を図るため、２０１３年度（平成２５年度）から県北、盛岡・紫波、花巻、北上、胆江、一関、沿岸の７ケ所での開催とし、各地区のバドミントン協会の協力のもと、充実した講習会を開催できるようになり、その形が続いてきている。

また、要望に応じた講習会を開催するのも大切な役割である。２０１０年（平成２２年）には普代村から依頼があり、２０１６年まで普代総合型スポーツクラブ事業バドミントン教室を開いた。さらには、部活の指導に困っている中学校からの要請に応じ、中学校まで出向いた。基本技術を教えたり、練習メニューの相談にものった。

大会運営及び講習会は軌道に乗っており、今後はさらなる向上に努めていきたい。



平成 30 年度中学生ダブルス大会（紫波町総合体育館）

審判委員会の歩み

審判委員会　鈴　木　満　弥



希望郷いわて国体
レフリー　濱中 勉（左）、競技審判部長　鈴木満弥（右）

岩手県バドミントン協会70周年という節目の時を、役員の1人として迎えられたことを心から嬉しく思っています。

私がバドミントン審判委員長の役職に携わり30年近くなります。岩手県内の大会、東北大会、全国大会、国際大会派遣、S/Jリーグの運営に直接携わることができ、貴重な体験をさせていただきました。

私が審判委員会を担当した当時は大会運営審判をするより選手を目指す方が多く審判に興味がある方は少なかったように感じました。県内の審判員資格の取得者も少なく、1級・2級の取得者は高齢、大会役員が多く、審判員不足状況でした。平成21年より審判員育成として佐々木彦士氏を中心に岩手国体開催準備のため公認審判員資格審査認定員取得のために佐藤彰彦氏を強引に誘い、私と受講し、東京都内ホテルで前日に夜な夜な予想問題を解きました。

その後は毎年審判員資格検定会を開催し講義編を佐々木彦士氏が担当し、実技テストを佐藤彰彦氏と私が担当しました。受講者も60名程度で終了するにも時間がかかり、スタッフも大変な思いをしました。

平成30年より公認審判認定員は鈴木満弥、小野寺政博、柳原賢3名が担当しています。

平成19年より日本協会B級レフェリー鈴木満弥、全国高体連派遣として平成26年より菊地亨が資格を取得しており日本協会一種大会の派遣レフェリーとして活動しています。

岩手県審判委員会の部員も市町村協会、連盟、中体連、高体連からのメンバーを入れて情報の共有、ルール改訂での伝達講習会を開催し連携を密になるように努力をしてきました。東北管内で開催された青森・山形インターハイでは中体連・高体連の先生を中心に審判員を派遣することができました。

東北ブロック審判委員会組織でも平成20年から持ち回りで委員長となり、日本協会競技審判部の部員として情報交換、年に数回会議を開催しルール改訂の伝達講習会を開催し各県に持ち帰り指導をするようにしました。全国大会、国際大会等の派遣役員、審判員要請にも協力体制ができ東北6県で開催される大会も不安なく運営できるようになりました。

特に審判委員会が力を入れた岩手国体開催準備では、メンバー構成、役割分担を徹底し、部員からの審判員派遣を積極的に行いました。

後催県として国体を肌で感じ、審判員としてのレベルアップのために兵庫国体・鈴木満弥（中央派遣）、秋田国体・小野寺政博、鈴木満弥、千葉国体・鈴木満弥（中央派遣）、岐阜国体・鈴木満弥、東京国体・小野寺政博、鈴木満弥、長崎国体・柳原賢、鈴木満弥、和歌山国体・小野寺政博、柳原賢、菊池卓磨、宮田浩司が参加しています。

岩手国体に向けて、リハーサル大会として日本リーグ2部リーグを一関市、奥州市、北上市、花巻市、盛岡市で開催し、大会運営のノウハウを覚えました。国体の審判に派遣されたメンバーは常に岩手国体を意識して行動をするようになりました。



審判講習会

岩手国体では中央派遣、東北各県からの派遣審判員、他県からの協力審判員が多数駆けつけて頂いたお蔭で主審の確保ができました。これも国体開催前に他県での国体審判員派遣で知人となった仲間が「協力審判員で行きますので宿だけ確保してください。」と声を掛けてくれた仲間が多数いたからです。東日本大震災の影響で予算も少ないことを知ってのことでしたので、うれしかったです。

大会での協力審判員は北は北海道、南は鹿児島県からも来ていただき、最終日までご協力をいただきました。派遣、協力審判員総勢36名の協力がありました。岩手県の審判員メンバーも最終日まで審判員の皆様へのおもてなしに努め、後日「皆様の心配り、おもてなしに感謝、最高のいわて国体でした。」とお手紙が届いたことをメンバーに報告を致しました。

岩手県内大会、東北大会、S/Jリーグの審判員派遣依頼では盛岡市、花巻市、北上市、奥州市、一関市の協会事務局に連絡し、派遣の対応ができる流れができたことは審判委員会として大変ありがたく思っております。

今後は引き継いでいただいた新しいスタッフを指導しながら更なる審判員を育てていきたいと思っています。

自分の人生にとって、バドミントンは切っても切れないものになっています。プレーをすることはほとんどなくなりましたが、いつまでも何らかの形でバドミントンに関わっていきたいと改めて思っています。全国大会を駆け回り、知り得た知識とバドミントンの仲間が増えたことが私の財産です。

バドミントンの普及を目指し、できるだけ多くの方々に魅力伝えていき、今以上にバドミントン人口が増加するように、微力ながら頑張りたいと思っています。

岩手県バドミントン協会、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。



希望郷いわて国体・審判団

連盟活動

岩手県小学生バドミントン連盟の歩み

岩手県小学生バドミントン連盟　理事長　新井山　浩　之

第１回岩手県ジュニア大会（第１０回からは岩手県小学生大会に改称）が、盛岡市アイスアリーナで行われたのが平成２年である。小学生のクラブは大会設立当初は少なかったものの、その後県内各地につくられるようになり、大会参加数も次第に増えていった。平成９年には、岩手県小学生シングルス大会も始まった。

全国小学生大会が始まったのは平成４年、東北小学生大会が始まったのは平成７年である。毎年数名が東北大会を通過し全国大会に出場していたが、全国での上位進出は厳しい状況であった。平成９年に全国小学生都道府県対抗大会（団体戦）が始まり、その第１回大会で男子団体がベスト８に入る活躍をしたが、個人の部では入賞者を出すことはできなかった。

そんな中、平成１２年に行われた第１回全国小学生ＡＢＣ大会において、Ｂ（３・４年の部）でライスヒルズジュニアの橋本由衣、Ｃ（１・２年の部）でフライングシャトラーズの和島恵愛がともに３位入賞を果たした。橋本由衣は、同年の第９回全小埼玉大会の４年の部で３位入賞、翌年の第１０回全小広島大会の５年の部でもベスト８となった。さらに平成１５年には、第１２回全小宮城大会の５年の部では、都南ジュニアの伊藤美紗がベスト８となった。こうして、本県選手が次々に全国の上位で活躍するようになった。

しかし、その後しばらくは全国大会での入賞者がなく、平成１９年の第１６回全小大阪大会で、ライスヒルズジュニアの村上晃、都南ジュニアの斉藤佳奈と浅沼今乃美、北上ジュニアの高橋咲の活躍で女子団体がベスト８となったものの、個人の部では東北大会を通過することさえ厳しい状況となっていた。用具の進化とともに技術や戦術の指導方法が急速に発展し、小学生のレベルが飛躍的に向上していたからである。

大きな転機となったのが、岩手県小学生ダブルス大会が始まった平成２０年である。第９回ＡＢＣ大会では、前田ジュニアの渡邉ひらりがＣグループで３位入賞を果たした。しかし、同年の東北大会では初めて入賞者なしという結果となり、全国大会の個人の部には一人も出場することができなかった。これまで各ジュニアクラブ任せとなっていた強化の在り方を見直し、現状を打開するための新たな取り組みをすることが必要となっていた。

一方、大会運営の面でも見直しが急務となっていた。県大会については、事務局の担当者といくつかのクラブ関係者が中心となって運営していた。しかし、前年に花巻市で開催された東北小学生大会では、事務局や一部のスタッフに大きな負担がかかってしまい、多くの課題が残った。大会等の円滑な運営のためにも、抜本的な改革をしていかなければならなかったのである。

このような状況のもと、小学生連盟の組織作りが進められることとなった。まずは県内の各ジュニアクラブとの連携を図ることから始め、協力者を募って少しずつ組織の体制を整えていった。また、連盟の活動全般についての課題を明確にし、各ジュニアクラブからの意見をもとに改善策について検討していった。そして平成２１年から正式に小学生連盟としての活動を始め、大会規定や大会開催方法の見直し等の様々な改革を進めていったのである。同年の第１０回ＡＢＣ大会では、南城小育成会の久慈友也が、Ｃグループで３位入賞を果たした。

平成２２年にはさらに組織体制の整備を進め、連盟総会を開催するとともに規約の制定も行った。参加数が３００名を超えるようになっていた県大会については、円滑な運営になるように様々な手立てを講じた。また、強化部をつくり、東北大会や全国大会に向けた強化練習を計画的に行うようにした。



平成 25 年度全国小学生山形大会 第3位 岩手県チーム

小学生連盟の正式な発足と同時期に、全国大会で活躍する選手が次々と出るようになっていた。同年の第１９回全小愛媛大会では、湯本クラブの筑後恵太が５年の部でベスト８となり、ジュニアナショナルのＵ１３のメンバーとなった。平成２３年には、第１２回ＡＢＣ大会で、筑後恵太がＡグループでベスト８、久慈友也がＢグループで３位入賞した。筑後恵太は、第２０回全小北海道大会でも６年の部でベスト８となった。

平成２４年には、東北大会に向けて長期的にダブルスの強化に取り組めるように、ダブルス大会の時期を変更した。同年の第１３回ＡＢＣ大会では、石鳥谷ジュニアの長谷川剛之がＡグループでベスト８となった。第２１回全小静岡大会では、南城小育成会の菊川旭飛と久慈友也が５年の部でベスト８となり、ともにＵ１３のメンバーとなった。

平成２５年には、新たに岩手県小学生クラブ対抗大会（団体戦）を創設した。２複１単で熱戦が展開され、個人戦の大会以上に盛り上がった応援で、団体戦の楽しさを十分に味わわせることができた。同年の第１４回ＡＢＣ大会では、久慈友也がＡグループでベスト８となった。

長期的な強化が大きく実を結んだのが、東北ブロック開催であった第２２回全小山形大会である。Ｕ１３の菊川旭飛と久慈友也、都南ジュニアの藤澤佳史、前沢ジュニアの千田壱朗の活躍で、男子団体が見事に初の３位入賞を果たすことができた。

平成２６年は、東北小学生大会を花巻市で開催した。前回の地元開催の反省をもとに組織体制を整備して迎えた大会であったが、連盟役員を中心に各ジュニアクラブ関係者が協力して、大変円滑に運営することができた。東北各県の役員の方々からも大変好評で、連盟組織の連携の良さが実証された大会であった。

しかし、男子団体の活躍以降は全国大会で上位進出できる選手はなく、女子団体で３年連続ベスト１６と健闘した以外は苦戦を強いられている。一時的に全国レベルの選手が現れたものの、継続することはできなかった。合宿や遠征、県外のクラブとの交流やオープン大会への参加など、各クラブで様々な努力が積み重ねられているが、現状はまだまだ厳しい。そのような状況の中、全国で活躍できる姉妹が登場した。

平成３０年の第１９回ＡＢＣ大会で、ハイタッチジュニアの畠山来夢が、Ｃグループで３位入賞した。また、第２７回全小東京大会では、Ｕ１３のメンバーとなっていたハイタッチジュニアの畠山想来が、４年の部で３位入賞した。全小大会での３位入賞は、平成１２年の橋本由衣以来１８年振りのことである。

小学生連盟の登録数は東日本大震災の際に大幅に減少したものの、その後は年々増加し今では４００名を超え、東北では宮城県や山形県に次ぐ規模となっている。全国的なレベルの向上で苦戦が続いてはいるが、本県の小学生の中にも高い技術を持っている選手は多い。今回の畠山姉妹の活躍が大きな刺激となり、全国で活躍できる選手が次々と出てくることを期待したい。そのためには、各ジュニアクラブで熱心に指導してくださる方々との連携を強め指導技術の向上を図って、全体的な底上げをしていく必要がある。小学生段階でバドミントンの楽しさを十分に味わわせるとともに、早い時期に感覚を磨き確かな技術をしっかりと習得できるように、よりよい練習環境づくりをしていかなければならない。

岩手県中学校体育連盟バドミントン専門部の歩み

岩手県中体連バドミントン専門部　下　村　智　徳

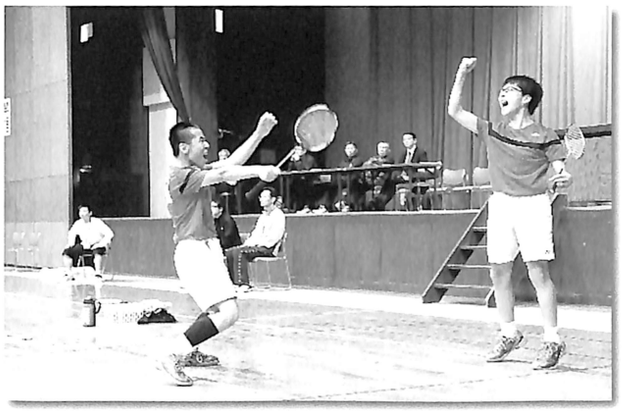
平成１２年から今年平成３０年までで、最も優れた成績を収めたのは、滋賀県大津市で行われた平成１４年度全国中学校体育大会第３２回全国中学校バドミントン大会において、男子団体３位となった矢巾中学校男子バドミントン部でした。地域と部活動が連携し、全国でも通用する複数名の選手の育成を実現した素晴らしい結果でした。しかし、その後、福島県をはじめとする各県の実力校の台頭により、東北のバドミントン競技のレベルが著しく向上しました。岩手県の代表校が東北大会で勝ち上がることが難しくなり、全中出場も稀になっている現状があります。

専門部は、ここ数年では関東遠征や秋田遠征、宮城県との交流を定例化し、また、各地区の専門部や前沢中学校を中心とする県内強豪校と連携を取り、共同で遠征を実施するなど中学生選手の強化を図ってきました。更に今年度は、専門部での強化と協会による強化を一本化し、選抜選手を集めての定期的な練習に取り組みを始めました。体制が更に整っていく中で、有力選手の育成が期待されます。

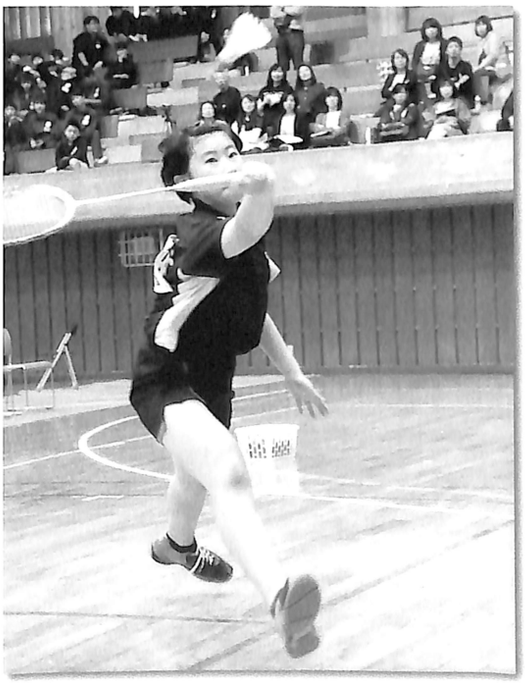
この期間での特筆すべき活動として、東京都主催のアジア交流大会への参加があります。これは、毎年８月下旬に行われるもので、アジアの各都市から１６歳未満の選手が招待され、そこに国内５都県を加え、団体での対抗戦が行われます。岩手県は東日本大震災以降、被災地支援の一環として招待され、毎年参加しています。試合だけではなく、交流行事も多く企画されます。アジア各国は競技レベルもすさまじく高く、あらゆる面で選手にとって非常に貴重な経験となっています。岩手チームは、昨年度１７チーム中１１位、今年度１８チーム中１２位という宮城県を上回る好成績を残しています。

県中体連バドミントン専門部は、部長、副部長、委員長、副委員長の４役に各地区専門部の委員長を委員として加え組織されています。どの役職においても人の入れ替えが頻繁にあり、顔ぶれが大きく変わることもありますが、仕事の分配を役職に当てる、引き継ぎを綿密に行う、また引き継ぎ後も退任者が助言を続けるなどすることで、スムーズな運営をすることができています。特に大会運営においては、無駄をなくしながら、年々システム化されています。大会運営に係る労力や負担を軽減していくことで、県内各校との連携に協力したり、強化において新たな試みを実施したりする時間を捻出することが可能になり、県内中学校バドミントンの活性化に繋がると考えています。

東北大会や全国大会での上位進出は大きな目標ではありますが、バドミントンというスポーツを通しての人間育成を常に念頭に置きながら、岩手県中学校体育連盟バドミントン専門部はこれからも活動していきます。



2018年中総体　男子ダブルス



2018年中総体　女子シングルス

高体連バドミントン専門部の歩み

岩手県高等学校体育連盟　バドミントン専門部 委員長　渡　邉　清　一

岩手県バドミントン協会51周年～70周年までの専門委員長

平成１２年度～平成１４年度　伊藤張二
平成１５年度～平成２８年度　菊地　亨
平成２９年度～　渡邉清一

平成29年度から菊地亨前専門委員長から専門委員長を引き継ぎました。岩手県バドミントン協会、専門部の先生方に支えられ各大会、強化事業を運営することができています。さて、県協会51周年から70周年までの専門部の活動を振り返ると、平成17年度～19年度までの３年間、岩手県JETプログラムによるスポーツ交流員でインドネシアのサトリオ・ソエトジョ・ジョンドロ氏が前沢高校を拠点に、県内各校や強化事業での指導にあたっていただき、インドネシア流の練習方法が選手にとっても指導者にとっても斬新な内容でありました。



平成30年度岩手県高等学校選抜大会
男子団体 ダブルス

大会運営では平成20年度第60回高校総体、平成28年度第56回新人大会から学校対抗戦は地区予選がなくなり、全学校が出場できる大会になりました。そのため両大会の会期も３日開催から3.5日開催となりました。大会運営上コート数が16面確保できる会場であることから、花巻市総合体育館、奥州市総合体育館、一関市総合体育館に限られています。

全国大会での成績を振り返ると、本県選手のインターハイでの最高成績は男女学校対抗ベスト16、男子単複でベスト16。JOC男子ダブルスベスト8。平成28年の岩手国体では県協会と連携した強化が実り、少年男子が５位入賞。今後も各種全国大会入賞に向けて専門部一丸となって頑張り続けたいと思います。

私は「強化」と「普及」の２本柱での専門部運営を目指しています。強化ではトップ層と中間層の強化、普及については多くの選手がエントリーできる大会を新たに作っていきたいと考えています。そのためには強化・普及の組織づくりを兼ねて全国大会を開催することも考えております。岩手県バドミントン協会からの協力を得ながら専門部の先生方と一致協力して専門部を盛り上げていきたいと考えております。

岩手県学生バドミントン連盟の歩み

岩手県学生バドミントン連盟　委員長 盛岡大学　佐々木　優　也

岩手県バドミントン協会創立70周年、おめでとうございます。

また、日頃より岩手県学生バドミントン連盟へのご指導、ご支援を頂き誠にありがとうございます。

我々岩手県学生バドミントン連盟は、平成２年に創立し、現在まで委員長を２年ごとに盛岡大学、岩手大学、県立大学の３つの大学で交代しながら活動を続けてきました。また、来年度からは富士大学にも協力していただき、４つの大学で協力しながら活動していくこととなりました。

現在の我々の主な活動内容として、岩手県学

生バドミントン選手権大会の開催と運営があります。第１回の大会は平成３年の秋に、矢巾町民総合体育館で行われました。男子約 40 名、女子約 30 名の計 70 名程度で、単複を二日に渡って行いました。そして平成最後となった今年度の大会で 28 回目を迎えました。男子約 40 名、女子約 15 名と、女子の参加人数は約半分になっているものの、岩手県の学生の中で自分の力を試すことができる、大変貴重な場となっています。

また、大会を通して普段はあまり関わることのない他大学の学生とお互いに刺激し合い、自らの力を高めていく目的を持つ大会でもあります。

現在の選手権大会の内容としましては、男子は単複共にリーグ戦を行い、各リーグの上位２組が決勝トーナメントで競い合います。一昨年までは女子も同じ形式をとっておりましたが、シングルスの参加人数が少ないため、昨年から女子シングルスのみ総当たり方式とし、勝ち数に応じて表彰しました。来年度で 29 回目を迎えるということもあり、開催にあたっての準備、運営は歴代の委員長が残してくれたメモ書きやデータのおかげで順調に進めることができるようになっています。



平成 29 年度岩手県学生大会男子単 4連覇
菊地裕太（富士大学）

参加者は減少傾向にあります。全体で見れば人数は変わらないように見えますが、今年度で見ると、富士大学と岩手大学の参加人数は安定していますが、県立大学と盛岡大学の参加人数は一昨年と比べ半分以下となっています。私は盛岡大学の部長も兼任しておりましたので、力不足を痛感しています。

これからの学生連盟の課題として、学生を中心として選手権大会を盛り上げていく必要があります。そのためにも、各大学の連携を一層強くする必要があると考えています。私の任期は今年度で終了しますので、来年度からの委員長の活躍に期待したいと思います。

末筆ながら皆様の一層のご発展を心よりお祈りいたします。

今後ともご指導よろしくお願い致します。

岩手県シニアバドミントン連盟の歩みと活動

岩手県シニアバドミントン連盟　理事長 鬼柳孝夫

１．東北連盟

平成１１年に全日本シニアバドミントン選手権大会が福島県で開催されました。

開催会場にて当時の須藤博福島県会長の呼び掛けで、シニア大会に参加していた東北地区各県代表者を集め東北シニア連盟の設立の話し合いが持たれ、後日正式に設立会議を開催し連盟の設立を決めることになりました。

翌年の平成１２年に設立会議が開催され東北シニアバドミントン連絡協議会（連盟）が結成されました。

活動としては、生涯スポーツとし東北各県４０才以上のバドミントン愛好者なら何方でも参加できるよう正規の服装には拘らず参加出来る大会を開催し懇親を深め、底辺拡大を図ることを目的とすることを決めました。

平成１２年５月に宮城県大和町において設立総会を開催すると共に第１回東北シニアバドミントン大会（個人戦）が開催され、参加された各県選手達は懇親を深めました。

東北シニア連盟設立後は、東北各県に次々と県シニア連盟が結成されました。しかし、岩手県は連盟を結成しないまま東北シニア連盟分担金を参加選手で負担して東北シニア大会に参加し、各県と懇親を深めていました。

東北シニア大会は宮城県大和町を会場とし毎回

開催することにしていましたが、平成１７年度第６回大会より各県持ち回り開催とすることが決定されました。

岩手県開催が平成１８年度に決定した為、急遽平成１６年１１月に東北シニア大会に関わりを持った主な方々で奥州市江刺区で話し合いを持ちました。そこで、連盟を結成することを決め、会長に岩手県バドミントン協会副会長の杉田忠光氏にお願いすることとし、平成１７年２月に岩手県シニアバドミントン連盟を結成しました。

活動としては東北連盟と同じ目的で行うこととし、年２回の大会を開催することと運営費は当分大会参加料で賄って行くことにし、特に会費及び登録料は徴収しないことにしました。

設立大会として平成１７年２月２７日に東北地区各県からも参加可能な第１回岩手県シニアオープンバドミントン大会を江刺中央体育館で開催しました。

また、その年の７月には第１回県シニアバドミントン大会を開催しました。毎年２月と６・７月の２回開催を行い、それぞれ平成３０年で１３～１４回を迎えています。

なお、設立当初から県シニア連盟会長を杉田忠光氏に続けていただいていましたが、平成２８年に杉田氏に代わり北上市バドミントン協会会長の金原良史氏に会長を引き継いで頂いています。

東北シニア連盟では、秋にも大会を開催したいとの意見が有り、団体戦を行うことが決定しました。開催地につきましては、東北地区の中央部に位置する宮城県と岩手県で交互開催することになりました。

平成２０年１０月に東北シニアバドミントンプレ大会（団体戦）が江刺中央体育館で開催された後は、平成２１年には宮城県で第１回大会が開催され、岩手県と交互開催を実施しています。

県主催大会に参加していない４０才以上の方々も県シニア大会、東北シニア大会、東北各県のシニア連盟主催大会に参加し、良い汗を流し懇親を深めています。また、会員一同は東北シニア大会個人戦・団体戦で開催県の次に多くの選手が参加し各開催県に喜ばれています。

今後も各種大会を通して生涯スポーツとして活動出来るよう組織の充実化を図っていきたいと思います。



平成 26 年度東北シニア大会（団体戦）
レセプション



平成 27 年度東北シニア大会レセプション

岩手県レディースバドミントン連盟の歩み

岩手県レディースバドミントン連盟　理事長　谷　藤　さなえ

会　長　　中　村　優　子
副会長　　佐々木　せつ子
　　鈴　木　由　江

岩手県バドミントン協会創立７０周年おめでとうございます。また、日頃より本連盟に対しまして暖かい御指導、御支援をいただき誠にありがとうございます。

岩手県レディースバドミントン連盟は昭和６３年９月に県協会のご指導をいただき岩手県婦人バドミントン連盟として設立しました。平成１１年には２０周年を迎え記念祝賀会を開催し、２０周年記念誌を発刊しました。その後、平成１３年に「岩手県レディースバドミントン連盟」と名称を変更し今日に至っております。

設立当初から開催されている岩手県家庭婦人クラブ対抗バドミントン大会は岩手県レディースバドミントン大会（クラブ対抗）となり今年で第３９回を迎えました。また、平成６年からこのクラブ対抗と兼ねられていた東北地区レディースバドミントン大会岩手県予選は平成１４年の第９回大会から単独で開催されるようになり第２５回を数えます。平成８年に個人戦大会として第１回が開催された岩手県レディースバドミントン大会（個人対抗ダブルス）も、５地区を持ち回り開催とし、平成３０年には花巻で第２２回大会が行われました。

平成６年２月東北地区家庭婦人バドミントン連盟が設立され、岩手県も加盟し、第１回大会が１１月に山形で開催されました。平成１２年には東北地区レディースバドミントン連盟と名称変更、大会も第７回大会から東北地区レディースバドミントン大会となりました。この東北大会は６県持ち回りの大会で岩手県でも第４回（平成９年）、第１０回（平成１５年）、第１６回（平成２１年）、第２２回（平成２７年）と開催されました。第１６回大会から一部（経験者）、二部（未経験者）のクラブ対抗戦に加え新しく三部（56歳以上）の各県対抗の団体戦が加わりました。大会成績も一部では都南クラブ、レッドシャトルズ、水沢レディース、Wing Hopeが、二部ではレッドシャトルズ、松園クラブが、三部では昨年岩手県チームがそれぞれ上位入賞を果たしています。

昭和５８年に設立された日本家庭婦人バドミントン連盟が平成１２年日本レディースバドミントン連盟に名称を変更。平成１０年に全日本家庭婦人バドミントン大会クラブ対抗（未経験者）の部に岩手県より初めて参加してから、全日本レディースバドミントン選手権大会（都道府県対抗）（クラブ対抗）、全日本レディースバドミントン競技大会（個人戦）に参加するチーム、選手が増えてきました。そんな中、平成２３年３月東日本大震災が起りました。この未曾有の災害に全日本レディースバドミントン連盟や全国のレディースの仲間からたくさんの御支援と御協力、激励をいただきました。平成２４年５月には「がんばろう岩手！東日本大震災復興祈念岩手県レディースバドミントン大会」を行いバドミントンができる幸せに感謝し、全国の仲間に感謝の気持ちを表しました。

そして平成３０年に設立当時から会長をされていた佐々木隆夫さんから副会長の中村優子さんに会長が引き継がれ、ひとつの節目を迎えました。

私たちレディース連盟も諸先輩方の歩みやこれまで御指導いただいたことを踏まえ、バドミントンを通して県内外の多くの人たちとの交流を深め、より質の高い大会を目指し、更なる発展をめざしていきたいと思います。

今後ともこれまで以上の御指導のほどお願い申し上げます。



岩手県レディースバドミントン大会開会式

＜歴代役員＞

会　長	佐々木　隆　夫	(昭和６３年～平成２９年)
	中　村　優　子	(平成３０年～)
副会長	中　村　優　子	(昭和６３年～平成２９年)
	加　藤　治　雄	(昭和６３年～平成２４年)
	藤　原　静　子	(平成１０～２３年)
	宮　崎　和　子	(平成２３～２６年)
	加　藤　和　子	(平成２４～２９年)
	佐々木　せつ子	(平成２９年～)
	鈴　木　由　江	(平成３０年～)
理事長	藤　原　静　子	(昭和６３年～平成９年)
	宮　崎　和　子	(平成１０～２２年)
	谷　藤　さなえ	(平成２３年～)
副理事長	白　澤　節　子	(昭和６３年～平成２１年)
	加　藤　和　子	(平成１０～２３年)
	鈴　木　由　江	(平成２２～２９年)
	伊　藤　公　子	(平成２９年～)



教職員連盟のこれまで

岩手県教職員バドミントン連盟　事務局　柳　原　　賢

私は平成６年に大学を卒業し、石川県金沢市で行われた第３３回全日本教職員バドミントン選手権大会に初めて参加した。先生方が出場するのは知っていたのだが、県内外の先生方の強さ（レベル）が分からず本当に出場して良いのか疑問だった。まず大会に出場できるだけでもいいと考え参加させてもらった。

平成４年の熊本県熊本市で開催された大会から、４０歳男子シングルスで伊藤張二先生が３連覇をして、それ以降も４０歳男子シングルス・ダブルスとも輝かしい成績を残している。大会参加者は１０名には届かないが、毎年参加して男女とも賞に輝いている。

平成１３年には福岡県北九州市で開催され、３０歳女子ダブルスで阿部佳子先生・及川裕美先生が３位入賞した。平成１５年の宮崎県宮崎市では、出発当日台風が接近し飛行機が離陸するか大会に参加できるか心配であった。飛行機の出発

時間が遅れたが大会会場に向かうことができた。５０歳男子単優勝（伊藤張二先生、翌年も優勝）、３０歳女子単２位（砂子田（旧姓及川）裕美先生）、３０歳男子複３位（菊地亨先生、柳原）、同女子３位（阿部佳子先生、砂子田裕美先生）、４０歳女子単３位（小野寺浩子先生）となり参加者全員が入賞した。

平成２２年以降、開催地が遠いため参加者が減った。それでも６０歳男子シングルス・ダブルスで活躍されている佐々木邦夫先生、佐藤秀先生が現在でも数々の入賞を果たしている。私事ではあるが平成２９年に福島県郡山市で開催された４０歳男子ダブルスで畠山崇先生とともに２位となり、今度こそは優勝を！と目指した平成３０年、愛知県一宮市で開催された同種目でも２位となった。

今後の課題として若い先生方を誘い、この教職員大会の良さを伝えることで参加者を募らなければならない。大会の緊張感、全国の先生方との交流の魅力、岩手県選手団の雰囲気の良さに誘われ、夏の定例行事として定着してもらえるように努めたい。開催地に向かうまで、また大会終了後家族で旅行する楽しさもあるので、教職員の皆さん、是非一緒に教職員大会に参加しましょう。



平成30年度全日本教職員大会
40歳複２位 柳原 賢（左）、畠山 崇（右）

岩手県実業団バドミントン連盟の歩み

岩手県実業団バドミントン連盟　伊　藤　俊　幸

近年（平成２２年頃）は東北実業団大会、全日本実業団大会にＪＲとカガヤ（盛岡市）が参加をしていましたが平成２４年にカガヤの撤退があり、組織として運営していく事が必要とのことで県協会や宮城県実業団バドミントン連盟との協力のもと連盟発足の機運が高まり平成２５年２月つなぎ地区活動センターにて第１回の総会そして大会を開催する運びとなり、連盟が発足しました。

連盟加盟団体はＪＲ東日本盛岡、リコー光学（現リコーインダストリアルソリューションズ）、アイシーエスの３チームでの岩手県大会を開催することになりました。連盟の会長にはバドミントン協会の竹林会長に兼務していただくことになりました。これまでにも釜石製鉄、ＮＥＣ、富士通やＪＲなどが県内実業団チームとして大会に参加していた時期がありますが企業からの支援がなくなったり、選手がいなくなり自然と消滅していったようです。現在、大会は春季と秋季に個人戦を開催し、団体戦は今年度で７回目の開催になりますが、全日本実業団バドミントン選手権大会の予選兼ねた大会として行っております。本連盟は発足時と同じく現在も３企業での連盟となっております。

副会長以下の現役員
副会長　　小形　尚文　（ＪＲ東日本）
副会長　　佐々木　一雄
　　（リコーインダストリアルソリューションズ）
副会長　　上野　純也　（アイシーエス）
理事長　　浅沼　良雄
副理事長　石川　淳
理　事　　伊藤　俊幸
理　事　　髙橋　豪
理　事　　畠山　大地

市町村協会の活動

盛岡市バドミントン協会の歩み

盛岡市バドミントン協会　理事長　関口　等

岩手県バドミントン協会創立70周年おめでとうございます。

また、盛岡市バドミントン協会の各種事業にご支援、ご協力を賜りありがとうございます。

盛岡市バドミントン協会は昭和49年に創立し、今年度45年目を迎えております。創立当初は盛岡市民大会を中心に活動を行っていたと伺っております。現在は、競技レベルに応じて開催する市民大会に加え、年齢別のミックスダブル大会、レディース大会、小学生大会、中学・高校生大会、団体戦で競うバドミントンリーグなど、事業の拡大を図っているところです。このように多くの競技会を開催することについては、役員の皆さんに相当な負担をおかけしますが、バドミントン愛好者の多様なニーズに応えたいとの思いから、役員の皆さんのご協力のもと、実現してきたところです。

本協会の特徴的な事業のひとつとして、バドミントンリーグがあげられます。本大会は、2日間で開催しており、1部～19部まで約76チーム、約600人が参加するマンモス大会です。さらには、中学・高校生から私より年齢が上のシニアまで、幅広い年代が一堂に会し、バドミントンを目一杯楽しんでおり、イベント的な様相となっております。

競技会の開催のほか、初心者教室、教室の参加者等が参加するビギナーズ大会を開催し、バドミントン愛好者の裾野の拡大に取り組むほか、県民体育大会の前には、強化練習会を開催し、競技力の向上にも努めております。

その結果、男子、女子とも県民体育大会や市町村対抗大会での優勝や、上位入賞を果たすなど、県内でもトップレベルの選手が活躍する地域となっていると自負するところであります。

このように、協会の事業が充実し、発展できたことは、白澤会長、村上副会長をはじめ、諸先輩が礎を築いていただき、これまでの役員が、しっかり協会の事業を運営してきたことによるものと思っております。また、この10年、新たに協会役員として参画し、定着した若手の方々の活躍と、これら若手を引き上げ、指導してきた外川副理事長の尽力によるところが大きいと思っております。私としても、この流れを絶やさず、しっかり次世代の皆さんにつなげていきたいと思っております。

最後に、平成３１年２月３日にＪＴＢバドミントンＳ／Ｊリーグ2018盛岡大会が開催されます。今般、県協会と合同で実行委員会を立ち上げ、準備を進めているところであります。

４年前にも日本リーグ盛岡大会を開催したところであり、その経験はありますが、今回の大会は、厳冬の２月に開催ということで、天候、チケットの販売など、様々な不安を抱えております。県協会をはじめ、市町村協会、関係者の皆さんには特段のご支援、ご協力をお願いいたします。



平成30年度県民体育大会

【盛岡市バドミントン協会 役員】

（平成30～31年度）

顧　　問	佐々木　隆夫	阿部　栄一			
参　　与	吉田　征夫	伊藤　一郎	宮崎　幸雄		
会　　長	白澤　國雄				
副 会 長	村上　信夫	佐々木　せつ子			
理 事 長	関口　等				
副理事長	伊藤　政雄	藤澤　正幸	外川　正昭		
常務理事	武蔵　奈保子（事務局長兼務）		玉山　勝彦	畠山　大地	田口　千晃
	角掛　美加子	村上　みゆき	谷藤　さなえ	寺澤　誠	
理　　事	佐々木　道範	笹川　真由美	伊藤　公子	小畑　浩昭	星川　真由美
	小野寺　陽子	篠原　宏季			
	玉山　美紗	宮野　いずみ			
	浅沼　美里	佐々木　譲			
	佐々木　勇輔	宮　奈穂			
	桐田　志織				
監　　事	和田　五郎	多田　直史			



平成 29 年度県民体育大会

花巻市バドミントン協会の歩み

花巻市バドミントン協会　会長　川　村　伸　浩

岩手県バドミントン協会創立７０周年、心からお祝い申し上げます。また、日ごろから花巻市バドミントン協会に対しまして温かいご指導、ご支援をいただきまして誠にありがとうございます。

花巻市バドミントン協会は昭和４６年３月に創立、花巻市体育協会に加盟して４８年を迎えます。そして花巻市の広域合併を受け、翌年の平成１９年に旧花巻市・大迫町・石鳥谷町・東和町のそれぞれに活動していた協会を統合、新たな花巻市バドミントン協会としてスタートを切って現在に至っております。

協会加入は一般社会人１６クラブ・ジュニア８クラブ・中学校男子６校・女子９校・高校４校で650 名以上の登録となっております。また、統合前のそれぞれ開催されていた大会等を尊重しながら年間の大会等を開催しております。

協会主催の主な大会は花巻市バドミントンカーニバル・花巻市２部３部交流バドミントン大会・花巻市２部３部選手権バドミントン大会・イーハトーブジュニアバドミントン大会・東北中学生強化バドミントン大会などであります。

花巻市バドミントンカーニバルはジュニアから一般まですべての選手が参加できるように工夫されており初心者から一般１部まで熱い戦いを繰り広げたり、抽選会を開催するなど花巻市バドミントン協会の最大の行事となっております。また今



平成 29 年度市町村対抗女子 優勝

年は開催30周年を迎えることから記念行事を企画中であります。

選手強化にも力を入れており春季・秋季中学生強化練習会、県大会出場選手合同練習会、市町村対抗選手権大会出場選手合同練習会、小中高一般合同練習会などを開催して選手相互のレベルアップに力を入れております。

小学生では東北大会予選会において男子５年以下ダブルス優勝・女子４年以下シングル優勝・男子４年以下シングルス優勝、特にも４年以下女子シングルスの畠山想来選手は東北大会で優勝するなど楽しみな選手が多数育っています。

中学生では中総体団体男子で湯口中学校が優勝、他の中学校も常に上位の成績を残しております。



平成30年県民大会女子１部、２部 優勝

高校は高総体で花北青雲高女子が団体優勝、男子が団体準優勝、個人戦においても男子ダブルス優勝、女子シングルス・ダブルスともに優勝するなど花北青雲高校を中心に常に上位に位置しております。

一般では県民大会で団体女子が１部２部とも優勝、団体男子４位と２年連続のアベック優勝はならなかったものの常に上位の成績を残しております。

また、初心者バドミントン教室を開催しながらバドミントン愛好者を増やす取り組みも行っております。各種大会においても４部（初心者の部）を設けながら初心者が気軽に大会に参加できるよう工夫しております。

このように花巻市バドミントン協会では選手強化の取り組みとすそ野の広いバドミントン選手の育成と愛好者を増やす行事を通じながら今後も活動を続けてまいります。そして近隣市町村協会との連携を図りながら年齢を問わず、だれでも気軽に楽しめる生涯スポーツとしてのバドミントンの普及に努め、花巻市がバドミントンの町として全国で知られるよう今後も事業運営してまいります。

岩手県バドミントン協会並びに各市町村協会の益々のご発展を祈念いたします。

北上市バドミントン協会～平成12年からの歩みとこれから～

北上市バドミントン協会　佐　藤　憲　明

岩手県バドミントン協会創立７０周年おめでとうございます。また当市協会に対しましてのご支援、ご協力に感謝申し上げます

さて、北上市バドミントン協会におけるこの２０年を顧みたいと思う。先ずは、ジュニア世代強化が進んできたことを挙げたい。昭和４６年に発足した北上市バドミントンスポーツ少年団は中学生主体だったが、北上市ジュニアバドミントンスポーツ少年団の発足により小学生の強化が進んできた。現在では小中で総勢６０名を超える大所帯となった。それと同時に指導者育成にも力を入れ、新たな試みとして、選抜選手強化練習、底辺拡大を目的とした全体練習、フィジカルトレーニング強化の学習等、ジュニアカテゴリーの強化に努めた。ここ数年は各種県大会上位選手も増え、



平成30年度市町村大会

上部大会への出場数も増えてきた。今後も継続して更なる発展をしたい。

また、国体競技会場が決まり、市内愛好者の交流の場として「夜間リーグ大会」を２０１２年～１５年まで開催し、市内各クラブ等の親交を深め、協力を得ることにより、国体は成功した。このつながりを得て、今後も選手ファースト・愛好者ファーストによる充実した練習環境、大会運営を目指し、北上市バドミントン協会を、より良いものに進化し、県協会への協力をしていきたいと思う。

岩手県バドミントン協会 創立70周年に寄せて

一関市バドミントン協会　理事長　千　葉　　圭

岩手県バドミントン協会の設立７０周年にお祝いを申し上げますとともに、一関市バドミントン協会の近況について報告いたします。

一関市バドミントン協会は、７市町村の広域合併から遅れること、３年、故武井俊明氏（一関市バドミントン協会一関支部事務局長）のリーダーシップのもとに、平成２０年に、それまでの旧市町村協会を、各支部とするひとつの大きな組織に統合されました。

初代会長は故加藤治雄氏、二代会長千葉　惇氏（現　顧問）、そして現会長鈴木勝市氏で三代目となります。

それまで、７市町村でばらばらに行われていた大会や事業を整理して、現在の年間スケジュールに落ち着いています。

主なものでは、ゴールデンウイーク中に開催される男女別ダブルス大会・中学生春季大会に始まり、８月後半の中学生秋季大会・男女別シングルス大会、１２月のダブルス大会は２日間にわたり、小中学生の部と高校・一般の部で開催されています。

２月には事業所対抗の団体戦、「川島印刷杯」が行われ、各大会の成績を参考にして、選抜チームを結成し、強化練習会を行い、春の県民体育大会・初冬の市町村対抗選手権に臨んでいます。

その他に、各支部が独自に主催する大会には、市協会が主催する大会と、日程を調整しながら、普及とレベルアップに取り組んでいます。

その成果としては、平成２７年度、第３９回市町村対抗バドミントン選手権（花巻市総合体育館）で、男子の部で優勝することができました。

また、全日本レベルの大会を誘致することでもバドミントンの普及に努め、２００９年９月の「ドリームマッチ in 一関」では当時の世界ランク上位のＹＯＮＥＸ契約選手（インドネシア・マレーシア）を招いて、世界のレベルを生で体験することができました。

２０１１年１１月には一関市としては初めての「バドミントン日本リーグ２０１１一関大会」を岩手県バドミントン協会との共催のもとに成功させました。

翌、２０１２年には「全日本都市職員バドミントン大会」を一関市総合体育館と東山総合体育館の２会場で開催しました。

また、今年度はミズノ株式会社の協力の基に「ＪＲ北海道」から高島・牧野両選手をお迎えして技術講習会を実施し、中高生８０名が熱心に取り組みました。

一関市は東西に面積が広大で、一か所に集まっての合同練習会というのはなかなか困難ですが、協会一丸となって臨む、県民体育大会や市町村対抗選手権大会の前には大東・東山・川崎・千厩・



平成 27 年度市町村対抗男子 優勝



平成30年度技術講習会

一関と各地の体育館で強化練習会を開催して、小学生から青年・成年までが合同練習を行い、世代を超えた交流をしながら、それぞれのレベルアップと上位入賞を目指し、切磋琢磨しております。

今後、一層の飛躍を誓い、報告とさせていただきます。

釜石市バドミントン協会～平成12年からの歩み～

釜石市バドミントン協会　会長 北　野　和　敏

釜石市バドミントン協会の平成１２年以降の歩みについて寄稿させていただきます。

当協会の会長は、及川好氏から山口泰廣氏へ引き継がれ、現在は、私が会長を引き継ぎ、鈴木克仁理事長、菊池美杉事務局長の体制で活動が続けられております。

毎年の行事としては、釜石オープンバドミントン選手権大会（旧山本杯）をスタートに中学一年生バドミントン講習会、市民社会人大会、市民ダブルス大会、中学生や高校生の強化練習会等々、活発に活動してきたところです。特筆すべき行事としては、岩手県協会５０周年記念式典に出席された、釜石市出身の当時、全国実業団連盟理事長の油井秀男氏の声掛けから、平成１２年１２月に日本リーグを開催することとなったことです。岩手県では、その４年前に盛岡市で初めて開催されましたが、もちろん沿岸部では初めてであり釜石市が県内２番目の開催となりました。開催のノウハウが全くない中、市協会理事等が自費により仙台市で開催される日本リーグを視察研修に行くなど、大変なことも多くありましたが、県協会の御協力もいただき無事に開催できたことは、大きな喜びでした。開催当日、沿岸部では珍しく大寒波が訪れ、リニューアルした体育館とはいえ古くて暖房設備がないため、選手や観客の皆様に寒い思いをさせてしまったことなどが思い出です。

その後は、釜石製鉄所バドミントン部が黄金期を築いた時代から、市民参加のバドミントン活動へと方向を変え、当時のような成績は、残すことが難しい中、我慢強く活動を継続してまいりました。そういう中で菊池（旧姓池端）美杉選手は、岩手県社会人バドミントン選手権大会女子シングルスで１０連覇を達成、県代表として何度も国体に出場するなど、釜石市出身選手として、特筆すべき選手であります。現在は、選手として活動を継続する中、事務局長として市協会運営に尽力しております。

ここでどうしても触れなければならない出来事は、平成２３年３月１１日の東日本大震災です。大きな地震の後に襲ってきた大津波により釜石市では、死者９９３人、行方不明者１５２人の大きな被害を受けました。当時、市協会副会長であった永沢和彦氏は、その津波の犠牲となってしまいました。他にも何人かの仲間を失い市協会の活動は、停止状態となり大変なショックを受け、茫然自失の状態でした。日常生活もままならない中、もちろん市内の体育施設は、ほとんどが避難所等になっていて使えないため、活動再開の目処は立

ちません。しかし、生活もやや落ち着きを見せ始めた数か月後には、遠野市の仲間の誘いもあり、遠野市で練習会を再開するなど、前に向かって活動を再開しました。翌年には、市内の小中学校の体育館を借りて市民バドミントン大会を再開するなど震災に負けることなく活動をしております。ここまでこられたのも県協会をはじめ多くの皆様の援助やご支援ご協力があったおかげと、この誌上をお借りし、改めて感謝と御礼を申し上げます。

近年は、東日本大震災以降、高校生等の地元志向が強くなり、幸いなことに何人かの若者が釜石に残るようになってきました。そのため、練習会も活発に行われています。平成３０年度の県民体育大会には、２チームを編成して出場するなど盛り上がりを見せており、この若者たちが切磋琢磨して将来の釜石市を背負ってくれるものと期待しているところです。

大震災により取り壊された釜石市民体育館は、ようやく新築の目処が立ち、平成３０年７月に着工となったところです。平成３１年１２月には、一般への共用が開始される見通しですので、活動の拠点として大いに利用し、ジュニアや中高校生の強化、一般市民競技者の底辺拡大レベルアップ等、当協会も更なる発展を目指して地道な活動を継続して参ります。



平成 30 年度県民体育大会

久慈市バドミントン協会～20年の歩み～

久慈市バドミントン協会　上　川　順　子

顧　問　田　高　　晋
会　長　福　田　　巖

岩手県バドミントン協会創立 70 周年おめでとうございます。

東日本大震災の際は県バドミントン協会をはじめ多くの皆様からご支援を頂き、協会員一同励みになりました。大変有難うございました。



私たち久慈市バドミントン協会は昭和 50 年に発足し今年で 43 年を迎え、活動しています。
平成 10 年度から 3 年間、久慈市で導入した国庫補助事業「スポーツタウン推進事業」を活用し行ったバドミントン教室の指導から市内各地でバドミントン人口が増えました。

さらに、平成 14 年から 15 年には「㈱久慈市体育協会スポーツバドミントン教室」を行い普及に取り組みました。

平成 16 年に久慈市民体育館が新築され、春の団体戦、市民大会、秋のダブルス大会を開催し、近隣のクラブチームをはじめ小学生から高校生まで多くの参加を頂き、以前よりも規模を大きくして大会が開催出来るようになりました。

また、第 59 回岩手県民体育大会が 1 部 2 部制に変更され、その最初の年に女子 2 部で 2 位となりました。現在はその記録を超えようと日々練習に励んでおります。

この様な結果を残せたのも、今まで何人もの方々が久慈市へ転勤・出張の際、当協会の練習や

大会等に御尽力頂いたおかげであります。この場をお借りして御礼申し上げます。

これからも、私たち久慈市バドミントン協会では年齢、性別にとらわれないで色々な方が気軽に参加し、交流できる様な協会を目指しながら、一人一人の技術が向上して行くよう頑張って行きたいと思います。

協会の練習は、毎週火曜日と金曜日19時30分～22時までの2時間半、中高生も受け入れて活動しています。

久慈市にお越しの際は、どうぞ協会に遊びにいらして下さい。お待ちしております。

奥州市のバドミントン～更なる飛躍に向けて～

奥州市バドミントン協会　理事長　千　葉　昭　徳

岩手県バドミントン協会創立70周年にあたり、心よりお慶び申し上げます。協会創立当初より今日まで70年もの長きに渡り、協会発展にご尽力された歴代の役員・会員の皆様のご苦労に対し深く敬意を表します。

県協会創立50周年を経て、岩手インターハイ・岩手国体と全国大会が開催され、当地区からも多くのバドミントン関係者が大会運営にあたり、ともに歴史を重ねられたこと大変嬉しく思います。さかのぼること20年、我が奥州協会におけるバドミントンの躍動の20年を振り返ってみたいと思います。

平成7年、胆江6市町村協会が歩み寄り「胆江地区バドミントン協会連絡協議会」が発足。今日の奥州市協会の連携が見られるのも、この時点での結束が大きかったこともあげられます。

この頃、各地区でジュニアクラブが順次結成され、陣内貴美子氏、グ・ジャーミン氏、松野修二氏、栂野尾昌一氏、ＮＴＴやヨネックスチームによる講習会など頻繁に開催され、地区全域で小中学生の強化が本格的に進み変貌を遂げました。

平成12年、小山中学校男子が全中出場を果たしました。なかでも川内崇士選手はチームの中心選手として活躍、個人シングルスでは惜しくもベスト8を逃すも大健闘。その後もインターハイ3位、インカレ3位、そしてＮＴＴへ入社するなど目覚ましいものがありました。その後も菊地裕太選手など次々と有望選手が輩出、国体選手にも多くの地元出身選手が選出され黄金期を築くなど頭角をあらわす。前沢中学校・前沢高校は今もなお県のトップに君臨し続け、奥州バドミントンの発展に一翼を担っています。



奥州市バドミントン協会総会

平成15年より、江刺を会場に日本リーグを4度開催。トップ選手のプレーを間近で観戦でき、ジュニア層はもとよりバドミントン愛好者の更なる拡大に繋がりました。

平成18年、平成の大合併により奥州市誕生。これを期に同年12月「奥州市バドミントン協会を設立」。これまでの胆江5市町村協会の数々の功績を引き継ぐとともに「新たな歴史の一歩の始まり」として協会員の結束が見られました。事業も競技・審判・強化・普及の4つの専門部を配置し、さらに基盤を強化しました。

競技部は、現在8大会を主催。中でも水沢時代より継続の夜間リーグは42回を数え、奥州オープン40回とともに奥州のメイン大会として位置づけられています。奥州ミックスやシニア大会はオープン大会とし、県外からの参加者も交え盛んに開催。市民体育祭は年々参加が減ってきたこともあり、マンネリ化の打開策としてトリプルスを行い趣向を凝らす。近年はバドミントン愛好者も二世、三世と増えてきたことから、平成26年より親子ダブルスにスイッチしたところ、毎年好評です。

審判部は、中学生初心者のルール講習や、中高生の大会の審判派遣などを行っています。特にも奥州からの審判派遣は県内では一番多く、貢献度・信頼度は高いものがあります。

普及部は、小学生バドミントン教室、中学生中級レベルの講習会など、底辺の拡大に力を入れています。

強化部は、設立記念事業として開催したヨネックス講習会が、今年で13回目を数えます。毎年ヨネックス所属選手によるご指導を頂いております。

また、平成20年、岩手国体（28年開催）を見据えたジュニアの育成強化の一環として「小中高連携育成強化事業」を展開しています。バドミントンの技術指導以外にもスポーツ医科学的な講義を交えるなど、一味違った中身の濃い練習会です。国体以降も「夢チャレ☆奥州っこ」として全国で活躍できる選手の育成を目指し継続中です。

平成24年から地元の学校に身近に東北レベルを感じてもらう機会として、「奥州市オープン東北中学生バドミトン強化交流大会」を開催しています。最近では男女各30チーム450名程が集結するなど大会規模も大きくなり、他県からも熱い支持を頂いております。運営は大変ですが、参加者の皆さんの成長と笑顔があると苦労が報われます。

この20年、底辺拡大の一環としてジュニアの育成強化に力を入れてきました。最初に手掛けた選手も30代半ばに差し掛かり、中堅的な立場となってきております。選手・役員として、次の奥州協会を背負う世代として期待したいところです。

奥州協会が設立し12年、これまで築き上げてきた先人のご努力に感謝し、今後は「更なる飛躍に向けて」ジュニアの育成はもちろん、生涯スポーツとしてのバドミントンの役割と、競技スポーツの振興に努力する所存であります。今後とも皆様のご支援とご助力の程よろしくお願いいたします。

【奥州市バドミントン協会歴代役員】

(1)会長

初代	千田　繁	H18～24
2代	菊地　保福	H25～現在

(2)理事長

初代	佐藤　政由	H18～H24
2代	佐藤　彰彦	H25～H28
3代	千葉　昭徳	H29～現在

(3)事務局長

初代	千葉　昭徳	H18～H28
2代	小野　直樹	H29～現在

滝沢市バドミントン協会～平成12年からの歩み～

滝沢市バドミントン協会　理事長　日　向　由　和

会　長　宮崎　幸雄
副会長　鎌田　勇・昆野一美・川島　明
理事長　日向　由和　　事務局長　太田　寛子

岩手県バドミントン協会創立７０周年おめでとうございます。

平成１２年からの歩みの中で特筆すべき一大事業がありました。平成１７年(2005年)１０月に、滝沢市（当時滝沢村）で開催された、「第１８回全国スポーツレクリエーション祭年齢別バドミントン大会」です。年齢別３ダブルスの団体戦で争われ、開催地滝沢村と岩手県選抜チームを含む全国各都道府県の代表チーム、韓国からの２チームの参加により、３日間にわたり開催されました。

一大事業としたもう一つの理由は、一年前の平成１６年に遡ります。

この全国スポレク祭の開催地は、サッカーワールドカップ日韓共同開催を記念した『２００２年日韓国民交流年記念事業「第８回日韓スポーツ交流事業・成人交歓交流」』として５月に韓国で開催される「２００４全国国民生活体育大祝典バドミントン」に、選手を派遣することになっており、スポレク祭同様、年齢別の３ダブルスでの団体戦で、２チーム男女あわせて１８名の選手を派遣することになっていました。

選手選考について県協会との協議が始まりました。当初、県協会からは滝沢村での全国スポレク祭であり、滝沢村の選手を中心とした選考の打診があったかと思います。しかし、５月２７日から７泊８日という長期日程のため仕事を休める選手

も少なく、パスポートの取得期間も少ない状況から、本村から１８名の選手を選ぶことは困難でした。そのため、当時の県協会佐々木理事長と協議を繰り返しながら、盛岡市をはじめ釜石市や花巻市、奥州市（当時江刺市）そして滝沢村から何とか１８名の選手を選ぶことができました。



平成 16 年度日韓スポーツ交流 岩手県選手団

韓国には、光州広域市での２日間の大会にも関わらず、８日間滞在してきました。

ソウル市に到着した翌日、≪韓国滞在２日目≫大型バスで観光も含め５～６時間かけ光州広域市に移動し、歓迎晩餐会に出席

≪韓国滞在３日目≫大会会場で練習を行い、地元のバドミントン協会関係者と昼食会、その夜はサッカーワールドカップが開催された大きな競技場での「２００４全国国民生活体育大祝典総合開会式」に参加しました。

≪韓国滞在４日目≫ようやく競技会が始まりました。そしてその夜は地元協会の歓迎会、２次会の会場まで準備している歓迎ぶりでした。

≪韓国滞在５日目≫大会２日目は恐らく全員二日酔のなかバドミントンを楽しんだと思います。２日間の大会が終了した夜は、地元のバドミントンクラブと一緒に汗を流し、終了後は日本では絶対あり得ない体育館の中でのバーベキューで盛り上がりました。

第8回日韓スポーツ交流事業成人交換交流バドミントン競技日本選手団

区分			氏名	性別	年齢（当時）	所属等（当時）
Aチーム	1	監督	志村正義	男	61	県協会副会長
	2	30 歳代選手	柳村陵子	女	40	滝沢村
	3	30 歳代選手	菅原由紀	女	42	盛岡市
	4	40 歳代選手	北野和敏	男	48	釜石市
	5	40 歳代選手	菊池敏	男	51	江刺市
	6	50 歳代選手	佐藤政由	男	52	江刺市
	7	50 歳代選手	宮崎和子	女	50	滝沢村
	8	交代選手	日向由和	男	46	滝沢村
	9	交代選手	加藤和子	女	54	滝沢村
Bチーム	10	監督	佐々木彦士	男	57	県協会理事長
	11	30 歳代選手	村上みゆき	女	45	盛岡市
	12	30 歳代選手	太田寛子	女	43	滝沢村
	13	40 歳代選手	伊藤一郎	男	47	盛岡市
	14	40 歳代選手	藤沢正幸	男	41	盛岡市
	15	50 歳代選手	鈴木吉一	男	55	盛岡市
	16	50 歳代選手	佐々木せつ子	女	54	盛岡市
	17	交代選手	久保田廣美	男	47	花巻市
	18	交代選手	川南静江	女	30	盛岡市

≪韓国滞在６日目≫この日はソウル市に戻ることになっており、途中、観光、文化探訪や、昼食では韓国料理を味わい、ソウル市に到着しました。その夜だけは公式な歓迎行事もなく、有志でソウルの夜を思う存分楽しみました。

≪韓国滞在７日目≫一日中ソウル市内の文化探訪、観光、免税店、東大門などでのショッピング等々、夜は、他競技団体合同の船上での夕食会が行われ、ソウルの夜景と共に韓国最後の夜を皆で満喫しました。

≪韓国滞在８日目≫朝６時３０分ホテルをチェックアウト、仁川国際空港より帰国の途に着きました。以上が韓国８日間の簡単な様子です。

毎晩のように行われた歓迎会や飲み会、素晴らしい参加記念品、朝から晩まで毎日キムチ付け、本場韓国の焼き肉、冷麺をはじめとする美味しい食べ物、寺院や史跡等の文化探訪、日本語がびっくりするほど上手な可愛い学生通訳さん等々、言い尽くせないほどの大歓迎でした。競技会の結果は申し訳ありませんが忘れてしまいました。

滝沢村協会独自の事業ではありませんでしたが、県協会の協力の元、一緒に成し遂げた一大事業でした。こんな素晴らしい、楽しい経験はもう一生できないと思います。本当にありがとうございました。

そしてこの年の１０月、福井県武生市（現越前市）で開催された「第１７回全国スポレク祭年齢別バドミントン」に、滝沢村チーム９名が参加しました。韓国から参加したチームには５月にお世話になった選手が数名おり、大歓迎の御礼と思い出話をすることができました。

これが、平成１６年から１７年にかけて、滝沢市バドミントン協会が体験した、後にも先にも、もう無いであろう一大事業です。

雫石町バドミントン協会の近況

雫石町バドミントン協会　会長 中　村　健　一

はじめに、岩手県バドミントン協会設立７０周年誠におめでとうございます。

さて、当協会は平成４年３月の設立より２６年が経過し今日に至っておりますが、活動は大きく分けて三つの事業を継続的に行っております。

第一は、社会人の各種大会への参加であります。殊に特筆すべき事柄に全日本シニア４５歳シングルスの部で５連覇という快挙を成し遂げた横手智江美選手の素晴らしい活躍です。

第二は、地元中学校のクラブ活動へ若手指導員を派遣、技術指導者として学校一体となり更なる技術向上の推進に努めております。

第三は、ジュニア育成のために県小学生連盟に加盟し各種大会への参加及び、協会事業としてナショナルチームのジュニアコーチを招いての講習会等、当協会の設立理念のバドミントン普及のための底辺拡大に微力ながら努めております。

当協会の今年度登録数は４０名程となり役員も一新し大幅に若返りを見せております。今後におきましても将来に向け、邁進、努力して参る所存でございますので関係各位のご指導、ご支援を切にお願い申し上げます。

県協会各位の日頃のご厚情に感謝申し上げますと共に、今後ますますのご発展をご祈願申し上げ雫石町バドミントン協会の近況報告と致します。



平成 29 年度欠端カップバドミントン大会

矢巾町バドミントン協会～平成12年からの歩み～

矢巾町バドミントン協会　会長　廣　田　　淳

岩手県バドミントン協会創立70周年を迎えられましたことに心からお祝いを申し上げます。また、この記念誌が岩手県バドミントン競技関係者の皆様の歴史を後世に残すものとして発行されることに対し、衷心より感謝申し上げます。

矢巾町バドミントン協会は、昭和51年に設立されてから、42年目を迎えているところであり、本町でバドミントンを始めた子ども達が、中学校、高校、大学そして社会人でも引き続きバドミントン競技を楽しくプレーできるような環境づくりに努めているとともに、設立当初から御指導していただいた諸先輩方の意思を受け継ぎ、親となったあとも、次世代の子ども達に教え伝えることを目的に日々活動しております。

さらには、当協会は社会人になってからバドミントンを始めてみたいという方についても、矢巾町体育協会と連携しながら、バドミントン教室を開催するなど、バドミントンの面白さ、楽しさを伝える活動を行っているところであります。

当協会は、岩手県バドミントン協会の皆様の御指導のもと、各種大会に出場させていただいているところでありますが、平成12年以降の当協会にとって大きな変化があったのは、平成17年の平成の大合併だと感じております。合併後には岩手県民体育大会の枠組みが改編され、全市町村が同一の舞台で競える環境になり、その中で当協会は、好成績を残すため日々練習を重ねていたところです。その結果、平成20年度、平成21年度には1部男子にて優勝するという好成績を残し、協会員全員でその喜びを分かち合ったことを覚えております。

また、設立当初から支えて下さった諸先輩方の意志を受け継ぎ、本町で学び育った選手が、今、親として、次の世代の育成に携わっており、県内大会さらには東北大会、全国大会で活躍する選手が輩出されていることに、非常に良い循環と環境が整い、常に成長している協会であると感じております。

今後においても、世代を問わずそして様々なレベルで楽しむことが出来るこのバドミントン競技の競技人口の増加と一人でも多く子どもたちが本町から育ち、全国の舞台で活躍することを願い、活動を続けていくとともに岩手県バドミントン協会の一員として、バドミントン競技の普及に努めてまいりたいと存じます。

結びに、岩手県バドミントン協会が創立70周年という節目を契機にさらなる発展を遂げられますよう御祈念申し上げますとともに、記念誌発刊にあたり御尽力された方々に対し、深く感謝申し上げまして、発刊に寄せる言葉といたします。



平成20年度県民体育大会男子1部優勝　矢巾町

紫波町バドミントン協会～平成12年からの歩み～

紫波町バドミントン協会　会長　及　川　和　男

岩手県バドミントン協会創立70周年おめでとうございます。

心よりお慶び申し上げます。

私たち紫波町バドミントン協会も平成23年に創立30周年を迎え、歴代の選手や会員の参加のもとに盛大な祝賀会が行われました。

また、当協会では“誰もが参加できる楽しい大会”を目指して、選手６人の年齢合計を180才以上とした団体戦の「180才大会」大会を平成17年から、個人戦の「ダブルス大会」を平成24年から“紫波平太くん大会“として開催し、県外からのエントリーも含めて毎回多数の参加をいただいています。



紫波町バドミントン協会のマスコット
〝バド紫波平太くん〟
平太くんは、紫波町が「銭形平次捕物控」の作者、野村胡堂の出身地であることから銭形平次をモチーフとしたキャラクターで、主に紫波町内で活躍しています。

“紫波平太くん“とは、紫波町出身の作家・野村胡堂の『銭形平次』にちなんでおり、十手をラケットに持ち替えた当協会のマスコットです。

さて、近年、日本のバドミントン競技はレベルが向上するとともに競技人口も増加していると感じられます。

当協会でも、日夜、技術向上の練習や会員親睦の活動に汗を流しておりますが、メンバーの平均年齢がベテラン化しており若返り化が今後の課題となっています。

最後になりますが、岩手県バドミントン協会の更なる発展を祈念するとともに、今後も変わらぬご指導ご支援をよろしくお願いいたします。



平成23年度紫波町協会30周年祝賀会

山田のバドミントン徒然草Ⅱ

山田町バドミントン協会　事務局　岡　市　善　敏

会　長　長澤　安則
副会長　橋浦　久男
事務局　岡市　善敏

岩手県バドミントン協会創立７０周年おめでとうございます。日頃から山田町バドミントン協会に対しましてご指導、ご支援を頂きまして誠にありがとうございます。

山田町バドミントン協会はスポーツ教室の参加者が集まり、昭和５７年の発足から今年で３６年目を迎えております。当協会では活動としては年間では次の三つをメイン活動にしております。一つ目は年度初めに行っておりますバドミントン競技普及と競技人口の拡大を目的としたバドミントン教室、二つ目は各クラブや職場仲間などの団体戦で交流を行う春のB&G大会、三つ目は秋に行う個人戦の町民選手権大会です。また、現在は休止しておりますが、隣の宮古市協会との合同で開催していた宮古・下閉伊サーモン選手権大会なども行っておりました。町の大会の回数も団体戦のB&G大会は３６回目を、そして、町民選手権大会は継続は力なりで今年で３８回となり、参加総数も第１回から延べで３，５１３名の参加となっており、この大会には、年間の活動の中でもメイ

ン行事として協会員全員で取り組んでおります。それでも、平成２３年の３・１１大震災では協会員も数人が犠牲となった事や、試合が出来る体育館の確保も難しかった事も重なり、震災の１年だけを中断してしましたが、翌年度には協会員や地元の愛好者のパワーを集め、復活させております。

当協会の現状は町内には中学校の女子クラブがあるだけで、高校や中学男子部は少子化の影響もあり廃部となり、その中、社会人の競技スポーツとして継続することの難しさや、現状会員も高齢化が進み、協会全体の若返りに頭を悩ませております。それらもあり、教室も毎年継続し開催しております。また、この頃は女性の協会員も少しずつですが増え、県の婦人等の大会にも参加出来るようになってきた事から、これらが、町内の競技人口拡大に役立てれば良いなと考えております。



平成 22 年度 B&G 大会閉会式

大槌町バドミントン協会～平成12年からの歩み～
「震災からの復興支援に感謝」

大槌町バドミントン協会　会長　大　坂　　東

岩手県バドミントン協会創立７０周年まことにおめでとうございます。設立当初から今日に至るまで、協会発展にご尽力頂きました歴代協会役員の皆様のご労苦に対し、心より敬意を表します。

さて、私ども大槌町バドミントン協会の２０年を振り返るに、まず忘れることが出来ないのは平成２３年３月に発生した東日本大震災であります。地震による津波で沿岸部は甚大な被害をもたらしました。当大槌町も同様にバドミントン会員のほとんどが被災したことから、震災後半年を経過しても連絡すら取れない会員もおり、とてもバドミントンを出来る状況ではありませんでした。

しかしながら震災後に岩手県バドミントン協会よりラケットを始めシューズやＴシャツなど沢山の支援物資を頂戴し、当協会もバドミントンを再開するきっかけになった事を思い出します。この場をお借りして、岩手県バドミントン協会並びに各市町村協会のご厚意に対し心より御礼申し上げます。

当協会の活動でございますが、ご存じの様に震災後は町全体の人口も急激に減り、競技人数も限られていることから、社会人のみならず、中高校生とともに練習出来るような環境で活動しております。その甲斐あってか平成２４年には大槌中学生女子団体が２０数年ぶりとなる、釜石・大槌地区大会優勝を飾るなど、少し嬉しいニュースもありました。社会人の方はなかなか思うような成績を上げることは出来ておりませんが、とにかく楽しく健康のためにバドミントンを続けたいと言う仲間達で協会運営に取り組んで参りたいと思う次第です。

最後に、創立７０周年を迎えた岩手県バドミントン協会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

創立70周年記念表彰者名簿等

特別功労賞

No.	氏　名	居住地	功　労　の　概　要
1	杉田　忠光	北上市	長年にわたり理事長、副会長を務めた。特に各大会運営の基盤確立に貢献し、本県バドミントンの発展に尽力された。
2	白澤　國雄	盛岡市	長年にわたり理事長・副会長を務めた。特に創立５０周年のとりまとめに貢献し、本県バドミントンの発展に尽力された。
3	志村　正義	盛岡市	長年にわたり副会長を務めた。特に中体連の運営及び５０年史編集に貢献し、本県バドミントンの発展に尽力された。
4	佐々木彦士	盛岡市	長年にわたり理事長・副会長を務めた。特にジュニア強化及び高体連の運営に貢献し、本県バドミントンの発展に尽力された。

功　労　賞

No.	氏　名	推薦団体	功　労　の　概　要
1	伊藤　張二	県協会	高体連専門部委員長、希望郷いわて国体事務局を務めるなど、長年にわたり本県バドミントンの発展に尽力された。
2	鬼柳　孝夫	県協会	平成１８年から２３年まで理事長、平成２４年から副会長を務めるなど、長年にわたり本県バドミントンの発展に尽力された。
3	佐々木邦夫	県協会	平成２０年から監査を務めるなど、長年にわたり本県バドミントンの発展に尽力された。
4	鈴木　吉一	県協会	長年にわたり常務理事を務め事務局運営に貢献するなど、本県バドミントンの発展に尽力された。
5	髙田　　満	県協会	長年にわたり常務理事を務め、中体連の発展に貢献するなど、本県バドミントンの発展に尽力された。

「以上は５０音順」

No.	氏　名	推薦団体	功　労　の　概　要
5	齊藤　二三	盛岡市	長年にわたり、副会長など市協会役員を務めており、市協会の発展及びバドミントン競技の普及拡大に尽力した。
6	佐々木せつ子	盛岡市・シニア連盟	市協会では副会長、市婦人連盟では会長を務めており、市協会、市婦人連盟の発展及びレディースクラブの交流拡大に尽力している。東北シニア連盟発足当時から理事を務め、連盟の発展に尽力した。
7	川村　益広	花巻市	市協会競技委員長、理事長を歴任し、協会をまとめ花巻市の発展、中高生の指導育成に貢献した。
8	石崎　信彦		市協会理事長、副会長を歴任して協会をまとめ、花巻市の発展に貢献した。
9	多田美保子		永きにわたり中体連専門部で強化・普及に携わり、退職後も市協会の理事として中学生の強化、普及に努めた。
10	豊田　政弘	北上市	スポーツ少年団・北上ジュニア発足時より小学生から中学生までの指導に長年携わり、北上市のバドミントン発展に尽力した。
11	佐藤　清敏	奥州市	長年にわたり協会発展に尽力した。
12	柴田恵美子	久慈市	市協会副会長など長年にわたり役員を務め、市のバドミントンの普及発展に大いに貢献した。
13	澤里新市郎		市協会会長など長年にわたり役員を務め、市のバドミントン普及、発展に大いに貢献した。
14	千葉　惇	一関市	市協会創立から理事長、副会長、会長と歴任し、現在は顧問として市協会の発展と競技普及、若手の育成に大きく貢献している。
15	山口　泰廣	釜石市	長年にわたり市協会理事として、平成13年から21年まで市協会会長として協会の発展に尽力した。
16	及川　和男	紫波町	紫波町協会の会長として長年協会の運営に務め、競技の普及と協会発展に寄与した。
17	橋浦　久男	山田町	山田町協会の創立、並びに第38回を迎えた町民大会の開催に携わり、昭和58年以降は町協会の副会長及び会長としてバドミントンの普及に貢献した。
18	岡市　善敏		山田町協会設立以来、事務局長並びに指導者として町内におけるクラブの育成及び普及に尽力した。
19	菊地　亨	高体連	平成15年から28年まで県高体連専門部委員長を務めた。さらに全国の高体連専門部副部長に就いており、高体連バドミントン専門部の発展に尽力した。
20	澤頭　勝典		平成２５年から２７年まで県高体連専門部副委員長を務め、高体連バドミントン専門部の発展に尽力した。
21	樋口　賢一	中体連	昭和46年から56年に渡り、専門委員長を務めた。岩手県中学校体育連盟バドミントン競技専門部の礎を築いた。
22	加藤　純		平成3年から6年、平成10年から13年の計8年に渡り中体連専門委員長、平成30年から専門部長を務め、長年にわたり中学校体育連盟バドミントン競技専門部の発展に努めている。
23	佐藤　秀	教職員連盟	全国教職員大会を始め、多くの大会に参加しバドミントンの普及発展に貢献している。
24	宮崎　和子	レディース連盟	平成10年から平成22年まで理事長、平成23年から鵤26年まで副会長として県レディース連盟の運営に携わり、県レディースバドミントンの普及発展に大きく貢献した。
25	加藤　和子		平成10年から平成23年まで副理事長兼事務局長、平成24年から平成29年まで副会長として県レディース連盟の運営に携わり、県レディースバドミントンの普及発展に大きく貢献した。
26	村上みゆき		県小学生大会の運営とジュニアクラブの指導に長年尽力し、普及拡大に大きく貢献している。
27	高橋　善仁	小学生連盟	ジュニアクラブの指導者として長年尽力し、花巻市協会の発展に貢献している。矢沢ジュニア
28	大畑美喜男		ジュニアクラブの指導者として尽力し、沿岸地区での普及に貢献している。赤崎シャトルズスポーツ少年団
29	浅沼　良雄	シニア連盟	東北シニア連盟発足当時から理事を務め、連盟の発展に尽力した

優秀選手賞（全国大会優勝）

「1999 年～ 2018 年までの記録によるもの」「以下は年度順」「所属先は現所属先」

No.	氏　名	所　属　先	競　技　記　録	開催地
1	村　上　みゆき	盛　岡　市　協　会	1999.　第 16 回全日本シニア大会 40 歳以上単優勝	福　島　県
			1999.　第 16 回全日本シニア大会 40 歳以上複優勝	福　島　県
			2001.　第 18 回全日本シニア大会 40 歳以上単準優勝	神奈川県
			2001.　第 18 回全日本シニア大会 40 歳以上複準優勝	神奈川県
			2003.　第 20 回全日本シニア大会 45 歳以上複準優勝	鳥　取　県
			2003.　第 20 回全日本シニア大会 45 歳以上単3位	鳥　取　県
			2004.　第 21 回全日本シニア大会 45 歳以上複準優勝	山　形　県
			2006.　第 24 回全日本シニア大会 45 歳以上複３位	北　海　道
2	橋　本　由　衣	ＮＴＴ　東　日　本	2000.　第 1 回全国 ABC 大会 3.4 年の部女子単３位	栃　木　県
			2000.　第 9 回全国小学生４年以下の部女子単３位	埼　玉　県
			2008.　第 37 回東北高等学校女子複優勝	天　童　市
			2008.　第 59 回全国高等学校女子単３位	埼　玉　県
			2008.　第 59 回全国高等学校女子複３位	埼　玉　県
			2009.　第 52 回全日本社会人女子複準優勝	千　葉　県
			2012.　ロシアオープン単優勝	ロ　シ　ア
			2012.　第 55 回全日本社会人女子単優勝	北　海　道
			2014.　大阪インターナショナル女子単優勝	大　阪　府
			2014.　全日本総合選手権女子単３位	東　京　都
			2015.　インドネシアオープン単準優勝	インドネシア
3	伊　藤　張　二	北　上　市　協　会	2003.　第 42 回全日本教職員 50 歳男子単優勝	宮　崎　県
			2004.　第 43 回全日本教職員 50 歳男子単優勝	島　根　県
			2007.　第 46 回全日本教職員 50 歳男子複３位	長　崎　県
			2008.　第 47 回全日本教職員 50 歳男子複３位	茨　城　県
			2013.　第 52 回全日本教職員 60 歳男子単優勝	宮　崎　県
			2014.　第 53 回全日本教職員 60 歳男子複３位	東　京　都
4	横　手　智江美	雫　石　町　協　会	2011.　全日本シニア大会 40 歳以上女子単優勝	愛　媛　県
			2013.　全日本シニア大会 45 歳以上女子単優勝	愛　媛　県
			2014.　全日本シニア大会 45 歳以上女子単優勝	愛　知　県
			2015.　全日本シニア大会 45 歳以上女子単優勝	福　井　県
			2016.　全日本シニア大会 45 歳以上女子単優勝	東　京　都
			2017.　全日本シニア大会 45 歳以上女子単優勝	石　川　県
			2009.　第 61 回東北大会壮年女子複優勝	黒　石　市
			2013.　第 65 回東北大会壮年女子複優勝	奥　州　市
			2014.　第 66 回東北大会壮年女子複優勝	福　島　県
			2015.　第 67 回東北大会壮年女子複優勝	北　上　市
			2018.　第 70 回東北大会壮年女子複優勝	塩　釜　市
5	筑　後　恵　太	明　治　大　学	2013.　第 43 回全国中学校選手権男子複優勝	静　岡　県
			2014.　第 44 回全国中学校選手権男子単３位	愛　媛　県
			2016.　第 35 回 JOC 全日本ジュニア男子複準優勝	愛　媛　県
			2017.　第 68 回全国高等学校男子複準優勝	山　形　県
6	藤　澤　佳　史	聖ウルスラ学院英智高等学校	2013.　第 22 回東北小学生６年男子単準優勝	青　森　県
			2016.　第 37 回東北中学生選手権男子単準優勝	青　森　県
			2018.　第 47 回東北高等学校男子複優勝	花　巻　市
			2018.　第 37 回 JOC 全日本ジュニア男子複優勝	長　野　県
7	菊　池　　敏	奥　州　市　協　会	2014.　全日本シニア大会 60 歳以上男子複準優勝	愛　知　県
			2015.　全日本シニア大会 60 歳以上男子複優勝	福　井　県
			2018.　全日本シニア大会 65 歳以上混合複３位	愛　知　県

※　優秀選手賞は、岩手県出身選手の全国大会優勝を対象とした

全国大会・東北大会活躍者

「1999年～2018年の記録によるもの」「年度順」

No.	氏名	所属先	競技記録	開催地
1	昆　和秀	矢巾中学校	1999. 第21回東北中学校大会複優勝	黒石市
2	佐々木和紀	矢巾中学校	1999. 第21回東北中学校大会複優勝	黒石市
3	阿部佳子	盛岡市協会	2001. 第40回全日本教職員30歳女子複3位	福岡県
			2002. 第41回全日本教職員30歳女子単3位	山梨県
			2002. 第41回全日本教職員30歳女子複3位	山梨県
			2003. 第42回全日本教職員30歳女子複3位	宮崎県
			2005. 第44回全日本教職員30歳女子複3位	栃木県
4	石川　聡	奥州市協会	2001. 第53回東北大会壮年男子複優勝	白河市
5	小野寺浩子	北上市協会	2001. 第40回全日本教職員30歳女子複3位	福岡県
			2002. 第41回全日本教職員40歳女子単3位	山梨県
			2002. 第41回全日本教職員30歳女子複3位	山梨県
			2003. 第42回全日本教職員40歳女子単3位	宮崎県
6	菊地生昭	奥州市協会	2001. 第53回東北大会壮年男子複優勝	白河市
			2005. 第57回東北大会壮年男子単優勝	美郷町
			2016. 第68回東北大会高年男子複優勝	黒石市
7	神山龍之介	清田スポ少	2001. 第10回東北小学校5年男子複優勝	秋田県
			2002. 第11回東北小学校6年男子複優勝	岩手県
8	鈴木太智	清田スポ少	2001. 第10回東北小学校5年男子複優勝	秋田県
			2002. 第11回東北小学校6年男子複優勝	岩手県
9	篠原宏季	都南ジュニアフューチャーズ	2002. 第11回東北小学校4年男子単優勝	岩手県
			2004. 第13回東北小学校6年男子単優勝	宮城県
10	砂子田裕美（旧姓及川）	北上市協会	2002. 第41回全日本教職員30歳女子単準優勝	山梨県
			2003. 第42回全日本教職員30歳女子単準優勝	宮崎県
			2003. 第42回全日本教職員30歳女子複3位	宮崎県
			2005. 第44回全日本教職員30歳女子複3位	栃木県
			2006. 第45回全日本教職員30歳女子単3位	京都府
11	上川原　祥	矢巾中学校	2002. 第24回東北中学校男子複優勝	山形市
12	松浦　翔	ヨネックス	2002. 第24回東北中学校男子複優勝	山形市
			2005. 第34回東北高等学校男子複優勝	青森市
			2008. 第59回全日本学生男子複3位	石川県
13	佐々木翔太	花巻清風支援学校	2003. 第25回東北中学校単優勝	奥州市
			2006. 第35回東北高等学校男子単優勝	美郷町
14	川内崇士	千葉県協会	2003. 第32回東北高等学校男子単優勝	福島市
			2003. 第32回東北高等学校男子複優勝	福島市
			2003. 第54回全国高等学校男子単3位	長崎県
			2005. 第56回全日本学生男子単3位	愛知県
			2007. 第59回東北大会青年男子単優勝	猪苗代町
15	渡邉清一	花巻市協会	2003. 第55回東北大会成年男子単優勝	黒石市
			2004. 第56回東北大会成年男子単優勝	北上市
			2010. 第62回東北大会壮年男子複優勝	北上市
			2010. 第62回東北大会壮年男子単優勝	北上市
16	小笠原　渓	フライングシャトラーズ	2004. 第13回東北小学校5年女子複優勝	宮城県
17	小笠原　理	フライングシャトラーズ	2004. 第13回東北小学校5年女子複優勝	宮城県
18	菊地　亨	奥州市協会	2005. 第44回全日本教職員30歳男子複準優勝	栃木県
19	柳原　賢	・関市協会	2005. 第44回全日本教職員30歳男子複準優勝	栃木県
			2018. 第57回全日本教職員40歳男子複準優勝	愛知県
			2017. 第56回全日本教職員40歳男子複準優勝	福島県

No.	氏名	所属先	競技記録	開催地
20	玉山美紗 (旧姓伊藤)	盛岡市協会	2006. 第28回東北中学校女子単優勝	会津若松市
			2007. 第29回東北中学校女子単優勝	一関市
21	佐藤慎也	奥州市協会	2008. 第60回東北大会成年男子複優勝	鶴岡市
			2012. 第64回東北大会壮年男子単優勝	黒石市
			2013. 第65回東北大会壮年男子単優勝	奥州市
			2014. 第66回東北大会壮年男子単優勝	福島市
22	髙田満	盛岡市協会	2008. 第47回全日本教職員50歳男子複3位	茨城県
			2017. 第34回全日本シニア大会60歳以上複3位	石川県
23	高橋英樹	北上市協会	2008. 第60回東北大会成年男子複優勝	鶴岡市
24	石川明美	奥州市協会	2009. 第61回東北大会壮年女子複優勝	黒石市
25	渡邉ひらり	前田ジュニア	2009. 第9回全国ABC大会1.2年の部女子単3位	熊本県
26	石川貴寛	仙建工業	2010. 第62回東北大会混合複優勝	北上市
			2013. 第65回東北大会混合複優勝	奥州市
27	久慈友也	浪岡高等学校	2010. 第10回全国ABC大会3.4年の部男子単3位	熊本県
28	戸田益美 (旧姓川村)	花巻市協会	2010. 第62回東北大会混合複優勝	北上市
29	佐々木邦夫	盛岡市協会	2011. 第50回全日本教職員60歳男子複3位	愛媛県
			2012. 第51回全日本教職員65歳男子単3位	長野県
			2012. 第51回全日本教職員60歳男子複3位	長野県
			2013. 第52回全日本教職員65歳男子単準優勝	宮崎県
			2013. 第52回全日本教職員65歳男子複3位	宮崎県
			2015. 第54回全日本教職員65歳男子複準優勝	奈良県
			2016. 第55回全日本教職員65歳男子複3位	鳥取県
			2017. 第56回全日本教職員65歳男子複3位	福島県
30	佐藤秀	一関市協会	2011. 第50回全日本教職員60歳男子複3位	愛媛県
			2012. 第51回全日本教職員60歳男子複3位	長野県
			2013. 第52回全日本教職員65歳男子複3位	宮崎県
			2015. 第54回全日本教職員65歳男子複準優勝	奈良県
			2016. 第55回全日本教職員65歳男子複3位	鳥取県
			2017. 第56回全日本教職員65歳男子複3位	福島県
31	熊谷安乃	北上市協会	2013. 第65回東北大会混合複優勝	奥州市
32	菊池美杉 (旧姓池端)	釜石市協会	2013. 第65回東北大会壮年女子複優勝	奥州市
			2014. 第66回東北大会壮年女子複優勝	福島市
			2015. 第67回東北大会壮年女子複優勝	北上市
			2018. 第70回東北大会壮年女子複優勝	塩釜市
33	廣瀬宏一	岩手大学	2014. 第53回全日本教職員60歳男子複3位	東京都
34	藤原里菜	ハイタッチジュニア	2015. 第24回東北小学校5年女子単優勝	宮城県
35	伊藤俊幸	北上市協会	2015. 第67回東北大会成年男子複優勝	北上市
36	高橋大吉	北上市協会	2015. 第67回東北大会成年男子複優勝	北上市
37	菊地裕太	東北マークス	2016. 第68回東北大会青年男子単優勝	黒石市
			2017. 第69回東北大会青年男子単優勝	美郷町
38	藤澤正幸	盛岡市協会	2016. 第68回東北大会高年男子複優勝	黒石市
39	村上晃	プリティグローバルリンクス	2016. 第67回全日本学生女子複準優勝	千葉県
40	佐藤史隆	湯口ジュニア	2017. 第26回東北小学校6年男子複優勝	山形県
41	平賀翔太	湯口ジュニア	2017. 第26回東北小学校6年男子複優勝	山形県
42	北野和敏	釜石市協会	2017. 第34回全日本シニア大会60歳以上複3位	石川県
43	畠山崇	北上市協会	2017. 第56回全日本教職員40歳男子複準優勝	福島県
			2018. 第57回全日本教職員40歳男子複準優勝	愛知県
44	古川佳奈	AC長野パルセイロ	2017. 第68回全日本学生女子単3位	愛知県
45	宮田真由美	北上市協会	2017. 第56回全日本教職員50歳女子単3位	福島県
46	畠山来望	ハイタッチジュニア	2018. 第19回全国ABC大会1.2年の部女子単3位	熊本県
47	畠山想来	ハイタッチジュニア	2018. 第27回全国小学生大会女子4年生以下単3位	東京都
48	和田五郎	滝沢市協会	2018. 第35回全日本シニア大会75歳以上複準優勝	愛知県

※　岩手県出身選手として、全国大会3位以内入賞、東北大会で優勝した者

競技会記録

国民体育大会　岩手県選手団名簿

年度	回数	開催地	種目	監督名	選手名
昭和24年(1949)	4	東京都	個人戦オープン	道又貞男	古川　公也　川手　健二　山本　益生　安本　衛 伊藤　妙子　高橋　福子　の選手6名 （一般男子、女子、高校男子2名）
昭和25年(1950)	5	愛知県名古屋市	この年から正式採点種目となる。		
			一般男子 高校男子 高校女子	千葉知行	八木橋伸夫　熊谷　佐一　川村　権治　福本　善一 中野　昌造　新道　拓美　安本　衛　山本　益生 似鳥　一子　藤村　弘子　伊藤　妙子　須藤美代子
昭和26年(1951)	6	広島県広島市	一般男子 高校男子 高校女子	道又貞男	福本　善一　中野　昌造　山本　益生 柴内　悦博　山田　幸久　丁子　淳 小野寺京子　三浦　礼子　宮城　栄
昭和27年(1952)	7	宮城県仙台市	一般男子 高校男子 高校女子	川手健二 川村仙二	山本　益生　柴内　悦博 山田　幸久　向井田慶蔵 三浦　礼子　宮城　栄　川井　勇子
昭和28年(1953)	8	香川県善通寺市	一般男子 高校男子	川村仙二	丁子　淳　柴内　悦博　高橋　護 菊池　洋交　加藤　雅司　山本　裕司
昭和29年(1954)	9	北海道札幌市	一般男子	布施保雄	水谷　政雄　福本　善一
昭和30年(1955)	10	神奈川県横浜市	一般女子と高校男女はこの年からブロック予選が行われ東北予選を通らなければ国体に出場出来なくなった。		
			一般男子	川村仙二	水谷　政雄　宇野　昌造　中村　光
昭和31年(1956)	11	兵庫県神戸市	一般男子	中野昌造	村守　英男　水谷　政雄　高橋　功
昭和32年(1957)	12	静岡県富士市	一般男子	山田幸久	水谷　政雄　村守　英男　高橋　宣夫
昭和33年(1958)	13	富山県高岡市	一般男子	川村仙二	村守　英男　佐々木隆夫　中村　光
昭和34年(1959)	14	東京都足立区	教員男子の部新設		
			一般男子	油井秀男	村守　英男　佐々木隆夫　高橋　宣夫
昭和35年(1960)	15	熊本県菊池市	一般男子	古川公也	村守　英男　佐々木隆夫　高橋　宣夫
昭和36年(1961)	16	秋田県象潟町	一般男子	佐々木隆夫	千葉　幸弥　高橋　忠夫　梶田　幹雄
昭和37年(1962)	17	岡山県倉敷市	一般男子	中村　光	千葉　幸弥　高橋　忠夫　梶田　幹雄
昭和38年(1963)	18	山口県下関市	一般男子	太田信雄	高橋　忠夫　白澤　國雄　小原　茂
昭和39年(1964)	19	新潟県三条市	一般男子	村守英男	白澤　國雄　細野健次郎　及川　靖

年度	回数	開催地	種目	監督名	選手名
昭和 40 年 (1965)	20	岐阜県 岐阜市	一般男子	杉田忠光	白澤　國雄　石川　瑞彦　及川　好
昭和 41 年 (1966)	21	大分県 日田市	一般男子	高橋宣夫	及川　好　本多　三郎　白澤　國雄
昭和 42 年 (1967)	22	埼玉県 越谷市	一般男子	金原良史	及川　好　及川　靖　吉田　寛
昭和 43 年 (1968)	23	福井県 勝山市	一般男子	太田信雄	金原　良史　吉田　寛　及川　好
昭和 44 年 (1969)	24	長崎県 諫早市	一般男子 一般女子	太田信雄 白澤國雄	金原　良史　吉田　寛　伊藤　誠 寺島　悦子　及川　恵子　斉藤せつ子
昭和 45 年 (1970)	25	岩手県 釜石市	総合優勝		
			一般男子 教具男子 一般女子 高校男子 高校女子	高橋道夫 志村正義 白澤國雄 高橋忠夫 細野健次郎	金原　良史　吉田　寛　伊藤　誠 佐々木彦士　佐々木邦夫　永沢　和彦 斉藤せつ子　及川　恵子　山内　幸子 高橋　信夫　佐藤　壮　佐藤　吉雄 洞口美奈子　伊藤　洋子　小野寺礼子
昭和 46 年 (1971)	26	和歌山県 湯浅町	一般男子 教員男子	高橋道夫 竹林克彦	佐倉　和明　金原　良史　鬼柳　孝夫 佐々木彦士　佐々木邦夫　清水　秀裕
昭和 47 年 (1972)	27	鹿児島県 鹿児島市	一般男子	斉藤謙一	鬼柳　孝夫　高橋　道夫　金原　良史
昭和 48 年 (1973)	特別 国体	沖縄県 石垣市	一般女子	竹林克彦	斉藤せつ子　宮本真知子　小笠原孝子
昭和 48 年 (1973)	28	千葉県 茂原市	一般男子	杉田忠光	高橋　道夫　斎藤　謙一　阿部　哲夫
昭和 49 年 (1974)	29	茨城県 石岡市	一般男子	本多三郎	鬼柳　孝夫　高橋　道夫　阿部　哲夫
昭和 50 年 (1975)	30	三重県 松阪市	この年より、種目名称変更、また、成年男子は、一般男子と教員男子に分かれた。		
			一般男子	高橋利行	金原　良史　鬼柳　孝夫　高橋　道夫
昭和 51 年 (1976)	31	佐賀県 牛津町	この年より、ナショナルチームメンバーは出場できなくなる。		
			一般男子	本多三郎	高橋　道夫　橋本　三司　高橋　信夫
昭和 52 年 (1977)	32	青森県 波岡町	一般男子	小田島祐一	鬼柳　孝夫　豊田　政弘　村上　信夫
昭和 53 年 (1978)	33	長野県 塩尻市	一般男子	古舘盛助	鬼柳　孝夫　村上　信夫　伊藤　雅博
昭和 54 年 (1979)	34	宮崎県 西都市	教員男子	杉田忠光	佐々木彦士　佐々木邦夫　髙田　満
昭和 55 年 (1980)	35	栃木県 真岡市	この年より、教員男子部門廃止、ただし、１名教員を入れる。また、県単独出場が持ち回りとなる。		
			成年女子 成年男子	志村正義 鬼柳孝夫	渡辺みゆき　小西　孝子　菊地　文子 村上　信夫　石川　聡　伊藤　張二
昭和 56 年 (1981)	36	滋賀県 大津市	少年男子 成年男子 成年女子	鬼柳孝夫 佐藤政由 白澤國雄	阿部　慎哉　菊池　信行　岩渕　浩 伊藤　張二　伊藤　一郎　菊地　生昭 渡辺みゆき　小西　孝子　高橋　浩子

年度	回数	開催地	種目	監督名	選手名		
昭和57年(1982)	37	島根県大東町	この年より、教員1名を入れる規制廃止。				
			少年女子	伊藤張二	佐藤　雅子	菊池あけみ	菅原　明美
			成年男子	鬼柳孝夫	伊藤　一郎	石川　聡	佐藤　彰彦
			成年女子	白澤國夫	渡辺みゆき	小西　孝子	武田さなえ
昭和58年(1983)	38	群馬県桐生市	成年男子	鬼柳孝夫	伊藤　一郎	石川　聡	佐藤　彰彦
昭和59年(1984)	39	奈良県田原本町	成年女子	杉田忠光	武田さなえ	菅原　明美	佐藤めぐみ
昭和60年(1985)	40	鳥取県大栄町	少年男子	及川清克	阿部　仁	高野橋　健	渡邉　清一
昭和61年(1986)	41	山梨県勝沼町	成年男子	村上信夫	伊藤　一郎	石川　聡	佐藤　彰彦
			少年女子	伊藤張二	斉藤美由紀	畠山富士子	照井亜希子
昭和62年(1987)	42	沖縄県糸満市	成年男子	村上信夫	伊藤　一郎	石川　聡	佐藤　彰彦
			少年男子	鬼柳孝夫	渡邉　清一	中沢　毅	菊地　敏幸
昭和63年(1988)	43	京都府長岡京市	2巡目に入り、得点集計方法変更、競技種目の得点がそのままその県の得点に累計				
			成年女子	白澤国雄	村上みゆき	武田さなえ	斉藤美由紀
平成元年(1989)	44	北海道登別市	少年男子	石川　淳	古舘　英樹	佐藤　理光	佐藤　慎也
平成2年(1990)	45	福岡県筑紫野市	成年女子	鬼柳孝夫	村上みゆき	武田さなえ	石川　明美
			少年女子	永澤和彦	池端　美杉	佐藤　明美	佐藤のぞみ
平成3年(1991)	46	石川県美川町	成年男子	伊藤一郎	石川　聡	菊地　生昭	小野寺義文
平成4年(1992)	47	山形県新庄市	成年女子	鬼柳孝夫	菊地　洋子	武田さなえ	石川　明美
平成5年(1993)	48	香川県坂出市	少年男子	足利　勉	桐山　英夫	吉田　徳秀	阿部　鉄也
平成6年(1994)	49	愛知県大府市	成年女子	佐藤彰彦	谷地　春子	谷藤さなえ	石川　明美
			少年女子	鈴木　俊	野口美奈子	藤原　優子	阿部　梨香
平成7年(1995)	50	福島県白河市	この年より、大学生が出身高校の地元県より出場できるようになった。また、ナショナルメンバーも出場できるようになった。				
			成年男子	畠山静夫	菊地　亨	小原　智雄	佐藤　慎也
			成年女子	佐藤彰彦	谷地　春子	池端　美杉	及川　裕美
平成8年(1996)	51	広島県三原市	成年女子	石川　聡	谷地　春子	池端　美杉	松田奈央子
平成9年(1997)	52	大阪府大東市	少年男子	菊地　亨	伊藤　俊幸	川村　忠広	菅原　[illegible]由
平成10年(1998)	53	神奈川県大和市	少年女子	菊地　亨	小野　道代	佐藤　奏恵	柿沼　裕美
平成11年(1999)	54	熊本県八代市	成年男子	畠山静夫	佐藤　慎也	宍戸　朋夫	伊藤　俊幸
平成12年(2000)	55	富山県高岡市	成年男子	石川　聡	佐藤　慎也	宍戸　朋夫	川村　忠広

年度	回数	開催地	種目	監督名	選手名
平成13年 (2001)	56	宮城県 塩竈市	成年女子 少年男子 少年女子	鈴木広志 佐藤　秀 菊地　亨	谷地　春子　池端　美杉　野口美奈子 小山　　学　小松　武司　宮川　　真 川村　益美　千葉　孝美　青沼　裕美
平成14年 (2002)	57	高知県 南国市	成年男子 少年女子	石川　聡 阿部佳子	佐藤　慎也　髙橋　英樹　宍戸　朋夫 村上　　桂　那須真由子　浅沼　幸恵
平成15年 (2003)	58	静岡県 富士宮市	成年女子 少年男子	石川　聡 菊地　亨	谷地　春子　渡邉妃佐子　川村　益美 高橋　　慎　千田　祐也　小原　弘俊
平成16年 (2004)	59	埼玉県 久喜市	成年男子 少年女子	石川　聡 菊地　亨	渡邉　清一　佐藤　慎也　川村　忠広 吉岡絵理奈　小田島知美　田鎖　志穂
平成17年 (2005)	60	岡山県 岡山市	成年女子 少年男子	石川　聡 菊地　亨	谷地　春子　池端　美杉　川村　益美 千田　拓也　中塚　粧太　岩渕　勇輝
平成18年 (2006)	61	兵庫県 宝塚市	成年男子 少年女子	石川　聡 渡邉清一	亀ケ森　有　松浦　　翔　村上　竜也 阿部由香里　石川　温美　内藤　　舞
平成19年 (2007)	62	秋田県 美郷町	成年男子 成年女子	石川　聡 鈴木広志	松浦　　翔　村上　竜也　佐々木翔太 川村　益美　石川　恵理　田鎖　志穂
平成20年 (2008)	63	大分県 日田市	成年男子 少年女子	石川　聡 渡邉清一	松浦　　翔　村上　竜也　佐々木翔太 熊谷　安乃　齊藤　奈穂　高橋　　南
平成21年 (2009)	64	新潟県 五泉市	少年男子	菊地　亨	外川　真樹　玉山　　駿　藤谷　誠仁
平成22年 (2010)	65	千葉県 野田市	成年男子 少年女子	鈴木広志 渡邉清一	松浦　　翔　石川　貴寛　鈴木　秀治 上野　美咲　石畠　由美　田鎖　沙耶
平成23年 (2011)	66	山口県 光市	成年女子 少年男子	石川　聡 菊地　亨	川村　益美　上野　美咲　田鎖　沙耶 室岡　大晶　菊地　裕太　筑後　　和
平成24年 (2012)	67	岐阜県 池田町	成年男子 少年女子	石川　聡 渡邉清一	亀ケ森　有　松浦　　翔　石川　貴寛 玉山　　巴　古川　佳奈　髙橋　　咲
平成25年 (2013)	68	東京都 町田市	少年男子	菊地　亨	菊地　裕太　木村　大均　筑後　　和
平成26年 (2014)	69	長崎県 長崎市	成年男子 少年女子	石川　聡 渡邉清一	石川　貴寛　室岡　大晶　菊地　裕太 畠山　静花　中島　　葵　松好　奏海
平成27年 (2015)	70	和歌山県 岩出市	成年女子 少年男子	外川正昭 菊地　亨	古川　佳奈　髙橋　　咲　齊藤　佳奈 軽石　直人　田村　汰稀　菊地　拓也
平成28年 (2016)	71	岩手県 北上市	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	石川　聡 外川正昭 菊地　亨 渡邉清一	石川　貴寛　佐々木翔太　菊地　裕太 齊藤　佳奈　古川　佳奈　畠山　静花 軽石　直人　田村　汰稀　菊地　拓也 金野　夕香　藤井　　愛　松好　奏海
平成29年 (2017)	72	愛媛県 砥部町	少年男子	渡邉清一	菊地拓也　佐藤真心　千田壱郎
平成30年 (2018)	73	福井県 勝山市	成年男子	鈴木広志	石川貴寛　藤谷誠仁　菊地拓也

全国高等学校総合体育大会バドミントン競技（インターハイ）参加者名簿

年度	回数	開催地	学校名	監督 コーチ名	選手名（数字は学年、Dは個人複、Sは個人単に出場、●は主将）
昭和25年 (1950)	1	横浜市	一関高 盛岡高 千厩高 盛岡白梅		橋本元満　加賀　敬　上野幾生　中井憲一 向井田慶蔵　柴内悦博　山田幸久　石澤　昭　丁字　惇 高橋昭八　北村千治　金野昭男　村上一夫 小野寺京子　三浦禮子　宮城榮子
昭和26年 (1951)	2	札幌市	盛岡二高 盛岡市女	及川裕子 川村仙二	三浦禮子３　宮城榮子３ 川井勇子３　小林妙子３
昭和27年 (1952)	3	善通寺町	盛岡市立	川村仙二	佐藤キヱ３　齊藤全代２　村上　晶子２
昭和28年 (1953)	4	山形市	遠野高 盛岡二高 盛岡市立 盛岡二高	飛内正一 川村仙二	佐々木恭二３　菊地洋交３　丸山信夫２　古里強一２ 斎藤文男２ 笹田宣昭３　藤井浩示３　瀬川英一３　中村浩彦３ 渡辺俊政２　向口松三２ 斎藤全代３　村上昌子３ 小枝指スミ子３　初貝直子３　片桐栄子３　田鎖香代２
昭和29年 (1954)	5	金沢市	盛岡一高 盛岡二高 盛岡二高	安田幸保 浅沼輝国 浅沼輝国	○石川雅司３　遠畑浩紀３　丁子　睦２　内藤　茂２ ○渡辺俊正３　松本喜一３　吉田国雄２　佐々木隆夫２ 堀内富夫１ ○佐賀恵子３　大山怜子２　鈴木千恵子３　戸沢則子３
昭和30年 (1955)	6	神戸市	岩谷堂高 岩谷堂高 盛岡市立	伊藤匡矣 伊藤匡矣 川村仙二	菊池静男3SD　千葉幸彌3SD　伊勢　研３　及川芳夫 川口節子3SD　八重樫美夜子3D　佐藤容子２　小原キヌ子２ 亀田京子3SD　宮台恭子3D
昭和31年 (1956)	7	仙台市	盛岡二高 盛岡一高 岩谷堂高 黒沢尻南 盛岡市立 岩谷堂高	浅沼輝国 安田幸保 砂子田智堅 英　大礼 川村仙二 砂子田智堅	長沼三千雄3D　佐藤育生３　沢田藤蔵3D　太田順康２ 藤井　忠２　長井貞久２ 加茂和夫3D　戸沢達夫3D 菊地正美3S 高橋忠夫2S 石上シゲ子３　岩清水節子３　山形喜代子3SD　宮野朝子3D 山口和子２　森　孝子２　熊谷富美枝２ 佐藤容子3SD　小原キヌ子3D
昭和32年 (1957)	8	松江市	前沢高 盛岡二高 盛岡一高 釜石高 黒沢尻南 千厩高	佐藤フジエ 大木　実 萩野則子 英　大礼 皆川三男	○菅原　毅３　門脇勝志3SD　今野　晃3S　佐藤泰彦２ 長内貞久3D　太田順康3D 太田信雄3S ○野村京子3SD　菊地多喜子3D　佐々木和子３　八重樫ワキ子３ 半沢和子2D　高橋千枝2D 小岩富代子3S
昭和33年 (1958)	9	新潟市	岩谷堂高 盛岡一高 前沢高 岩谷堂高 黒沢尻南 盛岡二高	砂子田智堅 黒井恭平 及川昌克 砂子田智堅 英　大礼 大木　実	○伊藤孝治３　小野耕裕２　及川　知３　千葉　実１ 鈴木　薫１ 吉田泰治3D　丹治俊朗3D　斎藤英輝3D　野々村勉2D 佐藤恭彦3S ○梅田和子３　浅田睦子３　前田陽子２　小原徳子１ 半沢和子3SD　高橋千枝3D 寺田正子3SD　外川恵美子3D

年度	回数	開催地	学校名	監督 コーチ名	選手名（数字は学年、Dは個人複、Sは個人単に出場）
昭和34年 (1959)	10	会津若松市	盛岡一高 前沢高 前沢高 釜石高 盛岡二高	黒井恭平	野々村　勉3S　白澤國雄3D　吉田孝良3D　長嶺将信3D 石川瑞彦2　阿部剛己2　斎藤隆司2 佐々木　勲3S 大内幸子3S　菊地洋子3　星きみ子3　佐々木かな子3 門脇篤子2 岩間和子3D　川村節子3D 江柄慶子3SD　佐々木耕子3D
昭和35年 (1960)	11	久留米市	盛岡一高 盛岡二高 一ノ関一高 釜石高 盛岡市立 釜石高	高橋忠郎 千田千恵子 川村仙二	石川瑞彦3D　阿部剛己3D　斉藤隆二3　小林潔2 村野韶映2 篠谷　弘3D　志村正義3D 咲山久直3S 沼里敬夫3S 高橋雅子3S　向井田妙子3S　菊地裕子3　菊地良子3 吉田千住子3 草岡小代子3D　佐々木節子3D
昭和36年 (1961)	12	弘前市	千厩高 盛岡一高 釜石高 盛岡二高 盛岡市立 釜石高	皆川三男 高橋忠郎 上林　博 蛇口平四郎 佐々木隆夫 上林　博	佐藤武一3　千葉　勤3S　高橋英昭3　葛巻　清3 小林　潔3SD　村野韶映3D 阿部佑輝3D　柏館　豪3D 平野郁子3　浪瀬静子3D　菊地牧子3D　江川雅子3 斎藤洋子2　阿部光子2　細田克子2 下河原信子2S 千葉サツ子3D　笹間尚子3D
昭和37年 (1962)	13	高岡市	盛岡一高 盛岡市立 黒沢尻北 盛岡市立 千厩高	高橋忠郎 佐藤春生 高田　諭 佐藤春生 白澤國雄 皆川三男	佐藤正士3D　松見宣成3SD　大平秀夫3　遠藤行哉2 中田政春2　佐々木彦士1 渡辺武文3D　山本二郎3D 金原良史3S 下河原信子3SD　白沢和子3D　菊池悠子3　三浦郁子2 鈴木佳子2 渡辺泰子3D　鈴木カツ子3SD
昭和38年 (1963)	14	鶴岡市	岩谷堂高 北上商高 岩谷堂農 盛岡二高 岩谷堂高	伊藤匡矣 高橋仙一 砂子田智堅 猿川清吉 杉田忠光 伊藤匡矣	佐々木光彦3D　及川三男3　千葉建夫3D　菊池越郎3 伊藤　昇2 及川　靖3SD　後藤郁夫2D 菊地保福3S 山本エサ3D　横沢敬子3D　村井美雪3SD　山本美耶子3D 小川優子2　浅沼多香子2　箭川節子2 高橋建子3S
昭和39年 (1964)	15	京都市	専修北上 盛岡一高 千厩高 千厩高 盛岡市立	高橋仙一 関　光子 高橋忠郎 加藤公男 加藤公男 鈴木茂寿	吉田　寛3D　金子俊正3D　後藤郁夫3　星　仁3 岩沢秀雄2　伊藤富雄2　鬼柳孝夫2 佐々木彦士3D　佐々木邦夫3SD 佐藤勇一3S 菅原栄子3SD　村上和子3SD　村上法子3　三浦春江3 飯岡淳子3SD　岩泉憲子3D
昭和40年 (1965)	16	熊本市	専修北上 水沢商高 花巻農高 盛岡一高 盛岡白百合 盛岡市立 黒沢尻南	小田島裕一 上関智鼎 小田島法雄 高橋忠郎 豊田克雄 堀口真子 田口庸吉 田口庸吉	伊藤富雄3　鬼柳孝夫3　高島正幸3　佐藤和男2 千葉和義3SD　渡辺信一郎3D 高橋英雄3D　久保田友義3D 高橋康行3S 山本キヌエ3D　藤沢一子3D　菊池篤子2　谷藤祐子2 藤村洋子1 佐藤葉子3SD　佐藤洋子3D 斎藤真喜子3S

年度	回数	開催地	学校名	監督 コーチ名	選手名（数字は学年、Dは個人複、Sは個人単に出場）
昭和41年 (1966)	17	弘前市	岩谷堂 大迫高 専修北上 黒沢尻南 千厩高 白百合	鶴見幸之助 山平松夫 小田島祐一 高橋昭男 川村仙二 加藤公男 豊田克雄	菊池修一 3S　菊池和典 3S　中井康雄 3　渡辺幸一 3 坂井明雄 3　渡辺正泰 3　佐藤正吉 3 平沢石郎 3D　佐藤　司 3D 熊谷豊太郎 3D　佐藤和男 3D 岳間沢恵子 3S　斎藤和子 3D　菊池静子 3D　佐藤貞子 2 斎藤幸枝 2　菅原文子 2　亀甲秋子 2 斎藤せつ子 2S 菊地篤子 3D　谷藤裕子 3D
昭和42年 (1967)	18	金沢市	東和高 千厩高 盛岡一高 盛岡市立 千厩高 白百合	原田武信 加藤公男 高橋史郎 松尾良一 細野健次郎 星　美知子 加藤公男 菅原素子	薄衣久明 3D　佐藤雄二 3D　瀬川寿男 3　藤原　博 3 中江俊哲 2　及川雄司 2 熊谷正一 3SD　金野裕一 3D 西川佳夫 3S 山内幸子 3SD　吉田幸子 3D　松尾幸枝 3　阿部賀津子 3 日向陽子 2　向井田あい子 2　池野正子 2 斎藤せつ子 3D　藤代初江 3D 藤村洋子 3S
昭和43年 (1968)	19	福山市	専修北上 花巻農高 千厩高	小田島祐一 高橋進一郎 高橋貞雄 鈴木龍助	熊谷　徹 3D　斎藤謙一 3D　高橋道夫 3S　小田島孝幸 2 佐藤達昭 2　高屋敷一夫 2 桜田直美 3SD 渕沢一春 3D 鈴木悦子 3SD　永沢恵子 3SD 小野洋子 3D　千葉きよ子 3D 金今芳江 3　遠藤栄子 3　谷田かつ子 3
昭和44年 (1969)	20	桐生市	盛岡四高 専修北上 黒沢尻北 盛岡商高 千厩高 一関修紅 盛岡四高	出羽振治 山口美知子 小田島祐一 中村　敢 鈴木龍助 斎藤せつ子 佐々木彦士 小野寺照子 平賀唯男	霞　和正 3D　近藤敏彦 3D　吉田　収 3　川村省三 3 千葉　和彦 3 佐藤　達昭 3D　高橋誠二 3D 菅野　好文 3S 熊谷　康文 3S 千葉ふみ子 3　藤野あい子 3S　藤原とし子 3　白石光枝 2 菊地文子 2　遠藤房子 1　千葉千賀子 1 佐々木洋子 3S 竹田和子 3D　馬場三枝子 3D　柿沼浩子 3D　高橋照美 3D
昭和45年 (1970)	21	名古屋市	専修北上 岩谷堂高 黒沢尻北 釜石南高 黒沢尻南 前沢高 千厩高	小田島祐一 佐々木彦士 押切一仁 佐々木邦夫 小野寺昭美 川村仙二 西村容子 鈴木龍助	高橋信夫 3SD　阿部哲夫 3D　川村憲明 3　永山真悦 3 小原　剛 2　及川正志 2　高橋利光 2 菊地　俊明 3　佐藤　壮 3 佐藤　吉雄 3S 洞口美奈子 3D　伊藤洋子 3D　木下恵美子 3　菊地敦子 3 高橋玲子 2　高橋順子 2　佐藤良子 2 阿部喜代子 3D　城沢和子 3D 千葉恵美子 3S 白石光枝 3S
昭和46年 (1971)	22	善通寺市	盛岡四高 千厩高 黒沢尻北 専修北上 盛岡四高 専修北上	川村　薫 佐々木勝彦 佐々木彦士 小川桂史 小田島祐一 久保田和広 細野雅子 小田島祐一	兼平敏雄 3　永沢文史朗 3　山内卓也 3　村上信夫 2 浅沼　孝 2 佐藤　勇 3D　金野昌弘 3D　千葉博巳 3S 熊谷盛房 3D　小原利則 3D 小原　剛 3S 大志田晴子 3　藤川英子 3SD　大坪洋子 3　宮本真知子 3D 松嶋明美 2　斉田節子 2 佐藤京子 3SD　小竹さよ子 3D

年度	回数	開催地	学校名	監督 コーチ名	選手名（数字は学年、Dは個人複、Sは個人単に出場）
昭和47年 (1972)	23	新庄市	盛岡四高	川村　薫	浅沼　孝3　佐々木広3D　中森　知3　村上信夫3SD
				内藤伊津雄	手塚　剛3　橋本三司2　松田　浩2
			大迫高	伊藤慶治	佐々木憲一3D　佐々木和弘3D
			釜石南高	小野寺昭美	北野和敏3S
			千厩高	鈴木龍助	米倉恵子3SD　斉藤洋子3D　小野寺米子3　北条信子3
				(佐々木彦士)	対馬美智子2　鹿又良子2　小山範子2
				金今君江	
			盛岡市立	松尾良一	阿部尚子3D　佐々木貴子3D
			専修北上	駒井輝子	高橋千賀子3S
昭和48年 (1973)	24	四日市市	千厩高	鈴木龍助	伊藤雅博3D　三浦俊雄3D　西城　修3　佐藤幸治3
				菅原俊博	千菅　功2　千葉弘司2　志田只良2
				佐々木清美	
			盛岡一高	高橋　満	髙田　満3S
			花巻農高	千田秀生	石崎信彦3D 菊池篤3D
			盛岡四高	川村　薫	橋本三司3S
			黒沢尻北	横沢信夫	菊地孝子3D　八重樫るみ子3D　伊藤富子3　八重樫豊子3
				金原良史	菊池信代2　高橋悦子2　高橋豊子2
				武田待子	
			千厩高	膝舘圭介	対馬美智子3SD　鹿又良子3D
			東和高	後藤育郎	菊池京子3S
昭和49年 (1974)	25	佐賀県 嬉野町 塩田町	専修北上	小田島祐一	工藤俊治3D　山口元吉3D　松岡　勝3　皆川　修3
				宮沢　宗	斉藤　弘2　高橋　悟2　扇柳祐夫2
			岩谷堂農林	高橋市五郎	熊谷　登3D　菊地英俊3D
			千厩高	増子恭一	菅原敬二2S
			前沢高	及川盛晤	石川　淳3S
			花巻農高	千田秀生	熊谷悦子3　平賀百合子3　高橋幸枝3　藤原せい子3
				佐藤政光	佐々木淳子3
				晴山幸子	
			花北商高	桑原正義	渡辺みゆき2SD　菊池朋子2D
			盛岡四高	久保田和広	小笠原順子3D　藤沢良恵3D
			黒沢尻南	山崎正式	斉藤栄子3S
昭和50年 (1975)	26	水戸市	千厩高	佐々木勝夫	金野幹保3D　菅原敬二3SD　菅原克明2　佐藤誠一2
				佐々木彦士	
				佐々木昌子	
			一関一高	菊地正之	小野寺賢一3SD　菅原一栄3D
			花北商高	桑原正義	渡辺みゆき3SD　菊地朋子3SD　平賀牧子3　阿部幸子3
				斉藤妙子	高橋菜穂子3
			黒沢尻北	横澤信夫	昆野富士子3D　高橋利佳子3D
昭和51年 (1976)	27	中野市	専修北上	小田島祐一	畠山静夫3SD　小原純一3D　石川智美3D　菊池栄成3D
					高橋一郎3　斉藤政男2　佐藤勝彦2
			岩谷堂高	菊池　寛	佐々木和幸3S
			千厩農高	千田征志郎	菅原民子3　渡辺峰子3　伊藤千代子3　加藤とよみ2
					佐藤ユウ子2
			千厩高	鈴木　俊	千葉裕子3D　対馬宏子3D
			釜石南高	永沢和彦	川畑久子2D　菊池文子2D
			水沢商高	蔦谷正道	菊池孝子3S
			盛岡四高	久保田和広	小西孝子3S
昭和52年 (1977)	28	倉敷市	前沢高	大光　敏	岩渕裕光3S　佐々木光美3　石川　聡2　石坂秀一2
				石川　淳	岩渕和浩2
				阿部清克	
			水沢商高	蔦谷正道	佐藤彰彦3D　鈴木弘文3D　今野善基3D　村上力也2D
			千厩農高	千田征志郎	金今輝彰3S
			千厩農高	松島慶子	加藤とよみ3SD　菅原俊江3SD　佐藤広子3D　佐藤ユウ子3D
				千葉幸悦	村上貞子3　藤代千恵美3

年度	回数	開催地	学校名	監督 コーチ名	選手名（数字は学年、Dは個人複、Sは個人単に出場）
昭和53年 (1978)	29	会津若松市	岩谷堂農林	菊地保福 黒沢武身 八重柏修	菊地英裕3　菊地生昭3S　菊地信司3　千葉章3 八重柏　修2　菊地　寛1　高野秀行1
			前沢高	中口節郎	石坂秀一3D　石川　聡3D
			千厩高	鈴木俊	菊地和哉3D　和田俊幸3D
			水沢商高	蔦谷正道	村上力也3S
			遠野高	伊藤張二 飯森幸枝	菊池浩美3　菊池永久3　菊池一枝3　菊池洋子2 菊池厚子2　鈴木百合子2　千葉嘉子2
			水沢商高	蔦谷正道	津田幸江3D　菊田美代子3D
			千厩高	鈴木俊	高橋洋子3D　金野和枝3D
			花巻農高	千田秀生	継枝礼子3S
			黒沢尻南	伊藤慶治	高橋ひとみ3S
昭和54年 (1979)	30	大津市	千厩高	鈴木　俊	菊地久典3SD　山田保弘3　菅原伸行2D　村上一雄2 藤野清人2　佐藤誠一2
			千厩農高	伊藤春彦	菅原一行3SD　金今正弘3D
			水沢商高	蔦谷正道 菅原勝代 山内幸子	佐々木智恵子3　高橋房子3　本城知子3S　伊藤慶子3 佐藤由佳2　白石悦子2
			遠野高	伊藤張二	菊池洋子3SD　鈴木百合子3D
			花北商高	桑原正義	上川英子3D　幸田由美子3D
昭和55年 (1980)	31	善通寺市	千厩高	伊藤則文 金田則昭	菅原伸行3D　村上一雄3SD　藤野清人3　佐藤誠一3 佐々木忠2　皆上広志2
			水沢商高	蔦谷正道	高橋圭司3SD　及川　実3D
			遠野高	伊藤張二 佐藤雅子 外田郁子	奥寺　恵3　沢里裕子3　前川久美子2　菊池晴美2 宇夫恵子2　関口真美子1
			千厩高	伊藤則文	藤村恵美3SD　千葉静子3D
			盛岡四高	阿部博光	小川律子3D　武田さなえ3D
			釜石北高	菊池義彦	千葉陽子3S
昭和56年 (1981)	32	平塚市 藤沢市	水沢農高	千田秀生 高橋善行 相沢秀光	高橋利弘3　小関和一3　岩渕千春3　千葉祐光3 伊藤　登3　岩渕安広3
			千厩高	伊藤則文	佐々木忠3D　芳賀良二3D
			遠野高	伊藤張二	阿部慎哉3SD　菊池信行3D
			前沢高	初貝文平	岩渕　浩3S
			盛岡市立	佐々木彦士 山口理恵 山崎淳子	内藤八千代3　佐藤めぐみ3D　外川公子3D　石橋くみこ3 大坊恭子3　川村久美子3
			遠野高	小原昭一	宇夫恵子3SD　前川久美子3D
			水沢農高	千田征志郎	小野寺恵美子3S
昭和57年 (1982)	33	枕崎市 加世田市	前沢高	後藤道子 石川　淳 佐々木英二 初貝文平	石川浩一3D　阿部弘和3SD　伊藤　温3　細川要一3 近藤秀信2　鈴木広志1
			水沢商高	桐野　繁	山田　満3S
			花巻農高	佐藤孝太郎	小田島勉3D　久保田正志3D
			遠野高	山口敏正 藤川　緑 佐々木美雪	佐藤雅子3D　高橋恵子3　関口真美子3S　菊池あけみ3D 菊池和子2　鳥屋部はるみ3
			花泉高	鈴木龍助	菅原明美3SD　今村洋子3D

年度	回数	開催地	学校名	監督 コーチ名	選手名 (数字は学年、Dは個人複、Sは個人単に出場、㋮はマネージャー)
昭和58年 (1983)	34	豊橋市	前沢高	中口節郎 石川　淳 佐々木清喜	佐々木英二3D　近藤秀信3SD　岩渕清2　岩渕英典2D 鈴木広志2SD　菊池浩明2
			盛岡市立	佐々木彦士 欠端　誠 熊谷衣佐子	加藤美登里3S　忠海里美3　遠山真希3　米沢早苗3 八丁野愛子1　坂内真弓美1
			千厩高	伊藤則文	菅原好枝3D　千葉和代3D
			水沢商高	佐々木聡	油井由美子3D　柏山智子3D
			遠野高	山口敏正	菊池和子3S
昭和59年 (1984)	35	大曲市	前沢高	初貝文平 石川　淳 千田清高	岩渕清3D　菊地浩明3D　鈴木広志3SD　岩渕英典3D 佐々木清喜2　千葉義浩2
			花北商高	及川清克	阿部　仁2S
			黒沢尻南	伊藤慶治 星　仁 菊地澄子	細野ゆかり3SD　高橋春美3D　小原睦子3　高橋文恵3 平野恵子3　高橋美葉子2
			前沢高	初貝文平	鈴木智恵子3D　菊地幸3D
			釜石商高	柏木功好	佐々木孝子3S
昭和60年 (1985)	36	金沢市	花北商高	及川清克 (熊谷利昭) 佐藤司也	八重樫睦志3　阿部　仁3S　盛川　強3　高野橋健2 佐々木繁樹2　渡邉清一1
			水沢商高	才藤史紀	達下啓二3D　高橋　治3D
			前沢高	葛岡秀一	佐々木清喜3D　千葉義浩3D
			盛岡市立	佐々木彦士	米沢耕次3S
			前沢高	後藤道子 (石川淳) 山上真由美	鈴木悦子3D　鈴木由利子3D　細川幸江3D　佐藤るみ3D 阿部陽子3　佐々木芳江3
			花巻農高	勝又信次	櫻田美和子3S
			盛岡三高	志田和昭	斉藤美由紀2S
昭和61年 (1986)	37	下関市	花巻農高	勝又信次 (小原良則) 城守寿美	小野寺　淳3　佐藤洋一3S　高橋　進2　平賀正一2 佐々木健治1　渡辺　浩1
			花北商高	及川清克	渡邉清一2SD　高野橋健3D
			盛岡市立	佐々木彦士	佐々木昇2D　細川泰作2D
			花巻農高	大内圭一 勝又信次 (石崎信彦) 伊藤静枝	畠山富士子3SD　照井亜希子3D　田中一葉1 坂内重子1　細野　泉2　山本明美3
			盛岡市立	田口淳一	中村靖子3D　相沢咲織1D
			盛岡三高	佐藤実栄	斉藤美由紀3S
昭和62年 (1987)	38	登別市	盛岡市立	後藤敏和 諏訪知恵子	佐々木昇3D　細川泰作3D　細川信一3　内田源二3 鈴木浩輔3　白石　仁3　山岸伸行3
			花北商高	及川清克	渡邉清一3SD　中澤　毅2D
			前沢高	伊藤張二	菊地敏幸3S
			花巻農高	勝又信次 (石崎信彦)	伊藤静枝3　細野　泉3　藤原明子3　田中一葉2SD 坂内重子2D　藤原千代2　菊池美由希1　高橋明美㋮
			盛岡市立	田口淳一	相沢咲織2S
			釜石商高	桐野　繁	本間清美3D　平野総子3D

年度	回数	開催地	学校名	監督 コーチ名	選手名 (数字は学年、Dは個人複、Sは個人単に出場、㋮はマネージャー)
昭和63年 (1988)	39	宝塚市	花巻農高 花北商高 盛岡市立 花巻農高 前沢高	勝又信次 (佐藤洋一) 及川清克 後藤敏和 勝又信次 伊藤張二	渡辺浩 3D　佐々木健治 3SD　菊地博志 3　斉藤勝利 3 佐々木春樹 3　熊谷純一 2　古川宏幸 3　高橋伸弘㋮ 中澤　毅 3D　小原智雄 3SD 相沢咲織 3S　大桜栄里子 3　千葉あさ子 3　桜田貞子 2 諏訪美枝子 2　石川きよみ 2　高橋智香子 1 田中一葉 3D　坂内重子 3SD 鈴木礼子 3D　大宮順子 2D
平成元年 (1989)	40	高知市	花北商高 前沢高 前沢高 盛岡市立 黒沢尻北 釜石商高	菅原正彦 伊藤張二 伊藤則文 (佐々木佳子) 後藤敏和 久保田和廣 桐野　繁	長尾正樹 3D　佐藤慎也 3SD　畠山和也 2　小原正弘 2 小原勝郎 2　雫石卓也　2平賀隆之 1　千葉勝彦㋮ 古館英樹 3SD　佐藤理光 3D 今野真記子 3　大宮順子 3D　佐藤智子 3　佐藤明美 2D 菅原真姫 2　佐藤典子 2　若槻美穂 2　八幡孝子㋮ 桜田貞子 3D　諏訪美枝子 3D 及川裕美 3S 他端美杉 2S
平成2年 (1990)	41	塩竈市 松島町	花巻農高 花北商高 前沢高 前沢高 釜石商高 盛岡市立 花北商高	高橋嘉雄 (石崎信彦) 菅原正彦 伊藤張二 伊藤則文 (富士礼子) 永澤和彦 後藤敏和 菅原正彦	三田秀治 3SD　佐藤　章 3 安藤修樹 3D　佐々木正明 3 藤井政章 3　久保田祐治 2　藤井　純 2　照井千春㋮ 小原正弘 3D　畠山和也 3D 佐藤　誠 2S 佐藤明美 3　菅原真姫 3　佐藤典子 3　若槻美穂 3 佐々木美岐 2　佐々木佳子 2　小野寺尚美 2　油井美香㋮ 池端美杉 3SD　佐藤のぞみ 3D 伊藤　香 3D　高橋智香子 3D 平賀珠美 3S
平成3年 (1991)	42	富士市	前沢高 花巻農高 盛岡市立 専修北上 盛岡市立 花北商高 大迫高	伊藤張二 (杉田賢二) 高橋嘉雄 足利　勉 小田島祐一 後藤敏和 (足利　勉) 沢口紀子 高橋　正	平田純一 3　佐藤　誠 3　吉田　徹 3　神田　清 3 菊地　淳 2　三瓶雅幸 2　伊藤弘敏 2　野中賢一㋮ 藤井　純 3SD　久保田祐治 3D 藤原裕美 3D　須川靖幸 3D 佐藤憲明 3S 杉下信乃 3SD　諏訪寿美子 3D　高橋美和 2　佐々木むつ子 2 岡本香奈 2　村上純子 1 照井真由美 3D　平賀敦子 3D 上山静江 3S
平成4年 (1992)	43	高鍋町 西都市	盛岡市立 前沢高 盛岡三高 釜石商高 花巻農高 盛岡市立	足利　勉 (吉田　勝) 伊藤張二 伊藤則文 (杉田賢二) 久保田和廣 永澤和彦 高橋嘉雄 吉田　勝	村上正寛 3S　一本木久志 3　西村卓一 3　桐山英夫 2 中島敏彦 2　吉田徳秀 2　田貝　誠 2　佐藤正美㋮ 菊地淳 3SD　三瓶雅幸 3D　伊藤弘敏 3D　野中賢一 3D 橋本くみ子 3　三浦佳代 3　千葉洋子 3　小形　愛 2 菊地咲恵 2　菅原美由紀 2　鈴木富望子 2 佐々木智保子 3D　川村美音子 3D 川畑美也子 3D　前川静江 3D 新渕明子 3S 高橋美和 3S
平成5年 (1993)	44	宇都宮市	盛岡市立 花北商高 花北商高 盛岡四高	足利　勉 (高橋初太郎) 小原尚二 山下　税 佐々木邦夫	桐山英夫 3SD　中島敏彦 3D　吉田徳秀 3S　田貝　誠 3 上野克彦 2　三浦　正 2　遠藤善亨 2　佐藤正美㋮ 及川義治 3D　佐藤雄三 2D 伊藤望美 3D　佐藤五月 3　藤原佐和子 3S　伊藤奈美子 3D 小原百合子 3　佐藤智恵子 3　野口美奈子 2S　藤原千春㋮ 福田智恵子 3D　古川智子 3D

年度	回数	開催地	学校名	監督 コーチ名	選手名 (数字は学年、Dは個人複、Sは個人単に出場、㋮はマネージャー)
平成6年 (1994)	45	高岡市	花巻農高 前沢高 盛大付属 花北商高 前沢高 花北商高 東和高 盛岡四高	高橋嘉雄 (石崎信彦) 伊藤張二 上田徳良 山下税 伊藤則文 (伊藤張二) 鈴木俊 石原晃史 佐々木邦夫	宍戸朋夫3　久保田生3　佐藤正則3D　小原　修3D 川村敬志3　梅木和也2　照井　修2　菊地祐樹㋮ 柴田　昇3D 五十嵐豊3D 中舘　聡2S 佐藤雄三3S 佐々木奈々3　岩渕美代子3　三田真由美　3高浜智子3 本平しの2　高橋紀子2　鈴木マキ子2　佐藤友恵㋮ 野口美奈子3SD　藤原優子3D 阿部梨香3D　小田島良江3D 桜美智代3S
平成7年 (1995)	46	松江市	盛大付属 盛岡南高 花北商高 前沢高 盛岡市立 花巻農高 盛岡女子	上田徳良 (苅宿浩美) 佐々木彦士 山下　税 伊藤則文 (鈴木礼子) 足利　勉 高橋嘉雄 織田仁志	外川健一3　中舘　聡3S　鳴海光博3D　佐々木逸人3D 月折孝志3　目時巧嗣2　留畑丈治2　大林貴子㋮ 阿部幸司3D　昆茂太郎3D 平賀淳一3S 本平しの3D　細川雅代3D　高橋紀子3　鈴木マキ子3 渡辺マリ3　鈴木牧子3　菅原志穂2　小野寺美樹㋮ 横手真澄3D　坂本真紀3D 新渕里子2S 高橋朱美3S
平成8年 (1996)	47	甲府市	前沢高 盛岡四高 花巻農高 花巻農高	伊藤張二 (菊地　亨) 澤頭勝典 高橋嘉雄 高橋嘉雄 (石崎信彦)	那須川智晃3S　岩渕　徹3　千田昌正3　菅原一由2 千田一馬2　佐藤豪2　及川　智2　及川吉幸㋮ 赤石幸信3D　及川耕平3D 菅原真司3SD　高橋　至3D 菅原弘子3D　新渕里子3SD　畠山ゆみ3SD　石崎恵理子3D 菊地智子3　安藤裕美2　折井優香2　佐々木和美㋮
平成9年 (1997)	48	長岡京市	前沢高 盛大付属 花巻農高 前沢高 盛岡市立 盛岡北高	伊藤張二 (石川　聡) 上田徳良 高橋嘉雄 菊地　亨 (石川　淳) 足利　勉 松平日出男	千田一馬3SD　佐藤豪3D　菅原一由3　及川　智3 佐藤明生3　川村忠広1　五嶋健太1　佐竹剛生㋮ 白幡義経3D　小山　勇3D 伊藤俊幸2S 小野道代2　渡邊智子2　佐藤奏恵2D　広野亜紀2D 佐々木歩美1　若槻裕美1　平賀香緒里1　伊藤千尋㋮ 青野友希3SD　福崎華織3D 藤原優子3S
平成10年 (1998)	49	高松市	花巻農高 (石崎信彦) 前沢高 前沢高 (石川　淳) 盛岡市立	楳原　健 伊藤張二 菊地　亨 足利　勉	佐藤茂雄3D　伊藤俊幸3SD　藤井正樹3　鎌田寛崇3 多田拓磨3　高橋孝典3　高橋　健3　中田喬之㋮ 千田達也2D　五嶋健太2D　川村忠広2S 佐藤奏恵3　小野道代3　渡邊智子3　広野亜紀3 佐々木歩美2D　平賀香緒里2D　石川朋子3　石川陽子㋮ 山下有香3D　柿沼裕美3SD
平成11年 (1999)	50	岩手県 滝沢村	第50回全国高等学校バドミントン選手権大会開催（滝沢村） 創立50周年記念式典・祝賀会を実施 （岩手県雫石町　雫石プリンスホテル、平成11年7月31日） 創立50周年記念誌を発刊（創立50周年記念誌　翔） 前沢高 (石川　聡) 盛大付属 (外川正昭) 前沢高 (石川　淳) 盛岡市立	菊地　亨 吉清水克博 菊池慶幸 足利　勉	千田達也3SD　川村忠広3SD　五嶋健太3SD　高橋大吉3D 小野寺光春3D　大石智幸3D　室岡翔太2　平賀　巧㋮ 葛巻光宏3　外川光春3　日野杉智幸3D　小倉保大3SD 亀ケ森友2　中塚寛明1　田鎖智士1　舘山牧子㋮ 佐々木歩美3SD　平賀香緒里3SD　高橋久美子3S　若槻裕美3D 齋藤ゆき3　菅原良子3　川村益美1SD　遠藤麻美㋮ 福田由貴3D　八重樫優佳3D　星　綾乃3　高橋千尋3 佐藤茉莉江2D　佐藤百合子2D　高橋沙妃2　福崎美知子㋮

年度	回数	性別	学校名	監督名（コーチ）	選手名（数字は学年、Dは個人複、Sは個人単に出場、㋮はマネージャー）
平成12年（2000）	51	男子	前沢高校	菊地　亨（石川　聡）	尾形　工 3DS　伊從　聡一 3D　平賀　巧 3 室岡　翔太 3　前田　敬一 3DS　久保田陽亮 3D 吉田　健一 3　佐々木東一㋮
		女子	前沢高校	菊地　慶幸（石川　淳）	小野寺玲奈 3D　須藤　抄子 3D　川村　益美 2DS 千葉　孝美 2DS　佐藤　千春 2　青沼　裕美 2 石川　恵理 2　金子　純子㋮
平成13年（2001）	52	男子	前沢高校	菊地　亨（石川　聡）	高橋　竜也 3　佐藤　勝利 3　菅原　望 3 宮川　真 2S　藤田　絢也 2　伊從　雄馬 2 千田　祐也 1　若槻朋宏㋮
			盛岡第四高校	菊池　勇	昆　和秀 2D　佐々木和紀 2D
			盛岡大附属高校	吉清水克博	田鎖　智士 3D　中塚　寛明 3D
			千厩高校	佐藤　秀	小山　学 3S
		女子	前沢高校	菊地　慶幸（小山裕子）	石川　恵理 3　川村　益美 3DS　千葉　孝美 3D 佐藤　千春 3　青沼　裕美 3　鈴木　睦美 3 那須真由子 2　尾形真記江㋮
			盛岡市立高校	阿部佳子	齊藤　南 3D　村上　桂 2D　大澤　皓子 3S
平成14年（2002）	53	男子	前沢高校	菊地　亨（石川　聡）	藤田　絢也 3DS　宮川　真 3DS　伊從　雄馬 3 菅原日登志 3　千田　祐也 2　高橋　慎 2 室岡　大輝 1　高橋宏忠㋮
			盛岡第四高校	菊池　勇	昆　和秀 3D　佐々木和紀 3D
		女子	前沢高校	菊地　慶幸（石川　淳）	那須真由子 3DS　尾形真記江 3D　菊池美紗子 3 太田代亜須華 3　長谷川　舞 3　岩渕　幸恵 3 藤田　祈 2　小野寺愛子㋮
			盛岡市立高校	阿部佳子	村上　桂 3DS　浅沼　幸恵 3D
平成15年（2003）	54	男子	前沢高校	菊地　亨（石川　聡）	千田　祐也 3D　高橋　慎 3DS　小野寺　涼 3 室岡　大輝 2DS　齋藤　毅 2D　岩澤　良 2 中塚　粧太 1　佐藤　公大㋮
		女子	前沢高校	菊地　慶幸（石川　淳）	藤田　祈 3DS　熊谷　春香 3　佐藤　友美 3 小田島知美 2　田鎖　志穂 1DS　三好　奈々 1 若槻絵理香 1　多田　香子㋮
			盛岡市立高校	阿部佳子	浅沼　幸恵 3D　武藏奈保子 3D
平成16年（2004）	55	男子	前沢高校	菊地　亨（石川　聡）	齋藤　毅 3D　室岡　大輝 3DS　小岩　三晃 3D 岩澤　良 3D　中塚　粧太 2　千田　拓也 2 岩渕　勇輝 2　石川　貴寛㋮
			盛岡市立高校	高橋　道	小原　弘俊 3S
		女子	黒沢尻北高校	伊藤則文	堤　奈緒子 3DS　澤田　苑子 3D　菅野　祐理 3 高橋　由紀 3　石山　雪乃 2　千田　萌江 2 菊地　綾 2　伊藤佳奈子㋮
			前沢高校	菅野義紀	小田島知美 3D　田鎖　志穂 2D
			盛岡市立高校	阿部佳子	吉岡絵里奈 3S

年度	回数	性別	学校名	監督名（コーチ）	選手名（数字は学年、Dは個人複、Sは個人単に出場、㋮はマネージャー）
平成17年（2005）	56	男子	前沢高校	菊地亨（石川聡）	千田 拓也 3DS　中塚 粧太 3D　岩渕 勇輝 3S 岩渕 一樹 3　石川 貴寛 2　鈴木 秀治 2D 外川 一也 2D　岩渕 寿太㋮
		女子	前沢高校	畠山崇（石川淳）	田鎖 志穂 3DS　三好 奈々 3D　多田 香子 3 伊藤 麻衣 3　岩渕 瑠璃 3　西城 文 3 玉山 希 1　尾形 美咲㋮
			花北青雲高校	渡邉清一	阿部由香里 2DS　石川 温美 2D
平成18年（2006）	57	男子	前沢高校	菊地亨（石川聡）	外川 一也 3DS　石川 貴寛 3DS　鈴木 秀治 3D 石川 晋也 3D　菅原 大地 3　田口 千晃 2 菊池 祥 2　菊池 悠人㋮
		女子	花北青雲高校	渡邉清一（立花裕子）	菅野 智巳 3　阿部由香里 3DS　石川 温美 3DS 簡 恵美 3　小原 実子 3　照井智佳子 2 渡邉 未紗 2　山田 愛梨㋮
			盛岡市立高校	阿部佳子	谷地実可子 3D　小原 安奈 2D
平成19年（2007）	58	男子	前沢高校	菊地亨（石川聡）	宮川 聡 3　田口 千晃 3　篠原 裕季 3D 菊池 祥 3　吉田安具利 3D　外川 真樹 1D 玉山 駿 1D　菊池 長㋮
			花巻北高校	澤頭勝典	多田 祐太 3S
			花北青雲高校	渡邉清一	平賀 勇貴 3S
		女子	前沢高校	畠山崇（石川淳）	玉山 希 3D　米倉 優子 3　齊藤 奈穂 2D 舘脇 祐未 2S　高橋 南 2　畠山さくら 2 松本 莉子 2　大内 裕琳㋮
			盛岡第四高校	山田浩和	藤澤 祥子 2D　加藤 宏佳 2D
			盛岡市立高校	阿部佳子	内藤 舞 3S
平成20年（2008）	59	男子	前沢高校	菊地亨（石川聡）	菊池 長 3S　上村 雄哉 3　外川 真樹 2DS 玉山 駿 2D　小山 眞 2　鈴木 太智 2 藤谷 誠仁 1　村松 俊㋮
			花北青雲高校	渡邉清一	小原 是 3D　鎌田 光寿 2D
		女子	黒沢尻北高校	伊藤則文（金原良史）	熊谷 安乃 3DS　八重樫瑶子 3D　畠山 柚 3 松原 美紀 3　平野 由佳 3　成田 涼子 3 大木 美穂 2　八重樫綾奈㋮
			前沢高校	畠山崇	齊藤 奈穂 3D　高橋 南 3D
			花北青雲高校	立花裕子	石畠 由美 1S
平成21年（2009）	60	男子	前沢高校	菊地亨（石川聡）	外川 真樹 3DS　鈴木 太智 3D　玉山 駿 3D 村松 俊 3D　小山 眞 3　藤谷 誠仁 2 篠原 宏季 2S　門脇 誠治㋮
		女子	前沢高校	畠山崇（石川淳）	石川 由実 3　岩渕悠里亜 3S　齊藤 綾乃 3 渡辺 美久 3　上野 美咲 2DS　田鎖 沙耶 2D 三浦 衣里 2　鈴木望美㋮
			盛岡市立高校	阿部佳子	田邉 郁恵 3D　内藤 唯 2D

年度	回数	性別	学校名	監督名（コーチ）	選手名（数字は学年、Dは個人複、Sは個人単に出場、㋮はマネージャー）
平成22年（2010）	61	男子	前沢高校	菊地　亨（石川　聡）	門脇　誠治3D　篠原　宏季3DS　藤谷　誠仁3DS 吉田　健悟3　齊藤　雄太3　若生　吏氏3D 千田　康史2　及川　貴敦㋮
		女子	花北青雲高校	渡邉清一（長谷川和之）	石畠　由美3DS　玉山萌菜美3　佐藤　真弥3 高橋　侑里3　小笠原　理2D　小笠原　渓2 山本　愛結2　軽石沙紀㋮
			前沢高校	内田光明	上野　美咲3DS　田鎖　沙耶3D
平成23年（2011）	62	男子	花北青雲高校	長谷川和之（渡邉清一）	室岡　大晶3D　小野寺敬太3　佐々木大樹2 鎌田　哲也2　小原　聖胡1　筑後　和1D 藤根　侑也1　小原　紳㋮
			前沢高校	菊地　亨	津田　謙太2D　安部　博紀2D　菊地　裕太1S
			専修大学北上高校	平賀隆之	小原　宏紀3S
		女子	前沢高校	内田光明（石川　淳）	高橋　万緒3　岩渕はるみ3　玉山　巴2 菅原　智子2　新田由生紀2　古川　佳奈1S 浅沼今乃美1　鈴木　晴菜㋮
			花北青雲高校	渡邉清一	小笠原　理3DS　小笠原　渓3D
			専修大学北上高校	山本茂樹	澤藤　真帆2D　田村　泉美2D
平成24年（2012）	63	男子	前沢高校	渡邉清一（石川　聡）	津田　謙太3　安部　博紀3　遠藤　拓郎3D 岩渕　貴文3D　菊地　裕太2DS　木村　大均2D 大山　達也2　渡邉　健㋮
			花北青雲高校	菊地　亨	筑後　和2S
		女子	前沢高校	内田光明（石川　淳）	玉山　巴3D　菅原　智子3　新田由生紀3 古川　佳奈2DS　浅沼今乃美2　石川　美咲2 岩渕あきな2　松戸　友紀㋮
			専修大学北上高校	平賀隆之	田村　泉美3D　久保田夏菜3D
			盛岡市立高校	畠山　崇	高橋　咲2S
平成25年（2013）	64	男子	前沢高校	渡邉清一（石川　聡）	菊地　裕太3DS　木村　大均3D　菊池　雄介3 大山　達也3　大原　俊3　浅沼竜一郎1 菅原　慎也1　岩渕　拓陸㋮
			花北青雲高校	菊地　亨	小原　聖胡3D　藤根　侑也3D　筑後　和3S
		女子	盛岡市立高校	畠山　崇（熊谷正臣）	高橋　咲3DS　遠藤　雪菜3D　宮野いずみ3 佐山　莉奈2　平渡　咲2　桐田　志織2 川村　真鈴2　重石　珠花㋮
			前沢高校	横山　恵	古川　佳奈3DS　浅沼今乃美3D
平成26年（2014）	65	男子	盛岡市立高校	畠山　崇（長谷川和之）	工藤　惠三3　村井　聡紀3DS　原　優助3D 平野　優二3　及川　拓2　早野　寛太1 川村　肇1　平賀　涼太㋮
			花北青雲高校	似内拓也	高橋　拓夢2D　藤原　望夢2D
			専修大学北上高校	平賀隆之	千田拳士朗3S
		女子	県立花北青雲高校	菊地　亨（澁谷　仁）	畠山　静花2DS　中島　葵2D　久慈　裕美2 野田　彩瑛2　藤井　愛1　外川　実空1 金野　夕香1　渡邉　百香㋮
			盛岡市立高校	長谷川和之	佐山　莉奈3D　平渡　咲3DS

年度	回数	性別	学校名	監督名（コーチ）	選手名（数字は学年、Dは個人複、Sは個人単に出場、㋮はマネージャー）
平成27年（2015）	66	男子	前沢高校	渡邉清一（石川　聡）	浅沼隆一郎3　菅原　慎也3　伊藤　拓光3 藤宮　涼3　軽石　直人2DS　田村　汰稀2D 菊地　拓也1S　大森　悦生㋮
			花北青雲高校	似内拓也	高橋　拓夢3D　藤原　望夢3D
		女子	花北青雲高校	菊地　亨（渡部琢也）	畠山　静花3DS　中島　葵3D　久慈　裕美3 野田　彩瑛3　藤井　愛2DS　外川　実空2 金野　夕香2D　下瀬川ユリア㋮
平成28年（2016）	67	男子	前沢高校	渡邉清一（石川　聡）	軽石　直人3DS　田村　汰稀3D　村上　和真3 吉田　梓紋3　阿部　健也3　菊地　拓也2S 佐藤　真心1　竹澤　和雅㋮
			花北青雲高校	似内拓也	野田　瑞貴3D　三浦　大2D
		女子	花北青雲高校	菊地　亨（似内拓也）	外川　実空3　藤井　愛3DS　金野　夕香3DS 下瀬川ユリア3　佐々木良幸2　市原　杏奈2 中島　陽菜1　佐藤綾乃㋮
			前沢高校	水賀美佑紀	松好　奏海3D　長岡　朱里3D
平成29年（2017）	68	男子	花北青雲高校	似内拓也（佐々木翔太）	三浦　大3　吉田　侑生3　内記　敏徹3 菊地　一希2　山口　健2　安ケ平春輝2 佐々木詩音2　高橋　隆之㋮
			前沢高校	渡邉清一	菊地　拓也3DS　佐藤　真心2D　千田　壱郎1S
			盛岡市立高校	長谷川和之	藤澤　亮2D　阿部　幹太2D
		女子	花北青雲高校	佐藤亜弥子（小原聖胡）	佐藤　綾乃3　市原　杏奈3D　菊川　優月3 有住　茉莉3　中島　陽菜2DS　三瓶　萌梨2 吉村　美耶1　佐々木良幸㋮
			盛岡市立高校	川村　誠	森田　楓3D　廣澤　花恋3D　佐々木鈴花3S
平成30年（2018）	69	男子	前沢高校	渡邉清一（石川　聡）	髙橋　優飛3D　佐藤　真心3D　佐藤謙士朗3 阿部　悠人3　小形隆二郎2　阿部　大地1 柳原　一翔1　千田　壱郎㋮
			花北青雲高校	佐藤亜弥子	菊地　一希3D　山口　健3D
			盛岡市立高校	長谷川和之	藤澤　亮3S
		女子	花北青雲高校	似内拓也（大原健汰）	中島　陽菜3DS　三瓶　萌梨3S　吉村　美耶2D 柳村　優歌2　若生　遥奈2　伊藤　穂南2 佐々木梨子1　阿部　陽菜㋮
			前沢高校	水賀美佑紀	藤井　美波3D　千葉ひなた2D

東北選手権大会　優勝者・準優勝者

回・会場・年度	種　目	順位	氏　名
第4回 仙台市 昭和27年 (1952)	少年ダブルス	2位	高橋　護 寺田
	少年シングルス	2位	丁子　淳
第5回 盛岡市 昭和28年 (1953)	少年ダブルス	1位	丁子　淳 高橋　護
	少年ダブルス	2位	加藤雅司 山本雄司
	成年ダブルス	2位	八木橋伸夫 川村権治
	混合ダブルス	2位	中野昌造 宮城　栄
第8回 鶴岡市 昭和31年 (1956)	青年シングルス	2位	村守英男
	混合ダブルス	2位	水谷政雄 小枝指スミ
第9回 弘前市 昭和32年 (1957)	青年シングルス	2位	村守英男
第10回 盛岡市 昭和33年 (1958)	混合ダブルス	2位	油井秀男 野中寿美
第11回 仙台市 昭和34年 (1959)	混合ダブルス	2位	吉田国雄 寺田正子
第13回 福島市 昭和36年 (1961)	混合ダブルス	2位	高橋宣夫 野村京子
第17回 秋田市 昭和40年 (1965)	少年ダブルス	2位	高橋英雄 久保田友義
第21回 青森市 昭和44年 (1969)	青年男子ダブルス	2	金原良史 鬼柳孝夫
	〃　シングルス	1	金原良史
	青年女子ダブルス	2	及川恵子 寺島悦子
	〃　シングルス	1	斉藤せつ子
	教員ダブルス	1	佐々木邦夫 佐々木彦士
	〃　シングルス	2	永沢和彦
	混合ダブルス	2	白澤國雄 寺島悦子

回・会場・年度	種　目	順位	氏　名
第22回 仙台市 昭和45年 (1970)	青年女子ダブルス	1	及川恵子 山内幸子
	〃　シングルス	2	山内幸子
	壮年シングルス	2	舘沢政美
	教員ダブルス	2	永沢和彦 清水秀裕
	〃　シングルス	1	清水秀裕
	〃　シングルス	2	佐々木彦士
	混合ダブルス	2	白澤國雄 及川恵子
第23回 新庄市 昭和46年 (1971)	青年女子シングルス	1	斉藤せつ子
	壮年ダブルス	2	舘沢政美 福田将雄
	教員ダブルス	1	永沢和彦 清水秀裕
	〃　ダブルス	2	佐々木邦夫 佐々木彦士
	〃　シングルス	2	佐々木邦夫
第24回 会津若松市 昭和47年 (1972)	教員ダブルス	2	佐々木邦夫 佐々木彦士
	〃　シングルス	2	佐々木邦夫
	混合ダブルス	2	白澤國雄 及川恵子
第25回 秋田市 昭和48年 (1973)	壮年ダブルス	1	舘沢政美 福田将雄
	教員ダブルス	1	佐々木邦夫 佐々木彦士
	〃　シングルス	2	永沢和彦
第26回 釜石市 昭和49年 (1974)	青年男子シングルス	2	高橋道夫
	成年ダブルス	1	金原良史 白澤國雄
	壮年ダブルス	1	舘沢政美 福田将雄
第27回 雄勝町 昭和50年 (1975)	成年ダブルス	2	金原良史 白澤國雄
	〃　シングルス	1	金原良史
	〃　シングルス	2	白澤國雄
	教員ダブルス	2	佐々木邦夫 佐々木彦士
	混合ダブルス	2	鬼柳孝夫 阿部尚子

回・会場・年度	種目	順位	氏名
第28回 石巻市 昭和51年 (1976)	壮年ダブルス	2	舘沢政美 福田将雄
	教員ダブルス	2	佐々木邦夫 佐々木彦士
第29回 会津若松市 昭和52年 (1977)	少年シングルス	2	金今輝彰
	成年シングルス	2	鬼柳孝夫
	壮年ダブルス	2	舘沢政美 福田将雄
第30回 新庄市 昭和53年 (1978)	成年ダブルス	2	鬼柳孝夫 金原良史
	〃 シングルス	1	鬼柳孝夫
第31回 浪岡市 昭和54年 (1979)	少女シングルス	2	菊池洋子
	成年ダブルス	2	金原良史 鬼柳孝夫
	成年シングルス	1	鬼柳孝夫
	〃 シングルス	2	金原良史
第32回 釜石市 昭和55年 (1980)	成年ダブルス	2	鬼柳孝夫 佐藤政由
	高年ダブルス	1	舘沢政美 福田将雄
第33回 雄勝市 昭和56年 (1981)	青年女子シングルス	2	渡辺みゆき
	成年シングルス	2	鬼柳孝夫
	高年ダブルス	1	福田将雄 舘沢政美
第34回 石巻市 昭和57年 (1982)	高年ダブルス	1	舘沢政美 福田将雄
第35回 会津若松市 昭和58年 (1983)	壮年シングルス	2	白澤國雄
	高年ダブルス	2	舘沢政美 福田将雄
第36回 鶴岡市 昭和59年 (1984)	混合ダブルス	1	菊地生昭 小西孝子
	〃	2	佐藤彰彦 本城知子
	高年ダブルス	2	福田将雄 舘沢政美
第37回 浪岡市 昭和60年 (1985)	高年ダブルス	2	舘沢政美 高橋弘

回・会場・年度	種目	順位	氏名
第38回 滝沢村 昭和61年 (1986)	壮年シングルス	2	金原良史
	混合ダブルス	1	菊地生昭 佐藤めぐみ
	〃	2	佐藤彰彦 本城知子
第39回 雄勝町 昭和62年 (1987)	壮年ダブルス	1	金原良史 鬼柳孝夫
	壮年シングルス	1	鬼柳孝夫
	混合ダブルス	1	菊地生昭 佐藤めぐみ
	〃	2	佐藤彰彦 本城知子
第40回 原町市 昭和63年 (1988)	成年男子ダブルス	2	伊藤一郎 村上信夫
	壮年シングルス	1	鬼柳孝夫
	〃	2	佐々木邦夫
	混合ダブルス	2	佐藤彰彦 村上みゆき
	高年ダブルス	2	岩本侃 小原茂
第41回 塩竈市 平成元年 (1989)	青年女子シングルス	2	石川明美
	成年女子ダブルス	2	村上みゆき 佐々木せつ子
第42回 新庄市 平成2年 (1990)	壮年ダブルス	2	鬼柳孝夫 金原良史
第43回 浪岡町 平成3年 (1991)	青年女子ダブルス	1	菊池洋子 武田さなえ
	混合ダブルス	1	菊地生昭 菊池洋子
第44回 滝沢村 平成4年 (1992)	成年男子ダブルス	1	石川聡 佐藤彰彦
	〃	2	小野寺義文 安部満
	成年女子ダブルス	1	村上みゆき 菊地洋子
	混合ダブルス	2	菊地生昭 菊地洋子
	高年ダブルス	2	白澤國雄 岩本侃

回・会場・年度	種　目	順位	氏　名
第45回 白河市 平成5年 (1993)	成年男子ダブルス	1	石川　聡 佐藤彰彦
	〃	2	安部　満 小野寺義文
	壮年男子シングルス	2	伊藤張二
	成年女子ダブルス	1	村上みゆき 武田さなえ
	混合ダブルス	1	菊地生昭 菊地洋子
	〃	2	佐藤彰彦 武田さなえ
第46回 塩竈市 平成6年 (1994)	青年女子シングルス	1	谷地春子
	壮年男子シングルス	1	伊藤張二
第47回 鷹巣町 平成7年 (1995)	青年女子シングルス	1	谷地春子
第48回 新庄市 平成8年 (1996)	成年男子ダブルス	2	安部　満 小野寺義文
第52回 鷹巣町 平成12年 (2000)	成年女子ダブルス	2	谷地春子 石川明美
	壮年女子ダブルス	2	村上みゆき 佐々木せつ子
第53回 白河市 平成13年 (2001)	壮年男子ダブルス	1	石川　聡 菊地生昭
	壮年男子シングルス	2	菊地生昭
	壮年女子ダブルス	2	小野寺浩子 高橋恵理子
第54回 鶴岡市 平成14年 (2002)	壮年男子ダブルス	2	石川　聡 菊地生昭
	壮年男子シングルス	2	菊地生昭
	壮年女子ダブルス	2	小原恵理子 菅原由紀
第55回 黒石市 平成15年 (2003)	成年男子シングルス	1	渡邉清一
		2	佐藤慎也
	壮年男子シングルス	2	菊地生昭

回・会場・年度	種　目	順位	氏　名
第56回 北上市 平成16年 (2004)	成年男子シングルス	1	渡邉清一
		2	佐藤慎也
	壮年男子シングルス	2	菊地生昭
	壮年女子ダブルス	2	谷地さなえ 伊藤公子
第57回 美郷町 平成17年 (2005)	壮年男子シングルス	1	菊地生昭
	壮年女子ダブルス	2	谷地さなえ 伊藤公子
第58回 塩釜市 平成18年 (2006)	成年男子ダブルス	2	渡邉清一 佐藤慎也
第59回 猪苗代町 平成19年 (2007)	青年男子シングルス	1	川内崇士
	壮年男子シングルス	2	鈴木広志
第60回 鶴岡市 平成20年 (2008)	成年男子ダブルス	1	高橋英樹 佐藤慎也
	壮年男子シングルス	2	鈴木広志
	壮年女子ダブルス	2	石川明美 横手智江美
第61回 黒石市 平成21年 (2009)	壮年男子シングルス	2	菊地生昭
	壮年女子ダブルス	1	石川明美 横手智江美
第62回 北上市 平成22年 (2010)	壮年男子ダブルス	1	渡邉清一 鈴木浩喜
	壮年男子シングルス	1	渡邉清一
	壮年女子ダブルス	2	谷藤さなえ 角掛美加子
	高年男子ダブルス	2	木立三男 高橋輝彰
	混合ダブルス	1	石川貴寛 川村益美
第63回 塩釜市 平成23年 (2011)	東日本大震災のため中止		
第64回 黒石市 平成24年 (2012)	成年女子ダブルス	2	佐々木真希子 新屋有子
	壮年男子シングルス	1	佐藤慎也
	壮年女子ダブルス	2	谷藤さなえ 伊藤公子
	高年男子ダブルス	2	菊地生昭 高橋久之

回・会場・年度	種　目	順位	氏　名
第65回 奥州市 平成25年 (2013)	成年男子ダブルス	2	尾形　工 伊藤俊幸
	成年男子シングルス	2	尾形　工
	壮年男子シングルス	1	佐藤慎也
	壮年女子ダブルス	1	菊池美杉 横手智江美
	混合ダブルス	1	石川貴寛 熊谷安乃
第66回 福島市 平成26年 (2014)	成年女子ダブルス	2	戸田益美 阿部真希子
	壮年男子シングルス	1	佐藤慎也
	壮年女子ダブルス	1	菊池美杉 横手智江美
第67回 北上市 平成27年 (2015)	成年男子ダブルス	1	高橋大吉 伊藤俊幸
	成年男子ダブルス	2	川村忠広 尾形　工
	壮年男子シングルス	2	佐藤慎也
	壮年女子ダブルス	1	菊池美杉 横手智江美
	高年男子ダブルス	2	菊地生昭 藤澤正幸
第68回 黒石市 平成28年 (2016)	青年男子シングルス	1	菊地裕太
	壮年女子ダブルス	2	菊池美杉 横手智江美
	高年男子ダブルス	1	菊地生昭 藤澤正幸
第69回 美郷町 平成29年 (2017)	青年男子シングルス	1	菊地裕太
	青年男子ダブルス	2	高橋　慎 宮崎賢治
	壮年女子ダブルス	2	菊池美杉 横手智江美
第70回 塩釜市 平成30年 (2018)	成年男子シングルス	2	宮崎賢治
	壮年女子ダブルス	1	菊池美杉 横手智江美



岩手県総合バドミントン選手権大会

回 年度	順位	男子		女子		混合
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス
1 昭和31	1 2	村守・水谷（盛岡） 石川・遠畑（岩大）	村守英男（盛岡） 石川雅司（岩大）	佐々木・八重樫（釜石）		
2 32	1 2	村守・水谷（盛岡） 高橋・油井（釜鉄）	村守英男（盛岡） 高橋宣夫（釜鉄）	佐々木・八重樫（釜石）	野村京子（釜　石）	
3 33	1 2	山田・中村（釜鉄） 吉田・太田（岩大）	村守英男（盛岡） 山田正弘（釜鉄）	野中・川村（釜石） 梅田・浅田（岩谷堂）	野中寿美（釜石） 川村節子（釜石）	
4 34	1 2	村守・佐々木（盛岡） 山田・中村（釜鉄）	村守英男（盛岡） 山田正弘（釜鉄）	野中・佐々木（釜石）	野村京子（九戸） 川村節子（釜石）	
5 35	1 2	村守・佐々木（盛岡） 吉田・野々村（岩大）	村守英男（盛岡） 佐々木隆夫（盛岡）	野村・川村（釜石） 草岡・佐々木（釜石）	野村京子（釜石） 川村節子（釜石）	
6 36	1 2	吉田・野々村（岩大） 吉田・白沢（盛岡）	千葉幸彌（釜鉄） 白沢国雄（盛岡）	川村・草岡（釜石） 下河原・白沢（盛市）	野村京子（九戸） 川村節子（釜石）	
7 37	1 2	吉田・野々村（岩大） 松見・金原（盛二・黒北）	高橋忠夫（北上） 及川　好（釜鉄）	久保田・高橋（花農） 高橋・石下（岩谷堂）	白沢和子（盛市） 高橋建子（岩谷堂）	
8 38	1 2	及川・本多（釜鉄） 杉田・白沢（盛岡）	及川　好（釜鉄） 及川　靖（北商）	高橋・星（黒北） 箭川・浅沼（盛二）	高橋博子（黒北） 星アヤ子（黒北）	
9 39	1 2	金原・及川（北上） 及川・咲山（釜鉄）	金原良史（日大） 高橋忠夫（北上）	飯岡・岩泉（盛市） 斉藤・高橋（黒南）	飯岡淳子（盛市） 岩泉憲子（盛市）	
10 40	1 2	高橋・久保田（花農） 高橋・及川（北上）	金原良史（日大） 白沢国雄（盛岡）	箭川・浅沼（盛岡） 及川・渡部（盛二）	佐藤葉子（盛市） 箭川節子（盛岡）	
11 41	1 2	菊池・宇佐美（岩谷堂・盛市） 白沢・藤沢（盛岡）	金原良史（日大） 白沢国雄（盛岡）	山本・佐藤（盛岡）	寺島悦子（盛市） 佐藤葉子（盛岡）	
12 42	1 2	佐々木・伊藤（盛岡） 佐々木・内海（岩大）	金原良史（北上） 佐々木邦夫（盛岡）	川村・菊池（東和） 菊池・菅原（岩農）	山内幸子（盛市） 山本キヌエ（盛岡）	白沢・白沢（盛岡） 佐々木・佐藤（盛岡）
13 43	1 2	金原・鬼柳（北上） 佐々木・佐々木（盛岡）	金原良史（北上） 佐々木彦士（盛岡）	及川・吉田（盛岡） 藤村・佐藤（盛岡）	斉藤せつ子（千厩） 及川恵子（盛岡）	北村・斉藤（千厩） 伊藤・寺島（盛岡）
14 44	1 2	金原・鬼柳（北上） 佐々木・佐々木（盛岡）	金原良史（北上） 白沢国雄（盛岡）	及川・寺島（盛岡） 山内・佐藤（盛岡）	斉藤せつ子（千厩） 及川恵子（盛岡）	藤沢・佐藤（盛岡） 熊谷・菊池（北上）
15 45	1 2	佐々木・佐々木（教員） 白沢・佐倉（盛岡）	佐倉和明（盛岡） 佐々木邦夫（教員）	及川・山内（盛岡） 寺島・佐藤（盛岡）	及川恵子（盛岡） 山内幸子（盛岡）	吉田・小坂（釜石） 小林・斉藤（盛岡）
16 46	1 2	佐々木・佐々木（教員） 永沢・清水（教員）	金原良史（北上） 鬼柳孝夫（北上）	斉藤・遠藤（千厩） 及川・山内（盛岡）	斉藤せつ子（千厩） 佐藤京子（専北）	阿部・山内（盛岡） 鈴木・佐藤（盛岡）
17 47	1 2	佐々木・佐々木（教員） 金原・鬼柳（北上）	金原良史（北上） 鬼柳孝夫（北上）	斉藤・斉藤（千厩） 小笠原・高橋（北上）	斉藤せつ子（千厩） 宮本真知子（盛岡）	永沢・斉藤（千厩） 白沢・宮本（盛岡）
18 48	1 2	佐々木・佐々木（教員） 金原・鬼柳（北上）	佐々木志津夫（盛岡） 永沢和彦（釜石）	阿部・宮本（盛岡） 対馬・米倉（千厩）	宮本真知子（盛岡） 佐々木せつ子（釜石）	佐々木・佐々木（釜石） 志村・佐々木（盛岡）
19 49	1 2	金原・鬼柳（北上） 佐々木・佐々木（教員）	高橋道夫（釜石） 菅原敬二（千厩高）	渡辺・菊池（花北商） 阿部・宮本（盛岡）	渡辺みゆき（花北商） 宮本真知子（盛岡）	
20 50	1 2	及川・高橋（北上・花巻） 高橋・永沢（釜石）	鬼柳孝夫（北上） 高橋信夫（花巻）	渡辺・平賀（花北商） 山田・高橋（盛岡）	渡辺みゆき（花北商） 山田久子（盛岡）	高橋・千葉（花巻） 畠山・佐藤（花巻）
21 51	1 2	高橋・橋本（釜石） 鬼柳・豊田（北上）	鬼柳孝夫（北上） 高橋信夫（花巻）	加藤・佐藤（千厩農） 佐藤・高橋（水沢・北上）	佐藤京子（水沢） 阿部尚子（盛岡）	高橋・佐藤（花巻） 鬼柳・高橋（北上）
22 52	1 2	菊地・佐藤（江刺） 伊藤・菊地（江刺）	橋本三司（釜石） 村上信夫（都南）	平賀・熊谷（花巻） 加藤・佐藤（千厩農）	加藤とよみ（千厩農） 山田久子（盛岡）	村上・山田（盛岡） 高橋・八重樫（北上）

回 年度	順位	男子		女子		混合
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス
23 昭和53	1 2	村上・高田（盛岡） 伊藤・菊地（江刺）	村上信夫（盛岡） 鬼柳孝夫（北上）	小西・細屋（盛岡） 山田・高田（盛岡）	菊地洋子（遠野高） 加藤とよみ（一関）	佐藤・佐藤（水沢）
24 54	1 2	鬼柳・畠山（北上） 石川・石川（前沢）	村上信夫（盛岡） 鬼柳孝夫（北上）	高橋・渡辺（盛岡 石鳥谷） 小西・細屋（盛岡）	渡辺みゆき（石鳥谷） 高橋悦子（盛岡）	菊池・佐藤（江刺） 菊池・上原（江刺）
25 55	1 2	石　川・石川（前沢） 菊地・菊地（江刺）	村上信夫（盛岡） 伊藤一郎（江刺）	渡辺・小西（盛岡） 佐藤・外川（盛岡）	渡辺みゆき（盛岡） 小西孝子（盛岡）	菊池・千田（江刺） 菊池・上原（江刺）
26 56	1 2	石川・石川（前沢） 菊地・菊地（江刺）	村上信夫（盛岡） 石川聡（前沢）	渡辺・小西（石鳥谷 盛岡） 津田・藤村（東北日本電気）	渡辺みゆき（石鳥谷） 小西孝子（盛岡）	畠山・渡辺（北上 石鳥谷） 佐藤・武田（水沢）
27 57	1 2	伊藤・佐藤（江刺 水沢） 石川・石川（前沢）	伊藤一郎（江刺） 石川　聡（前沢）	渡辺・小西（石鳥谷 盛岡） 細屋・武田（北上 釜石）	渡辺みゆき（石鳥谷） 小西孝子（盛岡）	菊池・高橋（江刺 盛岡） 越前屋・佐藤（雫石 盛岡）
28 58	1 2	伊藤・佐藤（江刺 水沢） 石川・石川（前沢）	石川　聡（前沢） 伊藤一郎（江刺）	小西・佐藤（盛岡） 村上・外川（都南 盛岡）	村上みゆき（都南） 小西孝子（盛岡）	伊藤・本城（江刺 前沢） 佐藤・細屋（水沢 北上）
29 59	1 2	石川・岩渕（前沢） 伊藤・佐藤（江刺 前沢）	石川　聡（前沢） 村上信夫（盛岡）	小西・佐藤（盛岡） 本城・菅原（前沢 一関）	菅原明美（一関） 本城知子（前沢）	菊地・武田（江刺 釜石） 越前屋・宇夫（雫石 盛岡）
30 60	1 2	伊藤・佐藤（江刺 水沢） 石川・岩渕（前沢）	石川　聡（前沢） 畠山静夫（北上）	村上・宇夫（盛岡） 本城・菅原（前沢 一関）	村上みゆき（都南） 本城知子（前沢）	安部・鈴木（前沢） 石川・佐藤（前沢）
31 61	1 2	松尾・藤沢（盛岡 都南） 石川・安部（前沢）	渡辺清一（花北商） 木立三男（盛岡）	村上・宇夫（都南 盛岡） 小野寺・菅原（一関）	菅原明美（一関） 村上みゆき（都南）	菊池・佐藤（江刺 盛岡） 伊藤・宇夫（盛岡）
32 62	1 2	菊地・渡辺（江　刺 花北商） 石川・安部（前沢）	畠山静夫（北上） 石川　聡（前沢）	小島・武田（北上 釜石） 佐藤・斉藤（盛岡）	菅原明美（一関） 武田さなえ（釜石）	菊地・佐藤（金ケ崎 盛　岡） 石川・石川（前沢 一関）
33 63	1 2	石川・佐藤（前沢 水沢） 畠山・菊池（北上）	木立三男（盛岡） 小野寺義文（前沢）	村上・斉藤（都南 盛岡） 菅原・鈴木（一関）	斉藤美由紀（盛一岡） 村上みゆき（都南）	菊地・照井（金ケ崎 花　巻） 藤沢・畠山（都南）
34 平成元	1 2	石川・佐藤（前沢 水沢） 岩渕・小野寺（前沢）	木立三男（盛岡） 小野寺義文（前沢）	武田・斉藤（水沢 盛岡） 石川・大宮（一関）	村上みゆき（都南） 石川明美（一関）	安部・本城（前沢） 伊藤・武田（前沢 水沢）
35 2	1 2	小野寺・安部（前沢） 菊地・長尾（金ケ崎）	小原智雄（金ケ崎） 鈴木広志（金ケ崎）	武田・石川（水沢 一関） 照井・及川（花巻 北上）	石川明美（一関） 武田さなえ（水沢）	石川・石川（前沢 一関） 安部・本城（前沢）
36 3	1 2	小野寺・安部（前沢） 石川・佐藤（前沢）	佐々木清喜（前沢） 氏家幹太（岩手大）	池端・佐藤（盛岡大） 菊地・武田（遠野 水沢）	池端美杉（盛岡大） 村上みゆき（盛岡）	菊地・菊池（金ケ崎 遠　野） 伊藤・武田（前沢 水沢）
37 4	1 2	石川・佐藤（前沢 水沢） 安部・小野寺（前沢）	佐藤慎也（金ケ崎） 小野寺義文（前沢）	菊地・及川（前沢 水沢） 池端・佐藤（盛岡大）	村上みゆき（盛岡） 池端美杉（盛岡大）	菊地・佐藤（岩　泉 盛岡大） 安部・三輪（前沢）
38 5	1 2	小原・佐藤（北上 金ケ崎） 安部・小野寺（前沢）	小原智雄（北上） 佐藤慎也（金ケ崎）	武田・村上（盛岡） 池端・佐藤（盛岡大）	池端美杉（盛岡大） 村上みゆき（盛岡）	
39 6	1 2	小原・佐藤（北上 金ケ崎） 安部・小野寺（前沢）	小原智雄（北上） 佐藤慎也（金ケ崎）	石川・谷藤（前沢 盛岡） 池端・菅野（盛岡大）	谷藤さなえ（盛岡） 村上みゆき（盛岡）	
40 7	1 2	小原・佐藤（富士通） 安部・小野寺（前沢）	小原智雄（富士通） 阿部勝志（前沢）	本城・佐藤（前沢 水沢） 谷地・間藤（雫石）	佐藤明美（水沢） 野口美奈子（岩手大）	
41 8	1 2	小原・佐藤（富士通） 安部・鈴木（前沢）	小原智雄（富士通） 佐藤慎也（富士通）	本城・佐藤（前沢 水沢） 池端・菅野（釜石 盛岡）	村上みゆき（盛岡） 佐藤明美（水沢）	
42 9	1 2	佐藤・阿部（北上 前沢） 小原・佐藤（富士通）	小原智雄（富士通） 佐藤慎也（富士通）	増子・高橋（盛岡大） 池端・菅野（釜　石 盛　岡）	池端美杉（釜石市役所） 野口美奈子（岩手大）	
43 10	1 2	小原・佐藤（富士通） 佐藤・阿部（北上 前沢）	川村忠広（前沢高） 伊藤俊幸（花巻農）	野口・新開（岩手大） 池端・菅野（釜石市役所 津志田小教）	池端美杉（釜石市役所） 野口美奈子（岩手大）	
44 11	1 2	高橋・伊藤（北　上 JR東日本） 阿部・鈴木（前沢）	川村忠広（前沢高） 宍戸朋夫（北上）	池端・高橋（釜石市役所 盛　岡　大） 増子・佐々木（盛岡大 盛　岡）	池端美杉（釜石市役所） 村上みゆき（村上呉服店）	

回 年度	順位	男子		女子	
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス
45	1	高橋・伊藤（北上）（JR東日本）	佐藤慎也（富士通）	池端・菅野（釜石市役所）（羽場小教）	川村益美（前沢高）
平成12	2	佐藤・川村（富士通）（東北学院大）	高橋英樹（北上）	槻田・八重樫（盛岡大）	池端美杉（釜石）
46	1	高橋・伊藤（北上）（JR東日本）	五嶋健太（盛岡大）	川村・千葉（前沢高）	川村益美（前沢高）
13	2	鈴木・宍戸（水沢）（北上）	尾形工（JR東日本）	野口・石崎（花巻）	千葉孝美（前沢高）
47	1	小原・佐藤（北上）（富士通）	佐藤慎也（富士通）	池端・菅野（釜石市役所）（羽場小教）	川村益美（花巻）
14	2	高橋・伊藤（北上）（JR東日本）	宍戸朋夫（北上）	天野・高橋（花巻）（盛岡大）	佐々木真希子（盛岡）
48	1	高橋・伊藤（北上）（JR東日本）	渡邉清一（花北青雲高教）	渡邉・佐藤（花巻）	川村益美（専修大）
15	2	渡邉・千田（花北青雲高教）（前沢高）	高橋慎（前沢高）	川村・石川（専修大）（いわき短大）	天野美奈子（岩手ソフトエンジニアリング）
49	1	小原・佐藤（富士通）	高橋英樹（北上）	谷地・地境（雫石）（釜石市役所）	川村益美（専修大）
16	2	千田・高橋（前沢）（胆沢）	川村忠広（花巻）	川村・佐藤（専修大）（花巻）	天野美奈子（岩手ソフトエンジニアリング）
50	1	亀ケ森・宮崎（盛岡）（滝沢）	亀ケ森有（盛岡）	村松・佐々木（矢巾）（盛岡）	川村益美（専修大）
17	2	高橋・伊藤（北上）（JR東日本）	宮崎賢治（滝沢）	川村・石川（専修大）（前沢）	菅野智巳（花北青雲高）
51	1	高橋・伊藤（北上）（JR東日本）	石川貴寛（前沢高）	川村・石川（専修大）（前沢）	川村益美（花巻）
18	2	サトリオ・川内（奥州）（法政大）	伊藤俊幸（JR東日本）	宮崎・浅沼（滝沢）（盛岡大）	菅野智巳（花北青雲高）
52	1	石川・千田（日体大）（神奈川大）	石川貴寛（日体大）	川村・石川（花巻）（前沢）	川村益美（花巻）
19	2	千田・鈴木（水一高教）（日体大）	鈴木秀治（日体大）	内藤・玉山（盛岡市立高）（前沢高）	内藤舞（盛岡市立高）
53	1	高橋・佐藤（北上）（富士通）	鈴木秀治（日体大）	田鎖・横手（北上）（雫石）	川村益美（花巻）
20	2	高橋・伊藤（奥州）（JR東日本）	多田祐太（岩手大）	川村・石川（花巻）（奥州）	石畠由美（花北青雲高）
54	1	石川・佐々木（日体大）（法政大）	佐々木翔太（法政大）	田鎖・川村（北上）（花巻）	川村益美（花巻）
21	2	高橋・外川（奥州）（前沢高）	鈴木秀治（日体大）	堤・熊谷（北上）（山形大）	石畠由美（花北青雲高）
55	1	鈴木・高橋（日体大）（奥州）	篠原宏季（前沢高）	上野・川村（前沢高）（花巻）	齊藤佳奈（見前南中）
22	2	高橋・佐藤（北上）（奥州）	室岡大晶（花北青雲高）	堤・熊谷（奥州病院）（山形大）	上野美咲（前沢高）
56	1	高橋・伊藤（北上）（JR東日本）	石川貴寛（奥州）	小笠原・小笠原（花北青雲高）	小笠原理（花北青雲高）
23	2	川村・伊従（花巻）	室岡大晶（花北青雲高）	堤・川村（北上）（花巻）	古川佳奈（前沢高）
57	1	石川・菅原（奥州）（日本郵政G）	多田祐太（花巻）	加藤・川村（盛岡）（花巻）	畠山静花（湯口中）
24	2	木原・松浦（矢巾）（ジェイテクト）	宮崎賢治（滝沢）	高橋・遠藤（盛岡市立高）	玉山巴（前沢高）
58	1	石川・外川（奥州病院）（JR東日本）	菊地裕太（前沢高）	古川・浅沼（前沢高）	古川佳奈（前沢高）
25	2	多田・田口（花巻）（盛岡）	石川貴寛（奥州病院）	横手・菊地（雫石）（釜石）	畠山静花（花北青雲高）
59	1	石川・外川（奥州病院）（JR東日本）	菊地裕太（前沢高）	松好・長岡（前沢高）	畠山静花（花北青雲高）
26	2	菅原・千田（日本郵政）（奥州）	石川貴寛（奥州病院）	久慈・野田（華北青雲高）	藤井愛（花北青雲高）
60	1	石川・外川（仙建工業）（JR東日本）	菊地裕太（富士大学）	藤井・金野（花北青雲高）	畠山静花（花北青雲高）
27	2	軽石・田村（前沢高）	菊地拓也（前沢高）	畠山・中島（花北青雲高）	中島葵（花北青雲高）
61	1	石川・佐々木（仙建工業）（花巻清風）	菊地裕太（富士大学）	金野・藤井（花北青雲高）	金野夕香（花北青雲高）
28	2	菊地・米村（富士大学）	菊地拓也（前沢高）	松好・長岡（前沢高）	藤井愛（花北青雲高）
62	1	菊地・菊地（富士大学）（前沢高）	菊地裕太（富士大学）	高橋・金野（北上）	中島陽菜（花北青雲高）
29	2	米村・福士（富士大学）	菊地拓也（前沢高）	中島・藤井（花巻）（山下組）	金野夕香（北上）
63	1	石川・佐々木（仙建工業）（花巻清風）	藤谷誠仁（奥州）	高橋・金野（北上）	中島陽菜（花巻青雲高）
30	2	藤谷・軽石（奥州市）（JR東日本）	菅原慎也（富士大学）	中島・藤井（花巻）	藤井愛（花巻）

総合選手権第２部

		男子単	男子複	女子単	女子複
37	1	菊地　越郎（岩谷堂）	菊地・菊池（岩谷堂）	三浦　郁子（盛　市）	鈴木・三浦（盛　市）
	2	菊池　　（花　農）	佐藤・鬼柳（北上ク）	横沢　敬子（盛　二）	山本・山本（盛　二）
	3	昆野　　（花　農）	高橋・佐藤（国　鉄）	山本美耶子（盛　二）	竹内・鈴木（水　一）
36	1	大宮　峰雄（前　沢）	古川・大平（盛　一）	八重樫桃子（岩谷堂）	久保田・及川（黒　南）
	2	佐藤　　（黒　南）	松見・佐藤（盛　一）	斉藤　洋子（盛　二）	阿部・多田（花　農）
	3	及川　靖（北　商）	渡辺・山本（盛　市）	細田　克子（盛　二）	細田・斉藤（盛　二）
35	1	小原　茂（遠野ク）	菅原・本多（一関一）	及川　（岩谷堂）	千葉・笹間（釜　石）
	2	津村　（盛　一）	小林・菅田（遠　野）	津田　（前　沢）	千田・千葉（前　沢）
	3		福田・舘沢（国　鉄）	千葉　（釜　石）	千葉・菊池（釜　石）
34	1	千葉征五郎（土　沢）	後藤・菊池（岩谷堂）	高橋　雅子（盛　市）	向井田・高橋（盛　市）
	2	後藤　郁良（岩谷堂）	沼里・藤井（釜　石）	小原　（岩谷堂）	高橋・沢藤（黒　北）
	3	及川　好（釜　鉄）	桑島・平野（盛　二）	菊池　（岩谷堂）	小原・及川（岩谷堂）
33	1	斉藤　隆（前　沢）	篠谷・志村（盛　二）	菊池　洋子（前　沢）	江柄・佐々木（盛　一）
	2	篠谷　弘（盛　二）	高橋・高橋（水　商）	大内　（前　沢）	大内・佐々木（前　沢）
	3	梅木　光（花　商）	石川・阿部（盛　一）	江柄　慶子（岩　大）	菊池・　星（前　沢）
32	1	小野　耕裕（岩谷堂）	杉田・小田（盛　二）		
31	1	菅原　毅（前　沢）	佐藤・星　（釜　鉱）		

岩手県選手権大会

		S男子単	S男子複	S女子単	S女子複
30	1	水谷　政雄（盛　岡）	水谷・中野（盛岡）		野中・菊池（釜石）
	2	石川　雅司（岩　大）	石川・新藤（岩大）		
29	1	丁子　淳（盛　岡）			亀田・宮台（盛市）
	2				

※31年度を第1回と名称する。（以前は参考記録とする）
※30年以前は県選手権（シニア種目）
　37年以前は県総合選手権第１部
　38年以降は県総合選手権
　と称した。

		J男子単	J男子複	J女子単	J女子複
30	1	加茂　和雄（盛一）	加茂・戸沢（盛一）		
	2	戸沢　達夫（盛一）			
29	1	内藤　茂（盛一）	佐々木・吉田（盛二）	野中　寿美（釜石）	野中・菊池（釜石）
	2	佐々木隆夫（盛二）	内　藤・伊藤（盛一）	大山　令子（盛二）	宮台・亀田（盛市）

※30年以前は岩手県選手権（ジュニア）
　37年以前は岩手県総合選手権第2部
　38年以降高校新人（個人）
　で実施した。

（昭和 38 年度岩手県バドミントン協会総会議案書より）

岩手県実業団選手権大会

回 年度	順位	団体 男子	団体 女子
1 昭和36	1 2	釜鉄 釜石鉱業	－ －
2 37	1 2	釜鉄 釜石鉱業	－ －
3 38	1 2	釜鉄A 釜石鉱業	－ －
4 39	1 2	釜鉄 遠野市役所	－ －
5 40	1 2	釜鉄 興産銀行	－ －
6 41	1 2	釜鉄 －	－ －
7 42	1 2	釜鉄 －	－ －
8 43	1 2	釜鉄 国鉄	－ －
9 44	1 2	釜鉄 国鉄	－ －
10 45	1 2	岩手国体で中止	
11 46	1 2	－ －	－ －
12 47	1 2	新日鉄釜石A 新日鉄釜石B	－ －
13 48	1 2	新日鉄釜石A 新日鉄釜石B	東京製鋼スチールコード －
14 49	1 2	新日鉄釜石A 国鉄盛岡	－ －
15 50	1 2	新日鉄釜石 東京製鋼スチールコード	－ －
16 51	1 2	新日鉄釜石 盛岡鉄道管理局	－ －
17 52	1 2	新日鉄釜石 盛岡市役所	新日鉄釜石 東京製鋼スチールコード

回 年度	順位	団体 男子	団体 女子
18 53	1 2	新日鉄釜石A 新日鉄釜石B	新日鉄釜石 リコー光学
19 54	1 2	盛岡鉄道管理局 新日鉄釜石	東北日本電気 東京製鋼スチールコード
20 55	1 2	新日鉄釜石 盛岡鉄道管理局	東北日本電気 －
21 56	1 2	盛岡鉄道管理局 新日鉄釜石	東北日本電気 新日鉄釜石
22 57	1 2	盛岡鉄道管理局 新日鉄釜石	東北日本電気 リコー光学
23 58	1 2	盛岡鉄道管理局 富士通岩手	東北日本電気 富士通岩手A
24 59	1 2	富士通岩手 盛岡鉄道管理局	東北日本電気 富士通岩手
25 60	1 2	－ －	東北日本電気 －
26 61	1 2	－ －	東北日本電気 －
27 62	1 2	富士通岩手 －	東北日本電気 －
28 63	1 2	－ －	－ －
29 平成元	1 2	－ －	－ －
30 2	1 2	富士通岩手 －	東北日本電気 －
31 3	1 2	富士通岩手 JR東日本盛岡	東北日本電気 －
32 4	1 2	－ －	－ －
33 5	1 2	－ －	－ －
34 6	1 2	寺岡製作所 富士通岩手	－ －

平成７年～23年　実施されず記録なし

年度	1位	2位	3位	4位
平成24年度	JR東日本	アイシーエス	リコー光学	
平成25年度	JR東日本A	リコー光学	JR東日本B	アイシーエス
平成26年度	JR東日本A	リコー光学	JR東日本B	アイシーエス
平成27年度	JR東日本	RINS花巻事業所	アイシーエス	
平成28年度	JR東日本	ﾘｺｰｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞA	ﾘｺｰｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞB	
平成29年度	JR東日本	ﾘｺｰｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｱﾙｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ	アイシーエス	
平成30年度				

岩手県種目別バドミントン選手権大会

回 年度	順 位	少年男子		少年女子		青年男子		青年女子		混合
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス
2 昭和 32	1 2					村守・水谷 (盛岡) 内藤・渋谷 (岩大)	村守英雄 (盛岡) 佐々木隆夫 (盛岡)			
3 33	1 2					吉田・遠畑 (岩大) 山田・中村 (釜鉄)	村守英雄 (盛岡) 山田正弘 (釜鉄)			
4 34	1 2					村守・佐々木 (盛岡) 油井・千葉 (釜鉄)	村守英雄 (盛岡) 油井秀男 (釜鉄)	佐々木・八重樫 (釜鉄) 半沢・高橋 (北上)	野中寿美 (釜石) 佐々木和子 (釜石)	
5 35	1 2					村守・佐々木 (盛岡) 吉田・野々村 (岩大)	高橋忠夫 (北上) 油井秀男 (釜鉄)	野村・川村 (釜石) 野中・佐々木 (釜石)	野村京子 (釜石) 川村節子 (釜石)	吉田・佐々木 (盛岡) 柏館・佐々木 (釜石)
6 36	1 2					千葉・梶田 (釜鉄) 吉田・野々村 (岩大)	高橋忠夫 (北上) 村守英雄 (盛岡)	吉田・高橋 (盛岡) 半沢・高橋 (北上)	高橋雅子 (盛岡) 野村京子 (九戸)	高橋・半沢 (北上) 吉田・野村 (盛岡)
7 37	1 2					高橋・白沢 (北上・盛岡) 千葉・梶田 (釜鉄)	高橋忠夫 (北上) 白沢国雄 (盛岡)	吉田・向井田 (盛岡) 半沢・高橋 (北上)	野村京子 (九戸) 高橋カオル (北上)	佐々木・野村 (盛岡) 佐藤・伊藤 (北上)
8 38	1 2					及川・咲山 (釜鉄) 梶田・本多 (釜鉄)	高橋忠夫 (北上) 及川　好 (釜鉄)	川村・菊池 (釜石) 吉田・白沢 (盛岡)	川村節子 (釜石) 白沢和子 (盛岡)	高橋・伊藤 (北上) 白沢・白沢 (盛岡)
9 39	1 2					白沢・細野 (盛岡) 高橋・及川 (北上)	白沢国雄 (盛岡) 及川　好 (釜鉄)			
10 40	1 2	高橋・久保田 (花農) 伊藤・高島 (専北)	高橋英雄 (花農) 高橋康行 (盛一)	山本・藤沢 (白百合) 佐藤・佐藤 (盛市)	鈴木恵子 (釜南) 熊谷里子 (黒北)	高橋・及川 (北上) 及川・咲山 (釜鉄)	白沢国雄 (盛岡) 及川　好 (釜鉄)	箭川・白沢 (盛岡) 野村・大角 (釜石)	野村京子 (釜石) 白沢和子 (盛岡)	
11 41	1 2	菊池・菊池 (岩谷堂) 柏館・伊藤 (釜南)	宇佐美慈夫 (盛市) 佐藤和男 (専北)	菊池・谷藤 (白百合) 斉藤・菊池 (黒南)	菊池篤子 (白百合) 寺島悦子 (盛市)	鬼柳・高鳥 (北上) 佐々木・高橋 (岩大)	白沢国雄 (盛岡) 及川　好 (釜鉄)	箭川・佐藤 (盛岡) 山本・佐藤 (盛岡)	佐藤葉子 (盛岡) 斉藤真喜子 (北上)	
12 42	1 2	熊谷・金野 (千厩) 佐藤・西川 (盛一)	熊谷伸一 (岩谷堂) 山口健二 (盛商)	斉藤・藤代 (千厩) 山内・吉田 (盛一)	小坂英子 (釜南) 斉藤せつ子 (千厩)	金原・及川 (北上) 吉田・千葉 (釜鉄)	金鉄良史 (北上) 白沢国雄 (盛岡)	佐藤・寺島 (盛岡) 山本・谷藤 (盛岡)	斉藤和子 (北上) 菊池和子 (北上)	
13 43	1 2	県民体育大会と兼ねた								
14 44	1 2	佐藤・高橋 (専北) 霞・西川 (盛一)	菅野好文 (黒北) 熊谷康文 (盛商)	藤野・千葉 (千厩) 藤原・古川 (釜北)	藤野あい子 (千厩) 佐々木洋子 (修紅)	金原・鬼柳 (北上) 伊藤・白鳥 (盛岡)	金原良史 (北上) 吉田　寛 (釜石)	及川・寺島 (盛岡) 佐藤・山内 (盛岡)	及川恵子 (盛岡) 斉藤せつ子 (千厩)	佐々木・山本 (盛岡) 白沢・白沢 (盛岡)
15 45	1 2	佐藤・菊池 (岩谷堂) 高橋・阿部 (専北)	高橋信夫 (専北) 佐藤吉男 (黒北)	洞口・伊藤 (釜南) 小野寺・斎藤 (盛市)	洞口美奈子 (釜南) 白石光枝 (千厩)	金原・伊藤 (北上・盛岡) 佐々木・佐々木 (教員)	金原良史 (北上) 吉田　寛 (釜石)	及川・山内 (盛岡) 寺島・佐藤 (盛岡)	斉藤せつ子 (千厩) 及川恵子 (盛岡)	
16 46	1 2	熊谷・小原 (黒北) 千葉・滝沢 (千厩)	永沢文四郎 (盛四) 千葉博巳 (千厩)	佐藤・上野 (修紅) 藤川・宮本 (盛四)	佐藤京子 (専北) 佐藤悦子 (修紅)	佐々木・佐々木 (教員) 金原・鬼柳 (北上)	金原良史 (北上) 鬼柳孝夫 (北上)	小坂・伊藤 (釜石) 城沢・阿部 (北上)	藤野あい子 (千厩) 伊藤洋子 (釜石)	志村・及川 (盛岡) 小林・寺島 (盛岡)

回 年度	順 位	少年男子		少年女子		青年男子		青年女子		30才男子	
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス
17 昭和 47	1	村上・佐々木 (盛四)	佐々木広 (盛四)	米倉・斎藤 (千厩)	斎藤洋子 (千厩)	金原・鬼柳 (北上)	鬼柳孝夫 (北上)	城沢・阿部 (北上)	小笠原孝子 (北上)	杉田・小原 (遠野)	志村正義 (盛岡)
	2	佐々木・佐々木 (大迫)	村上信夫 (盛四)	阿部・佐々木 (盛市)	小野寺米子 (千厩)	佐々木・佐々木 (教員)	佐々木邦夫 (教員)	沢田・高根沢 (北上)	城沢和子 (北上)	高橋・中村 (釜石)	佐藤貞雄 (北上)
18	1	伊藤・三浦 (千厩)	伊藤雅博 (千厩)	菊池・八重樫 (黒北)	対馬美智子 (千厩)	佐々木・佐々木 (教員)	佐々木邦夫 (教員)	宮本・阿部 (盛岡)	小笠原孝子 (北上)	杉田・小原 (遠野)	志村正義 (盛岡)
48	2	橋本・松田 (盛四)	高田　満 (盛一)	対馬・鹿又 (千厩)	八重樫るみ子 (黒北)	高橋・斎藤 (釜石)	永沢和彦 (教員)	小笠原・高橋 (北上)	高橋千賀子 (北上)	佐々木・志村 (盛岡)	小原　茂 (遠野)
19	1	山口・工藤 (専北)	菅原敬二 (千厩)	小笠原・藤沢 (盛四)	渡辺みゆき (花北商)	高橋・阿部 (釜石)	鬼柳孝夫 (北上)	宮本・阿部 (盛岡)	宮本眞知子 (盛岡)	杉田・小原 (遠野)	小原　茂 (遠野)
49	2	千葉・志田 (千厩)	伊藤一郎 (岩谷堂)	渡辺・菊池 (花北商)	斎藤栄子 (黒南)	金原・鬼柳 (北上)	金原良史 (北上)	松島・佐々木 (盛岡)	阿部尚子 (盛岡)	佐藤・小田島 (北上)	佐藤貞雄 (北上)
20	1	菅原・金野 (千厩)	菅原敬二 (千厩)	渡辺・菊池 (花北商)	渡辺みゆき (花北商)	金原・鬼柳 (北上)	高橋道夫 (釜石)	阿部・山田 (盛岡)	阿部尚子 (盛岡)	本多・中村 (釜石)	本多三郎 (釜石)
50	2	阿部・高橋 (大迫)	金野幹保 (千厩)	昆野・高橋 (黒北)	昆野富士子 (黒北)	高橋・阿部 (釜石)	佐々木邦夫 (教員)	斎藤・米倉 (千厩)	斎藤洋子 (千厩)	古館・吉田 (盛岡)	菊地保福 (江刺)
21	1	畠山・小原 (専北)	畠山静夫 (専北)	川畑・菊池 (釜南)	川畑久子 (釜南)	高橋・橋本 (釜石)	高橋信夫 (花巻)	高橋・高橋 (北上)	平賀牧子 (花巻)	菊地・千葉 (江刺)	菊地保福 (江刺)
51	2	石川・菊池 (専北)	下村一志 (釜北)	千葉・対馬 (千厩)	千葉裕子 (千厩)	金原・鬼柳 (北上)	佐藤政由 (江刺)	山田・菊池 (盛岡)	高橋秀子 (北上)	佐藤・星 (北上)	本多三郎 (釜石)
22	1	岩渕・阿部 (前沢)	金今輝彰 (千厩農)	加藤・佐藤 (千厩農)	加藤とよみ (千厩農)	佐々木・佐々木 (教員)	鬼柳孝夫 (北上)	平賀・熊谷 (花巻)	山田久子 (盛岡)	永沢・古館 (教員・盛岡)	永沢和彦 (教員)
52	2	佐藤・鈴木 (水商)	佐々木光美 (前沢)	菊池・菊池 (釜南)	菅原としえ (千厩農)	豊田・鬼柳 (北上)	村上信夫 (盛岡)	高橋・八重樫 (北上)	平賀牧子 (花巻)	鈴木・志村 (都南)	志村正義 (教員)
23	1	菊地・千葉 (岩農)	石川　聡 (前沢)	菊池・菊池 (遠野)	菊池洋子 (遠野)	村上・伊藤 (盛岡)	村上信夫 (盛岡)	柏館・菊池 (釜石)	加藤とよみ (一関)	菊地・永沢 (江刺・教員)	永沢和彦 (教員)
53	2	石川・石崎 (前沢)	菊地英裕 (岩農)	津田・菊田 (水商)	菊池一枝 (遠野)	伊藤・佐藤 (江刺)	鬼柳孝夫 (北上)	高橋・八重樫 (北上)	山田久子 (盛岡)	古館・佐々木 (盛岡)	佐々木彦士 (教員)
24	1	安部・岩渕 (前沢)	菊池久典 (千厩)	伊藤・石川 (前沢)	菊池洋子 (遠野)	伊藤・菊地 (江刺)	鬼柳孝夫 (北上)	渡辺・小西 (石鳥谷・盛岡)	渡辺みゆき (石鳥谷)	菊池・及川 (江刺)	永沢和彦 (教員)
54	2	菊池・菅原 (千厩)	菅原一行 (千厩)	佐々木・高橋 (水農)	本城知子 (水商)	佐藤・菊池 (江刺)	村上信夫 (盛岡)	高橋・細屋 (盛岡)	高橋悦子 (盛岡)	吉田・鎌田 (遠野・盛岡)	菊池修一 (江刺)
25	1	菅原・村上 (千厩)	村上一雄 (千厩)	小川・武田 (盛四)	藤村恵美 (千厩)	佐藤・菊池 (江刺)	鬼柳孝夫 (北上)	渡辺・小西 (石鳥谷・盛岡)	渡辺みゆき (石鳥谷)	鈴木・永沢 (都南)	永沢和彦 (教員)
55	2	高橋・及川 (水商)	高橋圭司 (水商)	高橋・玉山 (盛市)	武田さなえ (盛四)	鬼柳・畠山 (北上)	菊池生昭 (江刺)	高橋・細屋 (宮古・盛岡)	小西孝子 (盛岡)	菊池・及川 (江刺)	菊池修一 (江刺)
26	1	岩渕・小関 (水農)	阿部慎哉 (遠野)	宇夫・前川 (遠野)	宇夫恵子 (遠野)	菊地・菊地 (江刺)	伊藤一郎 (江刺)	渡辺・小西 (石鳥谷・盛岡)	渡辺みゆき (石鳥谷)	鈴木・永沢 (都南)	永沢和彦 (教員)
56	2	阿部・菊池 (遠野)	岩渕　浩 (前沢)	佐藤・外川 (盛市)	外川公子 (盛市)	伊藤・佐藤 (江刺・水沢)	鬼柳孝夫 (北上)	高橋・佐藤 (北上)	小西孝子 (盛岡)	菊池・及川 (江刺)	菊池保福 (江刺)
27	1	石川・阿部 (前沢)	阿部弘和 (前沢)	菊池・佐藤 (遠野)	菅原明美 (花泉)	伊藤・佐藤 (江刺・水沢)	高橋信夫 (花巻)	渡辺・小西 (石鳥谷・盛岡)	渡辺みゆき (石鳥谷)	鬼柳・伊藤 (北上・大東)	鬼柳孝夫 (北上)
57	2	伊藤・細川 (前沢)	亀掛川政光 (大原商)	佐藤・千葉 (水商)	高橋由美子 (花農)	高橋・村上 (花巻・盛岡)	伊藤一郎 (江刺)	細屋・武田 (北上・水沢)	武田さなえ (水沢)	佐藤・菊池 (江刺)	伊藤張二 (大東)
28	1	岩渕・菊地 (前沢)	近藤秀信 (前沢)	油井・柏山 (水商)	後藤利香 (水農)	伊藤・佐藤 (江刺・水沢)	伊藤一郎 (江刺)	細屋・武田 (北上・釜石)	村上みゆき (盛岡)	鬼柳・伊藤 (北上・大東)	鬼柳孝夫 (北上)
58	2	岩渕・鈴木 (前沢)	阿部　仁 (花北商)	菅原・千葉 (千厩)	加藤美登里 (盛市)	菊地・岩渕 (江刺・前沢)	菊地生昭 (江刺)	村上・外川 (盛岡)	武田さなえ (釜石)	佐藤・菊池 (江刺)	伊藤張二 (大東)
29	1	岩渕・菊地 (前沢)	鈴木広志 (前沢)	高橋・細野 (黒南)	細野ゆかり (黒南)	村上・越前屋 (盛岡)	伊藤一郎 (江刺)	小西・佐藤 (盛岡)	武田さなえ (釜石)	鬼柳・伊藤 (北上・大東)	伊藤張二 (大東)
59	2	岩渕・鈴木 (前沢)	阿部　仁 (花北商)	鈴木・菊地 (前沢)	佐々木孝子 (釜商)	石川・岩渕 (前沢)	佐藤彰彦 (水沢)	本城・菅原 (前沢・一関)	菅原明美 (一関)	佐藤・菊池 (江刺)	鬼柳孝夫 (北上)
30	1	阿部・高野橋 (花北商)	阿部　仁 (花北商)	八丁野・板内 (盛市)	桜田美智子 (花農)	石川・石川 (前沢)	伊藤一郎 (江刺)	武田・佐藤 (釜石・盛岡)	菅原明美 (一関)	山口・北野 (釜石)	鬼柳孝夫 (北上)
60	2	達下・高橋 (水商)	渡辺清一 (花北商)	鈴木・細川 (前沢)	斎藤美由紀 (盛三)	畠山・高橋 (北上)	佐藤彰彦 (水沢)	本城・菅原 (前沢・一関)	村上みゆき (都南)	村上・浅沼 (盛岡・都南)	菊池　敏 (江刺)

回 年度	順 位	30才女子		40才男子		40才女子		50才男子		50才女子	混合
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	ダブルス
17 昭和 47	1										阿部・山内 （盛岡）
	2										佐藤・沢田 （北上）
18	1										宮本・熊谷 （盛岡）
48	2										熊谷・高根沢 （北上）
19	1										白沢・阿部 （盛岡）
49	2										永沢・小笠原 （釜石）
20	1										吉田・山田 （盛岡）
50	2										白沢・阿部 （盛岡）
21	1			福田・舘沢 （盛岡）	福田将雄 （盛岡）						高橋・千葉 （花巻）
51	2			竹林・熊谷 （盛岡）	竹林克彦 （盛岡）						吉田・山田 （盛岡）
22	1			福田・舘沢 （盛岡）	福田将雄 （盛岡）						鬼柳・佐藤 （北上）
52	2			竹林・佐々木 （盛岡）	佐々木隆夫 （盛岡）						白沢・山田 （盛岡）
23	1			福田・舘沢 （盛岡）	福田将雄 （盛岡）						佐々木・山田 （盛岡）
53	2			佐々木・村守 （盛岡）	佐々木隆夫 （盛岡）						白沢・小西 （盛岡）
24	1			福田・舘沢 （盛岡）	福田将雄 （盛岡）						金今・渡辺 （盛岡）
54	2			古舘・佐々木 （盛岡）	古館盛助 （盛岡）						菊池・佐藤 （江刺）
25	1			福田・舘沢 （盛岡）	岩本　侃 （盛岡）						菊地・佐藤 （江刺）
55	2			今野・佐藤 （前沢）	佐藤貞雄 （北上）						菊池・上原 （江刺）
26	1			福田・舘沢 （盛岡）	高橋忠夫 （北上）						菊池・上原 （江刺）
56	2			今野・佐藤 （前沢）	古館盛助 （盛岡）						佐藤・武田 （水沢）
27	1	佐藤・藤井 （水沢）		白沢・岩本 （盛岡）	白沢国雄 （盛岡）						鈴木・佐藤 （水沢）
57	2	高橋・金岡 （一関）		佐藤・市橋 （北上）	小原　茂 （遠野）						金原・高橋 （北上）
28	1	白沢・石田 （盛岡）		白沢・岩本 （盛岡）	白沢国雄 （盛岡）						鈴木・佐藤 （水沢）
58	2	佐藤・藤井 （水沢）		今野・佐藤 （前沢）	岩本　侃 （盛岡）						越前屋・内藤 （盛岡）
29	1	白沢・石田 （盛岡）		白沢・金原 （盛岡・北上）	白沢国雄 （盛岡）			福田・舘沢 （盛岡）			鈴木・佐藤 （水沢）
59	2	和田・石川 （盛岡）		岩本・熊谷 （盛岡）	金原良史 （北上）			後藤・高橋 （盛岡）			岩渕・金野 （大東）
30	1	白沢・石川 （盛岡）		金原・菊地 （北上・江刺）	金原良史 （北上）			高橋・舘沢 （盛岡）			佐藤・金野 （大東）
60	2	佐藤・千田 （水沢・江刺）		白沢・吉田 （盛岡）	白沢国雄 （盛岡）						岩渕・佐藤 （大東）

回 年度	順 位	少年男子		少年女子		青年男子		青年女子		30才男子	
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス
31 昭和 61	1	渡辺・高野橋 (花北商) 佐々木・細川 (盛市)	渡辺清一 (花北商)	照井・畠山 (花農)	斎藤美由紀 (盛三)	佐藤・伊藤 (水沢・盛岡)	石川　聡 (前沢)	武田・佐藤 (釜石・盛岡)	菅原明美 (一関)	村上・鬼柳 (盛岡・北上)	村上信夫 (盛岡)
	2		高橋　進 (花農)	小形・佐藤 (前沢)	畠山富士子 (花農)	菊地・菊地 (金ケ崎・江刺)	菊地生昭 (金ケ崎)	村上・宇夫 (都南・盛岡)	佐藤めぐみ (盛岡)	菊池・高田 (江刺・二戸)	高田　満 (二戸)
32 62	1	渡辺・中沢 (花北商)	渡辺清一 (花北商)	田中・坂内 (花農)	相沢咲織 (盛市)	石川・佐藤 (前沢・水沢)	石川　聡 (前沢)	石川・桜田 (一関)	武田さなえ (釜石)	石川・伊藤 (前沢・盛岡)	伊藤一郎 (盛岡)
	2	佐々木・細川 (盛市)	菊地敏幸 (前沢)	本間・平野 (釜商)	諏訪智恵子 (盛市)	安部・菊地 (前沢・金ケ崎)	畠山静夫 (北上)	武田・小島 (釜石・北上)	本城知子 (前沢)	村上・越前屋 (盛岡・雫石)	村上信夫 (盛岡)
33 63	1					石川・佐藤 (前沢・水沢)	菊地生昭 (金ケ崎)	武田・小島 (釜石・北上)	武田さなえ (釜石)	村上・伊藤 (盛岡)	伊藤一郎 (盛岡)
	2					菊地・岩渕 (金ケ崎)	石川　聡 (前沢)	斎藤・宇夫 (盛岡)	斎藤美由紀 (盛岡)	石川・菊池 (前沢・江刺)	菊池　敏 (江刺)
34 平成 元	1					石川・佐藤 (前沢・水沢)	菊地生昭 (金ヶ崎)	照井・田中 (花巻)	石川明美 (一関)	伊藤・畠山 (盛岡・北上)	畠山静夫 (北上)
	2					安部・鈴木 (前沢・金ケ崎)	石川　聡 (前沢)	鈴木・鈴木 (一関)	斎藤美由紀 (盛岡)	村上・高橋 (盛岡・北上)	木立三男 (盛岡)
35 2	1	照井・久保田 (花農)	佐藤憲明 (専北)	池端・佐藤 (釜商)	佐藤明美 (前沢)	小野寺・安部 (前沢)	菊地生昭 (金ヶ崎)	石川・鈴木 (一関)	石川明美 (一関)	佐藤・鈴木 (水沢)	菊池　敏 (江刺)
	2	三田・安藤 (花農)	照井　純 (花農)	平賀・照井 (花北商)	池端美杉 (釜商)	菊地・小原 (金ケ崎)	小原智雄 (金ケ崎)	武田・桜田 (水沢・一関)	桜田美知子 (一関)	伊藤・高田 (前沢・二戸)	伊藤一郎 (盛岡)
36 3	1	佐藤・平田 (前沢)	佐藤憲明 (専北)	新渕・藤原 (花農)	上山静江 (大迫)	佐々木・菊地 (前沢・田老)	小野寺義文 (前沢)	武田・菊池 (水沢・遠野)	武田さなえ (水沢)	石川・佐藤 (前沢・水沢)	菊池生昭 (金ケ崎)
	2	菊地・三瓶 (前沢)	佐藤　誠 (前沢)	赤坂・宮野 (盛二)	佐藤光恵 (花農)	藤谷・鈴木 (金ケ崎・水沢)	佐藤慎也 (金ケ崎)	照井・及川 (花巻・北上)	畠山美由紀 (北上)	伊藤・高田 (前沢・二戸)	石川　聡 (前沢)
37 4	1					佐々木・菊地 (前沢・岩泉)	小原智雄 (北上)	武田・石川 (水沢・前沢)	池端美杉 (釜石)	石川・佐藤 (前沢・水沢)	菊地生昭 (江刺)
	2					藤谷・鈴木 (水沢)	佐藤慎也 (金ケ崎)	池端・佐藤 (釜石・水沢)	石川明美 (前沢)	小野寺・安部 (前沢)	畠山静夫 (北上)
38 5	1					佐々木・菊地 (前沢・江刺)	佐藤慎也 (金ヶ崎)	菅野・池端 (盛大)	池端美杉 (盛大)	小野寺・安部 (前沢)	菊地生昭 (江刺)
	2					小原・佐藤 (北上)	佐々木清貴 (前沢)	柏山・本城 (前沢)	武田さなえ (盛岡)	石川・佐藤 (前沢・水沢)	小野寺義文 (前沢)
39 6	1					小原・佐藤 (富士通)	菊地　亨 (岩泉)	谷地・諏訪 (雫石)	石川明美 (前沢)	小野寺・安部 (前沢)	小野寺義文 (前沢)
	2					鈴木・佐々木 (前沢)	鈴木広志 (前沢)	池端・佐藤 (盛大)	池端美杉 (盛大)	石川・佐藤 (前沢・水沢)	畠山静夫 (北上)
40 7	1					小原・佐藤 (富士通)	小原智雄 (富士通)	谷地・池端 (雫石・釜石)	池端美杉 (釜石)	小野寺・安部 (前沢)	小野寺義文 (前沢)
	2					鈴木・佐々木 (前沢)	佐藤慎也 (富士通)	松田・本間 (盛大)	石川明美 (前沢)	佐藤・藤谷 (水沢・富士通)	藤谷清文 (富士通)
41 8	1					小原・佐藤 (富士通)	小原智雄 (富士通)	池端・松田 (釜石・盛大)	池端美杉 (釜石市役所)	石川・佐藤 (JR東日本・水沢)	菊地生昭 (えさし藤原の郷)
	2					阿部・三瓶 (前沢)	佐藤慎也 (富士通)	佐藤・谷地 (水沢・雫石)	石川明美 (前沢)	小野寺・安部 (前沢)	小野寺義文 (前沢)
42 9	1					小原・佐藤 (富士通)	佐藤慎也 (富士通)	佐藤・谷地 (水沢・雫石)	池端美杉 (釜石市役所)	鈴木・安部 (富士通・水沢)	鈴木広志 (富士通)
	2					佐藤・宍戸 (北上)	小原智雄 (富士通)	池端・増子 (釜石市役所・盛大)	増子久美子 (盛大)	石川・鈴木 (JR東日本・水沢)	菊地生昭 (えさし藤原の郷)
43 10	1					阿部・佐藤 (前沢・北上)	佐藤慎也 (富士通)	池端・増子 (釜石市役所・盛大)	池端美杉 (釜石市役所)	石川・鈴木 (JR東日本・水沢)	菊地生昭 (えさし藤原の郷)
	2					小原・佐藤 (富士通)	小原智雄 (富士通)	野口・新開 (岩大)	野口美奈子 (岩大)	鈴木・安部 (富士通・水沢)	鈴木広志 (富士通)
44 11	1					佐藤・宍戸 (富士通・北上)	佐藤慎也 (富士通)	池端・増子 (釜石市役所・盛大)	池端美杉 (釜石市役所)	石川・鈴木 (JR東日本・水沢)	菊地　亨 (前沢高校)
	2					高橋・伊藤 (北上・JR東日本)	菅原真司 (前沢)	谷地・宮崎 (横重建築・盛岡)	高橋朱美 (矢巾)	鈴木・安部 (富士通・水沢)	菊地生昭 (えさし藤原の郷)

回 年度	順 位	30才女子		40才男子		40才女子		50才男子		50才女子	混合
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	ダブルス
31 昭和 61	1	白沢・佐藤 (盛岡)		白沢・佐々木 (盛岡)	金原良史 (北上)			福田・高橋 (盛岡)			
	2	石川・吉田 (盛岡)		金原・菊地 (北上・江刺)	白沢国雄 (盛岡)			舘沢・東野 (都南)			
32	1	白沢・佐藤 (盛岡)		金原・鬼柳 (北上)	鬼柳孝夫 (北上)			石川・東 (盛岡)			照井・小島 (花巻・北上)
62	2	佐藤・高橋 (水沢)		佐々木・永沢 (遠野・大船渡)	金原良史 (北上)			舘沢・東野 (都南)			縄巻・岩渕 (盛大)
33	1	村上・佐藤 (盛岡)		佐々木・永沢 (遠野・大船渡)	鬼柳孝夫 (北上)	浅沼・藤原 (盛岡)		岩本・小原 (盛岡)			佐藤・照井 (花巻)
63	2	白沢・平沢 (盛岡)		金原・鬼柳 (北上)	永沢和彦 (大船渡)	吉田・熊谷 (盛岡)		石川・東 (盛岡)			岩渕・柏山 (前沢)
34 平成 元	1	村上・佐々木 (都南)	村上みゆき (都南)	菊地・山口 (江刺・釜石)	鬼柳孝夫 (北上)	浅沼・藤原 (盛岡)		岩本・小原 (盛岡)			佐藤・槻山 (一関)
	2	白沢・佐藤 (盛岡)		佐々木・永沢 (遠野・大船渡)	金原良史 (北上)	高橋・高橋 (一関)		石川・東 (盛岡)			新山・小山 (千厩)
35	1	村上・三浦 (都南・一関)	三浦とよみ (一関)	鬼柳・金原 (北上)	鬼柳孝夫 (北上)	鈴木・藤井 (水沢)		佐藤・杉田 (北上)			佐藤・槻山 (一関)
2	2	白沢・佐藤 (盛岡)		菊地・山口 (江刺・釜石)	佐々木邦夫 (盛岡)	石岡・絹 (都南)		岩本・小原 (盛岡)			平山・山下 (久慈)
36	1	村上・三浦 (都南一関)		鬼柳・金原 (北上)	鬼柳孝夫 (北上)	女鹿・佐々木 (紫波・盛岡)		岩本・小原 (盛岡)			菊地・小野寺 (金ケ崎)
3	2	白沢・佐藤 (盛岡)		佐々木・永沢 (遠野・釜石)	金原良史 (北上)	斎藤・佐藤 (江刺・水沢)		佐藤・杉田 (北上)			菊地・千田 (江刺)
37	1	村上・菊地 (都南・江刺)		伊藤・佐藤 (前沢・江刺)	伊藤張二 (前沢)			白沢・岩本 (盛岡)			鈴木・菊地 (水沢・江刺)
4	2	三浦・佐藤 (一関)		鬼柳・金原 (北上)	金原良史 (北上)	藤原・菊池 (盛岡)		佐藤・杉田 (北上・宮古)			岩渕・柏山 (前沢)
38	1	村上・武田 (盛岡)		伊藤・鬼柳 (前沢・北上)	伊藤張二 (前沢)	佐々木・白沢 (盛岡)		白沢・岩本 (盛岡)			
5	2	三浦・佐藤 (一関)		佐藤・菊池 (江刺)	鬼柳孝夫 (北上)	菊池・圓子 (盛岡)		佐藤・杉田 (北上・宮古)			
39	1	谷藤・石川 (盛岡・前沢)	管原由紀 (盛岡)	伊藤・鬼柳 (前沢・北上)	菊池　敏 (江刺)	佐々木・佐々木 (盛岡)		白沢・金原 (盛岡)	吉田征夫 (盛岡)		
6	2	三浦・佐藤 (一関)	小野寺浩子 (北上)	佐藤・菊池 (江刺)	菊地　正 (盛岡)	女鹿・伊藤 (紫波・花巻)		佐藤・杉田 (北上)	奥　侃 (矢巾)		
40	1	石川・柏山 (前沢)	高橋恵理子 (北上)	伊藤・鬼柳 (前沢高教・北上)	伊藤張二 (前沢高教)	佐々木・佐々木 (盛岡)		金原・菊地 (北上・江刺)	菊地保福 (江刺)		
7	2	三浦・佐藤 (一関)	小野寺浩子 (北上)	山口・北野 (釜石)	菊地　正 (盛岡)	佐藤・圓子 (盛岡)		佐藤・千葉 (北上・一関)	佐藤貞雄 (北上)		
41	1	谷藤・村上 (盛岡)	小野寺浩子 (北上)	髙田・菊地 (盛岡)	伊藤張二 (前沢高教)	葛巻・圓子 (盛岡)		堀込・菅原 (北上)	白沢国雄 (盛岡)	鈴木・藤井 (水沢)	
8	2	石川・柏山 (前沢)	菅原由紀 (盛岡)	伊藤・鬼柳 (前沢高教・JR東日本)	菊地　正 (盛岡)	佐々木・女鹿 (盛岡・紫波)		金原・佐藤 (北上)	菊地保福 (江刺)		
42	1	本城・菊地 (前沢・江刺)	本城知枝 (前沢)	伊藤・髙田 (前沢高教・滝沢南中教)	伊藤張二 (前沢高教)	白沢・佐々木 (盛岡)		永沢・佐々木 (水商高教・盛四高教)	白沢国雄 (白沢せんべい店)	阿部・藤井 (水沢)	
9	2	石川・柏山 (前沢)	菅原由紀 (盛岡)	亀ケ森・越前屋 (盛岡・雫石)	鬼柳孝夫 (北上)	圓子・佐藤 (盛岡)		佐々木・白沢 (盛南高教・白沢煎餅)	千葉　惇 (一関)		
43	1	本城・菊地 (前沢・江刺)		亀ケ森・越前屋 (盛岡・雫石)	伊藤張二 (前沢高教)	小野寺・高橋 (北上)		金原・鬼柳 (カネハラ・JR東日本)	白沢国雄 (白沢せんべい店)	女鹿・千葉 (紫波・一関)	
10	2	石川・柏山 (前沢)		北野・菊池 (釜石・江刺)	伊藤一郎 (盛岡)	佐々木・村上 (盛岡)		永沢・佐々木 (水商高教・盛四高教)	金原長史 (カネハラ)	阿部・藤井 (水沢)	
44	1	谷藤・菊地 (盛岡・江刺)		亀ケ森・越前屋 (盛岡・雫石)	伊藤張二 (前沢高教)	佐々木・村上 (盛岡)	小野寺浩子 (北上)	金原・鬼柳 (カネハラ・JR東日本)	鬼柳孝夫 (JR東日本)	女鹿・千葉 (紫波・一関)	
11	2	石川・柏山 (前沢)		伊藤・伊藤 (前沢高教・盛岡)	伊藤一郎 (盛岡)	小野寺・高橋 (北上)	高橋恵理子 (北上)	鈴木・山口 (盛岡・釜石)	白沢国雄 (白沢せんべい店)		

回 年度	順 位	少年男子		少年女子		青年男子		青年女子	
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス
45 平成12	1 2					高橋・伊藤 (北上・JR東日本) 佐藤・川村 (富士通・東北学院大)	川村忠広 (東北学院大) 宍戸朋夫 (北上市)	池端・槻田 (釜石市役所・盛大) 野口・佐々木 (花巻・盛岡)	谷地春子 (横重建築) 池端美杉 (釜石市役所)
46 13	1 2					高橋・伊藤 (北上・JR東日本) 佐藤・川村 (富士通・東北学院大)	川村忠広 (東北学院大) 宍戸朋夫 (北上市)	谷地・野口 (横重建築・花巻) 池端・槻田 (釜石市役所・盛大)	谷地春子 (横重建築) 池端美杉 (釜石市役所)
47 14	1 2					高橋・伊藤 (北上・JR東日本) 佐藤・多田 (北上市)	宍戸朋夫 (北上市) 高橋英樹 (北上市)	野口・高橋 (花巻・盛大) 村松・佐々木 (矢巾・盛岡)	池端美杉 (釜石市役所) 村松朱美 (矢巾町)
48 15	1 2					高橋・伊藤 (北上・JR東日本) 穴戸・岡田 (北上市)	高橋英樹 (北上市) 川村忠広 (東北学院大)	渡辺・谷地 (花巻・横重建築) 天野・高橋 (岩手ソフトエ・盛大)	川村益美 (専修大学) 谷地春子 (横重建築)
49 16	1 2					高橋・伊藤 (北上・JR東日本) 川村・千田 (花巻・東日本国際大)	川村忠広 (花巻市) 高橋英樹 (北上市)	佐藤・川村 (花巻・専大) 村松・佐々木 (矢巾・盛岡)	川村益美 (専修大学) 天野美奈子 (岩手ソフトエンジニアリング)
50 17	1 2					高橋・伊藤 (北上・JR東日本) 川村・菅原 (花巻・JR東日本)	亀ヶ森有 (法政大学) 川村忠広 (花巻市)	谷地・池端 (雫石・釜石市役所) 村上・斉藤 (仙台大学)	川村益美 (専修大学) 佐々木真希子 (盛岡市)
51 18	1 2					川内・亀ヶ森 (法政大学) 村上・松浦 (中央大・早稲田大)	川内崇士 (法政大学) 松浦翔 (早稲田大学)	川村・石川 (花巻・前沢) 佐々木・村松 (盛岡・矢巾)	川村益美 (花巻市) 吉岡絵里奈 (矢巾町)
52 19	1 2					高橋・川内 (奥州市・法政大) 村上・松浦 (中央大・早稲田大)	佐々木翔太 (法政大学) 松浦翔 (早稲田大学)	川村・石川 (花巻・前沢) 阿部・菅野 (東北福祉・尚美学園大)	川村益美 (花巻市) 田鎖志穂 (日本体育大)
53 20	1 2	外川・玉山 (前沢高) 菊池・上村 (前沢高)	小山眞 (前沢高) 玉山駿 (前沢高)	齋藤・高橋 (前沢高) 熊谷・八重樫 (黒沢尻北高)	熊谷安乃 (黒沢尻北高) 舘脇祐未 (前沢高)	村上・松浦 (中央大・早稲田大) 石川・佐々木 (日体大・法政大)	佐々木翔太 (法政大学) 鈴木秀治 (日本体育大学)	川村・石川 (花巻・奥州) 田鎖・伊藤 (日体大・北上)	川村益美 (花巻市) 田鎖志穂 (日本体育大)
54 21	1 2	外川・玉山 (前沢高) 鈴木・村松 (前沢高)	藤谷誠仁 (前沢高) 篠原宏季 (前沢高)	上野・田鎖 (前沢高) 田邊・内藤 (盛岡市立高)	上野美咲 (前沢高) 岩渕悠里亜 (前沢高)	村上・松浦 (中央大・早稲田大) 石川・佐々木 (日体大・法政大)	佐々木翔太 (法政大学) 石川貴寛 (日本体育大学)	川村・石川 (花巻・奥州) 田鎖・熊谷 (北上・山形大)	川村益美 (花巻市) 堤奈緒子 (北上市)
55 22	1 2	篠原・門脇 (前沢高) 若生・藤谷 (前沢高)	藤谷誠仁 (前沢高) 篠原宏季 (前沢高)	上野・田鎖 (前沢高) 三浦・菅原 (前沢高)	上野美咲 (前沢高) 石畠由美 (花北青雲高)	石川・松浦 (日体大・ジェイテクト) 玉山・外川 (盛岡・JR東日本)	鈴木秀治 (日本体育大学) 石川貴寛 (日本体育大学)	川村・熊谷 (花巻・山形大) 加藤・宮崎 (滝沢村)	熊谷安乃 (山形大学) 岩渕悠里亜 (奥州市)
56 23		震災のため中止							
57 24	1 2	津田・安部 (前沢高) 小原聖・藤根 (花北青雲高)	菊地裕太 (前沢高) 筑後　和 (花北青雲高)	玉山・古川 (前沢高) 高橋咲・齊藤み (盛岡市立高)	古川佳奈 (前沢高) 玉山巴 (前沢高)	石川貴・松浦 (奥州・ジェイテクト) 藤谷・篠原 (東海学院大・県立大)	亀ヶ森有 (盛岡市) 藤谷誠仁 (東海学院大)	加藤明・川村 (盛岡・花巻) 上野・田鎖 (東海学院大・北翔大)	上野美咲 (東海学院大) 加藤明子 (盛岡市)
58 25	1 2	菊地・木村 (前沢高) 筑後・山本 (花北青雲高)	菊地裕太 (前沢高) 筑後和 (花北青雲高)	浅沼・古川 (前沢高) 佐山・宮野 (盛岡市立高)	古川佳奈 (前沢高) 藤井愛 (湯口中)	石川貴・外川 (奥州・JR東日本) 藤谷・篠原 (東海学院大・県立大)	石川貴寛 (奥州病院) 藤谷誠仁 (東海学院大)	熊谷・田鎖 (北上・北翔大) 三好・田村 (北上市)	田鎖沙耶 (北翔大) 熊谷安乃 (北上市)
59 26	1 2	田村・軽石 (前沢高) 村井・原 (盛岡市立高)	村井聡記 (盛岡市立高) 千田拳士朗 (専大北上高)	畠山・中島 (花北青雲高) 佐山・平渡 (盛岡市立高)	畠山静花 (花北青雲高) 松好奏海 (前沢高)	石川貴・菊地裕 (奥州病院・富士大) 藤谷・室岡 (東海学院大・北翔大)	菊地裕太 (富士大) 室岡大晶 (北翔大)	齊藤・古川 (北翔大・作新学院大) 熊谷・田村 (北上市)	古川佳奈 (作新学院大) 齊藤佳奈 (北翔大)
60 27	1 2	田村・軽石 (前沢高) 高橋・藤原 (花北青雲高)	菊地拓也 (前沢高) 菅原慎也 (前沢高)	畠山・中島 (花北青雲高) 藤井・金野 (花北青雲高)	畠山静花 (花北青雲高) 藤井愛 (花北青雲高)	石川貴・菊地裕 (仙建工業・富士大) 内藤・筑後 (神奈川大)	菊地裕太 (富士大) 室岡大晶 (北翔大)	田鎖・千田 (シチズン・奥州) 玉山・高橋咲 (紫波・北上)	古川佳奈 (作新学院大) 高橋咲 (北上市)
61 28	1 2	田村・軽石 (前沢高) 小原・吉田 (花北青雲高)	菊地拓也 (前沢高) 軽石直人 (前沢高)	藤井・金野 (花北青雲高) 長岡・松好 (前沢高)	松好奏海 (前沢高) 金野夕香 (花北青雲高)	佐々木・藤谷 (花巻清風支援校・奥州) 石川貴・菊地裕 (仙建工業・富士大)	菊地裕太 (富士大) 石川貴寛 (仙建工業)	斉藤・古川 (北翔大・作新学院大) 畠山・伊藤 (東海大・盛岡)	古川佳奈 (作新学院大) 畠山静花 (東海大)
62 29	1 2	菊地拓・佐藤 (前沢高) 菊地　・山口 (花北青雲高)	菊地拓也 (前沢高) 千田壱郎 (前沢高)	市原・中島 (花北青雲高) 森田・廣澤 (盛岡市立高)	中島陽菜 (花北青雲高) 菊川優月 (花北青雲高)	佐々木・石川 (花巻清風支援校・仙建工業) 福士・米村 (富士大)	菊地裕太 (富士大) 石川貴寛 (仙建工業)	中島・藤井 (花巻市・山下組) 古川・園 (作新学院大)	古川佳奈 (作新学院大) 藤井　愛 (山下組)
63 30	1 2	菊地　・山口 (花北青雲高) 藤沢・阿部 (盛岡市立高)	藤沢　亮 (盛岡市立高) 菊地　希 (花北青雲高)	中島・吉村 (花北青雲高) 藤井・千葉 (前沢高)	中島陽菜 (花北青雲高) 三瓶萌梨 (花北青雲高)	佐々木・軽石 (花巻清風支援校・JR東日本) 福士・小田桐 (富士大)	菊地拓也 (トヨタ自動車) 石川貴寛 (仙建工業)	高橋・金野 (北上市) 外川・松好 (盛岡市・奥州市)	藤井　愛 (花巻市) 中島　葵 (花巻市)

回 年度	順 位	30才男子		30才女子		40才男子		40才女子	
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス
45 平成 12	1 2	鈴木・小野 (水沢市) 菊地・菊地 (えさし藤原の郷・江刺)	菊地　亨 (前沢高教) 阿部勝志 (前沢町)	石川・谷地 (前沢・雫石) 谷藤・伊藤 (盛岡市)	菅原由紀 (盛岡市) 星川真由美 (盛岡市)	亀ヶ森・越前屋 (盛岡・雫石) 北野・山崎 (釜石市)	北野和敏 (釜石市) 菊池　敏 (江刺市)	佐々木・村上 (盛岡・村上呉服店) 小野寺・高橋 (北上市)	小野寺浩子 (北上市)
46 13	1 2	小原・阿部 (北上・前沢) 鈴木・小野 (水沢市)	阿部勝志 (前沢町) 菊地　亨 (前沢高教)	石川・菊地 (前沢・江刺) 谷藤・伊藤 (盛岡市)	熊谷朋子 (盛岡市) 菅原由紀 (盛岡市)	石川・菊地 (JR東日本・藤原の郷) 亀ヶ森・越前屋 (盛岡・雫石)	菊地生昭 (えさし藤原の郷) 菊池　敏 (江刺市)	小野寺・高橋 (北上市) 村上・橋本 (村上呉服店・盛岡)	
47 14	1 2	小原・佐藤 (富士通) 小野・佐藤 (水沢市)	佐藤慎也 (富士通) 菊地　亨 (前沢高教)	石川・谷地 (前沢・横重建築) 谷藤・伊藤 (盛岡市)		石川・菊地 (JR東日本・種山星座の森) 佐藤・新山 (一関市)	菊地生昭 (種山高原星座の森) 亀ヶ森義広 (盛岡市)	小原・菅原 (盛岡市) 太田・菊地 (滝沢・江刺)	
48 15	1 2	佐藤・小原 (富士通) 阿部・鈴木 (前沢・胆沢)	渡辺清一 (花巻市) 佐藤慎也 (富士通)	菅野・池端 (羽場小教・釜石市役所) 伊藤・石川 (盛岡・前沢)		亀ヶ森・越前屋 (盛岡・雫石) 北野・山崎 (釜石市)	菊地生昭 (種山高原星座の森) 藤沢正幸 (盛岡市)	村上・谷藤 (村上呉服店・盛岡) 太田・小原 (滝沢・盛岡)	
49 16	1 2	佐藤・渡辺 (富士通・花北青雲高) 小原・佐藤 (北上市)	佐藤慎也 (富士通) 外川正昭 (盛岡市)	谷地・池端 (雫石・釜石市役所) 石川・柏山 (前沢町)		北野・山崎 (釜石市) 亀ヶ森・越前屋 (盛岡・雫石)	菊地生昭 (えさし藤原の郷) 藤沢正幸 (盛岡市)	谷藤・伊藤 (盛岡市) 村上・小原 (村上呉服店・盛岡)	
50 17	1 2	佐藤・渡辺 (富士通・花北青雲高) 鈴木・岡 (胆沢・矢巾)	渡辺清一 (花北青雲高教) 佐藤慎也 (富士通)	石川・柏山 (前沢町) 伊藤・諏訪 (盛岡・雫石)		藤沢・菊地 (盛岡・えさし藤原の郷) 亀ヶ森・越前屋 (盛岡・雫石)	菊地生昭 (えさし藤原の郷) 藤沢正幸 (盛岡市)	谷藤・伊藤 (盛岡市) 村上・菅原 (村上呉服店・盛岡市役所)	
51 18	1 2	佐藤・渡辺 (富士通・花北青雲高) 佐藤・鈴木 (北上・奥州)	渡辺清一 (花北青雲高教) 佐藤慎也 (富士通)	谷地・池端 (雫石・釜石) 伊藤・伊藤 (盛岡市)		菊地・藤澤 (えさし藤原の郷・盛岡) 新山・佐藤 (一関市)	菊地生昭 (えさし藤原の郷) 高橋久之 (北上市)	谷藤・伊藤 (盛岡市) 小原・高橋 (盛岡・一関)	
52 19	1 2	佐藤・渡辺 (富士通・花北青雲高) 柳原・佐藤 (一関修紅高教・奥州市)	渡辺清一 (花北青雲高教) 佐藤慎也 (富士通)	横手・諏訪 (雫石町) 川南・星川 (盛岡市)		鈴木・鈴木 (奥州市) 安部・菊地 (奥州市)	菊地生昭 (奥州市) 鈴木広志 (奥州市)	谷藤・伊藤 (盛岡市) 小田島・萩野 (矢巾町)	
53 20	1 2	高橋・佐藤 (北上・富士通) 渡邉・小原 (花北青雲高・北上)	高橋英樹 (北上市) 外川正昭 (盛岡市)	菊地・竹鼻 (盛岡市) 阿部・諏訪 (雫石町)		菊地・藤澤 (Pショップ菊地・Rショップ広瀬) 鈴木・鈴木 (奥州市)	鈴木広志 (奥州市) 菊地生昭 (奥州市)	横手・石川 (雫石・奥州) 谷藤・伊藤 (盛岡市)	
54 21	1 2	渡邉・小原 (花北青雲高・北上) 高橋・佐藤 (北上・富士通)	佐藤慎也 (富士通) 高橋英樹 (北上市)	菊地・竹鼻 (盛岡市) 村松・佐々木 (北上・盛岡)		菊地・菊地 (Pショップ菊地・前沢高教) 鈴木・鈴木 (奥州市)	菊地生昭 (Pショップ菊地) 鈴木広志 (奥州市)	横手・石川 (雫石・奥州) 谷藤・伊藤 (盛岡市)	
55 22	1 2	高橋・佐藤 (北上・富士通) 及川・多田 (矢巾・北上)	佐藤慎也 (富士通) 高橋英樹 (北上市)	新屋・佐々木 (矢巾・盛岡) 菊地・竹鼻 (盛岡市)		渡邉・鈴木 (花北青雲高教・奥州) 鈴木・阿部 (奥州市)	渡邉精一 (花北青雲高教) 阿部勝志 (奥州市)	谷藤・角掛 (盛岡市) 横手・石川 (雫石・奥州)	
56 23		震災のため中止							
57 24	1 2	佐藤茂・伊藤俊 (紫波・JR東日本) 川村忠・千田　一 (花巻・水沢一高教)	川村忠広 (花巻市) 菅原一由 (JR東日本)	横手・宮崎 (雫石・滝沢) 佐々木真・新屋 (盛岡・矢巾)		鈴木浩・佐藤慎 (奥州市) 阿部淳・柳原 (盛岡・一関修紅高教)	佐藤慎也 (奥州市) 千葉順一 (若葉小教)	谷藤・伊藤公 (盛岡市) 今春・千田祐 (奥州・北上)	
58 25	1 2	川村忠・千田　一 (花巻・水沢一高教) 尾形・伊藤 (JR東日本)	尾形　工 (JR東日本) 高橋大吉 (北上市)	熊谷・宮崎 (盛岡・滝沢) 佐々木真・川南 (盛岡市)		鈴木浩・佐藤慎 (奥州市) 阿部淳・柳原 (盛岡・一関修紅高教)	佐藤慎也 (奥州市) 千葉順一 (若葉小教)	菊地・横手 (釜石・雫石) 今春・千田祐 (奥州・北上)	
59 26	1 2	伊藤・高橋 (JR東日本・タカゼン) 尾形・川村 (JR東日本・花巻市)	尾形　工 (JR東日本) 高橋大吉 (北上市)	阿部・戸田 (盛岡・花巻) 亀谷・岩渕 (一関市)		鈴木浩・佐藤慎 (奥州市) 外川正・佐藤憲 (盛岡・北上)	佐藤慎也 (奥州市) 外川正昭 (盛岡市)		
60 27	1 2	伊藤・高橋 (JR東日本・タカゼン) 尾形・川村 (JR東日本・花巻市)	尾形　工 (JR東日本) 伊藤俊幸 (JR東日本)	熊谷・渡辺 (盛岡・滝沢) 亀谷・岩渕 (一関市)		鈴木浩・佐藤慎 (奥州市) 外川正・佐藤憲 (盛岡・北上)	佐藤慎也 (奥州市) 外川正昭 (盛岡市)		
61 28	1 2	高橋・佐藤 (奥州・釜石) 伊藤・高橋 (JR東日本・タカゼン)	尾形　工 (JR東日本) 伊藤俊幸 (JR東日本)	宮崎・田井 (滝沢・花巻) 熊谷・渡辺 (盛岡・滝沢)		鈴木浩・佐藤慎 (奥州市) 外川正・佐藤憲 (盛岡・北上)	佐藤慎也 (奥州市) 佐藤憲明 (北上市)		
62 29	1 2	伊藤・高橋英 (JR東日本・北上市) 宮崎・高橋慎 (滝沢市・奥州市)	伊藤俊幸 (JR東日本) 宮崎賢治 (滝沢市)	戸田・田井 (花巻市) 熊谷・渡辺 (盛岡・滝沢)		佐藤慎・佐藤憲 (奥州市・北上市) 阿部淳・柳原 (盛岡・一関修紅高教)	佐藤慎也 (奥州市) 岩渕辰男 (川鵜印刷)	菊地・横手 (釜石・雫石) 今春・千田祐 (奥州・北上)	
63 30	1 2	伊藤・高橋英 (JR東日本・北上市) 高橋・宮崎 (タカゼン・滝沢市)	尾形　工 (JR東日本) 宮崎賢治 (滝沢市)	戸田・高橋 (花巻市・奥州市) 岩渕・亀谷 (一関市)		三瓶・岩渕 (一関市・川鵜印刷) 佐藤慎・佐藤憲 (奥州市・北上市)	佐藤慎也 (奥州市) 岩渕辰男 (川鵜印刷)	菊地・横手 (釜石・雫石) 今春・千田祐 (奥州・北上)	

回 年度	順 位	50才男子 ダブルス	50才男子 シングルス	50才女子 ダブルス	50才女子 シングルス	60才男子 ダブルス	60才男子 シングルス	60才女子 ダブルス
45 平成 12	1 2	鬼柳・鈴木 (JR東日本・盛岡) 永沢・佐々木 (水商職・黒工教)	鬼柳孝夫 (JR東日本) 佐藤　秀 (一関市)	佐藤・鈴木 (水沢市) 女鹿・鈴木 (紫波・盛岡)				
46 13	1 2	鬼柳・鈴木 (JR東日本・盛岡) 矢島・和田 (盛岡市)	鬼柳孝夫 (JR東日本) 佐藤政由 (江刺市)	佐藤・佐々木 (盛岡市) 佐藤・鈴木 (水沢市)				
47 14	1 2	山口・佐藤 (釜石・江刺) 鬼柳・鈴木 (JR東日本・盛岡)	佐藤政由 (江刺市) 鬼柳孝夫 (JR東日本)	佐々木・圓子 (盛岡市) 鈴木・阿部 (盛岡・北上)				
48 15	1 2	菊池・佐藤 (江刺市) 鬼柳・伊藤 (JR東日本・北上)	菊池　敏 (江刺市) 伊藤張二 (北上市)					
49 16	1 2	菊池・佐藤 (江刺市) 鬼柳・伊藤 (JR東日本・北上)	菊池　敏 (江刺市) 伊藤張二 (北上市)	佐々木・葛巻 (盛岡市) 真山・中村 (盛岡市)				
50 17	1 2	菊池・北野 (江刺・釜石) 鬼柳・鈴木 (JR東日本・盛岡)	菊池　敏 (江刺市) 北野和敏 (釜石市)	佐々木・葛巻 (盛岡市) 真山・加藤 (盛岡市)				
51 18	1 2	菊池・北野 (江刺・釜石) 山口・佐藤 (釜石・奥州)	菊池　敏 (江刺市) 北野和敏 (釜石市)					
52 19	1 2	菊池・北野 (江刺・釜石) 菊地・伊藤 (奥州・盛岡)	菊池　敏 (奥州市) 伊藤一郎 (盛岡市)	佐々木・中村 (盛岡市) 葛巻・赤坂 (盛岡・滝沢)		和田・及川 (盛岡・遠野) 堀込・菅原 (北上市)		
53 20	1 2	菊地英・伊藤 (奥州・盛岡) 越前屋・菊池 (雫石・奥州)	菊池　敏 (奥州市) 伊藤張二 (盛岡市立高教)	佐々木・村上 (盛岡市) 小野寺・高橋 (盛岡・滝沢)		和田・及川 (盛岡・遠野) 佐藤・千葉 (千厩高教・一関)		
54 21	1 2	菊池・北野 (奥州・釜石) 越前屋・伊藤 (雫石・盛岡)	菊池　敏 (奥州市) 佐藤政由 (奥州市)	佐々木・村上 (盛岡・村上呉服店) 小野寺・高橋 (北上市)		佐々木・鈴木 (盛岡市) 和田・及川 (盛岡・遠野)		
55 22	1 2	木立・高橋 (盛岡・紫波) 山崎・北野 (釜石市)	菊池　敏 (奥州市) 北野和敏 (釜石市)	小田島・荻野 (矢巾町) 葛巻・赤坂 (盛岡・滝沢)		佐藤・矢島 (千厩高教・岩手保養院) 和田・金原 (滝沢・北上)		
56 23		震災のため中止						
57 24	1 2	菊地生・高橋久 (フロッフ 菊地・北上) 山崎・北野 (釜石市)	菊地生昭 (フロッフ 菊地) 菊池　敏 (奥州市)	太田寛・小原恵 (滝沢・矢巾) 小野寺浩・高橋恵 (北上市)		和田・矢島 (滝沢・盛岡) 菊地修・佐藤政 (奥州市)		
58 25	1 2	菊地生・藤澤 (フロッフ 菊地・盛岡) 伊藤・菊地 (大船渡・奥州)	菊地生昭 (フロッフ 菊地) 伊藤張二 (北上市)	太田寛・小原恵 (滝沢・矢巾) 小野寺浩・高橋恵 (北上市)		伊藤・菊池 (北上・奥州) 和田・矢島 (滝沢・盛岡)		
59 26	1 2	菊地生・藤澤 (フロッフ 菊地・盛岡) 斉藤・小崎 (JR東日本・一関市)	菊地生昭 (フロッフ 菊地) 小野寺政博 (一関市)	谷藤・伊藤 (盛岡市) 太田寛・小原恵 (滝沢・矢巾)		伊藤・菊池 (富士大・奥州) 菊地修・佐藤政 (奥州市)		菊池栄・佐々木 (滝沢・盛岡) 高橋幸・葛巻 (盛岡市)
60 27	1 2	菊地生・藤澤 (フロッフ 菊地・盛岡) 斉藤・高橋輝 (JR東日本・紫波)	菊地生昭 (フロッフ 菊地) 宮田幸司 (北上市)	谷藤・石川 (盛岡・奥州) 小野寺浩・高橋恵 (北上市)		北野・菊池 (釜石・奥州) 菊地修・佐藤政 (奥州市)		菊池栄・佐々木 (滝沢・盛岡) 高橋幸・葛巻 (盛岡市)
61 28	1 2	菊地生・藤澤 (フロッフ 菊地・盛岡) 斉藤・高橋輝 (JR東日本・紫波)	菊地生昭 (フロッフ 菊地) 高橋久之 (北上市)			北野・髙田 (釜石・盛岡) 菊地修・佐藤政 (奥州市)		赤坂・葛巻 (滝沢・盛岡) 菊池栄・佐々木 (滝沢・盛岡)
62 29	1 2	藤澤・鈴木 (盛岡市・奥州市) 斉藤・高橋輝 (JR東日本・紫波)	菊地生昭 (フロッフ 菊地) 宮田幸司 (北上市)			北野・髙田 (釜石・盛岡) 伊藤・菊地 (奥州市)		赤坂・葛巻 (滝沢・盛岡) 伊藤・髙橋 (一関・盛岡)
63 30	1 2	斉藤・高橋輝 (JR東日本・紫波) 藤澤・鈴木 (盛岡市・奥州市)	菊地生昭 (フロッフ 菊地) 小野寺政博 (一関市)	石川・谷藤 (奥州市・盛岡市) 太田・村井 (滝沢市・盛岡市)		北野・髙田 (釜石市・盛岡市) 伊藤・菊地 (奥州市)		赤坂・葛巻 (滝沢市・盛岡市) 伊藤・菊池 (一関市・滝沢市)

岩手県民体育大会

回 年度	順位	少年（高校）男子		少年（高校）女子		一般男子		一般女子		郡市対抗 男子	郡市対抗 女子
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス		
1 昭和 24	1					中野・新道 （盛一）	川手健二 （盛岡）	伊藤・高橋 （盛岡）	伊藤好子 （盛岡）	盛岡市	稗貫郡
	2					菅原・千葉 （花北）	八木橋伸夫 （盛岡）	相田・谷藤 （盛岡）	永井 （花巻）	稗貫郡	盛岡市
2 ・ 25	1	山本・安本 （盛岡）	山本益夫 （盛岡）	似鳥・藤村 （盛岡市立）	似鳥一子 （盛岡市立）	川村・熊谷 （盛岡）	八木橋伸夫 （盛岡）	伊藤・高橋 （盛岡）	須藤 （盛岡）	盛岡市	盛岡市
	2	柴内・向井田 （盛岡）	中野昌造 （盛岡）	三浦・宮城 （盛岡）	藤村 （盛岡市立）			須藤・藤沢 （盛岡）	伊藤好子 （盛岡）	稗貫郡	稗貫郡
3 ・ 26	1	山田・丁子 （盛岡一）	丁子　淳 （盛岡一）	宮城・三浦 （盛岡二）	小野寺京子 （盛岡二）	中野・新道 （盛岡）	山本益生 （盛岡）			盛岡市	盛岡市
	2	柴内・向井田 （盛岡一）	柴内悦博 （盛岡一）	長谷川・小野寺 （盛岡二）	宮城　栄 （盛岡二）	山本・安本 （盛岡）	福本喜一 （盛岡）			釜石市	釜石市
4 ・ 27	1	寺田・高橋 （盛岡一）	藤井浩示 （盛岡二）	村上・斎藤 （盛岡市立）	村上昌子 （盛岡市立）	山本・柴内 （盛岡）	山本益生 （盛岡）	三浦・宮城 （盛岡）	三浦礼子 （盛岡）	盛岡市	盛岡市
	2	新藤・一条 （盛岡一）	石沢　昭 （盛岡二）	小枝指・初貝 （盛岡二）	佐藤キエ （盛岡市立）	山田・中野 （盛岡）	柴内悦博 （盛岡）	小林・川井 （盛岡）	宮城　栄 （盛岡）	胆沢郡	胆沢郡
5 ・ 28	1	加藤・山本 （盛岡一）	菊池洋交 （遠野）	村上・斎藤 （盛岡市立）	斎藤全代 （盛岡市立）	丁子・高橋 （盛岡）	丁子淳 （盛岡）	三浦・宮城 （盛岡）	三浦礼子 （盛岡）	盛岡市	盛岡市
	2	菊池・佐々木 （遠野）	兵藤　光 （盛岡農）	小枝指・初貝 （盛岡二）	村上昌子 （盛岡市立）	石沢・新藤 （盛岡）	柴内悦博 （盛岡）	佐藤・阿部 （盛岡）	宮城　栄 （盛岡）	釜石市	紫波郡
6 ・ 29	1	石川・遠畑 （盛岡一）	石川雅司 （盛岡一）	佐羽内・大山 （盛岡二）	佐羽内恵子 （盛岡二）	水谷・福本 （盛岡）	水谷政雄 （盛岡）	村上・斉藤 （盛岡）	村上昌子 （盛岡）	盛岡市	盛岡市
	2	兵藤・笹田 （盛農）	渡辺俊正 （盛岡二）	飛内・菊池 （遠野）	村上浩子 （盛岡市立）	高橋・菅原 （釜石）	高橋宣夫 （釜石）	三浦・宮城 （盛岡）	宮城　栄 （盛岡）	釜石市	九戸郡
7 ・ 30	1	菊池・千葉 （岩谷堂）	丁子　睦 （盛岡一）	川口・八重樫 （岩谷堂）	川口節子 （岩谷堂）	高橋・中村 （釜石）	水谷政雄 （盛岡）	佐羽内・佐々木 （盛岡）	佐羽内恵子 （盛岡）	釜石市	盛岡市
	2	内藤・丁子 （盛岡一）	菊池静男 （岩谷堂）	野中・武田 （釜石）	八重樫美枝子 （岩谷堂）	水谷・中野 （盛岡）	中野昌造 （盛岡）	岩崎・佐藤 （岩谷堂）	岩崎容子 （岩谷堂）	盛岡市	江刺市
8 ・ 31	1	加茂・戸沢 （盛岡一）	高橋忠夫 （黒南）	山形・宮野 （盛岡市立）	野村京子 （釜高）	村守・水谷 （盛岡）	村守英雄 （盛岡）	佐藤・小枝指 （盛岡）	春日光子 （釜石）	盛岡市	北上市
	2	今野・門脇 （前沢）	太田信雄 （盛岡一）	石上・岩清水 （盛岡市立）	山形喜代子 （盛岡市立）	高橋・油井 （釜石）	高橋功 （釜石）			釜石市	釜石市
9 ・ 32	1	太田・長内 （盛岡二）	高橋忠夫 （黒南）	小岩・佐藤 （千厩）	津田熙子 （盛岡一）	村守・水谷 （盛岡）	村守英雄 （盛岡）	小原・佐藤 （江刺）	川口節子 （江刺）	盛岡市	江刺市
	2	本田・伊藤 （岩谷堂）	長内貞久 （盛岡二）	牧野・伊藤 （千厩）	小岩富代子 （千厩）	高橋・油井 （釜石）	高橋宣夫 （釜石）		佐藤容子 （江刺）	釜石市	釜石市
10 ・ 33	1	杉田・小田 （盛岡二）	伊藤孝治 （岩谷堂）	半沢・高橋 （黒南）	半沢和子 （黒南）	村守・佐々木 （盛岡）	村守英雄 （盛岡）	佐々木・野中 （釜石）	野中寿美 （釜石）	盛岡市	釜石市
	2	吉田・斎藤 （盛岡一）	小野寺真 （千厩）	外川・寺田 （盛岡二）	梅田和子 （岩谷堂）	高橋・油井 （釜石）	中村　光 （釜石）	小岩・伊藤 （東磐）	佐々木和子 （釜石）	釜石市	東磐井郡
11 ・ 34	1	野々村・白沢 （盛岡一）	佐々木勲 （前沢）	大内・菊池 （前沢）	川村節子 （釜高）	村守・佐々木 （盛岡）	村守英雄 （盛岡）	佐々木・野中 （釜石）	佐々木和子 （釜石）	釜石市	釜石市
	2	吉田・長嶺 （盛岡一）	篠谷　弘 （盛岡二）	佐々木・江柄 （盛岡二）	菊池洋子 （前沢）	高橋・千葉 （釜石）	高橋宣夫 （釜石）	半沢・高橋 （北上）	野中寿美 （釜石）	盛岡市	北上市
12 ・ 35	1	藤井・沼里 （釜石）	藤井英巳 （釜石）	草岡・佐々木 （釜石）	向井田妙子 （盛岡市立）	村守・佐々木 （盛岡）	村守英雄 （盛岡）	野村・川村 （釜石）	野村京子 （釜石）	盛岡市	釜石市
	2	千葉・後藤 （岩谷堂）	志村正義 （盛岡二）	高橋・向井田 （盛岡市立）	高橋雅子 （盛岡市立）	吉田・白沢 （盛岡）	高橋宣夫 （釜石）	菊池・星 （胆沢）	川村節子 （釜石）	釜石市	盛岡市
13 ・ 36	1	小林・村野 （盛岡一）	金原良史 （黒北）	浪瀬・菊池 （盛岡二）	下河原信子 （盛岡市立）	千葉・梶田 （釜石）	高橋忠夫 （北上）	川村・草岡 （釜石）	野村京子 （盛岡）	盛岡市	釜石市
	2	柏舘・阿部 （釜石）	佐藤武一 （千厩）	下河原・白沢 （盛岡市立）	白沢和子 （盛岡市立）	村守・佐々木 （盛岡）	村守英男 （盛岡）	吉田・高橋 （盛岡）	川村節子 （釜石）	釜石市	盛岡市
14 ・ 37	1	畠山・菅原 （釜石）	金原良史 （黒北）	鈴木・渡辺 （千厩）	渡辺泰子 （千厩）	千葉・梶田 （釜石）	梶田幹男 （釜鉄）	川村・草岡 （釜石）	野村京子 （九戸）	釜石市	釜石市
	2	松見・佐藤 （盛岡一）	畠山勝正 （釜石）	八重樫・高橋 （岩谷堂）	白沢和子 （盛岡市立）	及川・咲山 （釜石）	高橋忠夫 （北上）	野村・吉田 （盛岡）	草岡佐代子 （釜石）	盛岡市	盛岡市
15 ・ 38	1	佐々木・千葉 （岩谷堂）	及川靖 （北商）	山本・山本 （盛岡二）	横沢敬子 （盛岡二）	梶田・本田 （釜石）	白沢国雄 （盛岡）	白沢・向井田 （盛岡）	川村節子 （釜石）	北上市	釜石市
	2	及川・後藤 （北商）	千葉建夫 （岩谷堂）	横沢・村井 （盛岡二）	山本美耶子 （盛岡二）	及川・咲山 （釜石）	及川　好 （釜石）	渡辺・鈴木 （東磐）	白沢和子 （盛岡）	盛岡市	東磐井郡
16 ・ 39	1	佐々木・佐々木 （盛岡一）	後藤郁夫 （北上）	星・高橋 （黒北）	菅野栄子 （千厩）	白沢・細野 （盛岡）	白沢国雄 （盛岡）			北上市	釜石市
	2	松岡・高橋 （花農）	佐々木彦七 （盛岡一）	飯岡・岩泉 （盛岡市立）	星アヤ子 （黒北）	村守・松野 （盛岡）	及川　靖 （北上）			盛岡市	盛岡市
17 ・ 40	1	高橋・久保田 （花農）	高橋英雄 （花農）	佐藤・佐藤 （盛岡市立）	佐藤洋子 （盛岡市立）	白沢・石川 （盛岡）	高橋忠夫 （北上）	菅原・三浦 （東磐井）	菅原栄子 （東磐井）	盛岡市	東磐井郡
	2	藤田・宍戸 （花農）	高橋康行 （盛岡一）	鈴木・高橋 （釜南）	鈴木恵子 （黒南）	咲山・及川 （釜石）	及川　好 （釜石）	鈴木・渡辺 （東磐井）	鈴木カツ子 （東磐井）	北上市	北上市
18 ・ 41	1	菊池・菊池 （岩谷堂）	菊池和典 （岩谷堂）	菊池・谷藤 （白百合）	斎藤せつ子 （千厩）	及川・本多 （釜石）	白沢国雄 （盛岡）	箭川・佐藤 （盛岡）	菅原栄子 （東磐井）	北上市	北上市
	2	平沢・佐藤 （大迫）	宇左美慈夫 （盛岡市立）	及川・渡部 （盛岡一）	菊池篤子 （白百合）	鬼柳・高島 （北上）	及川　靖 （北上）	菅原・鈴木 （東磐井）	佐藤葉子 （盛岡）	盛岡市	盛岡市

回 年度	順 位	少年（高校）男子		少年（高校）女子		一般男子		一般女子		郡市対抗 男子	郡市対抗 女子
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス		
19 昭和 42	1	薄衣・佐藤 （東和）	熊谷伸一 （岩谷堂農）	斎藤・藤代 （千厩）	斎藤せつ子 （千厩）	及川・金原 （北上）	金原良史 （北上）	斎藤・菊池 （北上）	寺島悦子 （盛岡）	北上市	盛岡市
	2	熊谷・金野 （千厩）	山口健二 （盛商）	山内・吉田 （盛岡市立）	山内幸子 （盛岡市立）	佐々木・佐々木 （盛岡）	吉田　寛 （釜石）	鈴木・小野寺 （水沢）	菊池静子 （北上）	釜石市	北上市
20 ・ 43	1	熊谷・斎藤 （専北）	高橋利行 （水商）	鈴木・永沢 （千厩）	永沢恵子 （千厩）	及川・吉田 （釜石）	金原良史 （北上）	菅原・斎藤 （東磐井）	斎藤せつ子 （千厩）	盛岡市	盛岡市
	2	高橋・川村 （水商）	長野重樹 （黒北）	小野・千葉 （千厩）	鈴木悦子 （千厩）	金原・熊谷 （北上）	佐々木邦夫 （盛岡）	山内・寺島 （盛岡）	斎藤和子 （北上）	北上市	東磐井郡
21 ・ 44	1	佐藤・高橋 （専北）	菅野好夫 （黒北）	藤野・千葉 （千厩）	藤野あい子 （千厩）	佐々木・佐々木 （教員）	吉田　寛 （釜石）	及川・寺島 （盛岡）	及川恵子 （盛岡）	釜石市	盛岡市
	2	佐藤・豊田 （黒北）	菊池俊明 （岩谷堂）	洞口・伊藤 （釜南）	洞口美奈子 （釜南）	伊藤・白鳥 （盛岡）	金原良史 （北上）	小坂・菊池 （釜石）	斎藤せつ子 （千厩）	北上市	東磐井郡
22 ・ 45	1	県高等学校総合体育大会と兼				金原・伊藤 （北上・盛岡）	金原良史 （北上）	小坂・及川 （釜石）	山内幸子 （盛岡）	岩手国体のため中止	岩手国体のため中止
	2					佐々木・佐々木 （教員）	吉田　寛 （釜石）	斎藤・千葉 （東磐井）	寺島悦子 （盛岡）		
23 ・ 46	1	熊谷・小原 （黒北）	千葉博巳 （千厩）	藤川・宮本 （盛岡四）	藤川英子 （盛岡四）	金原・鬼柳 （北上）	佐倉和明 （盛岡）	斎藤・藤野 （千厩）	斎藤せつ子 （千厩）	北上市	東磐井郡
	2	佐藤・金野 （千厩）	山内卓也 （盛岡四）	佐藤・小竹 （専大北上）	佐藤京子 （専大北上）	高島・熊谷 （北上）	金原良史 （北上）	小坂・伊藤 （釜石）	伊藤洋子 （釜石）	釜石市	北上市
24 ・ 47	1	村上・佐々木 （盛岡四）	村上信夫 （盛岡四）	米倉・佐藤 （千厩）	斎藤洋子 （千厩）	高橋・斎藤 （釜石）	金原良史 （北上）	斎藤・小笠原 （千厩・北上）	斎藤せつ子 （千厩）	北上市	東磐井郡
	2	浅沼・中森 （盛岡四）	佐々木広 （盛岡四）	阿部・佐々木 （盛岡市立）	小野寺米子 （千厩）	金原・鬼柳 （北上）	鬼柳孝夫 （北上）	城沢・阿部 （北上）	小笠原孝子 （北上）	釜石市	盛岡市

回 年度	順 位	少年（高校）男子		少年（高校）女子		市1部 男子団体	市1部 女子団体	町村1部 男子団体	町村1部 女子団体	2部 男子団体	2部 女子団体	郡市対抗 男子	郡市対抗 女子
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス								
25 昭和 48	1	伊藤・三浦 （千厩）	橋本三司 （盛岡四）	菊池・八重樫 （黒北）	対馬美智子 （千厩）	－	－	－	－	北上市A	北上市	北上市	北上市
	2	橋本・松田 （盛岡四）	伊藤雅博 （千厩）	対馬・鹿又 （千厩）	八重樫るみ子 （黒北）					盛岡市C	東磐井郡	釜石市	盛岡市
26 ・ 49	1	熊谷・菊池 （岩谷堂農林）	菅原敬二 （千厩）	熊谷・平賀 （花農）	渡辺みゆき （花北商）	－	－	－	－	釜石市B	胆沢郡	釜石市	盛岡市
	2	山口・工藤 （専北）	伊藤一郎 （岩谷堂）	小笠原・藤沢 （盛岡四）	斎藤英子 （黒南）					釜石市A		北上市	釜石市
27 ・ 50	1	菅原・金野 （千厩）	菅原敬二 （千厩）	渡辺・菊池 （花北商）	渡辺みゆき （花北商）	－	－	－	－	北上市A	北上市	釜石市	釜石市
	2	武田・熊谷 （盛岡四）	武田正司 （盛岡四）	佐々木・千葉 （千厩）	菊池朋子 （花北商）					釜石市B	金ケ崎A	北上市	盛岡市
28 ・ 51	1	畠山・小原 （専北）	二川秀幸 （花農）	小西・細屋 （盛岡四）	千葉裕子 （千厩）	釜石市	北上市	花泉町	前沢町	江刺市B	江刺市		
	2	鈴木・三田 （前沢）	畠山静夫 （専大北上）	菅原・加藤 （千農）	菊池孝子 （水商）	北上市	花巻市	金ケ崎町	藤沢町	盛岡市A	水沢市		
29 ・ 52	1	岩渕・阿部 （前沢）	岩渕祐光 （前沢）	加藤・佐藤 （千農）	加藤とよみ （千農）	盛岡市	水沢市	都南村	雫石町	釜石市	盛岡市		
	2	佐藤・鈴木 （水商）	横道康博 （盛岡四）	菊地・菊池 （釜南）	菅原俊枝 （千農）	北上市	盛岡市	雫石町	藤沢町	大迫町	北上市		
30 ・ 53	1	石川・石坂 （前沢）	菊地生昭 （岩農）	菊池・菊池 （遠野）	菊池一枝 （遠野）	盛岡市	盛岡市	前沢町	千厩町	盛岡市A	釜石市A		
	2	菊地・千葉 （岩農）	石川　聡 （前沢）	高橋・金野 （千厩）	菊池洋子 （遠野）	北上市	北上市	大迫町	雫石町	釜石市B	釜石市B		
31 ・ 54	1	安倍・岩渕 （前沢）	岩渕悦郎 （前沢）	菊池・鈴木 （遠野）	菊池洋子 （遠野）	江刺市	盛岡市	前沢町	石鳥谷町	江刺市A	北上市B		
	2	佐藤・新山 （大原商高）	高橋淳一 （釜北）	本城・伊藤 （水商）	本城知子 （水商）	盛岡市	北上市	雫石町	雫石町	盛岡市B	北上市A		
32 ・ 55	1	菅原・村上 （千厩）	高橋圭司 （水商）	小川・武田 （盛岡四）	藤村恵美 （千厩）	北上市	盛岡市	前沢町	石鳥谷町	釜石市A	前沢町		
	2	高橋・及川 （水商）	藤沢正幸 （盛商）	藤村・千葉 （千厩）	外川公子 （盛市）	盛岡市	北上市	都南村	前沢町	前沢町	北上市		
33 ・ 56	1	阿部・菊池 （遠野）	阿部慎哉 （遠野）	宇夫・前川 （遠野）	宇夫恵子 （遠野）	江刺市	北上市	前沢町	前沢町	北上市	盛岡市		
	2	岩渕・阿部 （前沢）	菊池信行 （遠野）	佐藤・外川 （盛市）	外川公子 （盛市）	北上市	釜石市	都南村	石鳥谷町	大迫町	北上市		
34 ・ 57	1	石川・阿部 （前沢）	阿部弘和 （前沢）	菅原・今村 （花泉）	菅原明美 （花泉）	北上市	盛岡市	都南村	前沢町	前沢町A	前沢町A		
	2	小田島・久保田（花農）	藤谷清文 （水農）	佐藤・菊池 （遠野）	関口真美子 （遠野）	江刺市	北上市	前沢町	石鳥谷町	大迫町B	盛岡市A		
35 ・ 58	1	岩渕（清）・ 菊地（前沢）	近藤秀信 （前沢）	加藤・忠海 （盛市）	菊池和子 （遠野）	江刺市	一関市	前沢町	前沢町				
	2	近藤・佐々木 （前沢）	阿部　仁 （花北商）	後藤・千葉 （水農）	後藤利香 （水農）	花巻市	釜石市	千厩町	江釣子村				
36 ・ 59	1	岩渕（清）・ 菊地（前沢）	鈴木広志 （前沢）	高橋・細野 （黒南）	細野ゆかり （黒南）	盛岡市	一関市	前沢町	前沢町				
	2	鈴木・岩渕 （前沢）	阿部　仁 （花北商）	鈴木・菊地 （前沢）	八丁野愛子 （盛市）	北上市	盛岡市	雫石町	紫波町				
37 ・ 60	1	阿部・高野橋 （花北商）	阿部　仁 （花北商）	鈴木（由）・細川 （前沢）	桜田美和子 （花農）	北上市	一関市	前沢町	前沢町				
	2	達下・高橋 （水商）	渡邉清一 （花北商）	鈴木（悦）・佐藤 （前沢）	佐々木すみれ （向中野）	盛岡市	盛岡市	雫石町	胆沢町				

24回47年度
郡市対抗2部
男子
1位　釜石市
2位　盛岡市A
同女子
1位　北上市
2位　盛岡市A

23回46年度
教員個人戦
単1位　佐々木邦夫・
2位　佐々木彦上
復1位　佐々木(彦)・
佐々木（邦）
2位　永沢・清水

24回47年度
教員個人戦
単1位　佐々木邦夫・
2位　佐々木彦上・
復1位　佐々木・
佐々木

回 年度	順 位	少年（高校）男子		少年（高校）女子		市の部 男子団体	市の部 女子団体	町村の部 男子団体	町村の部 女子団体
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス				
38 昭和 61	1	渡辺・高野橋 （花北商）	渡邉清一 （花北商）	照井・畠山 （花農）	斎藤美由紀 （盛岡三）	盛岡市	盛岡市	前沢町	都南村
	2	佐々木・細川 （盛岡市立）	佐藤洋一 （花農）	小形・佐藤 （前沢）	畠山富士子 （花農）	北上市	一関市	金ケ崎町	前沢町
39 ・ 62	1	渡辺・中沢 （花北商）	渡邉清一 （花北商）	田中・坂内 （花農）	相沢沙織 （盛岡市立）	盛岡市	一関市	前沢町	都南村
	2	佐々木・細川 （盛岡市立）	小原智雄 （花北商）	佐藤・阿部 （一関二）	田中一葉 （花農）	北上市	盛岡市	金ケ崎町	前沢町
40 ・ 63	1	小原・中沢 （花北商）	小原智雄 （花北商）	田中・坂内 （花農）	鈴木礼子 （前沢）	盛岡市	一関市	前沢町	都南村
	2	佐藤・長尾 （花北商）	古舘英樹 （前沢）	鈴木・大宮 （前沢）	坂内重子 （花農）	北上市	盛岡市	金ケ崎町	前沢町
41 ・ 平成 元	1	古舘・佐藤 （前沢）	佐藤慎也 （花北商）	大宮・佐藤 （前沢）	池端美杉 （釜石商）	北上市	一関市	前沢町	都南村
	2	長尾・佐藤 （花北商）	古舘英樹 （前沢）	桜田・諏訪 （盛岡市立）	桜田貞子 （市立）	盛岡市	盛岡市	金ケ崎町	江釣子村
42 ・ 2	1	藤井・佐々木 （花農）	藤井　純 （花農）	佐藤・佐藤 （前沢）	池端美杉 （釜石商）	北上市	一関市	前沢町	前沢町
	2	佐藤・千葉 （前沢）	佐藤憲明 （専大北上）	池端・佐藤 （釜商）	佐藤明美 （前沢）	盛岡市	盛岡市	都南村	都南村
43 ・ 3	1	藤井・久保田 （花農）	佐藤憲明 （専北）	杉下・諏訪 （盛岡市立）	杉下信乃 （盛岡市立）	盛岡市	北上市	前沢町	都南村
	2	佐藤・平田 （前沢）	藤井　純 （花農）	照井・平賀 （花北商業）	新渕明子 （花巻農業）	北上市	一関市	金ケ崎町	前沢町
44 ・ 4	1	菊地・三瓶 （前沢）	菊地　淳 （前沢）	川畑・前川 （釜石商業）	新渕明子 （花巻農業）	北上市	釜石市	前沢町	前沢町
	2	伊藤・野中 （前沢）	三瓶雅幸 （前沢）	佐々木・川村 （盛岡三）	高橋美和 （盛岡市立）	盛岡市	水沢市	雫石町	滝沢村
45 ・ 5	1	阿部・水本 （盛南）	桐山英夫 （盛岡市立）	福田・古川 （盛岡第四）	野口美奈子 （花北商）	北上市	盛岡市	前沢町	前沢町
	2	桐山・中島 （盛岡市立）	吉田徳秀 （盛岡市立）	菊地・佐藤 （前沢）	桜美智代 （盛岡四）	盛岡市	江刺市	胆沢町	滝沢村
46 ・ 6	1	柴田・五十嵐 （前沢）	菅原　満 （前沢）	野口・藤原 （花北商）	野口美奈子 （花北商）	北上市	盛岡市	前沢町	前沢町
	2	宍戸・久保田 （花農）	宍戸朋夫 （花農）	三田・本平 （前沢）	阿部梨香 （東和）	盛岡市	水沢市	金ケ崎町	滝沢村
47 ・ 7	1	鳴島・佐々木 （盛大附属）	中館　聡 （盛大附属）	鈴木・高橋 （盛岡女子）	新渕里子 （花巻農）	北上市	盛岡市	金ケ崎町	雫石町
	2	梅木・菊池 （花農）	平賀淳一 （花北商）	横手・坂本 （盛岡市立）	本平しの （前沢）	盛岡市	一関市	前沢町	前沢町
48 ・ 8	1	那須川・千田 （前沢）	及川耕平 （盛岡四）	千田・藤川 （盛岡三）	新渕里子 （花巻農）	盛岡市	盛岡市	金ケ崎町	前沢町
	2	千田・佐藤 （前沢）	赤石幸信 （盛岡四）	藤原・高橋 （花北商）	菅原志穂 （前沢）	北上市	水沢市	前沢町	雫石町
49 ・ 9	1	川村・伊藤 （花農）	伊藤俊幸 （花農）	小野・渡邊 （前沢）	菊池恵美 （岩女）	北上市	盛岡市	前沢町	前沢町
	2	熊谷・照井 （花農）	菅原一由 （前沢）	福田・八重樫 （盛岡市立）	藤原優子 （盛北）	盛岡市	北上市	金ケ崎町	滝沢村
50 ・ 10	1	伊藤・佐藤 （花農）	川村忠広 （前沢）	小野・佐藤 （前沢）	小野道代 （前沢）	北上市	花巻市	前沢町	前沢町
	2	小野寺・川村 （前沢）	佐藤茂雄 （花農）	山下・柿沼 （盛岡市立）	柿沼裕美 （盛岡市立）	盛岡市	盛岡市	金ケ崎町	滝沢村
51 ・ 11	1	千田・川村 （前沢）	川村忠広 （前沢）	平賀・佐々木 （前沢）	佐々木歩美 （前沢）	北上市	花巻市	金ケ崎町	前沢町
	2	五嶋・高橋 （前沢）	千田達也 （前沢）	若槻・川村 （前沢）	川村益美 （前沢）	盛岡市	盛岡市	前沢町	滝沢村
52 ・ 12	1	尾形・伊従 （前沢）	尾形　工 （前沢）	川村・千葉 （前沢）	川村益美 （前沢）	北上市	盛岡市	金ケ崎町	前沢町
	2	前田・久保田 （前沢）	前田敬一 （前沢）	佐藤・鈴木 （前沢）	佐藤千春 （前沢）	江刺市	花巻市	前沢町	滝沢村
53 ・ 13	1	小山・小松 （千厩）	小山　学 （千厩）	川村・千葉 （前沢）	川村益美 （前沢）	北上市	盛岡市	金ケ崎町	前沢町
	2	田鎖・中塚 （盛岡大附属）	宮川　真 （前沢）	齋藤・村上 （盛岡市立）	青沼裕美 （前沢）	花巻市	花巻市	前沢町	滝沢村
54 ・ 14	1	宮川・藤田 （前沢）	宮川　真 （前沢）	村上・浅沼 （盛岡市立）	村上　桂 （盛岡市立）	花巻市	花巻市	前沢町	滝沢村
	2	昆・佐々木 （盛岡四）	千田祐也 （前沢）	那須・尾形 （前沢）	那須真由子 （前沢）	北上市	盛岡市	雫石町	前沢町
55 ・ 15	1	千田・高橋 （前沢）	高橋　慎 （前沢）	藤田・田鎖 （前沢）	藤田　祈 （前沢）	北上市	盛岡市	前沢町	滝沢村
	2	室岡・齊藤 （前沢）	千田祐也 （前沢）	浅沼・武蔵 （盛岡市立）	田鎖志穂 （前沢）	花巻市	花巻市	矢巾町	矢巾町

回 年度	順位	少年（高校）男子		少年（高校）女子		市の部 男子団体	市の部 女子団体	町村の部 男子団体	町村の部 女子団体
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス				
56 平成 16	1	室岡・齋藤 （前沢）	室岡大輝 （前沢）	小田島・田鎖 （前沢）	田鎖志穂 （前沢）	北上市	盛岡市	前沢町	矢巾町
	2	小岩・岩澤 （前沢）	小原弘俊 （盛岡市立）	阿部・石川 （花北青雲）	吉岡絵里奈 （盛岡市立）	花巻市	花巻市	矢巾町	滝沢村
57 ・ 17	1	千田・中塚 （前沢）	岩渕勇輝 （前沢）	阿部・石川 （花北青雲）	田鎖志穂 （前沢）	花巻市	盛岡市	矢巾町	矢巾町
	2	岩渕（勇）・岩渕（一） （前沢）	中塚粧太 （前沢）	田鎖・三好 （前沢）	阿部由香里 （花北青雲）	北上市	北上市	前沢町	滝沢村
58 ・ 18	1	鈴木・外川 （前沢）	鈴木秀治 （前沢）	阿部・石川 （花北青雲）	阿部由香里 （花北青雲）	花巻市	花巻市	奥州市（前沢区）	矢巾町
	2	石川（貴）・石川（晋） （前沢）	外川一也 （前沢）	谷地・小原 （盛岡市立）	石川温美 （花北青雲）	盛岡市	盛岡市	奥州市（胆沢区）	滝沢村
59 ・ 19	1	田口・菊池 （前沢）	外川真樹 （前沢）	熊谷・八重樫 （黒沢尻北）	内藤　舞 （盛岡市立）	奥州市	矢巾町	花巻市	盛岡市Ａ
	2	外川・玉山 （前沢）	照井翔也 （専大北上）	玉山・齋藤 （前沢）	舘脇佑未 （前沢）	花巻市	花巻市Ａ	矢巾町	久慈市

回 年度	順位	市町村対抗（男子）		市町村対抗（女子）	
		1部	2部	1部	2部
60 平成 20	1	矢巾町	奥州市Ａ	花巻市	盛岡市Ａ
	2	花巻市	盛岡市Ａ	盛岡市	雫石町
61 ・ 21	1	矢巾町	奥州市Ａ	花巻市	矢巾町
	2	奥州市	矢巾町	盛岡市	雫石町
62 ・ 22	1	奥州市	滝沢村Ａ	北上市	滝沢村Ａ
	2	矢巾町	盛岡市	奥州市	盛岡市
63 ・ 23	1	花巻市	盛岡市	盛岡市	盛岡市
	2	奥州市	奥州市	奥州市	雫石町
64 ・ 24	1	奥州市	盛岡市	奥州市	奥州市
	2	盛岡市	矢巾町	花巻市Ａ	一関市Ａ
65 ・ 25	1	奥州市	奥州市	盛岡市	矢巾町Ａ
	2	花巻市	北上市Ａ	北上市	一関市Ａ
66 ・ 26	1	奥州市	奥州市Ａ	盛岡市	滝沢市
	2	花巻市	矢巾町	北上市	矢巾町
67 ・ 27	1	盛岡市	雫石町Ａ	盛岡市	盛岡市
	2	奥州市	矢巾町	矢巾町	雫石町
68 ・ 28	1	北上市	矢巾町Ａ	盛岡市	滝沢市
	2	盛岡市	盛岡市	北上市	矢巾町
69 ・ 29	1	奥州市	奥州市Ａ	花巻市	盛岡市
	2	北上市	北上市Ａ	盛岡市	奥州市
70 ・ 30	1	盛岡市	盛岡市	花巻市	花巻市
	2	北上市	奥州市Ａ	北上市	一関市

岩手県社会人バドミントン選手権大会

回 年度	順 位	青年男子		青年女子		30才男子		30才女子		混　合
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス
1 昭和 36	1 2	千葉・梶田 （釜鉄） 及川・高橋 （釜鉄）	高橋忠夫 （北上） 高橋宣夫 （釜鉄）							
2 37	1 2	千葉・梶田 （釜鉄） 及川・咲山 （釜鉄）	高橋忠夫 （北上） 咲山久直 （釜鉄）							
3 38	1 2	及川・咲山 （釜鉄） 及川・高橋 （釜鉄）	高橋忠夫 （北上） 及川　好 （釜鉄）							
4 39	1 2	及川・咲山 （釜鉄） 白沢・佐々木 （盛岡）	白沢国雄 （盛岡） 及川　好 （釜鉄）							
5 40	1 2	白沢・杉田 （盛岡） 細野・藤野 （盛岡）	白沢国雄 （盛岡） 及川　好 （釜石）	野村・佐々木 （釜石） 箭川・小川 （盛岡）	野村京子 （釜石） 佐々木和子 （釜石）					杉田・箭川 （盛岡） 及川・阿部 （盛岡）
6 41	1 2	及川・本多 （釜石） 白沢・藤沢 （盛岡）	白沢国雄 （盛岡） 及川　好 （釜石）	箭川・佐藤 （盛岡） 山本・佐藤 （盛岡）	箭川節子 （盛岡） 山本キヌエ （盛岡）					白沢・箭川 （盛岡） 藤沢・山本 （盛岡）
7 42	1 2	及川・本多 （釜石） 吉田・千葉 （釜石）	吉田　寛 （釜石） 鬼柳孝夫 （北上）							
8 43	1 2	金原・熊谷 （北上） 鬼柳・高島 （北上）	金原良史 （北上） 及川　好 （釜石）	斎藤・菅原 （千厩） 菊池・斎藤 （北上）	斎藤せつ子 （千厩） 小坂英子 （釜石）					高橋・斎藤 （北上） 北村・千葉 （千厩）
9 44	1 2	金原・鬼柳 （北上） 佐々木・佐々木 （教員）	金原良史 （北上） 佐々木彦士 （教員）	佐藤・及川 （盛岡） 山本・寺島 （盛岡）	斎藤せつ子 （千厩） 山内幸子 （盛岡）					北村・千葉 （千厩） 杉田・及川 （盛岡）
10 45	1 2	岩手国体開催年大会中止								
11 46	1 2	金原・鬼柳 （北上） 佐々木・佐々木 （教員）	佐々木邦夫 （教員） 高橋道夫 （釜石）	城沢・阿部 （北上） 津田・渡辺 （胆沢）	斎藤せつ子 （千厩） 城沢和子 （北上）					佐々木・斉藤 （千厩） 及川・城沢 （北上）
12 47	1 2	佐々木・佐々木 （教員） 金原・鬼柳 （北上）	金原良史 （北上） 鬼柳孝夫 （北上）	城沢・阿部 （北上）	斎藤せつ子 （千厩） 城沢和子 （北上）					永沢・斉藤 （千厩） 及川・城沢 （北上）
13 48	1 2	佐々木・佐々木 （教員） 高橋・斉藤 （新日鉄）	鬼柳孝夫 （北上） 佐々木邦夫 （教員）	小笠原・高橋 （北上） 斉藤・宮本 （千厩・盛岡）	斉藤せつ子 （千厩） 小笠原孝子 （北上）					
14 49	1 2	高橋・阿部 （新日鉄） 斉藤・橋本 （新日鉄）	鬼柳孝夫 （北上） 佐藤政由 （江刺）	宮本・阿部 （盛岡） 木下・小笠原 （釜石）	宮本真知子 （盛岡） 阿部尚子 （盛岡）	志村・杉田 （盛岡）	志村正義 （盛岡） 本多三郎 （新日鉄）			永沢・宮本 （教員・盛岡） 白沢・阿部 （盛岡）
15 50	1 2	佐々木・佐々木 （教員） 菊池・佐藤 （江刺）	高橋利行 （新日鉄） 高橋道夫 （新日鉄）	阿部・山田 （盛岡） 佐藤・中居 （花巻）	阿部尚子 （盛岡） 山田久子 （盛岡）	古舘・吉田 （盛岡） 本多・杉田 （新日鉄・盛岡）	本多三郎 （新日鉄） 古田征夫 （盛岡）			白沢・阿部 （盛岡） 佐々木・山田 （教員・盛岡）
16 51	1 2	金原・鬼柳 （北上） 高橋・及川 （花巻・北上）	鬼柳孝夫 （北上） 高橋信夫 （花巻）	山田・大坪 （盛岡） 佐藤・千葉 （花巻）	山田久子 （盛岡） 佐橋秀子 （北上）	佐々木・小林 （教員・盛岡） 小原・杉田 （遠野）	佐々木彦士 （教員） 志村正義 （教員）			佐藤・佐藤 （花巻） 高橋・千葉 （花巻）
17 52	1 2	阿部・橋本 （新日鉄） 鬼柳・豊田 （北上）	高橋信夫 （花巻） 伊藤一郎 （江刺）	高橋・八重樫 （北上） 平賀・熊谷 （花巻）	山田久子 （盛岡） 佐藤京子 （水沢）	白沢・永沢 （盛岡・教員） 佐々木・鎌田 （教員・盛岡）	白沢国雄 （盛岡） 永沢和彦 （教員）			鬼柳・佐藤 （北上） 佐藤・佐藤 （花巻）

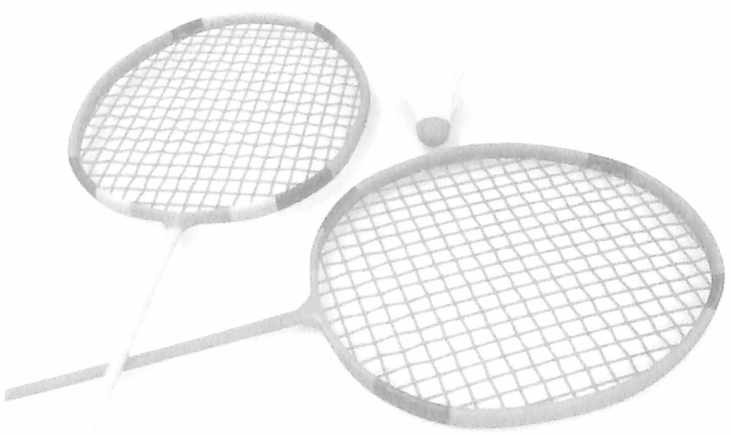
回 年度	順 位	青年男子		青年女子		30才男子		30才女子	
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス
18 昭和 53	1	佐藤・伊藤 (江刺)	鬼柳孝夫 (北上)	高橋・八重樫 (北上)	加藤とよみ (一関)	本多・永沢 (釜石)	永沢和彦 (釜石)		
	2	高橋・橋本 (釜石)	村上信夫 (盛岡)	平賀・熊谷 (花巻)	山田久子 (盛岡)	古館・鈴木 (盛岡)	菊地保福 (江刺)		
19 54	1	村上・髙田 (盛岡)	村上信夫 (盛岡)	渡辺・高橋 (石鳥谷)	渡辺みゆき (石鳥谷)	永沢・菊池 (盛岡・江刺)	菊池修一 (江刺)		
	2	阿部・橋本 (釜石)	伊藤一郎 (江刺)	高橋・八重樫 (北上)	高橋悦子 (盛岡)	千葉・菊地 (江刺)	永沢和彦 (盛岡)		
20 55	1	佐藤・伊藤 (水沢・江刺)	村上信夫 (盛岡)	渡辺・小西 (石鳥谷・盛岡)	渡辺みゆき (石鳥谷)	菊池・及川 (江刺)	菊池修一 (江刺)		
	2	佐藤・菊地 (江刺)	鬼柳孝夫 (北上)	菊池・柏葉 (釜石)	小西孝子 (盛岡)	永沢・鈴木 (都南)	及川　司 (江刺)		
21 56	1	佐藤・伊藤 (水沢・江刺)	村上信夫 (盛岡)	渡辺・小西 (石鳥谷・盛岡)	渡辺みゆき (石鳥谷)	永沢・鈴木 (都南)	永沢和彦 (都南)		
	2	鬼柳・畠山 (北上)	伊藤一郎 (江刺)	津田・藤村 (一関)	小西孝子 (盛岡)	吉田・鎌田 (盛岡)	高橋順一 (大迫)		
22 57	1	佐藤・伊藤 (水沢・江刺)	石川　聡 (前沢)	渡辺・小西 (石鳥谷・盛岡)	渡辺みゆき (石鳥谷)	永沢・鈴木 (都南)	永沢和彦 (都南)		
	2	岩渕・安部 (前沢)	伊藤一郎 (江刺)	細屋・武田 (北上・水沢)	小西孝子 (盛岡)	山口・桝沢 (釜石)	鈴木吉一 (都南)		
23 58	1	石川・石川 (前沢)	伊藤一郎 (江刺)	村上・外川 (都南・盛岡)	村上みゆき (藤沢体育堂)	永沢・鈴木 (都南)	永沢和彦 (都南)	佐藤・藤井 (水沢)	佐藤嘉子 (水沢)
	2	佐藤・伊藤 (水沢・江刺)	石川　聡 (前沢)	小西・佐藤 (盛岡)	小西孝子 (盛岡)	吉田・及川 (盛岡)	佐々木志津夫 (盛岡)	後藤・阿部 (水沢)	藤井和子 (水沢)
24 59	1	石川・岩渕 (前沢・富士通)	佐藤彰彦 (水沢)	細屋・武田 (北上・水沢)	菅原明美 (NEC)	高橋（道）・阿部 (新日鉄)	菊池　敏 (江刺)		
	2	佐藤・伊藤 (水沢・江刺)	伊藤一郎 (江刺)	本城・菅原 (前沢・NEC)	佐藤めぐみ (高七)	佐藤・菊池 (江刺)	永沢和彦 (都南)		
25 60	1	佐藤・伊藤 (水沢・江刺)	佐藤彰彦 (水沢)	本城・菅原 (前沢・NEC)	菅原明美 (NEC)	山口・北野 (釜石)	菊池　敏 (江刺)	佐藤・竹花 (都南)	
	2	村上・越前屋 (盛岡・雫石)	伊藤一郎 (江刺)	藤村・小野寺 (NEC)	武田さなえ (釜石)	佐藤・菊池 (江刺)	佐藤政由 (江刺)	畠山・藤川 (都南)	
26 61	1	佐藤・伊藤 (水沢・盛岡)	石川　聡 (前沢)	武田・菅原 (釜石・盛岡)	菅原明美 (NEC 東北)	山口・北野 (釜石)	菊池　敏 (江刺)		
	2	菊地・菊地 (富士通・江刺)	伊藤一郎 (盛岡)	村上・宇夫 (都南・盛岡)	武田さなえ (釜石)	内藤・浅沼 (都南)	佐藤政由 (江刺)		
27 62	1	石川・安部 (前沢)	石川　聡 (前沢)	菅原・桜田 (NEC 東北)	菅原明美 (NEC 東北)	山口・北野 (釜石)	北野和敏 (釜石)	佐藤・千田 (水沢・江刺)	
	2	木立・藤沢 (盛岡・都南)	伊藤一郎 (盛岡)	武田・佐藤 (釜石・盛岡)	武田さなえ (釜石)	熊谷・伊藤 (釜石)	大坪健一 (盛岡)		
28 63	1	石川・佐藤 (JR 東日本・水沢)	菊地生昭 (富士通)	村上・斉藤 (都南・盛岡)	斉藤美由紀 (盛岡)	内藤・亀ケ森 (都南・盛岡)	菊池　敏 (江刺)		
	2	石川・安部 (前沢)	石川　聡 (JR 東日本)	武田・小島 (水沢・北上)	村上みゆき (都南)	鈴木・浅沼 (都南)	北野和敏 (釜石)		
29 平成 元	1	石川・佐藤 (JR 東日本・水沢)	石川　聡 (JR 東日本)	石川・桜田 (NEC 東北)	石川明美 (NEC 東北)	内藤・越前屋 (都南・雫石)	菊池　敏 (江刺)	藤原・円子 (盛岡)	
	2	菊地・小原 (富士通)	菊地生昭 (富士通)	武田・坂内 (水沢・富士通)	武田さなえ (水沢)	山口・二川 (釜石)	北野和敏 (釜石)	斉藤・高橋 (江刺)	
30 2	1	小野寺・安部 (前沢)	佐々木清貴 (前沢)	武田・桜田 (水沢・富士通)	石川明美 (NEC 東北)	菊地・菊地 (江刺)	菊池　敏 (江刺)	清水上・下瀬川 (江釣子)	三浦とよみ (一関)
	2	細川・細川 (雫石)	菊地生昭 (富士通)	石川・鈴木 (NEC 東北)	村上みゆき (村上呉服店)	菅原・伊藤 (川崎)	北野和敏 (釜石)	小野寺・高橋 (江釣子)	
31 3	1	菊地・佐藤 (富士通)	菊地生昭 (富士通)	三浦・村上 (一関・村上呉服店)	武田さなえ (水沢)	横道・伊藤 (都南)	米内貞玄 (阿部魚店)	菊池・吉田 (盛岡)	
	2	石川・佐藤 (前沢・水沢)	佐々木清貴 (前沢)	照井・小原 (リコー光学・花巻)	畠山美由紀 (北上)	米内・皆川 (阿部魚店・盛岡)	谷村武義 (矢巾)	円子・高橋 (盛岡)	
32 4	1	小野寺・安部 (前沢)	小原智雄 (北上)	武田・石川 (胆沢高教・前沢)	武田さなえ (胆沢高教)	越前屋・佐藤 (雫石・花巻)	髙田　満 (盛岡)		
	2	石川・佐藤 (前沢・水沢)	佐藤慎也 (富士通)	村上・菊地 (村上呉服店・江刺)	石川明美 (前沢)	鈴木・菊池 (水沢・江刺)	北野和敏 (釜石)		
33 5	1	小野寺・安部 (前沢)	小原智雄 (富士通)	村上・佐藤 (村上呉服店・県経済連)	村上みゆき (村上呉服店)	高田・内藤 (盛岡)	北野和敏 (釜石)		
	2	石川・佐藤 (前沢・水沢)	佐々木清貴 (前沢)	柏山・本城 (前沢)	武田さなえ (胆沢高教)	鈴木・菊池 (水沢・江刺)	髙田　満 (盛岡)		
34 6	1	小原・佐藤 (富士通)	小原智雄 (富士通)	谷地・諏訪 (雫石)	村上みゆき (村上呉服店)	伊藤・藤沢 (盛岡)	髙田　満 (盛岡)	清水上・高橋 (北上)	高橋恵理子 (北上)
	2	鈴木・佐々木 (前沢・寺岡岩手)	伊藤張二 (前沢)	鈴木・及川 (葛巻・宮古)	及川裕美 (宮古)	佐藤・新山 (一関・千厩)	照井和博 (花巻)	伊藤・小原 (花巻)	

回 年度	順位	40才男子		40才女子		50才男子		50才女子	混合
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	ダブルス
18 昭和 53	1		竹林克彦 (盛岡)						村上・山田 (盛岡)
	2		熊谷恭二 (陸前高田)						鬼柳・佐藤 (北上・水沢)
19	1	福田・舘沢 (盛岡)	今野　晃 (前沢)						佐藤・佐藤 (水沢)
54	2	今野・佐々木 (前沢)	佐々木幸男 (前沢)						村上・山田 (盛岡)
20	1	岩本・高橋 (盛岡)	岩本　侃 (盛岡)						佐藤・菊田 (水沢)
55	2	今野・佐々木 (前沢)	佐藤恭彦 (前沢)						菊池・佐藤 (江刺)
21	1	福田・舘沢 (盛岡)	岩本　侃 (盛岡)						佐藤・武田 (水沢)
56	2	岩本・高橋 (盛岡)	佐藤貞雄 (北上)						伊藤・佐藤 (江刺)
22	1	岩本・高橋 (盛岡)	白沢国雄 (盛岡)						石川・津田 (前沢・水沢)
57	2	今野・佐藤 (前沢)	岩本　侃 (盛岡)						安部・本城 (前沢)
23	1	佐藤・市橋 (北上)	岩本　侃 (盛岡)						越前屋・佐藤 (雫石・盛岡)
58	2	今野・佐藤 (前沢)	佐藤貞雄 (北上)						菊地・本城 (江刺・前沢)
24	1	岩本・熊谷 (盛鉄)	岩本　侃 (盛鉄)						菊地・菊池 (富士通)
59	2	佐藤・市橋 (北上)	佐藤貞雄 (北上)						安部・本城 (前沢・NEC)
25	1	岩本・熊谷 (盛鉄)	岩本　侃 (盛鉄)						藤谷・小野寺 (富士通・NEC)
60	2	佐藤・市橋 (北上)	佐藤貞雄 (北上)						岩渕・千葉 (前沢)
26	1	及川・佐藤 (北上・三菱製紙)	岩本　侃 (盛鉄)						吉田・宇夫 (盛岡市民生協)
61	2	掘込・菅原 (北上・三菱製紙)	山影輝雄 (石鳥谷)						古川・上岩 (軽米)
27	1	佐藤・杉田 (北上)	白沢国雄 (盛岡)						石川・菅原 (JR東日本・NEC)
62	2	白沢・吉田 (盛岡)	堀込　晃 (北上)						石川・小形 (JR東日本・前沢)
28	1	白沢・吉田 (盛岡)	白沢国雄 (盛岡)	白沢・藤原 (盛岡)		館沢・東野 (都南)		阿部・辻山 (水沢)	藤沢・畠山 (都南)
63	2	堀込・菅原 (北上)	堀込　晃 (北上)	吉田・熊谷 (盛岡)					佐藤・照井 (リコー光学)
29 平成 元	1	金原・鬼柳 (カネハラ・JR東日本)	鬼柳孝夫 (JR東日本)	吉田・熊谷 (盛岡)		東・石川 (岩大職)			安部・本城 (前沢)
	2	佐々木・永沢 (遠野・大船渡)	佐々木邦夫 (遠野)	堀江・戸田 (盛岡)		小原・佐々木 (自衛隊)			小原・坂内 (富士通)
30	1	金原・鬼柳 (カネハラ・JR東日本)	鬼柳孝夫 (JR東日本)						佐々木・石川 (一関・NEC東北)
2	2	佐々木・永沢 (盛岡・釜石)	佐々木邦夫 (盛岡)						安部・本城 (前沢)
31	1	佐々木・永沢 (盛岡・釜石)	鬼柳孝夫 (JR東日本)	沢田・石内 (盛岡)		佐藤・杉田 (北上)			伊藤・菊池 (前沢・遠野)
3	2	山口・佐藤 (釜石・江刺)	佐々木邦夫 (盛岡)	戸田・熊谷 (盛岡)		岩本・石川 (盛岡)			石川・鈴木 (前沢・一関)
32	1	永沢・山口 (釜石)	佐藤政由 (江刺)	菊地・藤原 (盛岡)					菊地・菊地 (江刺)
4	2	白沢・岩本 (盛岡)	鬼柳孝夫 (JR東日本)	佐々木・女鹿 (盛岡・紫波)					安部・本城 (前沢)
33	1	永沢・熊谷 (釜石)	鬼柳孝夫 (JR東日本)						
5	2	金原・鬼柳 (カネハラ・JR東日本)	佐藤政由 (江刺)						
34	1	鈴木・菅原 (盛岡・川崎)	菊池　敏 (江刺)			杉田・佐藤 (北上)			
6	2	菊池・佐藤 (江刺)	鬼柳孝夫 (JR東日本)						

回 年度	順 位	青年男子		青年女子		30才男子		30才女子	
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス
35 平成 7	1	小原・佐藤 (富士通)	小原智雄 (富士通)	本城・佐藤 (前沢・水沢)	及川裕美 (盛岡)	伊藤・藤沢 (盛岡)	高田　満 (盛岡)	伊藤・高橋 (盛岡)	高橋恵理子 (北上)
	2	鈴木・佐々木 (富士通・前沢)	南幅康宏 (盛岡)	谷地・諏訪 (雫石)	池端美杉 (釜石)	高田・内藤 (盛岡)	藤沢正幸 (盛岡)	小野寺・高橋 (北上)	菅原由紀 (盛岡)
36 8	1	小原・佐藤 (富士通)	小原智雄 (富士通)	池端・菅野 (釜石市役所・津志田小教)	池端美杉 (釜石市役所)	伊藤・藤沢 (盛岡)	菊地生昭 (えさし藤原の郷)	石川・柏山 (前沢)	高橋恵理子 (北上)
	2	石川・佐藤 (JR東日本・水沢)	南幅康宏 (盛岡友愛病院)	本城・佐藤 (前沢・水沢)	及川裕美 (盛岡)	菊地・千葉 (藤原の郷・川崎)	千葉　章 (川崎)	伊藤・藤沢 (盛岡)	小野寺浩子 (北上)
37 9	1	佐藤・小原 (富士通)	佐藤慎也 (富士通)	池端・菅野 (釜石市役所・津志田小教)	池端美杉 (釜石市役所)	菊地・千葉 (藤原の郷・川崎)	藤沢正幸 (盛岡)	小野寺・高橋 (北上)	高橋恵理子 (北上)
	2	佐藤・小野 (水沢)	中舘　聡 (盛岡)	石川・柏山 (前沢)	本城知枝 (前沢)	村上・千葉 (水沢・胆沢)	畠山静夫 (JR東日本)	小原・藤沢 (ヤマト運輸・ダスキン)	小野寺浩子 (北上)
38 10	1	佐藤・小原 (富士通)	佐藤慎也 (富士通)	池端・菅野 (釜石市役所・津志田小教)	池端美杉 (釜石市役所)	伊藤・藤沢 (盛岡)	菊地生昭 (えさし藤原の郷)	佐々木・小原 (盛岡)	菅原由紀 (盛岡)
	2	阿部・佐藤 (前沢・北上)	小原智雄 (富士通)	石川・柏山 (前沢)	宮崎真由美 (盛岡)	菊地・伊藤 (藤原の郷・盛岡)	藤谷清文 (富士通)	伊藤・藤沢 (盛岡)	
39 11	1	佐藤・宍戸 (富士通・北上)	佐藤慎也 (富士通)	池端・菅野 (釜石市役所・津志田小教)	池端美杉 (釜石市役所)	伊藤・藤沢 (盛岡)	菊地生昭 (えさし藤原の郷)	佐々木・小原 (盛岡)	菅原由紀 (盛岡市役所)
	2	佐藤・阿部 (北上・前沢)	宍戸朋夫 (北上)	佐藤・野口 (水沢・花巻)	野口美奈子 (花巻)	村上・佐々木 (北上・胆沢)	藤沢正幸 (盛岡)	高橋・高橋 (北上・胆沢)	
40 12	1	佐藤・宍戸 (富士通・北上)	佐藤慎也 (富士通)	池端・菅野 (釜石市役所・羽場小教)	池端美杉 (釜石市役所)	藤谷・高橋 (富士通・胆沢)	菊地生昭 (えさし藤原の郷)	高橋・星川 (盛　岡)	菅原由紀 (盛岡市役所)
	2	高橋・伊藤 (北上・JR東日本)	宍戸朋夫 (北　上)	谷地・諏訪 (横重建築・雫石)	高橋朱美 (矢　巾)	佐藤・新山 (一関・千厩)	高橋広和 (胆　沢)	小原・福島 (盛　岡)	星川真由美 (盛　岡)
41 13	1	佐藤・宍戸 (富士通・北上)	宍戸朋夫 (北　上)	谷地・野口 (横重建築・花巻)	池端美杉 (釜石市役所)	田村・熊谷 (盛　岡)	菊地生昭 (えさし藤原の郷)	高橋・星川 (盛　岡)	
	2	高橋・伊藤 (北上・JR東日本)	佐藤慎也 (富士通)	石川・菊地 (前沢・江刺)	野口美奈子 (花　巻)	藤谷・高橋 (富士通・胆沢)	高橋広和 (胆　沢)	柏山・千葉 (前　沢)	
42 14	1	佐藤・小原 (富士通・北上)	高橋英樹 (北　上)	池端・菅野 (釜石市役所・羽場小教)	池端美杉 (釜石市役所)	石川・菊地 (JR東日本・種山星座の森)	菊地生昭 (種山星座の森)	菅原・柳村 (盛岡市役所・滝沢)	
	2	佐藤・多田 (北　上)	宍戸朋夫 (北　上)	野口・宮崎 (花巻・滝沢)	佐々木真希子 (盛　岡)	高橋・石木田 (胆沢・シチズン)	佐藤理光 (水　沢)	佐藤・田中舘 (水　沢)	
43 15	1	高橋・伊藤 (北上・JR東日本)	高橋英樹 (北　上)	谷地・渡辺 (横重建築・花巻)	池端美杉 (釜石市役所)	藤谷・熊谷 (富士通・金ヶ崎)	菊地生昭 (種山星座の森)	石川・柏山 (前　沢)	
	2	佐藤・小原 (富士通)	佐藤慎也 (富士通)	池端・菅野 (釜石市役所・羽場小教)	佐々木真希子 (盛　岡)	高橋・佐藤 (胆沢・北上)	高橋広和 (胆　沢)	藤沢・斉藤 (盛　岡)	
44 16	1	佐藤・小原 (富士通・北上)	佐藤慎也 (富士通)	池端・谷地 (釜石市役所・雫石)	池端美杉 (釜石市役所)	菊地・外川 (前高教・盛岡)	畠山　崇 (釜石商高教)	石川・柏山 (前　沢)	
	2	岡・及川 (矢　巾)	宍戸朋夫 (北　上)	村松・佐々木 (矢巾・盛岡)	佐々木真希子 (盛　岡)	菊地・藤沢 (えさし藤原の郷・盛岡)	柳原　賢 (一　関)	川島・大下 (盛　岡)	
45 17	1	高橋・伊藤 (北上・JR東日本)	佐藤慎也 (富士通)	池端・谷地 (釜石市役所・雫石)	池端美杉 (釜石市役所)	菊地・畠山 (前沢高教)	菊地生昭 (えさし藤原の郷)	谷藤・伊藤 (盛　岡)	
	2	川村・菅原 (花巻・JR東日本)	千田一馬 (水沢一高教)	村松・佐々木 (矢巾・盛岡)	佐々木真希子 (盛　岡)	小野・佐藤 (水　沢)	畠山　崇 (前沢高教員)	石川・柏山 (前　沢)	
46 18	1	高橋・伊藤 (北上・JR東日本)	千田一馬 (水沢一高教)	村松・佐々木 (矢巾・盛岡)	宮崎真由美 (滝　沢)	佐藤・大友 (北　上)	佐藤憲明 (北　上)	星川・川島 (盛　岡)	
	2	高橋・千田 (奥州・水一高教)	佐藤慎也 (富士通)	若槻・佐々木 (奥　州)	佐々木 真希子 (盛　岡)	菊地・畠山 (前沢高教)	菊地生昭 (えさし藤原の郷)	阿部・亀谷 (雫石・一関)	
47 19	1	高橋・伊藤 (北上・JR東日本)	尾形　工 (JR東日本)	石川・川村 (奥州・花巻)		小原・長山 (北　上)	佐藤憲明 (北　上)	横手・諏訪 (雫　石)	
	2	高橋・千田 (奥州・水一高教)	宮崎賢治 (滝　沢)	高橋・佐々木 (盛　岡)		菊地・畠山 (前沢高教)	阿部勝志 (奥　州)	小野寺・亀谷 (盛岡・一関)	
48 20	1	高橋慎・伊藤 (奥州・JR東日本)	高橋　慎 (奥　州)	村松・佐々木 (矢巾・盛岡)	佐藤千恵 (奥　州)	岩渕・三瓶 (一関・平泉)	佐藤憲明 (北　上)	阿部・諏訪 (雫　石)	
	2	高橋英・佐藤 (北上・富士通)	高橋英樹 (北　上)	尾形・千葉 (一　関)	尾形美咲 (一　関)	小原・長山 (北　上)	岩渕辰男 (一　関)	久保田・亀谷 (花巻・一関)	
49 21	1	高橋慎・伊藤 (奥州・JR東日本)	高橋英樹 (北　上)	内藤・玉山 (盛岡・紫波)	堤　奈緒子 (北　上)	岩渕・三瓶 (一　関)	小原智雄 (北　上)	阿部・諏訪 (雫　石)	
	2	高橋英・佐藤 (北上・富士通)	高橋　慎 (奥　州)	村松・佐々木 (北上・盛岡)	高橋　南 (奥　州)	小原・長山 (北　上)	佐藤憲明 (北　上)	佐藤・岩渕 (北上・奥州)	
50 22	1	高橋慎・伊藤 (奥州・JR東日本)	宮崎賢治 (滝　沢)	加藤・宮崎 (滝　沢)	加藤明子 (滝　沢)	多田・及川 (北上・矢巾)	三瓶雅幸 (一　関)	岩渕・亀谷 (一　関)	
	2	高橋英・佐藤 (北上・富士通)	上野　隼 (北　上)	八重樫・高橋 (北上・盛岡)	小野寺和美 (一　関)	田村・阿部 (滝沢・盛岡)	岩渕辰男 (一　関)	渡辺・菊池 (滝　沢)	

回 年度	順 位	40才男子		40才女子		50才男子		50才女子	60才男子	60才女子
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	ダブルス	ダブルス
35 平成 7	1	山口・北野 （釜石） 永沢・佐々 （釜石）	北野和敏 （釜石） 佐藤政由 （江刺）		佐々木せつ子 （盛岡）	金原・白沢 （カネハラ・白沢せんべい店） 掘込・菅原 （北上）	白沢国雄 （白沢せんべい店） 吉田征夫 （盛岡）			
36 8	1 2	佐藤・菊池 （江刺） 永沢・佐々 （釜石）	北野和敏 （釜石市役所） 豊田政弘 （リコー光学）	佐々木・佐々木 （盛岡）		金原・佐藤 （カネハラ・北上） 掘込・菅原 （北上）	菊地保福 （江刺） 掘込　晃 （北上）			
37 9	1 2	山口・北野 （釜石・釜石市役所） 髙田・伊藤 （滝沢南中教・盛岡）	髙田　満 （滝沢南中教） 菊池　敏 （江刺）			白沢・佐々木 （白沢せんべい店・盛岡南高教） 千葉・菊地 （一関・江刺）	白沢国雄 （白沢せんべい店） 千葉　惇 （一関）			
38 10	1 2	亀ケ森・越前屋 （盛岡・雫石） 菊池・北野 （江刺・釜石市役所）	北野和敏 （釜石市役所） 菊池　敏 （江刺）	白沢・菊池 （盛岡・滝沢） 佐々木・高橋 （盛岡）	高橋恵美子 （矢巾）	白沢・佐々木 （白沢せんべい店・盛岡南高教） 和田・奥 （盛岡）	鬼柳孝夫 （JR東日本） 白沢国堆 （白沢せんべい店）	阿部・藤井 （胆沢・水沢）		
39 11	1 2	亀ケ森・越前屋 （盛岡・雫石） 菊池・北野 （江刺・釜石市役所）	伊藤一郎 （盛岡） 伊藤張二 （前沢高教）	小野寺・高橋 （北上） 菊池・高橋 （盛岡・滝沢）	小野寺浩子 （北上） 高橋恵理子 （北上）	山口・鈴木 （釜石・盛岡） 鬼柳・金原 （JR東日本・カネハラ）	鬼柳孝夫 （JR東日本） 白沢国堆 （白沢せんべい店）			
40 12	1 2	北野・山崎 （釜石市役所・釜石） 亀ケ森・越前屋 （盛岡・雫石）	北野和敏 （釜石市役所） 菊池　敏 （江刺）	小野寺・高橋 （北上） 佐々木・佐々木 （盛岡）		山口・鈴木 （釜石・盛岡） 千葉・佐藤 （一関）	鬼柳孝夫 （JR東日本） 佐藤　秀 （一関）	女鹿・鈴木 （紫波・盛岡）		
41 13	1 2	亀ケ森・越前屋 （盛岡・雫石） 北野・山崎 （釜石市役所・釜石）	菊池　敏 （江刺） 北野和敏 （釜石市役所）	小野寺・高橋 （北上） 菊地・菅原 （水沢）		鬼柳・鈴木 （JR東日本・盛岡） 山口・佐々 （釜石）	矢島英雄 （盛岡） 佐々　孝 （釜石）	佐藤・藤井 （水沢） 女鹿・鈴木 （紫波・盛岡）		
42 14	1 2	北野・山崎 （釜石） 亀ケ森・越前屋 （盛岡・雫石）	菊池和男 （渡屋） 北野和敏 （釜石）	小野寺・高橋 （北上） 宮崎・川村 （盛岡）		鬼柳・鈴木 （JR東日本・盛岡） 山口・佐藤 （釜石・江刺）	鬼柳孝夫 （JR東日本） 佐藤政由 （江刺）	佐々木・圓子 （盛岡） 鈴木・阿部 （盛岡・北上）		
43 15	1 2	亀ケ森・越前屋 （盛岡・雫石） 藤沢・安部 （盛岡・前沢）	藤沢正幸 （盛岡） 伊藤政雄 （盛岡）	村上・小原 （村上呉服・盛岡） 小野寺・菅原 （北上・盛岡）		佐藤・菊池 （江刺） 鬼柳・鈴木 （JR東日本・盛岡）	菊池　敏 （江刺） 佐藤政由 （江刺）			
44 16	1 2	北野・山崎 （釜石） 安部・伊藤 （前沢・盛岡）	藤沢正幸 （盛岡） 髙田　満 （盛岡）	太田・柳村 （滝沢） 小野寺・小原 （北上・盛岡）		佐藤・菊池 （江刺） 山口・熊谷 （釜石）	菊池　敏 （江刺） 佐藤政由 （江刺）	佐藤・菅原 （水沢） 畠山・佐藤 （一関）		
45 17	1 2	菊地・藤沢 （えさし藤原の郷・盛岡） 菊池・北野 （江刺・釜石）	高橋久之 （北上） 宮田幸司 （北上）	小田島・荻野 （矢巾） 山形・高橋 （釜石・北上）		山口・熊谷 （釜石） 菅原・高橋 （川崎・花泉）	菊池　敏 （江刺） 北野和敏 （釜石）	中村・真山 （盛岡） 佐々木・高橋 （盛岡）		
46 18	1 2	菊地・藤沢 （えさし藤原の郷・盛岡） 菊池・北野 （奥州・釜石）	高橋久之 （北上） 藤沢正幸 （盛岡）	菅原・柳村 （盛岡・滝沢） 太田・小原 （滝沢・盛岡）		鬼柳・鈴木 （JR東日本・盛岡） 菅原・高橋 （川崎・花泉）	菊池　敏 （江刺） 北野和敏 （釜石）			
47 19	1 2	菊池・北野 （奥州・釜石） 越前屋・亀ケ森 （雫石・盛岡）	菊地生昭 （奥州） 高橋久之 （北上）	太田・小原 （滝沢・盛岡） 菅原・柳村 （盛岡・滝沢）		佐藤・伊藤 （奥州・盛岡） 伊藤・髙田 （前高教・胆沢一小教）	菊池　敏 （奥州） 昆　和孝 （矢巾）	中村・佐々木 （盛岡） 赤坂・葛巻 （滝沢・盛岡）	及川・和田 （遠野・盛岡） 堀込・菅原 （北上）	
48 20	1 2	藤澤・松尾 （Rショップ広瀬・宮古） 佐藤・新山 （　一関）	菊地生昭 （奥州） 高橋久之 （北上）	菊地・星川 （Rショップ菊地・盛岡） 太田・小原 （滝沢・盛岡）		亀ケ森・斉藤 （盛岡） 伊藤・髙田 （前高教・胆沢一小教）	菊池　敏 （奥州） 伊藤一郎 （盛岡）	小野寺・高橋 （北上） 菊池・佐々木 （滝沢・盛岡）	及川・和田 （遠野・盛岡） 千葉・佐藤 （一関）	
49 21	1 2	佐藤・新山 （　一関） 藤澤・菊地 （Rショップ広瀬・フロショップ菊地）	菊地生昭 （フロショップ菊地） 宮田幸司 （北上）			亀ケ森・斉藤 （盛岡） 菊池・北野 （奥州・釜石）	菊池　敏 （奥州） 木立三男 （盛岡）	小野寺・高橋 （北上） 小田島・荻野 （矢巾）	及川・和田 （遠野・盛岡） 金原・佐藤 （北上・一関）	
50 22	1 2	藤澤・菊地 （Rショップ広瀬・フロショップ菊地） 岩渕・阿部 （奥州・北上）	菊地生昭 （フロショップ菊地） 阿部良広 （北上）	太田・小原 （滝沢・矢巾） 角掛・今春 （盛岡・奥州）		北野・山崎 （釜石） 亀ケ森・斉藤 （盛岡）	菊池　敏 （奥州） 北野和敏 （釜石）	小野寺・高橋 （北上） 小田島・荻野 （矢巾）	及川・佐藤 （遠野・一関） 金原・和田 （北上・滝沢）	

回 年度	順 位	青年男子		青年女子		30才男子		30才女子	
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス
51 平成 23	1	長濱・佐藤 (JR東日本・福岡高教)	高橋英樹 (北上)	内藤・玉山 (盛岡・紫波)		岩渕・三瓶 (一関)	菅原一由 (JR東日本)	横手・石川 (雫石・奥州)	
	2	武蔵・中塚 (盛岡)	上野　隼 (北上)	新屋・佐々木 (矢巾・盛岡)		多田・及川 (北上・矢巾)	岩渕辰男 (一関)	亀谷・岩渕 (一関)	
52	1	石川・菅原 (奥州・日本郵政G)	石川貴寛 (奥州)	横手・宮崎 (雫石・滝沢)		三瓶・岩渕 (一関)	菅原一由 (JR東日本)	亀谷・岩渕 (一関)	
24	2	田口・多田 (盛岡・花巻)	多田祐太 (花巻)	加藤・吉岡 (盛岡・矢巾)		白幡・吉浜 (釜石)	白幡義経 (釜石)	幸田・小野寺 (奥州)	
53	1	石川・外川 (及川スポーツ・JR東日本)	宮崎賢治 (滝沢)	横手・菊池 (雫石・釜石)		多田・高橋 (北上)	白幡義経 (釜石)	新渕・小野寺 (花巻・奥州)	
25	2	多田・田口 (花巻・盛岡)	石川貴寛 (及川スポーツ)	三好・田村 (北上)		佐藤・佐藤 (花巻・紫波)	高橋大吉 (北上)	亀谷・岩渕 (一関)	
54	1	石川・外川 (奥州病院・JR東日本)	多田祐太 (花巻)	佐々木・横手 (盛岡・雫石)		伊藤・高橋 (JR東日本・タカゼン)	伊藤俊幸 (JR東日本)	新渕・熊谷 (太陽住宅・盛岡)	
26	2	門脇・津田 (JR東日本)	田口千晃 (盛岡)	三好・熊谷 (北上)		多田・高橋 (北上)	白幡義経 (釜石)	廣瀬・小野寺 (奥州)	
55	1	石川・外川 (仙建工業・JR東日本)	石川貴寛 (仙建工業)	宮野・高橋 (盛岡・北上)			白幡義経 (釜石)		
27	2	佐藤・菅原 (一関・日本郵政)	門脇誠治 (JR東日本)	玉山・横手 (紫波・雫石)			高橋大吉 (タカゼン)		
56	1	石川・佐々木 (仙建工業・花巻清風支援学校)	佐々木翔太 (花巻清風支援学校)	玉山・中島 (紫波・花巻)	井上いずみ (釜石市)	及川・藤原 (矢巾町)	伊藤俊幸 (JR東日本)		
28	2	高橋・佐藤 (奥州・釜石)	石川貴寛 (仙建工業)	高橋・田村 (北上・遠野)	佐々木志音 (奥州市)	白幡・吉濱 (釜石市)	高橋大吉 (タカゼン)		
57	1	石川・佐々木 (仙建工業・花巻清風支援学校)	藤谷誠仁 (奥州市)	野田・藤井 (盛岡・花巻)		小原・木原 (矢巾町)	伊藤俊幸 (JR東日本)		
29	2	外川・高橋 (JR東日本・盛岡)	佐々木翔太 (花巻清風支援学校)	高橋・中島 (北上・花巻)		白幡・吉濱 (釜石市)	高橋大吉 (タカゼン)		
58	1	佐々木・軽石 (花巻清風支援学校・JR東日本)	藤谷誠仁 (奥州市)	高橋・金野 (北上市)		尾形・武元 (JR東日本・日本端子)	尾形　工 (JR東日本)		
30	2	石川・藤谷 (仙建工業・奥州市)	佐々木翔太 (花巻清風支援学校)	中島・藤井 (花巻市)		小原・木原 (矢巾町・盛岡友愛病院)	高橋大吉 (タカゼン)		



回 年度	順位	40才男子		40才女子		50才男子		50才女子	60才男子	60才女子
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	ダブルス	ダブルス
51 平成 23	1	藤澤・昆 (盛岡・矢巾)	千葉順一 (若葉小教)	藤澤・星川 (盛岡)		高橋・菊地 (紫波・ブロッサム菊地)	菊地生昭 (ブロッサム菊地)	小野寺・高橋 (北上)	佐々木・佐藤 (盛岡・奥州)	
	2	新山・佐藤 (一関)	宮田幸司 (北上)	菊地・今春 (ブロッサム菊池・奥州)		北野・山崎 (釜石)	伊藤張二 (大迫高教)	葛巻・大志田 (盛岡)	及川・佐藤 (遠野・一関)	
52 24	1	柏谷・猪股 (盛岡)	阿部勝志 (奥州)	駒込・高橋 (金ケ崎・北上)		菊地・高橋 (ブロッサム菊地・北上)	菊地生昭 (ブロッサム菊地)	太田・小原 (滝沢・矢巾)	菊地・佐藤 (奥州)	
	2	小崎・佐藤 (一関)	千葉順一 (若葉小教)	今春・佐藤 (奥州・金ケ崎)		北野・山崎 (釜石)	高橋久之 (北上)	高橋・小野寺 (北上)	及川・佐藤 (遠野・一関)	
53 25	1	柳原・藤澤 (一関修紅教・盛岡)	阿部勝志 (奥州)	駒込・高橋 (金ケ崎・北上)		菊地・藤澤 (ブロッサム菊地・Rショップ広瀬)	菊地生昭 (ブロッサム菊地)	太田・小原 (滝沢・矢巾)	菊池・伊藤 (奥州・北上)	
	2	柏谷・猪股 (盛岡)	菊地　進 (奥州)	今春・佐藤 (奥州)		斉藤・亀ケ森 (JR東日本・盛岡)	宮田幸司 (北上)	高橋・小野寺 (北上)	和田・矢島 (滝沢・盛岡)	
54 26	1	千葉・佐藤 (久慈・北上)	柳原　賢 (一関修紅教)			菊地・藤澤 (ブロッサム菊地・Rショップ広瀬)	菊地生昭 (ブロッサム菊地)	太田・小原 (滝沢・矢巾)	伊藤・菊池 (富士大学・奥州)	
	2	平田・菅野 (JR東日本・陸前高田)	平田純一 (JR東日本)			宮田・髙橋 (北上)	宮田幸司 (北上)	高橋・小野寺 (北上)	和田・矢島 (滝沢・盛岡)	
55 27	1		柳原　賢 (一関修紅教)			菊地・藤澤 (ブロッサム菊地・Rショップ広瀬)	菊地生昭 (ブロッサム菊地)	太田・小原 (滝沢・矢巾)	菊地・佐藤 (奥州)	菊池・佐々木 (滝沢・盛岡)
	2		平田純一 (JR東日本)			伊藤・菊地 (奥州)	高橋久之 (北上)	高橋・小野寺 (北上)	和田・佐藤 (滝沢・一関)	高橋・葛巻 (盛岡)
56 28	1	小原・三田 (北上・花巻)	柳原　賢 (一関修紅教)			菊地・藤澤 (ブロッサム菊地・Rショップ広瀬)	菊地生昭 (ブロッサム菊地)		和田・佐藤 (滝沢・一関)	菊池・佐々木 (滝沢・盛岡)
	2	千葉・猪股 (盛岡)	菊地　進 (奥州市)			齋藤・高橋 (JR東日本・紫波)	宮田幸司 (北上)		桝澤・佐々 (釜石)	高橋・葛巻 (盛岡)
57 29	1	三瓶・岩渕 (一関)	柳原賢 (一関修紅教)			齋藤・高橋輝 (JR東日本・紫波)	菊地生昭 (ブロッサム菊地)		佐々・佐藤 (釜石・一関)	
	2	三田・佐藤 (花巻)	鎌田　豪 (盛岡市)			菊地・藤澤 (ブロッサム菊地・Rショップ広瀬)	高橋久之 (北上)		和田・矢島 (滝沢・盛岡)	
58 30	1	三瓶・岩渕 (一関・川嶋印刷)	岩渕辰男 (川嶋印刷)			高橋・小崎 (北上・一関)	宮田幸司 (北上)		北野・髙田 (釜石・盛岡)	佐藤・葛巻 (一関・盛岡)
	2	柳原・畠山 (一関修紅高教・西和賀高教)	外川正昭 (盛岡市)			千葉・佐藤 (一関)	小野寺政博 (一関)		佐藤・佐々 (一関・釜石)	畠山・高橋 (一関・盛岡)

岩手県市町村対抗バドミントン選手権大会

回 年度	順 位	男子団体	女子団体
1 昭和52	1 2	江刺市 北上市	水沢市 北上市
2 53	1 2	盛岡市 遠野市	北上市 水沢市
3 54	1 2	前沢町 釜石市	北上市 水沢市
4 55	1 2	前沢町 江刺市	盛岡市 前沢町
5 56	1 2	前沢町 江刺市	前沢町 盛岡市
6 57	1 2	江刺市 前沢町	前沢町 遠野市
7 58	1 2	江刺市 前沢町	釜石市 前沢町
8 59	1 2	前沢町 盛岡市	盛岡市 一関市
9 60	1 2	盛岡市 都南村	前沢町 花巻市
10 61	1 2	前沢町 盛岡市	盛岡市 前沢町
11 62	1 2	前沢町 水沢市	盛岡市 花巻市
12 63	1 2	前沢町 北上市	花巻市 雫石町
13 平成元	1 2	前沢町 北上市	前沢町 一関市
14 2	1 2	花巻市 前沢町	一関市 北上市
15 3	1 2	北上市 花巻市	花巻市 北上市
16 4	1 2	前沢町 北上市	花巻市 盛岡市
17 5	1 2	前沢町 北上市	北上市 花巻市
18 6	1 2	前沢町 北上市	花巻市 北上市
19 7	1 2	前沢町 北上市	花巻市 北上市
20 8	1 2	前沢町 水沢市	花巻市 前沢町
21 9	1 2	前沢町 花巻市	盛岡市 前沢町
22 10	1 2	前沢町 花巻市	前沢町 花巻市
23 11	1 2	前沢町 北上市	盛岡市 前沢町
24 12	1 2	前沢町 盛岡市	花巻市 盛岡市
25 13	1 2	北上市 矢巾町	花巻市 盛岡市
26 14	1 2	花巻市 北上市	盛岡市 北上市
27 15	1 2	花巻市 北上市	盛岡市 矢巾町
28 16	1 2	盛岡市 北上市	盛岡市 矢巾町
29 17	1 2	北上市 花巻市	盛岡市 矢巾町
30 18	1 2	奥州前沢 盛岡市	花巻市 盛岡市
31 19	1 2	奥州市A 北上市	盛岡市 北上市
32 20	1 2	奥州市A 北上市A	盛岡市A 矢巾町
33 21	1 2	花巻市A 北上市A	盛岡市A 北上市
34 22	1 2	奥州市A 盛岡市	盛岡市A 盛岡市B
35 23	1 2	奥州市A 花巻市A	花巻市A 奥州市A
36 24	1 2	花巻市A 奥州市A	花巻市A 盛岡市A
37 25	1 2	奥州市A 花巻市A	北上市A 盛岡市
38 26	1 2	一関市A 奥州市A	花巻市A 奥州市A
39 27	1 2	花巻市A 奥州市A	盛岡市A 花巻市A
40 28	1 2	花巻市A 奥州市A	花巻市A 盛岡市
41 29	1 2	奥州市A 盛岡市	花巻市A 奥州市A
42 30	1 2	奥州市A 花巻市A	花巻市A 花巻市B

岩手県２部３部バドミントン選手権大会

回 年度	順位	２部男子		２部女子		３部男子		３部女子	
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス
1 昭和 55	1	大平・越前屋 （盛岡・雫石）	照井和博 （北上）	高橋・継枝 （北上）	内藤千春 （盛岡）	飯島・及川 （盛岡）	飯島敬一 （盛岡）	２部包合	
	2	佐々木・佐々木 （矢巾）	越前屋　聡 （雫石）	高橋・金岡 （一関）	小向則子 （久慈）	大久保・菊池 （盛岡）	千崎　淳 （盛岡）		
2 56	1	松原・佐藤 （石鳥谷）	高橋房裕 （北上）	高橋・菅田 （北上）	前原ゆり子 （岩大）	八島・菅原 （江刺）	菅原　毅 （盛岡）	及川・及川 （江刺）	宮野洋子 （都南）
	2	菊池・久保田 （江釣子）	柳原政光 （石鳥谷）	鈴木・菊池 （前沢）	菊池厚子 （前沢）	吉田・赤坂 （東和）	懸田好浩 （江刺）	佐々木・兼平 （都南）	加藤弘子 （矢巾）
3 57	1	高橋・村上 （北上）	浅沼　孝 （盛岡）	千葉・千葉 （前沢）	八重樫敏恵 （北上）	高橋・阿部 （花巻）	皆川　修 （盛岡）	石田・白沢 （盛岡）	吉田千恵子 （川井）
	2	高橋・平沢 （大迫）	藤原　誠 （大迫）	及川・及川 （江刺）	岩崎清子 （久慈）	佐藤・高橋 （花巻）	佐藤征治 （花巻）	佐藤・藤井 （水沢）	吉田桂子 （川井）
4 58	1	佐藤・大沢 （石鳥谷）	小野寺義文 （前沢）	石田・白沢 （盛岡）	高瀬美子 （岩大）	斉藤・及川 （盛岡）	木村　円 （岩大）	藤原・石川 （盛岡）	菊池美奈子 （大東）
	2	松尾・藤川 （都南）	米内貞玄 （盛岡）	高橋・千田 （江刺）	小笠原美雪 （岩大）	佐々木・出島 （岩大）	佐藤洋一 （大東）	金野・菊池 （大東）	金野さゆり （大東）
5 59	1	照井・桜田 （北上・花巻）	照井和博 （北上）	清水上・菅原 （北上）	鈴木礼子 （前沢）	菊池・小川 （盛岡）	古川　尊 （軽米）	吉田・平沢 （盛岡）	稲荷森良子 （二戸）
	2	高橋・千葉 （花泉）	熊谷利昭 （石鳥谷）	金野・佐藤 （大東）	千葉春枝 （前沢）	小野寺・鈴木 （水沢）	尾形勝彦 （大東）	岩脇・橋場 （種市）	吉田千恵子 （盛岡）
6 60	1	石坂・伊藤 （都南）	伊藤弘幸 （川崎）	菅原・柏山 （前沢）	佐々木満枝 （一関）	佐藤・熊谷 （花泉）	高橋和良 （胆沢）	小向・岩崎 （久慈）	川村利加 （遠野）
	2	宮田・村上 （北上）	伊藤正雄 （都南）	宮本・森川 （紫波）	高瀬美子 （盛岡）	吉田・斎藤 （盛岡）	高橋善行 （胆沢）	船渡・村上 （大船渡）	長村幸子 （二戸）
7 61	1	松尾・藤沢 （盛岡都南）	松尾秀一 （盛岡）	菅原・本城 （一関）	本城知枝 （一関）	照井・千葉 （和賀）	山影輝雄 （石鳥谷）	佐藤・高橋 （水沢）	北條恵美子 （紫波）
	2	藤谷・鈴木 （金ケ崎・水沢）	藤沢正幸 （都南）	菊地・佐藤 （前沢）	菅原好枝 （一関）	小原・千葉 （衣川）	合沢誠一 （東和）	千田・高橋 （江刺）	千葉一美 （一関）
8 62	1	岩渕・佐々木 （前沢）	新山　実 （千厩）	平沢・円子 （盛岡）		千葉・小野寺 （一関）	古川　尊 （軽米）	中村・藤井 （花巻）	日山恵里子 （軽米）
	2	高野橋・畠山 （花巻）	伊藤弘幸 （川崎）	千田・高橋 （江刺）		柴又・菊池 （遠野）	鈴木吉一 （都南）	後藤・鈴木 （大東）	小田島浩子 （盛岡）
9 63	1	照井・瀬川 （花巻・江釣子）	照井和博 （花巻）	岩田・本間 （釜石）		欠端・久保田 （二戸）	浅沼良雄 （盛岡）	菊池・石内 （盛岡）	菊池栄子 （盛岡）
	2	八重樫・高橋 （江釣子）	伊藤弘幸 （川崎）	藤井・女鹿 （花巻）		橋本・鈴木 （紫波）	久保田昭男 （花巻）	伊藤・照井 （花巻）	伊藤かおる （大東）
10 平成 元	1	照井・久保田 （花巻）	伊藤張二 （前沢）	槻山・岩渕 （一関）	坂本若子 （盛岡）	千葉・千葉 （一関）	千葉正行 （一関）	田村・村上 （大船渡）	小野寺満枝 （一関）
	2	細川・細川 （雫石）	照井和博 （花巻）	相沢・千葉 （雫石）		及川・及川 （水沢）	小森　勇 （久慈）	船渡・加藤 （大船渡）	小野寺明美 （一関）
11 2	1	佐藤・石川 （水沢・前沢）	宮田幸司 （北上）	阿部・稲葉 （岩大）	小原美樹子 （花巻）	室岡・久慈 （矢巾・紫波）	斎藤寿則 （水沢）	小原・菊地 （水沢）	山下裕子 （久慈）
	2	菅原・小野寺 （川崎・一関）	鎌田博之 （岩大）	佐藤・照井 （水沢）	菊池栄子 （盛岡）	新井山・箱石 （久慈・遠野）	新井山浩之 （久慈）	佐々木・佐藤 （水沢）	畠山敏子 （久慈）
12 3	1	阿部・照井 （北上・花巻）	阿部良広 （北上）	佐藤・照井 （水沢）	岩渕里美 （一関）	久保田・欠端 （二戸）	八田和之 （松尾）	八重樫・多田 （北上）	菊池美由希 （東和）
	2	鈴木・上野 （釜石）	照井和博 （花巻）	後藤・佐々木 （水沢）	立野寿恵 （金ケ崎）	平山・及川 （久慈）	古川　尊 （軽米）	高橋・高橋 （北上）	上川順子 （久慈）
13 4	1	南幅・内藤 （盛岡）	南幅康宏 （盛岡）	小原・八重樫 （花巻）	芳賀早奈枝 （胆沢）	瀬川・菊池 （大迫）	堀込　晃 （北上）	伊藤・佐藤 （花巻）	村上郁子 （胆沢）
	2	宮田・軽石 （北上）	伊藤弘幸 （川崎）	佐藤・後藤 （江刺）	福田文子 （岩大）	照井・佐々木 （花巻）	杉枝武雄 （宮古）	多田・八重樫 （盛岡）	菅生タミ子 （胆沢）

回 年度	順位	2部男子		2部女子		3部男子		3部女子	
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス
14 平成5	1	千葉・高橋 (胆沢)	小野直樹 (水沢)	川嶋・小原 (盛岡・花巻)	畠山美由紀 (北上)	菅原・鈴木 (川崎・盛岡)	千葉正行 (一関)	佐々木・高橋 (盛岡)	東根真知子 (岩大)
	2	岩渕・岩渕 (前沢)	菅原　徹 (水沢)	畠山・高橋 (北上)	小原美樹子 (宮古)	佐々木・保原 (大船渡)	東　友明 (大船渡)	東根・北田 (岩大)	北田裕紀子 (岩大)
15 6	1	細川・細川 (雫石)	府金順一 (新里)	菅原・松川 (水沢)	高橋弥恵子 (盛岡)	久慈・熊谷 (紫波・石鳥谷)	佐藤好信 (一関)	岩渕・村上 (胆沢)	田口紀子 (軽米)
	2	岩渕・岩渕 (前沢)	千葉淳一 (一関)	佐藤・佐藤 (江刺・水沢)	小野寺尚美 (金ケ崎)	片方・村上 (北上・金ケ崎)	千田英昭 (北上)	船渡・村上 (大船渡)	
16 7	1	大川・府金 (前沢・新里)	外川正昭 (盛岡)	小原・熊谷 (宮古)	北嶋真由美 (岩大)	鈴木・栗村 (三陸・大船渡)	鮎田新一 (花巻)	加藤・岡嶋 (大船渡)	和賀宏子 (軽米)
	2	村上・佐々木 (水沢・胆沢)	照井和博 (花巻)	村上・菊池 (胆沢)	阿部梨香 (東和)	千葉・小野寺 (一関・川崎)	高橋　悟 (花巻)	福田・上川 (久慈)	畑山美代子 (遠野)
17 8	1	菊池・佐々木 (江刺・前沢)	千葉順一 (新里)	高橋・畠山 (北上)	新渕明子 (花巻)	千葉・出口 (東和)	林　正彦 (富士大)	瀬川・遠藤 (北上)	小田島好江 (東和)
	2	越前屋・伊藤 (雫石・盛岡)	菊地　亨 (江刺)	高橋・久保田 (花巻)	藤原寿恵 (矢巾)	宮崎・黒田 (盛岡)	小野寺政博 (川崎)	国久・桐川 (軽米・二戸)	高橋亜希子 (水沢)
18 9	1	佐々木・高橋 (胆沢)	千葉順一 (花巻)	久保田・新渕 (花巻)	阿部梨香 (東和)	久保田・欠端 (二戸)	佐々木友博 (花泉)	千葉・菅原 (胆沢)	千葉美穂 (胆沢)
	2	多田・佐藤 (北上・金ケ崎)	伊藤弘幸 (川崎)	畠山・藤原 (花巻)	藤原佐和子 (花巻)	栗村・辻 (大船渡・三陸)	高橋　司 (久慈)	岸根・多田 (北上)	菅原直美 (大東)
19 10	1	平賀・小原 (花巻)	菅原真司 (前沢)	竹沢・大山 (北上)	新屋有子 (矢巾)	佐藤・古川 (水沢)	千葉広志 (花泉)	角掛・小野寺 (一関)	
	2	高橋・畠山 (胆沢・水沢)	伊藤弘幸 (川崎)	柳澤・大宮 (一関)	藤原由香利 (北上)	佐藤・森 (大船渡・三陸)	阿部勝哉 (花泉)	高橋・藤原 (盛岡)	
20 11	1	高橋・畠山 (胆沢・水商教)	岩渕辰男 (一関)	伊藤・伊藤 (北上)	松田奈央子 (盛岡)	千葉・小野寺 (花泉・川崎)	小野寺政博 (川崎)	菊池・菊池 (盛岡)	
	2	平賀・小原 (花巻・北上)	伊藤弘幸 (川崎)	及川・藤原 (大船渡・北上)	藤原由香利 (北上)	藤本・菊池 (水沢)	川南篤人 (盛岡)	今春・藤谷 (水沢)	
21 12	1	田村・熊谷 (盛岡)	岩渕辰男 (一関)	畠山・三田 (大槌高・北上)	藤原佐和子 (花巻)	欠端・古舘 (二戸)	森田　哲 (宮古)	菅原・渡辺 (胆沢)	
	2	久保田・川村 (花巻)	久保田祐治 (花巻)	畠山・畠山 (花巻)	畠山央子 (大槌高)	渡辺・瀬川 (北上)	阿部勝哉 (花泉)	千葉・猪股 (一関)	
22 13	1	岩渕・芳賀 (一関)	久保田祐治 (花巻)	柳村・川島 (滝沢)	藤原由香利 (北上)	千葉・花沢 (盛岡市役所)	藤原徳貴 (矢巾)	村上・千葉 (千葉)	
	2	久保田・佐藤 (花巻)	岩渕辰男 (一関)	藤原・藤原 (花巻・北上)	藤原佐和子 (花巻)	古川・佐藤 (水沢)	伊東　司 (大東)	今春・小岩 (水沢)	
23 14	1	岩渕・芳賀 (一関)	岩渕辰男 (一関)	川南・坂東 (盛岡)	川南静江 (北上)	佐々木・千田 (第一貨物・北上)	高橋　悟 (花巻)	小田島・荻野 (矢巾)	
	2	長山・高橋 (北上)	小山　学 (千厩)	宮崎・川村 (盛岡)	新屋有子 (矢巾)	渡辺・高橋 (北上)	海山　忠 (大船渡)	千葉・上平 (二戸)	
24 15	1	長山・高橋 (北上)	高橋和也 (釜石)	福島・小笠原 (盛岡)	佐藤江里子 (北上)	高橋・阿部 (胆沢)	新井山浩之 (土渕小教員)	今春・鎌田 (水沢)	
	2	吉浜・白幡 (釜石)	高橋大吉 (北上)	亀谷・小野寺 (一関・盛岡)	小野寺ひとみ (胆沢)	小野寺・小野寺 (川崎)	及川　智 (大東)	小野寺・千葉 (一関)	
25 16	1	目時・高橋 (釜石)	佐藤茂雄 (矢巾)	亀谷・菊池 (一関・滝沢)	菊池恵美 (滝沢)	小山・小野寺 (川崎)	高橋　悟 (花巻)	岸根・岸根 (北上)	伊藤和美 (花巻)
	2	千葉・長田 (一関)	高橋和也 (釜石)	高橋・福島 (一関・盛岡)	亀谷　麗 (一関)	古川・高橋 (軽米)	小野寺政博 (川崎)	前川・伊藤 (花巻)	阿部弥生 (川崎)
26 17	1	千葉・岩渕 (一関)	尾形　工 (JR東日本)	岩渕・佐藤 (水沢・北上)	佐藤　南 (一関高専)	菅原・吉田 (釜石)	阿部和彦 (胆沢)	高橋・若林 (盛岡)	
	2	佐々木・菅原 (前沢)	長山隆寛 (北上)	小野・小野寺 (胆沢)	千葉友美 (釜石)	達下・泰裕 (江刺)	小森　寛 (釜石)	戸来・八重樫 (北上)	
27 18	1	伊藤・岩渕 (奥州)	阿部勝志 (奥州)	村上・外川 (村上呉服・盛岡)	小野寺菜穂 (一関高専)	八重樫・新田 (北上)	須崎智博 (川崎)		
	2	阿部・沼田 (矢巾)	サトリオ (奥州)	角掛・田中舘 (奥州)	高橋奈津美 (北上)	小野寺・小野寺 (川崎)	前田　航 (奥州)		

回 年度	順 位	2部男子		2部女子		3部男子		3部女子	
		ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス
28 平成 19	1 2	吉浜・白幡 （釜石） 菊地・菅野 （奥州）	菊地　進 （奥州） 木下　学 （盛岡）			小山・佐藤 （花巻） 小岩・岩渕 （一関）	千葉正行 （一関） 菅野　徹 （陸前高田）	福島・今野 （一関） 佐々木・菊池 （遠野）	
29 20	1 2	照井・三浦 （北上） 阿部・伊藤 （北上）	照井翔也 （北上） 菊地　亨 （前沢高教）	小野寺・佐藤 （一関） 村上・国松 （一関）		小野寺・山形 （一関） 小野寺・高橋 （一関）	小野寺政博 （一関） 徳田竜也 （雫石）	市川・市川 （北上） 阿部・千葉 （一関）	
30 21	1 2	石川・外川 （奥州・カガヤ） 菊池・篠原 （花巻・盛岡）	池内康祐 （岩手大） 加藤和生 （一関）	阿部・坂本 （釜石） 小野寺・米倉 （一関・北翔大）	米倉優子 （北翔大） 佐藤小百合 （一関）	小野寺・千葉 （一関） 浅倉・吉田 （遠野）	佐藤　充 （北上） 小野寺雄太 （一関）	大志田・葛巻 （盛岡） 中村・池田 （一関）	
31 22	1 2	加藤・佐藤 （一関・盛岡） 菊池・伊藤 （花巻・北上）	池内康祐 （岩手大） 畠山大地 （盛岡）	小岩・佐藤 （奥州・北上） 高橋・駒込 （北上・金ヶ崎）		作山・佐藤 （花巻） 古川・佐藤 （奥州）			
32 23	1 2	2部開催中止				小島・伊藤 （一関高専） 鈴木・藤尾 （紫波）		宮本・小岩 （金ヶ崎） 佐藤・浦川 （一関）	
33 24	1 2	照井・昆 （北上） 菊池・篠原 （花巻・盛岡）	木原侑飛 （矢巾） 照井翔也 （北上）	小笠原・小原 （釜石） 千葉・菊池 （一関）		菅原・宮野 （JR東日本） 鎌田・高橋 （リコー光学）	小野寺政博 （一関） 萩野克博 （盛岡）		
34 25	1 2	及川・三宅 （奥州） 照井・石川 （北上・奥州）	佐々木譲 （リコー光学） 藤本雄一 （リコー光学）	小笠原・上村 （釜石） 千葉・安倍 （一関）		長谷山・吉田 （花巻） 黒渕・猫塚 （リコー光学）	鎌田泰斗 （リコー光学） 黒渕　純 （リコー光学）		
35 26	1 2	池内・諸房 （北上・盛岡） 東野・篠原 （盛岡）	池内康祐 （北上） 佐々木譲 （リコー光学）	浅沼・照井 （奥州） 佐々木・安西 （盛岡・滝沢）			伊藤芳樹 （一関） 小野寺雄太 （一関）		
36 27	1 2	高橋・千田 （奥州市・水沢一教） 宮川・吉田 （花巻・奥州）	村井聡紀 （千葉工大） 吉田安具利 （奥州）			曽根・藤谷 （奥州市） 阿部・千田 （宮古）	川崎一旭 （盛岡） 酒井俊行 （盛岡）		
37 28	1 2	岩手国体のため開催中止							
38 29	1 2	齋藤・小原 （北上） 武田・武田 （一関）	篠原宏季 （盛岡） 園　康平 （奥州）	渡邉・狩野 （奥州） 中村・久保田 （盛岡）	井上いずみ （釜石市） 浅沼なつみ （IMU）	佐々木・菅原 （JR東日本） 菅原・渡辺 （宮古）	平崎智也 （IMU） 中川直哉 （IMU）		
39 30	1 2	小笠原・藤村 （盛岡） 高橋・藤平 （JR東日本・雫石町）	千葉浩幸 （盛岡） 針立雅也 （釜石）	狩野・川俣 （一関・JR東日本） 森田・日戸 （花巻・雫石）	川俣琴加 （JR東日本）		シリアコ　ジェシー （東京エレクトロン） 緒方健介 （東京エレクトロン）		

岩手県混合ダブルスバドミントン選手権大会

回 年度	順位	一般	30才以上	40才以上	50才以上
1	1	佐藤彰彦（水沢） 武田さなえ（盛岡）		菊池敏（江刺） 斉藤洋子（江刺）	佐藤貞雄（北上） 高橋祥子（北上）
平成5	2	鈴木広志（前沢） 本城知枝（前沢）		鬼柳孝夫（北上） 阿部久子（北上）	
2	1	高田満（盛岡） 池端美杉（盛岡大）		菊池敏（江刺） 斉藤洋子（江刺）	佐藤貞雄（北上） 高橋祥子（北上）
6	2	石川聡（前沢） 石川明美（前沢）		白澤国雄（盛岡） 白澤節子（盛岡）	
3	1	高田満（盛岡） 池端美杉（釜石）	千葉正行（一関） 三浦とよみ（一関）	佐々木彦士（盛岡） 佐々木せつ子（盛岡）	佐藤貞雄（北上） 高橋祥子（北上）
7	2	村上信夫（盛岡） 村上みゆき（村上呉服店）	菊池和男（北上） 高橋恵理子（北上）	佐藤政由（江刺） 斉藤洋子（江刺）	千葉惇（一関） 高橋優子（一関）
4	1	小原智雄（金ケ崎） 及川裕美（盛岡）	菊池生昭（江刺） 菊地洋子（江刺）	菊池敏（江刺） 千田ゆき子（江刺）	千葉惇（一関） 高橋百代（一関）
8	2	阿部勝志（前沢） 鈴木礼子（前沢）	菊池和男（北上） 高橋恵理子（北上）	鬼柳孝夫（JR東日本） 清水上るみ子（北上）	佐藤貞雄（北上） 高橋祥子（北上）
5	1	小原智雄（富士通） 池端美杉（釜石）	藤沢正幸（盛岡） 藤沢佳代子（盛岡）	菊池敏（江刺） 千田ゆき子（江刺）	白澤国雄（白沢せんべい店） 白澤節子（白沢せんべい店）
9	2	安部満（前沢） 柏山智子（前沢）	伊藤政雄（盛岡） 伊藤公子（盛岡）	鬼柳孝夫（北上） 清水上るみ子（北上）	千葉惇（一関） 高橋百代（一関）
6	1	小原智雄（富士通） 池端美杉（釜石市役所）	藤沢正幸（盛岡） 藤沢佳代子（盛岡）	鬼柳孝夫（JR東日本） 小野寺浩子（北上）	千葉惇（一関） 高橋百代（一関）
10	2	石川聡（JR東日本） 石川明美（前沢）	菊池和男（北上） 大山和子（北上）	菊池敏（江刺） 千田ゆき子（江刺）	
7	1	北野和敏（釜石市役所） 池端美杉（釜石市役所）	菊池生昭（江刺） 菊地洋子（江刺）	菊池敏（江刺） 千田ゆき子（江刺）	鈴木吉一（盛岡） 斉藤洋子（江刺）
11	2	細川信一（雫石） 熊谷朋子（盛岡）	伊藤政雄（盛岡） 伊藤公子（盛岡）	斉藤剛（JR東日本） 高橋幸子（盛岡）	
8	1	小原智雄（富士通） 池端美杉（釜石市役所）	柏谷信一（盛岡） 星川真由美（盛岡）	菊池敏（江刺） 千田ゆき子（江刺）	鈴木吉一（盛岡） 斉藤洋子（江刺）
12	2	外川正昭（盛岡） 高橋朱美（矢巾）	菊地生昭（江刺） 大山和子（盛岡）	米内貞玄（盛岡） 菊池栄子（滝沢）	矢島英雄（盛岡） 女鹿静子（紫波）
9	1	伊藤俊幸（JR東日本） 石崎恵理子（花巻）	菊地生昭（江刺） 菊地洋子（江刺）	浅沼良雄（JR東日本） 村上みゆき（村上呉服）	矢島英雄（盛岡） 女鹿静子（紫波）
13	2	岡裕之（矢巾） 高橋朱美（矢巾）	菊池和男（渡屋） 小原恵理子（盛岡）	千葉正行（花泉） 三浦とよみ（一関）	鈴木吉一（盛岡） 斉藤洋子（江刺）
10	1	小原智雄（北上） 池端美杉（釜石市役所）	熊谷信一（盛岡） 谷藤さなえ（盛岡）	菊池和男（渡屋） 小原恵理子（盛岡）	佐藤政由（江刺） 佐藤嘉子（水沢）
14	2	岡裕之（矢巾） 村松朱美（矢巾）	藤沢正幸（盛岡） 菅野ひろみ（羽場小教）	菊池敏（江刺） 千田ゆき子（江刺）	矢島英雄（盛岡） 女鹿静子（紫波）
11	1	伊藤俊幸（JR東日本） 天野美奈子（岩手ソフトエンジニアリング）	熊谷信一（タカハシ工業） 谷藤さなえ（盛岡）	亀ヶ森義広（盛岡） 柳村陵子（滝沢）	佐藤政由（江刺） 佐藤嘉子（水沢）
15	2	及川耕平（矢巾） 高橋沙妃（盛岡大）	菊地生昭（種山高原星座の森） 及川裕美（盛岡）	菊池敏（江刺） 千田ゆき子（江刺）	鈴木吉一（盛岡） 鈴木由江（盛岡）
12	1	岡裕之（矢巾） 池端美杉（釜石市役所）	熊谷信一（金ヶ崎） 谷藤さなえ（盛岡）	菊地生昭（えさし藤原の郷） 菊地洋子（江刺）	佐藤政由（江刺） 佐藤嘉子（水沢）
16	2	及川耕平（矢巾） 高橋沙妃（盛岡大）	藤沢正幸（盛岡） 藤沢佳代子（盛岡）	髙田満（盛岡） 太田寛子（滝沢）	鈴木吉一（盛岡） 佐々木せつ子（盛岡）
13	1	岡裕之（矢巾） 池端美杉（釜石市役所）	柏谷信一（盛岡） 星川真由美（盛岡）	菊地生昭（えさし藤原の郷） 菊地洋子（江刺）	菊池敏（江刺） 千田ゆき子（江刺）
17	2	伊藤俊幸（JR東日本） 佐々木真希子（盛岡）	阿部勝志（前沢） 阿部公枝（前沢）	浅沼良雄（JR東日本） 村上みゆき（村上呉服）	佐藤政由（江刺） 佐藤嘉子（水沢）
14	1	千田一馬（水沢高教） 村松朱美（矢巾）	柏谷信一（盛岡） 星川真由美（盛岡）	越前屋聡（雫石） 柳村陵子（滝沢）	菊池敏（奥州） 千田ゆき子（奥州）
18	2	阿部淳二（盛岡） 佐々木真希子（盛岡）	菊地進（奥州） 菊地知津子（奥州）	佐藤正人（一関） 高橋克枝（一関）	北野和敏（釜石） 佐々木せつ子（盛岡）

回 年度	順位	一　般	30才以上	40才以上	50才以上	60才以上
15 平成 19	1	阿部　淳二（盛岡）	柏谷　信一（盛岡）	越前屋　聡（雫石）	菊池　　敏（奥州）	
		佐々木真希子（盛岡）	星川真由美（盛岡）	柳村　陵子（滝沢）	千田ゆき子（奥州）	
	2	室岡　大輝（矢巾）	岩渕　辰男（一関）	浅沼良雄（JR東日本）	北野　和敏（釜石）	
		吉岡絵里奈（矢巾）	亀谷　　麗（一関）	村上みゆき（村上呉服）	佐々木せつ子（盛岡）	
16	1	高橋　　慎（奥州）	柴田　　昇（奥州）	菊地　生昭（奥州）	北野　和敏（釜石）	
		坂上　陽子（奥州）	佐藤江里子（奥州）	菊地　洋子（奥州）	佐々木せつ子（盛岡）	
20	2	阿部　淳二（盛岡）	菊地　　進（奥州）	藤澤　正幸（盛岡）	斉藤　　剛（盛岡）	
		佐々木真希子（盛岡）	菊地知津子（奥州）	藤澤佳代子（盛岡）	高橋　幸子（盛岡）	
17	1	田村　貴弘（滝沢）	岩渕　辰男（一関）	菊地　生昭（奥州）	菊池　　敏（奥州）	
		宮崎真由美（滝沢）	亀谷　　麗（一関）	菊地　洋子（奥州）	千田ゆき子（奥州）	
21	2	高橋　　慎（奥州）	小幡　　徹（一関）	越前屋　聡（雫石）	斉藤　　剛（盛岡）	
		坂上　陽子（奥州）	鈴木　麻耶（盛岡）	藤澤佳代子（盛岡）	高橋　幸子（盛岡）	
18	1	田村　貴弘（滝沢）	及川　耕平（矢巾）	菊地　生昭（奥州）	菊池　　敏（奥州）	
		宮崎真由美（滝沢）	新屋　有子（矢巾）	菊地　洋子（奥州）	千田ゆき子（奥州）	
22	2	宮崎　賢治（滝沢）	岩渕　辰男（一関）	佐藤　正人（一関）	浅沼良雄（JR東日本）	
		加藤　明子（滝沢）	亀谷　　麗（一関）	高橋　克枝（一関）	角掛美加子（盛岡）	
19	1	川村　忠宏（花巻）	及川　耕平（矢巾）	菊地生昭（ﾌﾟﾛｼｮﾌﾟ菊地）	菊池　　敏（奥州）	
		川村　益美（花巻）	新屋　有子（矢巾）	菊地洋子（ﾌﾟﾛｼｮﾌﾟ菊地）	千田ゆき子（奥州）	
23	2	高橋　　慎（奥州）	阿部　淳二（盛岡）	菊地　　進（奥州）	高橋　輝彰（紫波）	
		横手智江美（雫石）	佐々木真希子（盛岡）	菊地知津子（奥州）	佐々木由紀子（盛岡）	
20	1	高橋　慎（奥州）	菅原一由（JR東日本）	菊地生昭（ﾌﾟﾛｼｮﾌﾟ菊地）	高田　満（赤石小教）	佐藤　政由（奥州）
		堤奈緒子（奥州病院）	横手智江美（雫石）	駒込　礼子（金ケ崎）	太田　寛子（滝沢）	高橋　幸子（盛岡）
24	2	佐藤　貴博（花巻）	白幡　義経（釜石）	菊地　　進（奥州）	菊池　和男（北上）	菊地　修一（奥州）
		武蔵奈保子（盛岡）	小野寺ひとみ（奥州）	菊地知津子（奥州）	小野寺浩子（北上）	佐藤　嘉子（奥州）
21	1	伊藤　健司（北上）	及川　耕平（矢巾）	古川　勝之（金ケ崎）	藤澤　正幸（盛岡）	菊池　　敏（奥州）
		三好　奈々（北上）	宮崎真由美（滝沢）	今春　洋子（奥州）	谷藤さなえ（盛岡）	佐々木せつ子（盛岡）
25	2	照井　翔也（北上）	白幡　義経（釜石）	佐藤　真一（一関）	菊池　和男（北上）	佐藤　政由（奥州）
		熊谷　安乃（北上）	小野寺ひとみ（奥州）	國松　久美（一関）	小野寺浩子（北上）	高橋　幸子（盛岡）
22	1	高橋　　慎（奥州）			藤澤　正幸（盛岡）	
		高橋奈緒子（奥州）			谷藤さなえ（盛岡）	
26	2	畠山　大地（盛岡）			斉藤剛（JR東日本）	
		遠藤　雪菜（盛岡）			高橋　幸子（盛岡）	
23	1	小原　聖胡（北上）		猪股　公弘（盛岡）	藤澤正幸（ラケットショップ広瀬）	
		髙橋　　咲（北上）		新渕明子（太陽住宅）	谷藤さなえ（盛岡）	
27	2	及川　心（岩手大学）		畠山崇（盛岡市立高）	伊藤　一郎（奥州）	
		髙橋　彩（弘前大学）		畠山　央子（北上）	大志田　道（盛岡）	
24 28	1 2	岩手国体のため開催中止				
25	1	小原　聖胡（北上）		猪股　公弘（盛岡）	高橋　輝彰（紫波）	
		藤井　　愛（花巻）		竹鼻麻依子（盛岡）	伊藤　公子（盛岡）	
29	2	高橋　　慎（奥州）		畠山　崇（西和賀高）	藤澤正幸（ラケットショップ広瀬）	
		高橋奈緒子（奥州）		畠山　央子（北上）	谷藤さなえ（盛岡）	
26	1	吉田　健悟（奥州）	木原侑飛（盛岡友愛病院）	猪股　公弘（盛岡）	藤澤　正幸（盛岡）	
		狩野　衣里（一関）	高橋　朱美（矢巾）	竹鼻　麻依子（盛岡）	柳村　陵子（滝沢）	
30	2	庄司　文仁（滝沢）	尾形　工（ＪＲ東日本）	平田純一（ＪＲ東日本）	高橋　輝彰（紫波）	
		佐藤　詠美（滝沢）	日向端理恵（ＪＲ東日本）	亀谷　　麗（一関）	谷藤さなえ（盛岡）	

岩手県レディースバドミントン大会（クラブ対抗）

※第２２回大会まで東北大会県予選を兼ねる

回	年度	開催地	部	1位	2位	3位	敢闘賞
第1回	昭和55年	水沢市		盛岡市A	水沢市A	一関市 水沢市B	小野マルエ（遠野）
第2回	昭和56年	水沢市		水沢市A	盛岡市A	一関市 水沢市B	松田智子（江刺）
第3回	昭和57年	北上市		レッドシャトルズA（盛岡市）	水沢市A	一関市 水沢市B	菊地悦子（江刺）
第4回	昭和58年	花巻市		レッドシャトルズA（盛岡市）	水沢市A	水沢市B 江刺ヤングシャトルズ	菊地満子（釜石）
第5回	昭和59年	盛岡市		レッドシャトルズA（盛岡市）	水沢市クラブA	紫波クラブ 久慈クラブ	渡辺とみ子（盛岡）
第6回	昭和60年	紫波町		水沢市婦人同好会A	レッドシャトルズA（盛岡市）	レッドシャトルズB（盛岡市） 水沢市婦人同好会B	辻山悠子（水沢）
第7回	昭和61年	水沢市		レッドシャトルズA（盛岡市）	水沢市婦人同好会A	花巻ヒマワリクラブA 江刺はねっこ	
第8回	昭和62年	一関市		レッドシャトルズA（盛岡市）	水沢市婦人同好会A	花巻ヒマワリクラブA 江釣子クラブ	
第9回	昭和63年	盛岡市		レッドシャトルズA（盛岡市）	水沢市婦人同好会A	花巻シャトル 江刺ママ	
第10回	平成元年	滝沢村	一部	レッドシャトルズA（盛岡市）	江釣子ママさん	花巻シャトル いちクラブ	
			二部	花巻ヒマワリ	一関金曜会	都南婦人A レッドシャトルズC	
第11回	平成2年	滝沢村	一部	レッドシャトルズA（盛岡市）	江釣子ママさん（北上市）	水沢婦人クラブA いちクラブ（一関市）	
			二部	レッドシャトルズB（盛岡市）	県婦人クラブA（盛岡市）	釜石婦人クラブ シャトルクラブA（一関市）	
第12回	平成3年	滝沢村	一部	レッドシャトルズA（盛岡市）	江釣子ママさん（北上市）	いちクラブ 水沢婦人クラブ	
			二部	シャトルクラブA（一関市）	元村シャトルズ（滝沢村）	水沢婦人クラブB レッドシャトルズB	
第13回	平成4年	滝沢村	一部	レッドシャトルズA（盛岡市）	花巻シャトルズA（花巻市）	水沢婦人クラブA（水沢市）	
			二部	松園クラブA（盛岡市）	水沢婦人クラブB（水沢市）	レッドシャトルズB レッドシャトルズC	
第14回	平成5年	滝沢村	一部	水沢婦人クラブA（水沢市）	ウインズ（旧いち）（一関市）	レッドシャトルズA（盛岡市）	
			二部	花巻シャトルズB	県婦人クラブA（盛岡市）	都南クラブ 二戸NVCママ	
第15回	平成6年	滝沢村	一部	レッドシャトルズA（盛岡市）	水沢婦人クラブA（水沢市）	ウィングズ（一関市）	
			二部	シャトルウィズA（盛岡市）	ウィングホープA（盛岡市）	F・S・P・A（前沢町）	
			東北予選	一関マスターズ（一関市）	トークシャトルA（盛岡市）	シャトルクラブB（一関市）	
第16回	平成7年	滝沢村	一部	レッドシャトルズA（盛岡市）	江釣子ママ（北上市）	水沢婦人クラブA（水沢市）	
			二部	二戸NVC（二戸市）	レッドシャトルズB（盛岡市）	シャトルズA（一関） スターシャトルA（盛岡）	
			東北予選	レッドシャトルズC（盛岡市）	矢巾クラブA（矢巾町）	花巻シャトルズB トークシャトルA（盛岡）	
第17回	平成8年	滝沢村	一部	レッドシャトルズA（盛岡市）	江釣子ママ	水沢婦人クラブA	
			二部	シャトルウィズA（盛岡市）	前沢婦人クラブ	シャトルウィズB 北上クラブ	
			東北予選	レッドシャトルズC（盛岡市）	矢巾クラブ	F・アイリス（一関） 花巻シャトルズ	
第18回	平成9年	滝沢村	一部	レッドシャトルズA（盛岡市）	水沢婦人クラブA（水沢市）	ウィングホープA	
			二部	県婦人クラブA（盛岡市）	KHC（陸前高田市）	北上MB・A ウィングホープB（盛岡）	
			東北予選	シャトルウィズB（盛岡市）	レッドシャトルズC（盛岡市）	矢巾クラブ（矢巾町）	
第19回	平成10年	滝沢村	一部	都南クラブA（盛岡市）	江釣子ママ	水沢婦人クラブA	
			二部	水沢婦人B	北上MB・A	にこにこ会（大船渡） 宮野目バドミントン（花巻）	
			東北予選	レッドシャトルズC（盛岡市）	シャトルウィズB（盛岡市）	矢巾クラブA 矢巾クラブB	

回	年度	開催地	部	1位	2位	3位
第20回	平成11年	滝沢村	一部	都南クラブA （盛岡市）	ウイングホープA （盛岡市）	江釣子ママ （北上市）
			二部	K H C （陸前高田市）	矢巾クラブA （矢巾町）	にこにこ会（大船渡市） レッドシャトルズB（盛岡市）
			東北予選	レッドシャトルズC （盛岡市）	シャトウィズB （盛岡市）	矢巾クラブB （矢巾町）
第21回	平成12年	滝沢村	一部	都南クラブA	水沢レディースA	江釣子ママ
			二部	ひめかみ	水沢レディースB	F・アイリスA 都南クラブB
			東北予選	シャトルウイズC	レッドシャトルズC	
第22回	平成13年	滝沢村	一部	滝沢クラブ	水沢レディースA	ウイングホープA
			二部	えさしシャトル	F・アイリス	都南クラブB シャトルクラブ
			東北予選	レッドシャトルズC	葛巻シャトルクラブ	
第23回	平成14年	滝沢村	一部	水沢レディースA	都南クラブA	ウイングホープA
			二部	ウイングホープB	都南クラブB	水沢レディースB シャトルウイズB
			三部	ハローシャトルズ	水沢レディースC	ウイングホープC ほわいとりりーずB
第24回	平成15年	滝沢村	一部	都南クラブA	水沢レディースA	滝沢クラブ
			二部	シャトルウイズB	シャトルウイズC	都南クラブC レッドシャトルズB
			三部	県婦人クラブB	シャトルウイズD	レッドシャトルズC 北上シャープシャトル
第25回	平成16年	滝沢村	一部	ウイングホープA	レッドシャトルズA	都南クラブA
			二部	矢巾クラブ	花巻シャトルズA	シャトルクラブ 飛鷹クラブ
			三部	北上シャープシャトルズ	BAD CLUB	クラブグリード 都南クラブD
第26回	平成17年	滝沢村	一部	都南クラブA	ウイングホープA	レッドシャトルズA
			二部	北上BC	松園バドミントンクラブ	ハローシャトルズ ウイングホープB
			三部	ウイングホープC	都南クラブD	ココ・モコクラブ 大迫クラブ
第27回	平成18年	花巻市	一部	都南クラブA	レッドシャトルズA	滝沢クラブ
			二部	WingHope B	シャトルウイズA	ハローシャトルズ
			三部	BAD CLUB	水沢レディースB	都南クラブB
第28回	平成19年	花巻市	一部	都南クラブA	レッドシャトルズA	Wing HopeA
			二部	飛鷹クラブ	ハローシャトルズ	ひめかみB
			三部	ココ・モコクラブ	都南クラブC	レッドシャトルズC
第29回	平成20年	花巻市	一部	レッドシャトルズA	北上BC	Wing Hope A
			二部	ひめかみ	松園クラブ	花巻シャトルズ
			三部	レッドシャトルズC	大迫クラブ	北上葵クラブ
第30回	平成21年	盛岡市	一部	レッドシャトルズA	都南クラブA	Wing Hope A
			二部	花巻シャトルズ	都南クラブB	ひめかみB
			三部	ココ・モコクラブ	北上葵クラブ	県婦人クラブ

回	年度	開催地	部	1位	2位	3位
第31回	平成22年	盛岡市	一部	ひめかみ	都南クラブA	Wing Hope A
			二部	レッドシャトルズA	SPIRITS	Wing Hope B
			三部	県婦人クラブ	ブルーシャトルズ	釜石婦人クラブ
第32回	平成23年	盛岡市	一部	ひめかみ	都南クラブA	レッドシャトルズA
			二部	Wing Hope B	北上シャープシャトル	シャトルウイズB
			三部	シャトルクラブ	都南クラブB	Wing Hope C
第33回	平成24年	盛岡市	一部	レッドシャトルズA	Wing Hope A	ひめかみ
			二部	シャトルウイズ	県婦人クラブA	シャトルクラブ
			三部	レッドシャトルズC	県婦人クラブB	Wing Hope C
第34回	平成25年	盛岡市	一部	レッドシャトルズA	都南クラブA	SPIRITS
			二部	ブルーシャトルズ	ココ・モコクラブA	大迫クラブ
			三部	水沢レディース	ココ・モコクラブB	北上葵クラブ
第35回	平成26年	盛岡市	一部	レッドシャトルズA	都南クラブA	Wing Hope A
			二部	レッドシャトルズB	Wing Hope B	県婦人クラブ
			三部	北上葵クラブ	Wing Hope C	
第36回	平成27年	盛岡市	一部	Wing Hope A	レッドシャトルズA	SPIRITS
			二部	ココ・モコクラブ	たきざわクラブB	ひめかみB
			三部			
第37回	平成28年	滝沢市	一部	レッドシャトルズ	ひめかみA	都南クラブ
			二部	Wing Hope A	シャトルウイズ	ひめかみB
			三部	釜石婦人クラブ		
第38回	平成29年	滝沢市	一部	ひめかみA	レッドシャトルズA	SPIRITS
			二部	レッドシャトルズB	ブルーシャトルズ	COCO・MOKOクラブ
			三部	レッドシャトルズC	シャトルウイズB	
第39回	平成30年	滝沢市	一部	都南クラブA	ひめかみ	レッドシャトルズA
			二部	ブルーシャトルズ	SHUTTLE CLUB	COCO・MOKOクラブ



岩手県レディースバドミントン大会（個人戦ダブルス）

回	年度	開催地	部	1位		2位		3位	
第1回	平成8年	紫波町	1部	太田寛子 柳村陵子	(滝沢クラブ)	多田 高梨	(松園クラブ)	菊池・後藤 佐々木・小原	(水沢婦人) (ウイング・花巻)
			2部	鈴木由江 女鹿静子	(都南クラブ) (花巻シャトル)	佐藤 小岩	(前沢婦人)	佐々木 小原	(花巻シャトル)
第2回	平成9年	花巻市	1部	飯倉美千子 大谷加代子	(水沢婦人クラブ)	佐々木 小原	(ウイングホープ)	小野寺 高橋	(江釣子ママ)
			2部	小森貞子 寺沢富子	(都南クラブ)	石川 田中舘	(水沢婦人クラブ)	沢田 柳沼	(レッドシャトルズ)
第3回	平成10年	水沢市	1部	村上みゆき 佐々木真知子	(ウイングホープ)	佐々木 小原	(ウイングホープ)	飯倉 大谷	(水沢婦人)
			2部	山口明美 藤沢美穂	(元気一ず)	小田島 高橋	(矢巾クラブ)	赤坂 高橋	(レッドシャトルズ)
第4回	平成11年	北上市	1部	村上みゆき 佐々木せつ子	(ウイングホープ)	飯倉 大谷	(水沢婦人)	小野寺 高橋	(江釣子 MBC)
			2部	福田深雪 高橋よし子	(シャトルウィズ)	真山 笹間	(シャトルウィズ)	杉山 高橋	(シャトルウィズ)
第5回	平成12年	一関市	1部	石川明美 千葉知枝	(前沢婦人 B.C)	村上 小原	(ウイングホープ)	飯倉 大谷	(水沢レディース)
			2部	小岩由美子 佐藤紀子	(前沢婦人 B.C)	高橋 石坂	(ウイングホープ)	高橋 赤坂	(ひめかみ)
第6回	平成13年	滝沢村	1部	伊藤公子 伊藤貴子	(都南クラブ)	村上 小原	(ウイングホープ)	柳村 川島	(滝沢クラブ)
			2部	阿部久子 永澤裕美	(北上 MB)	小田島 萩野	(矢巾クラブ)	杉山 笹間	(シャトルウィズ)
第7回	平成14年	紫波町	1部	伊藤公子 谷藤さなえ	(都南クラブ)	村上 小原	(ウイングホープ)	飯倉 大谷	(水沢レディース)
			2部	竹田八千代 杉本純子	(レッドシャトルズ)	小田島 萩野	(矢巾クラブ)	岩渕 畠山	(ハローシャトルズ)
			3部	川村ゆかり 千葉春美	(BADCLUB)	木村 長澤	(豊間根クラブ)	藤原 千葉	(BADCLUB)
第8回	平成15年	花巻市	1部	菊地利江子 角掛美加子	(レッドシャトルズ)	柳村 金井	(滝沢クラブ)	太田 川島	(滝沢クラブ)
			2部	高橋よし子 佐々木由紀子	(シャトルウィズ)	前川 伊藤	(ウィングス)	天木 多田	(松園バドミントンクラブ)
			3部	折原光枝 菅原文子	(北上葵クラブ)	千葉 藤原	(BADCLUB)	下條 安倍	(ハローシャトルズ)
第9回	平成16年	北上市	1部	菊地利江子 中嶋麻依子	(レッドシャトルズ)	川南 星川	(ウイングホープ)	柳村 金井	(たきざわクラブ)
			2部	後藤利春 下條芳美	(ハローシャトルズ)	畠山 岩渕	(ハローシャトルズ)	中村 杉山	(シャトルウィズ)
			3部	砂子利恵子 熊谷由佳子	(シャトルウィズ)	鈴木 猪股	(ウイングホープ)	鈴木 内藤	(都南クラブ)
第10回	平成17年	水沢市	1部	菊地利江子 中嶋麻依子	(レッドシャトルズ)	伊藤 斎藤	(都南クラブ)	渡辺 藤井	(花巻シャトル)
			2部	中村京子 杉山由美子	(シャトルウィズ)	天摩 宮沢	(ひめかみ)	高橋 若林	(Wing Hope)
			3部	横田順子 市川由美子	(北上シャープシャトル)	伊藤 藤原	(大迫クラブ)	千葉 小田島	(飛鷹クラブ)

回	年度	開催地	部	1位		2位		3位	
第11回	平成18年	一関市	1部	菊地利江子 中嶋麻依子	(レッドシャトルズ)	角掛 田中舘	(水沢レディース)	谷藤 伊藤	(都南クラブ)
			2部	村井順子 小森貞子	(都南クラブ)	松本 田澤	(レッドシャトルズ)	笹川 工藤	(松園バドミントンクラブ)
			3部	佐々木夕子 白藤厚子	(都南クラブ)	千葉 小田嶋	(南ウイングス)	西 滝本	(シャトルウイズ)
第12回	平成19年	滝沢村	1部	菊地利江子 竹鼻麻依子	(レッドシャトルズ)	小原 星川	(Wing Hope)	佐藤 岩渕	(北上BC)
			2部	若林千明 斉藤由紀子	(Wing Hope)	三浦 佐藤	(ココ・モコクラブ)	工藤 笹川	(松園バドミントンクラブ)
			3部	鎌田ひろみ 佐藤美香	(ココ・モコクラブ)	畠山 佐藤	(シャトルクラブ) (中里クラブ)	伊藤 富手	(シャトル一九)
第13回	平成20年	花巻市	1部	菊地利江子 竹鼻麻依子	(レッドシャトルズ)	久保田 天摩	(ひめかみ)	村井 安部	(都南クラブ)
			2部	竹林寿子 高橋靖子	(ひめかみ)	工藤 笹川	(松園バドミントンクラブ)	白藤 高橋	(ブルーシャトルズ)
			3部	小田島芙美子 小田嶋めぐみ	(シャープシャトル)	鈴木 内藤	(都南クラブ)	菅原 折原	(北上葵クラブ)
第14回	平成21年	北上市	1部	菊地利江子 竹鼻麻依子	(レッドシャトルズ)	久保田 天摩	(ひめかみ)	小野寺 高橋	(江釣子ママ)
			2部	及川優子 駒込礼子	(飛鷹クラブ)	千田 清水上	(江釣子ママ)	佐藤 斎藤	(北上葵クラブ)
			3部	伊藤光枝 畠山ひさ子	(中里クラブ) (シャトルクラブ)	加藤 三原	(県婦人クラブ)	斎藤 阿部	(レッドシャトルズ)
第15回	平成22年	奥州市 (水沢)	1部	久保田佐和子 天野美奈子	(ひめかみ)	小岩 佐藤	(北上BC)	谷藤 幸田	(都南クラブ)
			2部	鎌田ひろみ 飯塚知美	(ココ・モコクラブ)	白藤 山形	(ブルーシャトルズ)	寺澤 内藤	(都南クラブ)
			3部	宮　圭子 佐藤泰子	(Wing Hope)	斎藤 佐藤	(レッドシャトルズ)	針立 磯田	(釜石婦人クラブ)
第16回	平成23年	一関市	1部	谷藤さなえ 幸田めぐみ	(都南クラブ)	小原 星川	(Wing Hpoe)	天野 久保田	(ひめかみ)
			2部	菊池栄子 谷藤雅子	(たきざわクラブ)	熊谷 西	(シャトルウイズ)	高瀬 黒渕	(シャープシャトル)
			3部	横田順子 市川由美子	(北上シャープシャトル)	阿部 矢内	(レッドシャトルズ)	高橋 高橋	(ハローシャトルズ)
第17回	平成24年	滝沢村	1部	竹鼻麻依子 菊地利江子	(レッドシャトルズ)	天野 久保内	(ひめかみ)	阿部 諏訪	(レッドシャトルズ)
			2部	中村京子 大東清美	(シャトルウィズ)	荒谷 高屋敷	(県婦人)	多田 佐々木	(松園クラブ)
			3部	中村朋美 佐藤優子	(シャトルクラブ) (ココ・モコクラブ)	渡邊 佐藤	(フォルテッシモ) (シャトルクラブ)	村上 菊池	(スカッシュ)
第18回	平成25年	花巻市	1部	久保田佐和子 天野美奈子	(ひめかみ)	新渕 新田	(北上BC)	天摩 高橋	(ひめかみ)
			2部	小岩由美子 鈴木美聡	(SPIRITS)	小林 東郷	(レッドシャトルズ)	佐々木 高橋	(Wing Hope)
			3部	杉沢初美 佐野友希	(北上葵クラブ)	折原 藤田	(北上葵クラブ)	阿部 伊東	(Wing Hope)

回	年　度	開催地	部	1　位		2　位		3　位	
第19回	平成26年	北上市	1部	天野美奈子 戸田益美	(ひめかみ)	菊地 滝本	(レッドシャトルズ)	小野寺 佐藤	(北上B.C)
			2部	猿舘　恵 日向端理恵	(たきざわ)	多田 佐々木	(松園クラブ)	八重樫 戸来	(EZURIKO)
			3部	千葉由佳 佐藤志津	(ココ・モコクラブ)	松尾 三浦	(北上葵クラブ)	村上 菊地	(スカッシュ)
第20回	平成27年	奥州市	1部	竹鼻麻依子 菊地利江子	(レッドシャトルズ)	新渕 高橋	(北上B.C)	滝本 伊藤	(レッドシャトル) (都南クラブ)
			2部	中村朋美 佐藤優子	(SHUTTLECLUB) (ココ・モコクラブ)	田澤 藤井	(レッドシャトルズ) (釜石婦人クラブ)	木村 長澤	(豊間根クラブ)
			3部	針立敦子 磯田真理	(釜石婦人クラブ)	中村 森	(都南クラブ)	鈴木 幾田	(都南シャトル) (レッドシャトル)
第21回	平成28年	一関市	1部	天野美奈子 田井美幸	(ひめかみ)	滝本 伊東	(レッドシャトルズ) (都南クラブ)	諏訪 阿部	(レッドシャトルズ)
			2部	寺林小百合 阿部美保子	(シャトルウィズ)	木村 長澤	(豊間根クラブ)	高橋 宮	(Wing Hope)
			3部	新井山佳世 村上瑠璃子	(Wing Hope)	佐々木 猪股	(Wing Hope)	三浦 真山	(シャトルウィズ)
第22回	平成29年	滝沢市	1部	戸田益美 髙橋靖子	(ひめかみ)	竹鼻 日向端	(レッドシャトルズ)	石川 谷藤	(SPIRITS) (都南クラブ)
			2部	藤井富士子 畠山美由紀	(ブルーシャトルズ)	三堀 長谷山	(ひめかみ)	菅原 千葉	(ココ・モコクラブ)
			3部	佐藤直子 長坂美幸	(シャトルクラブ) (たきざわクラブ)	佐藤 小澤	(レッドシャトルズ)	三浦 雫石	(シャトルウィズ) (県婦人)
第23回	平成30年	花巻市	1部	狩野安奈 照井颯希	(Wing Hope)	天野 田井	(ひめかみ)	佐藤 亀谷	(SPIRITS)
			2部	室月奈々枝 神田　愛	(レッドシャトルズ)	大志田 黒田	(Wing Hope)	大林 安藤	(たきざわクラブ)
			3部	齊藤優子 阿部久実子	(Wing Hope)	阿部 吉田	(県婦人)	遠藤 鎌田	(シャトル一九)



岩手県小学生大会

回 年度	順位	男子			女子		
		シングルス	5年生以下ダブルス	6年生ダブルス	シングルス	5年生以下ダブルス	6年生ダブルス
1	1		昆・町田 (矢巾町)	奥寺哲・岡本 (大野ウィング)		大沼・佐藤 (ライスヒルズJr)	松橋・高好 (大野ウィング)
平成2	2		藤田・坂本 (都南シヤトル)	米沢・山下 (大野ウィング)		鷹觜・本山 (上田バド)	長谷川・長山 (上田バド)
2	1	昆　孝嘉 (矢巾町)	石崎　誠治 川村　忠広 (矢沢スポ少)	昆　孝嘉 町田　康行 (矢巾町)	宮崎真由美 (高松バド)	長谷川聖美 福島久美子 (大野ウイング)	伊藤・葛岡 (花巻南城)
3	2	町田　康行 (矢巾町)	勝又　悟 伊藤　嘉亮 (和賀東BC)	川村　敬昭 高橋　和人 (矢沢スポ少)	小　原 (花巻南城小)	岩山　恵 源田　綾 (大野ウイング)	野川　綾香 鷹觜　合子 (上田バド)
3	1	川村　忠広 (矢沢スポ少)	高橋　万有 松村　健司 (矢巾スポ少)	石崎　誠治 川村　忠広 (矢沢スポ少)	小原　晴子 (花巻南城小)	佐藤　ゆか 佐藤　かな (花巻南城小)	小原　晴子 草次恵美子 (花巻南城小)
4	2	石崎　誠治 (矢沢スポ少)	熊谷　徹 藤本　雄一 (矢巾スポ少)	昆　孝嘉 菊池　純 (矢巾スポ少)	佐藤　ゆか (花巻南城小)	七木田早苗 武蔵　智子 (ライスヒルズJr)	菊池　瑞穂 高橋　沙紀 (ライスヒルズJr)
4	1	川村　忠広 (矢沢スポ少)	中塚　寛明 昆　和秀 (矢巾Jrスポ少)	川村　忠広 熊谷　徹 (矢沢スポ少)	菊池あゆみ (和賀東BC)	佐藤百合子 佐藤茉莉江 (都南クラブ)	高橋　裕子 佐藤　かな (花巻南城小)
5	2	高橋　万有 (矢巾Jrスポ少)	高橋　万有 室岡　翔太 (矢巾Jrスポ少)	高橋　直樹 室岡　紀朝 (矢巾Jrスポ少)	佐藤　かな (花巻南城小)	高橋　沙紀 大沢　皓子 (ライスヒルズJr)	七木田早苗 五嶋　美香 (ライスヒルズJr)

回 年度	順位	シングルス	4年生以下 ダブルス	5・6年生 ダブルス	シングルス	4年生以下 ダブルス	5・6年生 ダブルス
5	1	高橋　万有 (矢巾Jrスポ少)	高橋　万有 室岡　翔太 (矢巾Jrスポ少)	高橋　万有 室岡　翔太 (矢巾Jrスポ少)	佐藤　ゆか (花巻南城小)	佐藤　夢子 中田裕加里 (矢巾Jrスポ少)	佐藤百合子 佐藤茉莉江 (都南クラブ)
平成6	2	中塚　寛明 (矢巾Jrスポ少)	昆　和秀 沢野　将貴 (矢巾Jrスポ少)	熊谷　徹 藤本　雄一 (矢巾Jrスポ少)	高橋　沙紀 (ライスヒルズJr)	高橋　喜子 佐藤　静 (花巻南城小)	高橋　沙紀 山形さやか (ライスヒルズJr)

回 年度	順位	4年生以下男子		5・6年生男子		4年生以下女子		5・6年生女子	
		シングルス	ダブルス	シングル	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス
6	1	猪股　佳樹 (ライスヒルズJr)	猪股佳樹 小原弘俊 (ライスヒルズJr)	中塚　寛明 (矢巾Jrスポ少)	熊谷　徹 藤本　雄一 (矢巾Jrスポ少)	小野寺　温 (和賀東)	伊藤　靖華 小野寺　温 (和賀東)	川村益美 (矢沢スポ少)	川村　益美 佐藤　好恵 (矢沢スポ少)
平成7	2	浅沼　希 (ライスヒルズJr)	福沢壮志 村上竜也 (ライスヒルズJr)	宮崎　賢治 (高松クラブ)	中塚　寛明 昆　和秀 (矢巾Jrスポ少)	武蔵奈保子 (ライスヒルズJr)	浅沼　幸恵 武蔵奈保子 (ライスヒルズJr)	大沢皓子 (ライスヒルズJr)	大沢　皓子 村上　桂 (ライスヒルズJr)
7	1	村上　竜也 (ライスヒルズJr)	小原弘俊 村上竜也 (ライスヒルズJr)	宮崎　賢治 (高松クラブ)	昆　和秀 佐々木和紀 (矢巾Jrスポ少)	高橋　桜子 (矢巾Jrスポ少)	高橋　桜子 吉岡絵里奈 (矢巾Jrスポ少)	村上　桂 (ライスヒルズJr)	村上　桂 浅沼　幸恵 (ライスヒルズJr)
8	2	高橋　洋喜 (花巻南城小)	福沢壮志 斉藤　毅 (ライスヒルズJr)	亀ケ森　有 (高松クラブ)	宮崎　賢治 亀ケ森　有 (高松クラブ)	高橋はるか (花巻南城小)	高橋はるか 佐々木　恵 (花巻南城小)	中田裕加里 (矢巾Jrスポ少)	佐藤　夢子 中田裕加里 (矢巾Jrスポ少)
8	1	藤本　賢二 (矢沢スポ少)	上川原　祥 松浦　翔 (矢巾Jrスポ少)	猪股　佳樹 (ライスヒルズJr)	浅沼　希 猪股　佳樹 (ライスヒルズJr)	大槌　由依 (スマッシュキッズ)	橋本　幸代 橋本　由衣 (ライスヒルズJr)	浅沼　幸恵 (ライスヒルズJr)	浅沼　幸恵 武蔵奈保子 (ライスヒルズJr)
9	2	村上　竜也 (ライスヒルズJr)	藤本賢二 多田和希 (矢沢スポ少)	浅沼　希 (ライスヒルズJr)	斎藤　毅 村上　竜也 (ライスヒルズJr)	高橋美代子 (ライスヒルズJr)	小原　安奈 高橋美代子 (ライスヒルズJr)	武蔵奈保子 (ライスヒルズJr)	小野寺　温 伊藤　靖華 (北上Jr)
9	1	熊谷　収 (矢沢スポ少)	熊谷　収 熊谷和樹 (矢沢スポ少)	斎藤　毅 (ライスヒルズJr)	上川原　祥 松浦　翔 (矢巾Jrスポ少)	阿部由香里 (矢巾Jrスポ少)	小原　安奈 橋本　由衣 (ライスヒルズJr)	吉岡絵里奈 (矢巾Jrスポ少)	吉岡絵里奈 高橋　桜子 (矢巾Jrスポ少)
10	2	佐々木翔太 (矢巾Jrスポ少)	玉山翔太 佐藤弘隆 (矢沢スポ少)	小原　弘俊 (ライスヒルズJr)	小原　弘俊 村上　竜也 (ライスヒルズJr)	橋本　由衣 (ライスヒルズJr)	阿部由香里 石川　温美 (矢巾Jrスポ少)	高橋　桜子 (矢巾Jrスポ少)	橋本　幸代 舘野　早苗 (ライスヒルズJr)
10	1	佐藤　弘隆 (矢沢スポ少)	佐藤弘隆 伊藤勇人 (矢沢スポ少)	松浦　翔 (矢巾Jrスポ少)	松浦　翔 上川　原祥 (矢巾Jrスポ少)	小原　安奈 (ライスヒルズJr)	小原　安奈 橋本　由衣 (ライスヒルズJr)	田鎖　志穂 (北上Jr)	大槌　由依 藤原未知子 (スマッシュキッズ)
11	2	伊藤　勇人 (矢沢スポ少)	伊藤　章 渡辺優二 (千厩ヒルトップ)	村上　竜也 (ライスヒルズJr)	藤本　賢二 多田　和希 (矢沢スポ少)	橋本　由衣 (ライスヒルズJr)	高橋　花奈 本多　菜摘 (矢巾Jrスポ少)	阿部由香里 (矢巾Jrスポ少)	古田　優 阿部由香里 (矢巾Jrスポ少)

回 年度	順位	6年生男子		5年生男子		4年生男子	
		シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス
11 平成 12	1	佐々木翔太 （矢巾ジュニア）	佐々木・荻野 （矢巾ジュニア）	伊藤　章 （清田スポ少）	伊藤・渡辺 （清田スポ少）	神山龍之介 （清田スポ少）	神山・鈴木 （清田スポ少）
	2	田邊武志 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）	田邊・外川 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）	田口千晃 （ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ）	佐藤・伊藤 （矢沢スポ少）	鈴木太智 （清田スポ少）	鎌田・佐藤 （矢沢スポ少）
12	1	伊藤　章 （清田スポ少）	伊藤・渡辺 （清田スポ少）	神山龍之介 （清田スポ少）	神山・鈴木 （清田スポ少）	鈴木太智 （清田スポ少）	玉山・村松 （矢巾ジュニア）
13	2	渡辺優二 （清田スポ少）	佐藤・宮川 （矢沢スポ少）	安倍　慶 （ﾊﾛｰｼｬﾄﾙｽﾞ）	和島・外川 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）	外川真樹 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）	鎌田・佐藤 （矢沢スポ少）
13	1	神山龍之介 （清田スポ少）	神山・鈴木 （清田スポ少）	外川真樹 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）	玉山・村松 （矢巾ジュニア）	篠原宏季 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）	篠原・斉藤 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）
14	2	安倍　慶 （ﾊﾛｰｼｬﾄﾙｽﾞ）	鎌田・小原 （矢沢キッズ）	鈴木太智 （清田スポ少）	鎌田・佐藤 （矢沢スポ少）	門脇誠治 （前沢ジュニア）	伊藤・菅原 （水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ）
14	1	鈴木太智 （清田スポ少）	玉山・村松 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）	篠原宏季 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）	篠原・斉藤 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）	室岡大晶 （ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ）	石川・千田 （前沢ジュニア）
15	2	外川真樹 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）	小山・藤野 （シャトルキッド）	若生吏氏 （北上ジュニア）	長南・古澤 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）	菅原慎也 （水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ）	武田・武田 （シャトルキッド）
15	1	篠原宏季 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）	篠原・斉藤 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）	室岡大晶 （ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ）	石川・千田 （前沢ジュニア）	内藤優貴③ （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）	佐々木・遠藤 （清田スポ少）
16	2	佐々木智啓 （ｽﾏｯｼｭｷｯｽﾞ）	門脇・佐藤 （前沢ジュニア）	小原宏紀 （北上ジュニア）	金子・及川 （矢巾シャトル）	菅原慎也 （水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ）	鈴木・重石 （矢巾シャトル）
16	1	室岡大晶 （ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ）	金子・及川 （矢巾シャトル）	菅原慎也 （水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ）	佐々木・遠藤 （清田スポ少）	内藤優貴 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）	内藤・村松 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）
17	2	小原宏紀 （北上ｊｒ）	石川・千田 （前沢ジュニア）	遠藤拓郎 （清田スポ少）	津田・安部 （前沢ジュニア）	菊地祐太 （おだきｶﾞﾝﾊﾞｰｽﾞ）	佐々木・菊池 （ｽﾏｯｼｭｷｯｽﾞ）
17	1	畠山主税 （湯口ジュニア）	佐々木・遠藤 （清田スポ少）	内藤優貴 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）	内藤・村井 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）	村井聡紀 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）	北條・浅沼 （水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ）
18	2	佐々木淳哉 （清田スポ少）	津田・安部 （前沢ジュニア）	佐々木勇輔 （ｽﾏｯｼｭｷｯｽﾞ）	佐々木・菊池 （ｽﾏｯｼｭｷｯｽﾞ）	浅沼竜一郎 （水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ）	藤原・仁平 （ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ）
18	1	内藤優貴 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）	内藤・村井 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）	村井聡紀 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）	富山・下坂 （東和シャトルズ）	佐藤祐樹 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）	軽石・田村 （iiyoyo. BC）
19	2	佐々木勇輔 （ｽﾏｯｼｭｷｯｽﾞ）	佐々木・菊池 （ｽﾏｯｼｭｷｯｽﾞ）	千田拳士朗 （北上ジュニア）	青木・佐藤 （赤崎シャトルズ）	浅沼竜一郎 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）	笹森・伊藤 （湯口ジュニア）
19	1	村井聡紀 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）	下坂・富山 （東和シャトルズ）	藤原望夢 （ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ）	菅原・小野寺 （小山ウイングス）	軽石直人 （Iiyoyo. BC）	小野寺・小野寺 （清田スポ少）
20	2	千田拳士朗 （北上ジュニア）	北條・千葉 （水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ）	浅沼竜一郎 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）	伊藤・伊藤 （磐清水スポ少）	田村汰稀 （Iiyoyo. BC）	立野・立野 （ポケモン）
20	1	高橋拓夢 （北上ジュニア）	菅原・小野寺 （小山ウイングス）	軽石直人 （iiyoyo. BC）	立野・立野 （ポケモン）	筑後恵太 （湯本クラブ）	三浦・佐藤 （清田スポ少）
21	2	佐藤祐樹 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）	伊藤・伊藤 （磐清水スポ少）	田村汰稀 （iiyoyo. BC）	小野寺・小野寺 （清田スポ少）	菊地拓也 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	佐藤・石井 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）
21	1	軽石直人 （iiyoyo. BC）	立野・立野 （ポケモン）	筑後恵太 （湯本クラブ）	三浦・佐藤 （清田スポ少）	久慈友也 （南城小育成会）	菊地・小澤 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）
22	2	田村汰稀 （iiyoyo. BC）	小野寺・小野寺 （清田スポ少）	菊地拓也 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	渡邊・小形 （衣川Ｊｒスター）	長谷川剛之 （石鳥谷ジュニア）	阿部・阿部 （前沢ジュニア）
22	1	菊地拓也 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	三浦・佐藤 （清田スポ少）	長谷川剛之 （石鳥谷ジュニア）	安ケ平・佐藤 （矢巾シャトル）	久慈友也 （南城小育成会）	千田・阿部 （前沢ジュニア）
23	2	吉田侑生 （都南ジュニア）	久保田・藤井 （湯口ジュニア）	阿部悠人 （前沢ジュニア）	菊地・小澤 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	菊川旭飛 （南城小育成会）	砂川・藤本 （矢沢ジュニア）
23	1	長谷川剛之 （石鳥谷ジュニア）	安ヶ平・佐藤 （矢巾シャトル）	久慈友也 （南城小育成会）	砂川・藤本 （矢沢ジュニア）	長谷川祥大 （石鳥谷ジュニア）	阿部・柳原 （前沢ジュニア）
24	2	佐藤真心 （清田スポ少）	阿部・三浦 （前沢ジュニア）	菊川旭飛 （南城小育成会）	小形・鈴木 （前沢ジュニア）	伊藤裕哉 （湯口ジュニア）	阿部・渡邊 （ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ）
24	1	藤澤佳史 （都南ジュニア）	砂川・藤本 （矢沢ジュニア）	長谷川祥大 （石鳥谷ジュニア）	阿部・柳原 （前沢ジュニア）	篠田楓太 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）	小原・藤井 （IitoyoBC）
25	2	千田壱郎 （前沢ジュニア）	照井・伊藤 （湯口ジュニア）	楢木楽人 （北上市ジュニア）	阿部・渡邊 （ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ）	佐藤　悠 （清田スポ少）	菊地・菅野 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）
25	1	長谷川祥大 （石鳥谷ジュニア）	阿部・柳原 （前沢ジュニア）	篠田楓太 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）	伊藤・藤村 （磐清水スポ少）	藤井海斗 （IitoyoB．C）	平賀・佐藤 （湯口ジュニア）
26	2	楢木楽人 （北上ジュニア）	飯坂・吉田 （前沢ジュニア）	佐藤　悠 （清田スポ少）	犬飼・齊藤 （ﾁｬｸﾞﾁｬｸﾞｽﾎｰﾂ）	菊地直仁 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	岩渕・浦川 （スピリッツ）
26	1	篠田楓太 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）	藤村・伊藤 （磐清水スポ少）	藤井海斗 （Iitoyo BC）	佐々木・佐々木 （石鳥谷ジュニア）	菅原俊輔 （水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ）	遠藤・渡部 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）
27	2	佐藤　悠 （清田スポ少）	梅原・二上 （水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ）	岩舘聡志 （南城小育成会）	岩渕・佐々木 （前沢ジュニア）	菊地直仁 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	佐藤・平賀 （湯口ジュニア）
27	1	藤井海斗 （飯豊ＢＣ）	岩渕・佐々木 （前沢ジュニア）	菅原俊輔 （水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ）	佐藤・平賀 （湯口ジュニア）	菅原槙人 （矢沢ジュニア）	高橋・藤原 （湯口ジュニア）
28	2	佐々木歩生 （石鳥谷ジュニア）	久保田・高橋 （湯口ジュニア）	高橋響生 （飯豊ＢＣ）	渡部・遠藤 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	千葉温人 （衣川Ｊｒスター）	藤澤・藤澤 （北上ジュニア）
28	1	小山田泰地 （滝沢ﾊﾞﾄﾞﾗｰｽﾞ）	佐藤・平賀 （湯口ジュニア）	菅原槙人 （矢沢ジュニア）	菊地・高橋 （衣川Ｊｒスター）	高橋好誠 （飯豊ＢＣ）	千田・法華津 （水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ）
29	2	高橋響生 （飯豊ＢＣ）	遠藤・渡部 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	鈴木眞白 （滝沢ﾊﾞﾄﾞﾗｰｽﾞ）	柴田・渡邉 （矢沢ジュニア）	千葉温人 （衣川Ｊｒスター）	高橋・佐藤 （衣川Ｊｒスター）
29	1	鈴木眞白 （滝沢ﾊﾞﾄﾞﾗｰｽﾞ）	菊地・高橋 （衣川Ｊｒスター）	高橋好誠 （飯豊ＢＣ）	照井・畠山 （湯口ジュニア）	高橋新太 （湯口ジュニア）	高橋・佐藤 （衣川Ｊｒスター）
30	2	狩野誠太 （都南ジュニア）	菅原・柴田 （矢沢ジュニア）	千葉温人 （衣川Ｊｒスター）	千田・法華津 （水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ）	阿部煌太 （南城小育成会）	藤澤・高橋 （北上ジュニア）

回年度	順位	6年生女子		5年生女子		4年生女子	
		シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス	シングルス	ダブルス
11 平成 12	1	阿部由香里（矢巾ジュニア）	阿部・石川（矢巾ジュニア）	小原安奈（ライスヒルズジュニア）	渡辺・山影（矢沢スポ少）	橋本由衣（ライスヒルズジュニア）	橋本・盛合（ライスヒルズジュニア）
	2	川村香純（矢沢スポ少）	室岡・小原（ライスヒルズジュニア）	高橋花奈（矢巾ジュニア）	高橋・本多（矢巾ジュニア）	舘脇祐未（北上ジュニア）	菊池・菊池（南城小）
12 13	1	小原安奈（ライスヒルズジュニア）	小原・橋本（ライスヒルズジュニア）	橋本由衣（ライスヒルズジュニア）	舘脇・横田（北上ジュニア）	和島恵愛（フライングシャトラーズ）	田邊・和島（フライングシャトラーズ）
	2	玉山　希（矢巾ジュニア）	玉山・新井山（矢巾ジュニア）	舘脇祐未（北上ジュニア）	斉藤・横道（都南フューチャーズ）	伊藤美紗（都南フューチャーズ）	伊藤・内藤（都南フューチャーズ）
13 14	1	橋本由衣（ライスヒルズジュニア）	舘脇・横田（北上ジュニア）	田邊郁恵（フライングシャトラーズ）	阿部・石畠（矢巾ジュニア）	伊藤美紗（都南フューチャーズ）	伊藤・内藤（都南フューチャーズ）
	2	舘脇祐未（北上ジュニア）	横道・斉藤（都南フューチャーズ）	阿部明日香（矢巾ジュニア）	田邊・佐藤（フライングシャトラーズ）	内藤　唯（都南フューチャーズ）	上野・横道（都南フューチャーズ）
14 15	1	田邊郁恵（フライングシャトラーズ）	高橋・氏家（南城小）	伊藤美紗（都南フューチャーズ）	伊藤・内藤（都南フューチャーズ）	玉山　巴（都南フューチャーズ）	小笠原・小笠原（フライングシャトラーズ）
	2	阿部明日香（矢巾ＪＢＣ）	千葉・佐藤（南城小）	内藤唯（都南フューチャーズ）	横道・上野（都南フューチャーズ）	小笠原　渓（フライングシャトラーズ）	鈴木・斉藤（都南フューチャーズ）
15 16	1	伊藤美紗（都南フューチャーズ）	伊藤・内藤（都南フューチャーズ）	小笠原　渓（フライングシャトラーズ）	小笠原・小笠原（フライングシャトラーズ）	玉山　巴（都南フューチャーズ）	鈴木・斉藤（都南フューチャーズ）
	2	内藤　唯（都南フューチャーズ）	横道・上野（都南フューチャーズ）	小笠原　理（フライングシャトラーズ）	小野寺・照井（南城小）	鈴木佳奈（都南フューチャーズ）	小田島・古川（矢沢ジュニア）
16 17	1	小笠原渓（フライングシャトラーズ）	小笠原・小笠原（フライングシャトラーズ）	玉山　巴（都南フューチャーズ）	玉山・鈴木（都南フューチャーズ）	村上　晃（ライスヒルズジュニア）	古川・小田島（矢沢ジュニア）
	2	小笠原理（フライングシャトラーズ）	小野寺・照井（南城小）	鈴木佳奈（都南フューチャーズ）	新田・浅沼（水沢ブラックキッズ）	斉藤佳奈（都南フューチャーズ）	村上・浅沼（ライスヒルズジュニア）
17 18	1	玉山　巴（都南フューチャーズ）	玉山・鈴木（都南フューチャーズ）	村上　晃（ライスヒルズジュニア）	宮野・遠藤（スマッシュキッズ）	石畠美穂（矢巾シャトル）	石畠・重石（矢巾シャトル）
	2	鈴木佳奈（都南フューチャーズ）	新田・浅沼（水沢ブラックキッズ）	斉藤佳奈（都南フューチャーズ）	高橋・平野（北上ジュニア）	浅沼美乃里（ライスヒルズジュニア）	久保田・畠山（湯口ジュニア）
18 19	1	村上晃（ライスヒルズジュニア）	斉藤・浅沼（都南フューチャーズ）	石畠美穂（矢巾シャトル）	石畠・重石（矢巾シャトル）	畠山静花（湯口ジュニア）	久慈・中島（南城小育成会）
	2	斉藤佳奈（都南フューチャーズ）	高橋・平野（北上ジュニア）	浅沼美乃里（ライスヒルズジュニア）	及川・小原（iiyoyo. BC）	田村亜以（赤崎シャトルズ）	久保田・藤井（湯口ジュニア）
19 20	1	浅沼美乃里（ライスヒルズジュニア）	重石・昆（矢巾シャトル）	畠山静花（湯口ジュニア）	中島・久慈（南城小育成会）	藤井　愛（湯口ジュニア）	吉田・金野（赤崎シャトルズ）
	2	石畠美穂（矢巾シャトル）	伊藤・野田（赤崎シャトルズ）	吉村朋華（南城小育成会）	小原・照井（南城小育成会）	渡辺美穂（ライスヒルズジュニア）	兼平・佐藤（フライングシャトラーズ）
20 21	1	畠山静花（湯口ジュニア）	中島・久慈（南城小育成会）	藤井　愛（湯口ジュニア）	吉田・金野（赤崎シャトルズ）	兼平美里（フライングシャトラーズ）	森田・佐々木（矢沢ジュニア）
	2	野田彩瑛（赤崎シャトルズ）	小原・照井（南城小育成会）	渡辺美穂（ライスヒルズジュニア）	久保田・木村（湯口ジュニア）	中島陽菜（南城小育成会）	佐々木・佐藤（水沢ブラックキッズ）
21 22	1	藤井愛（湯口ジュニア）	吉田・金野（赤崎シャトルズ）	兼平美里（フライングシャトラーズ）	森田・佐々木（矢沢ジュニア）	中島陽菜（南城小育成会）	笹平・伊藤（矢沢ジュニア）
	2	渡辺美穂（ライスヒルズジュニア）	松好・伊藤（衣川Ｊｒスター）	菊川優月（南城小育成会）	菅原・佐々木（水沢ブラックキッズ）	吉村美耶（南城小育成会）	鷹羽・幸田（都南ジュニア）
22 23	1	菊川優月（南城小育成会）	佐々木・森田（矢沢ジュニア）	中島陽菜（南城小育成会）	三瓶・小野寺（前沢ジュニア）	吉村美耶（南城小育成会）	照井・佐々木（湯口ジュニア）
	2	兼平美里（フライングシャトラーズ）	佐々木・菅原（水沢ブラックキッズ）	楢木瑞穂（北上ジュニア）	鷹羽・泉舘（都南ジュニア）	熊谷春香（石鳥谷ジュニア）	山根・中塚（矢巾シャトル）
23 24	1	中島陽菜（南城小育成会）	楢木・本堂（北上市ジュニア）	吉村美耶（南城小育成会）	山根・中塚（矢巾シャトル）	佐々木梨子（湯口ジュニア）	千葉・菊地（衣川Ｊｒスター）
	2	三瓶萌梨（前沢ジュニア）	菅原・千葉（衣川Ｊｒスター）	熊谷春香（石鳥谷ジュニア）	若佐・渋田（矢巾シャトル）	渡邉美月（衣川Ｊｒスター）	佐藤・管（赤崎シャトルズ）
24 25	1	吉村美耶（南城小育成会）	照井・畠山（湯口ジュニア）	佐々木梨子（湯口ジュニア）	千葉・菊地（衣川Jr. スター）	藤原里菜（ハイタッチジュニア）	佐々木・長山（赤崎シャトルズ）
	2	千葉ひなた（ハイタッチジュニア）	山根・渋田（矢巾シャトル）	渡邉美月（衣川Jr. スター）	渡邉・藤井（矢沢ジュニア）	畠山鈴未（石鳥谷ジュニア）	石畠・上平（矢巾シャトル）
25 26	1	佐々木梨子（湯口ジュニア）	渡邉・千葉（衣川Ｊｒスター）	藤原里菜（ハイタッチジュニア）	石畠・上平（矢巾シャトル）	鈴木蒼花（滝沢バドラーZ）	室岡・中塚（矢巾シャトル）
	2	阿部陽菜（前沢ジュニア）	渡辺・藤井（矢沢ジュニア）	菊地莉那（衣川Ｊｒスター）	齋藤・伊藤（南城小育成会）	長山紗千（赤崎シャトルズ）	川村・渡辺（矢沢ジュニア）
26 27	1	藤原里菜（ハイタッチジュニア）	志田・長山（赤崎シャトルズ）	鈴木蒼花（滝沢バドラーZ）	川村・渡邉（矢沢ジュニア）	森　柑奈（赤崎シャトルズ）	佐藤・遠藤（北上ジュニア）
	2	熊谷雅（滝沢バドラーZ）	石畠・上平（矢巾シャトル）	千葉寧々（北上ジュニア）	室岡・中塚（矢巾シャトル）	志田菜々海（水沢ブラックキッズ）	佐藤・千葉（衣川Ｊｒスター）
27 28	1	鈴木蒼花（滝沢バドラーZ）	室岡・中塚（矢巾シャトル）	志田菜々海（ハイタッチジュニア）	千葉・佐藤（衣川Ｊｒスター）	村松愛花（フライングシャトラーズ）	森・長山（赤崎シャトルズ）
	2	照井玲那（フライングシャトラーズ）	川村・渡邉（矢沢ジュニア）	久保田つぐみ（南城小育成会）	川村・畠山（矢沢ジュニア）	小原虹愛（矢沢ジュニア）	佐々木・高橋（矢巾シャトル）
28 29	1	志田菜々海（ハイタッチジュニア）	佐々木・熊谷（都南ジュニア）	小原虹愛（矢沢ジュニア）	高橋・台野（飯豊ＢＣ）	畠山想来（ハイタッチジュニア）	佐々木・高橋（矢巾シャトル）
	2	久保田つぐみ（南城小育成会）	千葉・佐藤（衣川Ｊｒスター）	村松愛花（都南ジュニア）	黒田・佐々木（ライスヒルズジュニア）	長山実央（赤崎シャトルズ）	遠藤・佐藤（えさしカンハ゛ーS）
29 30	1	村松愛花（都南ジュニア）	高橋・台野（飯豊ＢＣ）	長山実央（赤崎シャトルズ）	佐々木・高橋（矢巾シャトル）	畠山想来（ハイタッチジュニア）	中川・佐藤く（滝沢バドラーZ）
	2	熊谷　楓（都南ジュニア）	黒田・佐々木（ライスヒルズジュニア）	菅原　光（ハイタッチジュニア）	遠藤・佐藤（えさしカンハ゛ーS）	畠山来夢（ハイタッチジュニア）	伊藤・幅下（南城小育成会）

岩手県ジュニアシングルス大会

回 年度	順位	男子		女子	
		4年生以下	5・6年生	4年生以下	5・6年生
1 平成9	1	松浦　翔 (矢巾Jrスポ少)	浅沼　希 (ライスヒルズJr)	佐藤　志保子 (花巻南城小)	浅沼　幸恵 (ライスヒルズJr)
	2	村上　竜也 (ライスヒルズJr)	猪股　佳樹 (ライスヒルズJr)	高橋　美代子 (ライスヒルズJr)	小野寺　温 (北上ジュニア)
2 10	1	熊谷　収 (矢沢スポ少)	松浦　翔 (矢巾Jrスポ少)	橋本　由衣 (ライスヒルズJr)	吉岡　絵里奈 (矢巾Jrスポ少)
	2	熊谷　知樹 (矢沢スポ少)	村上　竜也 (ライスヒルズJr)	小原　安奈 (ライスヒルズJr)	高橋　桜子 (矢巾Jrスポ少)
3 11	1	佐藤　弘隆 (矢沢スポ少)	村上　竜也 (ライスヒルズJr)	小原　安奈 (ライスヒルズJr)	川村　香純 (矢沢スポ少)
	2	伊藤　勇人 (矢沢スポ少)	松浦　翔 (矢巾Jrスポ少)	橋本　由衣 (ライスヒルズJr)	大槌　由衣 (スマッシュキッズ)

岩手県小学生シングルス大会

回 年度	順位	男子			女子		
		6年生	5年生	4年生以下	6年生	5年生	4年生以下
4 平成12	1	佐々木　翔太 (矢巾スポ少)	伊藤　章 (清田スポ少)	鈴木　太智 (清田スポ少)	阿部　由香里 (矢巾ジュニア)	小原　安奈 (ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ)	橋本　由衣 (ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ)
	2	菅原　徹也 (清田スポ少)	田口　千晃 (ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ)	神山　龍之介 (清田スポ少)	川村　香純 (矢沢ジュニア)	高橋　花奈 (矢巾ジュニア)	菊池　若葉 (南城小育成会)
5 13	1	渡辺　優二 (清田スポ少)	神山　龍之介 (清田スポ少)	鈴木　太智 (清田スポ少)	小原　安奈 (ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ)	橋本　由衣 (ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ)	和島　恵愛 (ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ)
	2	伊藤　章 (清田スポ少)	和島　駿介 (ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ)	外川　真樹 (ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ)	玉山　希 (矢巾ジュニア)	舘脇　祐美 (北上ジュニア)	田邊　郁恵 (ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ)
6 14	1	神山　龍之介 (清田スポ少)	外川　真樹 (ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ)	篠原　宏季 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)	橋本　由衣 (ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ)	田邊　郁恵 (ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ)	伊藤　美紗 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)
	2	安倍　慶 (ﾊﾛｰｼｬﾄﾙｽﾞ)	鈴木　太智 (清田スポ少)	門脇　誠治 (前沢ジュニア)	舘脇　祐美 (北上ｼﾞｭﾆｱ)	阿部　明日香 (矢巾ジュニア)	内藤　唯 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)
7 15	1	鈴木　太智 (清田スポ少)	篠原　宏季 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)	室岡　大晶 (ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ)	田邊　郁恵 (ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ)	伊藤　美紗 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)	玉山　巴 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)
	2	外川　真樹 (ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ)	若生　吏氏 (北上ジュニア)	菅原　慎也 (水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ)	阿部　明日香 (矢巾ジュニア)	石畠　由美 (矢巾ジュニア)	小笠原　渓 (ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ)
8 16	1	篠原　宏季 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)	石川　純也 (前沢ｼﾞｭﾆｱ)	菅原　慎也 (水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ)	伊藤　美紗 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)	小笠原　渓 (ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ)	玉山　巴 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)
	2	佐々木　智啓 (ｽﾏｯｼｭｷｯｽﾞ)	千田　康史 (前沢ジュニア)	内藤　優貴 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)	石畠　由美 (矢巾シャトル)	小笠原　理 (ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ)	鈴木　佳奈 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)
9 17	1	室岡　大晶 (ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ)	遠藤　拓郎 (清田スポ少)	内藤　優貴 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)	小笠原　渓 (ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ)	玉山　巴 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)	村上　晃 (ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ)
	2	小原　宏紀 (北上ｼﾞｭﾆｱ)	菅原　慎也 (水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ)	菊地　裕太 (おだきｶﾞﾝﾊﾞｰS)	小笠原　理 (ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ)	鈴木　佳奈 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)	浅沼　今乃美 (水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ)
10 18	1	畠山　主税 (湯口ジュニア)	内藤　優貴 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)	村井　聡紀 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)	玉山　巴 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)	齊藤　佳奈 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)	石畠　美穂 (矢巾シャトル)
	2	佐々木　淳哉 (清田スポ少)	武田　大地 (シャトルキッド)	浅沼　竜一郎 (水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ)	鈴木　佳奈 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)	村上　晃 (ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ)	畠山　静花 (湯口ジュニア)
11 19	1	内藤　優貴 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)	村井　聡紀 (都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ)	佐藤　祐樹 (ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ)	高橋　咲 (北上ジュニア)	浅沼　美乃里 (ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ)	畠山　静花 (湯口ジュニア)
	2	佐々木　勇輔 (ｽﾏｯｼｭｷｯｽﾞ)	千葉　雄陽 (川崎ジュニア)	藤原　望夢 (ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ)	村上　晃 (ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ)	石畠美穂 (矢巾シャトル)	中島　葵 (南城小育成会)

回 年度	順位	男子			女子		
		6年生	5年生	4年生以下	6年生	5年生	4年生以下
12 平成 20	1	村井　聡紀 （都南ﾌｭｰﾁｬｰｽﾞ）	藤原　望夢 （ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ）	軽石　直人 (IitoyoBC)	石畠　美穂 （矢巾シャトル）	畠山　静花 （湯口ジュニア）	藤井　愛 （湯口ジュニア）
	2	千田　拳士朗 （北上ジュニア）	佐藤　祐樹 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）	田村　汰稀 (IitoyoBC)	浅沼　美乃里 （ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ）	中島　葵 （南城小育成会）	吉田　朋可 （赤崎シャトルズ）
13 21	1	佐藤　祐樹 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）	軽石　直人 (IitoyoBC)	筑後　恵太 （湯本クラブ）	畠山　静花 （湯口ジュニア）	藤井　愛 （湯口ジュニア）	渡邉　ひらり （湯口ジュニア）
	2	高橋　拓夢 （北上ジュニア）	田村　汰稀 (IitoyoBC)	菊地　拓也 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	中島　葵 （南城小育成会）	金野　夕香 （赤崎シャトルズ）	兼平　美里 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）
14 22	1	軽石　直人 (IitoyoB.C)	筑後　恵太 （湯本クラブ）	久慈　友也 （南城小育成会）	藤井　愛 （湯口ジュニア）	菊川　優月 （南城小育成会）	中島　陽菜 （南城小育成会）
	2	田村　汰稀 (IitoyoB.C)	菊地　拓也 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	長谷川　剛之 （石鳥谷ジュニア）	渡辺　美穂 （ﾗｲｽﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ）	兼平　美里 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）	吉村　美耶 （南城小育成会）
15 23	1	菊地　拓也 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	長谷川　剛之 （石鳥谷ジュニア）	久慈　友也 （南城小育成会）	菊川　優月 （南城小育成会）	中島　陽菜 （南城小育成会）	吉村　美耶 （南城小育成会）
	2	吉田　侑生 （都南ジュニア）	菊地　一希 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	菊川　旭飛 （南城小育成会）	兼平　美里 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）	楢木　瑞穂 （北上ジュニア）	熊谷　春香 （石鳥谷ジュニア）
16 24	1	長谷川　剛之 （石鳥谷ジュニア）	菊川　旭飛 （南城小育成会）	長谷川　祥大 （石鳥谷ジュニア）	中島　陽菜 （南城小育成会）	吉村　美耶 （南城小育成会）	佐々木　梨子 （湯口ジュニア）
	2	佐藤　真心 （清田スポ少）	久慈　友也 （南城小育成会）	阿部　大地 （前沢ジュニア）	楢木　瑞穂 （北上ジュニア）	熊谷　春香 （石鳥谷ジュニア）	阿部　陽菜 （前沢ジュニア）
17 25	1	菊川　旭飛 （南城小育成会）	長谷川　祥大 （石鳥谷ジュニア）	篠田　楓太 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）	吉村　美耶 （南城小育成会）	佐々木　梨子 （湯口ジュニア）	藤原　里菜 （ﾊｲﾀｯﾁｼﾞｭﾆｱ）
	2	久慈　友也 （南城小育成会）	阿部　大地 （前沢ジュニア）	伊藤　裕哉 （湯口ジュニア）	宮崎　涼花 （滝沢バドラーZ）	阿部　陽菜 （前沢ジュニア）	菊地　莉那 （衣川Ｊｒスター）
18 26	1	長谷川　祥大 （石鳥谷ジュニア）	佐藤　悠 （清田スポ少）	藤井　海斗 (IitoyoB.C)	佐々木　梨子 （湯口ジュニア）	藤原　里菜 （ﾊｲﾀｯﾁｼﾞｭﾆｱ）	照井　玲那 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）
	2	柳原　一翔 （前沢ジュニア）	篠田　楓太 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）	菊地　直仁 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	渡邉　美月 （衣川Ｊｒスター）	菊地　莉那 （衣川Ｊｒスター）	千葉　寧々 （北上市ジュニア）
19 27	1	篠田　楓太 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）	藤井　海斗 (IitoyoB.C)	佐藤　史隆 （湯口ジュニア）	藤原　里菜 （ﾊｲﾀｯﾁｼﾞｭﾆｱ）	鈴木　蒼花 （滝沢バドラーZ）	久保田　つぐみ （南城小育成会）
	2	佐藤　悠 （清田スポ少）	岩舘　聡志 （南城小育成会）	平賀　翔太 （湯口ジュニア）	菊地　莉那 （衣川Ｊｒスター）	長山　紗千 （赤崎シャトルズ）	森　柑奈 （赤崎シャトルズ）
20 28	1	藤井　海斗 （飯豊Ｂ．Ｃ）	佐藤　史隆 （湯口ジュニア）	菅原　槙人 （矢沢ジュニア）	鈴木　蒼花 （滝沢バドラーZ）	志田　菜々海 （ﾊｲﾀｯﾁｼﾞｭﾆｱ）	森　眞帆 （赤崎シャトルズ）
	2	菅原　魁吏 （矢沢ジュニア）	菅野　夏央 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'Ｓ）	渡邉　出海 （矢沢ジュニア）	千葉　寧々 （北上ジュニア）	森　柑奈 （赤崎シャトルズ）	小原　虹愛 （矢沢ジュニア）
21 29	1	佐藤　史隆 （湯口ジュニア）	菅原　槙人 （矢沢ジュニア）	高橋　好誠 （飯豊ＢＣ）	久保田　つぐみ （南城小育成会）	小原　虹愛 （矢沢ジュニア）	長山　実央 （赤崎シャトルズ）
	2	高橋　響生 （飯豊ＢＣ）	白田　悠成 （前沢ジュニア）	千葉　温人 （衣川Ｊｒスター）	志田　菜々海 （ﾊｲﾀｯﾁｼﾞｭﾆｱ）	森　眞帆 （赤崎シャトルズ）	畠山　想来 （ﾊｲﾀｯﾁｼﾞｭﾆｱ）
22 30	1	鈴木　眞白 （滝沢バドラーZ）	千葉　温人 （衣川Ｊｒスター）	髙橋　新太 （湯口ジュニア）	熊谷　楓 （都南ジュニア）	長山　実央 （赤崎シャトルズ）	畠山　想来 （ﾊｲﾀｯﾁｼﾞｭﾆｱ）
	2	菅原　槙人 （矢沢ジュニア）	佐々木　歩希 （石鳥谷ジュニア）	阿部　煌太 （南城小育成会）	村松　愛花 （都南ジュニア）	佐々木　陽菜 （矢巾シャトル）	畠山　来夢 （ﾊｲﾀｯﾁｼﾞｭﾆｱ）

岩手県小学生ダブルス大会

回 年度	順位	男子			女子		
		6年生	5年生	4年生以下	6年生	5年生	4年生以下
1 平成19	1	佐々木・菊池 （ﾗｲｽﾞﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ）	北條・千葉 （水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ）	軽石・田村 （Iitoyo B. C）	齊藤・浅沼 （都南ジュニア）	久保田・畠山 （湯口ジュニア）	久慈・中島 （南城小育成会）
	2	内藤・村井 （都南ジュニア）	佐藤・青木 （赤崎シャトルズ）	藤原・阿部 （ﾗｲｽﾞﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ）	高橋・平野 （北上ジュニア）	及川・小原 （Iitoyo B. C）	小原・照井 （南城小育成会）
2 20	1	村井・浅沼 （都南ジュニア）	藤原・阿部 （ﾗｲｽﾞﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ）	軽石・田村 （Iitoyo B. C）	石畠・重石 （矢巾シャトル）	久慈・中島 （南城小育成会）	吉田・金野 （赤崎シャトルズ）
	2	北條・千葉 （水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ）	伊藤・伊藤 （磐清水スポ少）	立野・立野 （ポケモン）	久保田・畠山 （湯口ジュニア）	照井・小原 （南城小育成会）	兼平・佐藤 （ﾌﾗｲﾝｸﾞｼｬﾄﾗｰｽﾞ）
3 21	1	高橋・小原 （北上ジュニア）	田村・軽石 （Iitoyo B. C）	久慈・菊川 （南城小育成会）	中島・久慈 （南城小育成会）	吉田・金野 （赤崎シャトルズ）	菊川・中島 （南城小育成会）
	2	浅沼・安部 （都南ジュニア）	立野・立野 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	三浦・佐藤 （清田スポ少）	畠山・久保田 （湯口ジュニア）	藤井・木村 （湯口ジュニア）	森田・佐々木 （矢沢ジュニア）
4 22	1	軽石・田村 （IitoyoB. C）	三浦・佐藤 （清田スポ少）	久慈・菊川 （南城小育成会）	外川・木立 （都南ジュニア）	森田・佐々木 （矢沢ジュニア）	小野寺・三瓶 （前沢ジュニア）
	2	立野・立野 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	菊地・小澤 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	阿部・阿部 （前沢ジュニア）	吉田・金野 （赤崎シャトルズ）	菊川・中島 （南城小育成会）	菊地・菅原 （衣川Ｊｒスター）
5 23	1	立野・菊地 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	藤澤・藤澤 （都南ジュニア）	久慈・菊川 （南城小育成会）	菊川・中島 （南城小育成会）	三瓶・小野寺 （前沢ジュニア）	吉村・本宮 （南城小育成会）
	2	三浦・佐藤 （清田スポ少）	小澤・菊地 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	千田・阿部 （前沢ジュニア）	佐々木・森田 （矢沢ジュニア）	楢木・本堂 （北上ジュニア）	山根・中塚 （矢巾シャトル）
6 24	1	安ヶ平・佐藤 （矢巾シャトル）	砂川・藤本 （矢沢ジュニア）	阿部・渡邊 （ﾗｲｽﾞﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ）	菊地・菅原 （衣川Ｊｒスター）	山根・中塚 （矢巾シャトル）	渡邉・千葉 （衣川Ｊｒスター）
	2	小澤・菊地 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	小形・鈴木 （前沢ジュニア）	柳原・飯坂 （前沢ジュニア）	谷川・渡邉 （矢沢キッズ）	柳村・植村 （滝沢ﾊﾞﾄﾞﾗｰZﾞ）	佐藤・管 （赤崎シャトルズ）
7 25	1	砂川・藤本 （矢沢ジュニア）	吉田・飯坂 （前沢ジュニア）	小原・藤井 （Iitoyo B. C）	中塚・渋田 （矢巾シャトル）	柳村・熊谷 （滝沢ﾊﾞﾄﾞﾗｰZﾞ）	佐々木・長山 （赤崎シャトルズ）
	2	及川・菅原 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	川畑・梅原 （水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ）	菊地・菅野 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	山根・安ケ平 （矢巾シャトル）	藤井・菅原 （矢沢ジュニア）	菅原・伊藤 （清田スポ少）
8 26	1	阿部・渡邊 （ﾗｲｽﾞﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ）	伊藤・藤村 （磐清水スポ少）	佐藤・平賀 （湯口ジュニア）	渡邉・藤井 （矢沢ジュニア）	石畠・上平 （矢巾シャトル）	室岡・中塚 （矢巾シャトル）
	2	川畑・梅原 （水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ）	菊地・菅野 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	佐藤・千葉 （磐清水スポ少）	室岡・星川 （矢巾シャトル）	楢木・菊池 （北上ジュニア）	水上・菊池 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）
9 27	1	伊藤・藤村 （磐清水スポ少）	佐々木・佐々木 （石鳥谷ジュニア）	渡部・遠藤 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	石畠・上平 （矢巾シャトル）	室岡・中塚 （矢巾シャトル）	台野・高橋 （Iitoyo B. C）
	2	犬飼・齊藤 （ﾁｬｸﾞﾁｬｸﾞｽﾎﾟｰﾂ）	佐々木・岩渕 （前沢ジュニア）	渡邉・菅原 （矢沢ジュニア）	齋藤・伊藤 （南城小育成会）	川村・渡邉 （矢沢ジュニア）	澤田・熊谷 （滝沢ﾊﾞﾄﾞﾗｰZﾞ）
10 28	1	高橋・佐藤 （湯口ジュニア）	渡部・遠藤 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	千田・梅原 （水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ）	中塚・室岡 （矢巾シャトル）	川村・畠山 （矢沢ジュニア）	菊池・遠藤 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）
	2	佐々木・佐々木 （石鳥谷ジュニア）	菅野・菊地 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	狩野・鈴木 （都南ジュニア）	渡邉・斉藤 （矢沢ジュニア）	川上・渡辺 （南城小育成会）	佐々木・高橋 （矢巾シャトル）
11 29	1	遠藤・渡部 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	藤澤・藤澤 （北上ジュニア）	菊地・小林 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'S）	佐々木・熊谷 （都南ジュニア）	黒田・佐々木 （ﾗｲｽﾞﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ）	佐々木・高橋 （矢巾シャトル）
	2	千葉・浦川 （磐清水クラブ）	後藤・法華津 （水沢ﾌﾞﾗｯｸｷｯｽﾞ）	佐藤・鈴木 （衣川Ｊｒスター）	伊藤・増子 （南城小育成会）	台野・高橋 （飯豊ＢＣ）	鈴木・照井 （滝沢ﾊﾞﾄﾞﾗｰZﾞ）
12 30	1	柴田・渡邉 （矢沢ジュニア）	大矢・久慈 （ﾗｲｽﾞﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ）	佐藤・野呂 （矢沢ジュニア）	高橋・台野 （飯豊ＢＣ）	遠藤・佐藤 （えさしｶﾞﾝﾊﾞｰ'Ｓ）	佐藤・中川 （滝沢ﾊﾞﾄﾞﾗｰZﾞ）
	2	鈴木・佐藤 （衣川Ｊｒスター）	千田・千葉 （前沢ジュニア）	菊地・千田 （前沢ジュニア）	黒田・佐々木 （ﾗｲｽﾞﾋﾙｽﾞｼﾞｭﾆｱ）	千葉・千葉 （衣川Ｊｒスター）	伊藤・幅下 （南城小育成会）

岩手県小学生クラブ対抗（団体）

回 年度	順位	男子の部	女子の部	4年生以下の部
1 平成24	1	前沢ジュニアA	前沢ジュニア	湯口ジュニアA
	2	石鳥谷ジュニアバドミントンクラブ	都南フューチャーズ	矢巾シャトルクラブ
2 25	1	都南Jrフューチャーズ A	滝沢バドラーZ゛A	赤崎シャトルズA
	2	矢沢ジュニア	湯口ジュニア	オール北上
3 26	1	前沢ジュニア	湯口ジュニアA	矢沢ジュニアA
	2	湯口・石鳥谷	衣川Jrスター	えさしガンバー'S ガッツ
4 27	1	矢沢ジュニア	矢巾シャトルG	湯口ジュニアB
	2	都南ジュニアフューチャーズA	赤崎シャトルズA	赤崎シャトルズ
5 28	1	矢沢ジュニアA	赤崎シャトルズA	矢沢ジュニアC
	2	湯口ジュニアA	北上ジュニアA	衣川JrスターB
6 29	1	スペシャルガンバ!	衣川九代目KJスター	衣川ガッツスター
	2	水沢ブラックキッズ	南城小育成会A	南城小育成会A
7 30	1	衣川King スター	赤崎シャトルズA	滝沢バドラーズB
	2	飯豊B C	ハイタッチジュニアバドミントンクラブ	衣川12代目ガッツスター

全国小学生ＡＢＣ大会岩手県予選会

回 年度	順位	男子			女子		
		A（５・６年生）	B（３・４年生）	C（１・２年生）	A（５・６年生）	B（３・４年生）	C（１・２年生）
1 平成 12	1	佐々木翔太 （矢巾ジュニア）	鈴木太智 （清田スポ少）		小原安奈 （ライスヒルズジュニア）	橋本由衣 （ライスヒルズジュニア）	和島恵愛 （フライングシャトラーズ）
2 13	1	田口千晃 （ライスヒルズジュニア）	外川真樹 （フライングシャトラーズ）	菅原　慎也 （水沢ブラックキッズ）	小原　安奈 （ライスヒルズジュニア）	和島　恵愛 （フライングシャトラーズ）	玉山　巴 （矢巾ジュニア）
					※推薦選手　橋本由衣（ライスヒルズジュニア）		
3 14	1	神山龍之介 （清田スポ少）	篠原　宏季 （都南フューチャーズ）	菅原　慎也 （水沢ブラックキッズ）	橋本　由衣 （ライスヒルズジュニア）	伊藤　美紗 （都南フューチャーズ）	玉山　巴 （矢巾ジュニア）
4 15	1	外川　真樹 （フライングシャトラーズ）	菅原　慎也 （水沢ブラックキッズ）	内藤　優貴 （都南フューチャーズ）	田邊　郁恵 （フライングシャトラーズ）	玉山　巴 （都南フューチャーズ）	齊藤　佳奈 （都南フューチャーズ）
5 16	1	篠原　宏季 （都南フューチャーズ）	菅原　慎也 （水沢ブラックキッズ）	村井 聡紀 （都南フューチャーズ）	伊藤　美紗 （都南フューチャーズ）	玉山　巴 （都南フューチャーズ）	浅沼美乃里 （ライスヒルズジュニア）
6 17	1	室岡　大晶 （ライスヒルズジュニア）	内藤　優貴 （都南フューチャーズ）	浅沼竜一郎 （水沢ブラックキッズ）	玉山　巴 （都南フューチャーズ）	村上　晃 （ライスヒルズジュニア）	畠山　静花 （湯口ジュニア）
7 18	1	菅原　慎也 （水沢ブラックキッズ）	村井 聡紀 （都南フューチャーズ）	軽石　直人 （IitoyoBC）	玉山　巴 （都南フューチャーズ）	畠山　静花 （湯口ジュニア）	吉田　朋可 （赤崎シャトルズ）
8 19	1	内藤　優貴 （都南フューチャーズ）	浅沼竜一郎 （水沢ブラックキッズ）	立野　良樹 （ポケモン）	齊藤　佳奈 （都南フューチャーズ）	畠山　静花 （湯口ジュニア）	兼平　美里 （フライングシャトラーズ）
9 20	1	村井 聡紀 （都南フューチャーズ）	小原　楓雅 （北上ジュニア）	佐藤　隆之 （フライングシャトラーズ）	畠山　静花 （湯口ジュニア）	藤井　愛 （湯口ジュニア）	渡邉　ひらり （前田ジュニア）
10 21	1	藤原　望夢 （ライスヒルズジュニア）	筑後　恵太 （湯本クラブ）	久慈　友也 （南城小育成会）	畠山　静花 （湯口ジュニア）	兼平　美里 （フライングシャトラーズ）	吉村　美耶 （南城小育成会）
					※推薦選手　渡邉ひらり（前田ジュニア）		
11 22	1	筑後 恵太 （湯本クラブ）	長谷川 剛之 （石鳥谷ジュニア）	長谷川 祥大 （石鳥谷ジュニア）	藤井 愛 （湯口ジュニア）	吉村 美耶 （南城小育成会）	佐々木 梨子 （湯口ジュニア）
		※推薦選手　久慈　友也（南城小育成会）					
12 23	1	菊地　拓也 （えさしガンバ－'S）	久慈　友也 （南城小育成会）	伊藤　裕哉 （湯口ジュニア）	菊川　優月 （南城小育成会）	吉村　美耶 （南城小育成会）	藤原　里菜 （IitoyoB．C）
		※推薦選手　筑後　恵太（湯本クラブ）					
13 24	1	長谷川 剛之 （石鳥谷ジュニア）	長谷川 祥大 （石鳥谷ジュニア）	佐々木 歩生 （石鳥谷ジュニア）	中島　陽菜 （南城小育成会）	佐々木 梨子 （湯口ジュニア）	伊藤 未悠 （清田スポ少）
		※推薦選手　久慈　友也（南城小育成会）					
14 25	1	藤澤 佳史 （都南ジュニア）	篠田 楓太 （フライングシャトラーズ）	菊地 直仁 （えさしガンバ－S'）	吉村 美耶 （南城小育成会）	藤原 里菜 （ハイタッチジュニア）	森 柑奈 （赤崎シャトルズ）
		※推薦選手　久慈友也・菊川旭飛（南城小育成会）					
15 26	1	長谷川 祥大 （石鳥谷ジュニア）	藤井 海斗 （IitoyoＢＣ）	渡邉 出海 （矢沢ジュニア）	佐々木 梨子 （湯口ジュニア）	鈴木 蒼花 （滝沢バドラーZ）	村松 愛花 （フライングシャトラーズ）
16 27	1	篠田 楓太 （フライングシャトラーズ）	佐藤 史隆 （湯口ジュニア）	千葉　温人 （衣川Jrスター）	藤原 里菜 （ハイタッチジュニア）	志田 菜々海 （水沢ブラックキッズ）	長山 実央 （赤崎シャトルズ）
17 28	1	藤井 海斗 （飯豊ＢＣ）	菅原 槙人 （矢沢ジュニア）	高橋 新太 （湯口ジュニア）	鈴木 蒼花 （滝沢バドラーZ）	長山 実央 （赤崎シャトルズ）	畠山 想来 （ハイタッチジュニア）
18 29	1	佐藤 史隆 （湯口ジュニア）	高橋 好誠 （飯豊ＢＣ）	伊藤 昊祐 （水沢ブラックキッズ）	志田 菜々海 （ハイタッチジュニア）	長山 実央 （赤崎シャトルズ）	畠山 来夢 （ハイタッチジュニア）
19 30	1	鈴木 眞白 （滝沢バドラーZ）	高橋 新太 （湯口ジュニア）	高橋 大陽 （北上ジュニア）	長山 実央 （赤崎シャトルズ）	畠山 想来 （ハイタッチジュニア）	畠山 来夢 （ハイタッチジュニア）

岩手県高等学校総合体育大会　バドミントン競技学校対抗の部

回	年度	男子の部				女子の部			
		1部（全日制）		2部（定時制）		1部（全日制）		2部（定時制）	
		優勝	2位	優勝	2位	優勝	2位	優勝	2位
1	昭和24								
2	25	盛岡	遠野			盛岡市立	盛岡		
3	26	盛岡一	一関一			盛岡市立	盛岡二		
4	27	盛岡一	盛岡二			盛岡市立	盛岡二		
5	28	盛岡二	遠野			盛岡市立	盛岡二		
6	29	盛岡一	盛岡二			盛岡二	盛岡市立		
7	30	岩谷堂	盛岡一	釜石	杜陵	岩谷堂	盛岡二	釜石	杜陵
8	31	盛岡二	盛岡一	釜石	杜陵	盛岡市立	岩谷堂	釜石	－
9	32	前沢	盛岡二	釜石	花巻南	釜石	黒沢尻南	釜石	前沢
10	33	岩谷堂	前沢	釜石	花巻南	岩谷堂	黒沢尻南	釜石	花巻南
11	34	盛岡一	盛岡二	黒沢尻南	黒沢尻工	前沢	盛岡二	釜石	花巻農
12	35	盛岡一	盛岡二	釜石	黒沢尻南	盛岡市立	釜石	釜石	花巻農
13	36	千厩	盛岡一	黒沢尻工	釜石	盛岡二	盛岡市立	釜石	花巻農
14	37	盛岡一	千厩	黒沢尻工	黒沢尻南	盛岡市立	盛岡二	花巻農	花巻南
15	38	岩谷堂	北上商	黒沢尻工	花巻農	盛岡二	盛岡市立	花巻農	花巻南
16	39	専大北上	盛岡一	黒沢尻工	花巻南	千厩	黒沢尻北	花巻農	宮古
17	40	専大北上	花巻農	花巻農	宮古	白百合	釜石南	花巻農	宮古
18	41	岩谷堂	釜石南	花巻農	宮古	黒沢尻南	白百合	花巻南	花巻農
19	42	東和	千厩	花巻農	黒沢尻南	盛岡市立	大迫	花巻農	宮古
20	43	専大北上	水沢商	黒沢尻南	花巻農	千厩	盛岡二	宮古	花巻農
21	44	盛岡四	千厩	花巻農	花巻南	千厩	釜石北	花巻農	花巻南
22	45	専大北上	盛岡四	花巻南	花巻農	釜石南	釜石北	花巻農	花巻南
23	46	盛岡四	岩谷堂	黒沢尻工	花巻農	盛岡四	専大北上	花巻農	花巻南
24	47	盛岡四	盛岡一	黒沢尻工	花巻農	千厩	盛岡市立	花巻農	千厩
25	48	千厩	盛岡四	黒沢尻工	大槌	黒沢尻北	谷村	一関一	杜陵
26	49	専大北上	千厩	黒沢尻工	大槌	花巻農	盛岡四	一関一	杜陵
27	50	千厩	一関一	黒沢尻工	大東	花北商	黒沢尻北	一関一	杜陵（通）
28	51	専大北上	富士短／花巻	大東	黒沢尻工	千厩農	盛岡四	一関一	大槌
29	52	前沢	水沢商	大東	黒沢尻南	千厩農	花巻農	一関一	杜陵
30	53	岩谷堂農	前沢	杜陵	一関一	遠野	花北商	一関一	杜陵（通）
31	54	千厩	前沢	千厩農	杜陵（通）	水沢商	花北商	千厩農	杜陵
32	55	千厩	一関一	千厩農	黒沢尻工	遠野	盛岡市立	千厩農	黒沢尻南
33	56	水沢農	遠野	千厩農	杜陵（通）	盛岡市立	遠野	杜陵（定）	千厩農
34	57	前沢	花巻農	一本木	千厩農	遠野	水沢商	杜陵（定）	千厩農
35	58	前沢	花巻農	黒沢尻南	杜陵（定）	盛岡市立	水沢農	杜陵（定）	黒沢尻南
36	59	前沢	花北商	大船渡	黒沢尻工	黒沢尻南	前沢	杜陵（定）	黒沢尻南
37	60	花北商	前沢	黒沢尻工	杜陵（定）	前沢	花巻農	黒沢尻南	杜陵（定）

回	年度	男子の部				女子の部			
		1部（全日制）		2部（定時制）		1部（全日制）		2部（定時制）	
		優勝	2位	優勝	2位	優勝	2位	優勝	2位
38	昭和61	花巻農	盛岡市立	黒沢尻工	一本木	花巻農	釜石商	杜陵(定)	黒沢尻南
39	62	盛岡市立	花北商	杜陵(通)	黒沢尻工	花巻農	釜石商	杜陵(定)	黒沢尻南
40	63	花巻農	花北商	一本木	黒沢尻工	盛岡市立	花巻農	杜陵(定)	一関一
41	平成元	花北商	前沢	一本木	黒沢尻工	前沢	盛岡市立	一関一	水沢商
42	2	花巻農	前沢	杜陵(定)	長内	前沢	盛岡市立	水沢商	一関一
43	3	前沢	花巻農	水沢商	黒沢尻工	盛岡市立	前沢	水沢商	一関一
44	4	盛岡市立	前沢	水沢商	一本木	前沢	釜石商	杜陵(通)	水沢商
45	5	盛岡市立	盛大附	水沢商	福岡	花北商	盛岡四	杜陵(単)	杜陵(通)
46	6	花巻農	花北商	水沢商	杜陵(単)	前沢	東和	水沢商	杜陵(単)
47	7	盛大附	花巻農	千厩東	一関一	前沢	盛岡女子	杜陵(単)	杜陵(通)
48	8	前沢	花巻農	千厩東	水沢商	花巻農	盛岡市立	釜石南	水沢商
49	9	前沢	花巻農	千厩東	水沢商	前沢	盛岡女子	釜石南	水沢商
50	10	花巻農	前沢	千厩東	一関一	前沢	盛岡市立	釜石南	水沢商
51	11	前沢	盛大附	黒沢尻工	大船渡	前沢	盛岡市立	黒沢尻工	一関一
52	12	前沢	千厩	千厩東	大船渡	前沢	盛岡市立	黒工	杜陵(単)
53	13	前沢	千厩	杜陵(単)	大船渡	前沢	盛岡市立	黒工	大船渡
54	14	前沢	盛四	一関一	大船渡	前沢	盛岡市立	杜陵(単)	杜陵(通)
55	15	前沢	盛岡市立	杜陵(単)	大船渡	前沢	盛岡市立	釜南	杜陵(単)
56	16	前沢	盛岡市立	大船渡	黒沢尻工	黒北	前沢	黒沢尻工	大船渡
57	17	前沢	千厩	杜陵(単)	大船渡	前沢	花北青雲	大船渡	黒沢尻工
58	18	前沢	花北青雲	杜陵(単)	一関一	花北青雲	前沢	杜陵(単)	杜陵(通)
59	19	前沢	専大北上	杜陵(単)	一関一	前沢	盛岡市立	杜陵(単)	杜陵(通)
60	20	前沢	専大北上	一関一	杜陵(単)	黒沢尻北	前沢	杜陵(通)	杜陵(単)
61	21	前沢	花北青雲	杜陵宮古	杜陵(単)	前沢	花北青雲	杜陵宮古	釜石
62	22	前沢	専大北上	水沢商	一関一	花北青雲	前沢	杜陵宮古	杜陵(定)
63	23	花北青雲	専大北上	水沢商	一関一	前沢	花北青雲	杜陵(定)	久慈長内
64	24	前沢	花北青雲	杜陵(定)	福岡	前沢	盛岡市立	杜陵(定)	久慈長内
65	25	前沢	花北青雲	杜陵(定)	一関一	盛岡市立	前沢	杜陵(定)	一関一
66	26	盛岡市立	前沢	杜陵(定)	一関一	花北青雲	前沢	久慈長内	釜石
67	27	前沢	花北青雲	杜陵(定)	久慈長内	花北青雲	前沢	大船渡	杜陵宮古
68	28	前沢	花北青雲	杜陵(定)	久慈長内	花北青雲	前沢	杜陵(定)	久慈長内
69	29	花北青雲	前沢	久慈長内	杜陵(定)	花北青雲	盛岡市立	久慈長内	釜石
70	30	前沢	花北青雲	大船渡	杜陵(定)	花北青雲	盛岡市立	杜陵(定)	釜石

岩手県高等学校総合体育大会 個人戦シングルス・ダブルスの部

回	年度	順位	1部男子シングルス	1部男子ダブルス	1部女子シングルス	1部女子ダブルス
8	昭和31	1	菊池　正美（岩谷堂）	加茂・戸沢（盛岡一）		
		2	高橋　忠夫（黒沢尻南）	長沼・沢田（盛岡二）		
9	32	1	門脇　勝志（前沢）	太田・長内（盛岡二）	野村　京子（釜石）	菊池・野村（釜石）
		2	太田　信雄（盛岡一）	今野・門脇（前沢）	小岩（千厩）	高橋・半沢（黒沢尻南）
10	33	1	斉藤　英機（盛岡一）	吉田・丹治（盛岡一）	半沢　和子（黒沢尻南）	半沢・高橋（黒沢尻南）
		2	佐藤　恭彦（前沢）	斉藤・野々村（盛岡一）	寺田　正子（盛岡二）	寺田・外川（盛岡二）
11	34	1	野々村　勉（盛岡一）	白沢・野々村（盛岡一）	大内　幸子（前沢）	岩間・川村（釜石）
		2	佐々木　勲（前沢）	吉田・長嶺（盛岡一）	江柄　慶子（盛岡二）	佐々木・江柄（盛岡二）
12	35	1	沼里　敬夫（釜石）	篠谷・志村（盛岡二）	向井田妙子（盛岡市立）	草岡・佐々木（釜石）
		2	咲山　久直（一関）	石川・阿部（盛岡一）	高橋　雅子（盛岡市立）	高橋・沢藤（黒沢尻北）
13	36	1	小林　　潔（盛岡一）	小林・村野（盛岡一）	下河原信子（盛岡市立）	菊池・浪瀬（盛岡二）
		2	千葉　　勤（千厩）	阿部・柏舘（釜石）	及川セイ子（岩谷堂）	千葉・笹間（釜石）
14	37	1	松見　宣成（盛岡一）	渡辺・山本（盛岡市立）	下河原信子（盛岡市立）	白沢・下河原（盛岡市立）
		2	金原　良史（黒沢尻北）	松見・佐藤（盛岡一）	鈴木カツ子（千厩）	渡辺・鈴木（千厩）
15	38	1	及川　　靖（北上商）	及川・後藤（北上商）	高橋　建子（岩谷堂）	山本・山本（盛岡二）
		2	菊池　保福（岩谷堂農）	千葉・佐々木（岩谷堂）	村井　美雪（盛岡二）	村井・横沢（盛岡二）
16	39	1	佐々木邦夫（盛岡一）	佐々木・佐々木（盛岡一）	高橋　博子（黒沢尻北）	飯岡・岩泉（盛岡市立）
		2	佐藤　勇一（千厩）	金子・吉田（専大北上）	飯岡　淳子（盛岡市立）	菅原・村上（千厩）
17	40	1	高橋　康行（盛岡一）	高橋・久保田（花巻農）	佐藤　葉子（盛岡市立）	佐藤・佐藤（盛岡市立）
		2	千葉　和義（水沢商）	千葉・渡辺（水沢商）	斉藤真喜子（黒沢尻南）	山本・藤沢（白百合）
18	41	1	菊地　修一（岩谷堂）	平沢・佐藤（大迫）	斉藤せつ子（千厩）	菊池・斉藤（黒沢尻南）
		2	菊池　和典（岩谷堂）	佐藤・熊谷（専大北上）	岳間沢恵子（黒沢尻南）	菊池・谷藤（白百合）
19	42	1	西川　佳夫（盛岡一）	熊谷・金野（千厩）	藤村　洋子（白百合）	斉藤・藤代（千厩）
		2	熊谷　正一（千厩）	佐藤・薄衣（東和）	山内　幸子（盛岡市立）	山内・吉田（盛岡市立）
20	43	1	高橋　道夫（専大北上）	熊谷・斉藤（専大北上）	鈴木　悦子（千厩）	小野・千葉（千厩）
		2	桜田　直美（花巻農）	桜田・淵沢（花巻農）	永沢　恵子（千厩）	鈴木・永沢（千厩）
21	44	1	菅野　好夫（黒沢尻北）	霞・近藤（盛岡四）	藤野あい子（千厩）	竹田・馬場（盛岡四）
		2	熊谷　康文（盛岡商）	佐藤・高橋（専大北上）	佐々木洋子（修紅）	高橋・柿沼（盛岡四）
22	45	1	高橋　信夫（専大北上）	高橋・阿部（専大北上）	白石　光枝（千厩）	洞口・伊藤（釜石南）
		2	佐藤　吉雄（黒沢尻北）	佐藤・菊池（岩谷堂）	千葉恵美子（前沢）	阿部・城沢（黒沢尻南）
23	46	1	千葉　博巳（千厩）	熊谷・小原（黒沢尻北）	藤川　英子（盛岡四）	藤川・宮本（盛岡四）
		2	小原　　剛（専大北上）	佐藤・金野（千厩）	佐藤　京子（専大北上）	佐藤・小竹（専大北上）
24	47	1	村上　信夫（盛岡四）	村上・佐々木（盛岡四）	米倉　恵子（千厩）	米倉・斉藤（千厩）
		2	北野　和敏（釜石南）	佐々木・佐々木（大迫）	高橋千賀子（専大北上）	阿部・佐々木（盛岡市立）
25	48	1	髙田　　満（盛岡一）	伊藤・三浦（千厩）	対馬美智子（千厩）	菊池・八重樫（黒沢尻北）
		2	橋本　　司（盛岡四）	菊池・石崎（花巻農）	菊池　京子（東和）	対馬・鹿又（千厩）
26	49	1	菅原　敬　（千厩）	山口・工藤（専大北上）	斉藤　栄子（黒沢尻南）	渡辺・菊池（花北商）
		2	石川　　淳（前沢）	菊池・熊谷（岩谷堂農）	渡辺みゆき（花北商）	小笠原・藤沢（盛岡四）
27	50	1	菅原　敬　（千厩）	菅原・金野（千厩）	渡辺みゆき（花北商）	渡辺・菊池（花北商）
		2	小野寺賢一（一関一）	菅原（一）・小野寺（一関一）	菊池　朋子（花北商）	昆野・高橋（黒沢尻北）
28	51	1	畠山　静夫（専大北上）	畠山・小原（専大北上）	菊地　孝子（水沢商）	千葉・対馬（千厩）
		2	佐々木和幸（岩谷堂）	石川・菊池（専大北上）	小西　孝子（盛岡四）	川畑・菊地（釜石商）

回	年度	順位	1部男子シングルス	1部男子ダブルス	1部女子シングルス	1部女子ダブルス
29	昭和52	1	岩渕　祐光（前沢）	岩渕・阿部（前沢）	加藤とよみ（千厩農）	加藤・佐藤（千厩農）
		2	金今　輝彰（千厩農）	今野・村上（水沢商）	菅原　俊江（千厩農）	菅原・佐藤（千厩農）
30	53	1	菊地　生昭（岩谷堂農）	石川・石坂（前沢）	継枝　礼子（花巻農）	津田・菊田（水沢商）
		2	村上　力也（水沢商）	菊地・和田（千厩）	高橋ひとみ（黒沢尻南）	高橋・金野（千厩）
31	54	1	菊地　久典（千厩）	菊地・菅原（千厩）	菊池　洋子（遠野）	菊池・鈴木（遠野）
		2	菅原　一行（千厩農）	菅原・金今（千厩農）	本城　知子（水沢商）	幸田・上川（花北商）
32	55	1	高橋　圭司（水沢商）	菅原・村上（千厩）	藤村　恵美（千厩）	藤村・千葉（千厩）
		2	村上　一雄（千厩）	照井・小原（黒沢尻北）	千葉　陽子（釜石北）	小川・武田（盛岡四）
33	56	1	阿部　慎哉（遠野）	佐々木・芳賀（千厩）	宇夫　恵子（遠野）	宇夫・前川（遠野）
		2	岩渕　浩（前沢）	阿部・菊池（遠野）	小野寺恵美子（水沢農）	佐藤・外川（盛岡市立）
34	57	1	阿部　弘和（前沢）	石川・阿部（前沢）	菅原　明美（花泉）	菊池・佐藤（遠野）
		2	山田　満（水沢商）	小田島・久保田（花巻農）	関口真美子（遠野）	菅原・今村（花泉）
35	58	1	近藤　秀信（前沢）	近藤・佐々木（前沢）	加藤美登里（盛岡市立）	菅原・千葉（千厩）
		2	鈴木　広志（前沢）	鈴木・岩淵（英）（前沢）	菊池　和子（遠野）	油井・柏山（水沢商）
36	59	1	鈴木　広志（前沢）	岩淵（清）・菊池（前沢）	細野ゆかり（黒沢尻南）	高橋(春)・細野(黒沢尻南)
		2	阿部　仁（花北商）	鈴木・岩淵（英）（前沢）	佐々木孝子（釜石商）	鈴木・菊池（前沢）
37	60	1	阿部　仁（花北商）	達下・高橋（水沢商）	桜田美知子（花巻農）	鈴木（由）・細川（前沢）
		2	米沢　耕次（盛岡市立）	佐々木・千葉（前沢）	斉藤美由紀（盛岡三）	鈴木（悦）・佐藤（前沢）
38	61	1	渡辺　清一（花北商）	渡辺・高野橋（花北商）	斉藤美由紀（盛岡三）	照井・畠山（花巻農）
		2	佐藤　洋一（花巻農）	佐々木・細川（盛岡市立）	畠山富士子（花巻農）	中村・相沢（盛岡市立）
39	62	1	渡辺　清一（花北商）	渡辺・中澤（花北商）	相沢　咲織（盛岡市立）	田中・坂内（花巻農）
		2	菊地　敏幸（前沢）	佐々木・細川（盛岡市立）	田中　一葉（花巻農）	本間・平野（釜石商）
40	63	1	小原　智雄（花北商）	佐々木・渡辺（花巻農）	坂内　重子（花巻農）	田中・坂内（花巻農）
		2	佐々木健治（花巻農）	小原・中澤（花北南）	相沢　咲織（盛岡市立）	鈴木・大宮（前沢）
41	平成元	1	古館　英樹（前沢）	古館・佐藤（理）（前沢）	及川　裕美（黒沢尻北）	大宮・佐藤（明）（前沢）
		2	佐藤　慎也（花北商）	佐藤・長尾（花北商）	池端　美杉（釜石商）	桜田・諏訪（盛岡市立）
42	2	1	三田　秀治（花巻農）	小原・畠山（花北商）	池端　美杉（釜石商）	高橋(智)・伊藤(盛岡市立)
		2	佐藤　誠（前沢）	三田・安藤（花巻農）	平賀　珠美（花北商）	池端・佐藤（釜石商）
43	3	1	藤井　純（花巻農）	藤井・久保田（花巻農）	杉下　信乃（盛岡市立）	杉下・諏訪（盛岡市立）
		2	佐藤　憲明（尊大北上）	藤原・須川（盛岡市立）	上山　静江（大迫）	照井・平賀（花北商）
44	4	1	菊地　淳（前沢）	菊地・三瓶（前沢）	新淵　明子（花巻農）	佐々木・川村（盛岡三）
		2	村上　正寛（盛岡市立）	伊藤・野中（前沢）	高橋　美和（盛岡市立）	川畑・前川（釜石商）
45	5	1	桐山　英夫（盛岡市立）	桐山・中島（盛岡市立）	野口美奈子（花北商）	福田・古川（盛岡四）
		2	吉田　徳秀（盛岡市立）	及川・佐藤（花北商）	藤原佐和子（花北商）	伊藤・伊藤（花北商）
46	6	1	中舘　聡（盛大附）	柴田・五十嵐（前沢）	野口美奈子（花北商）	野口・藤原（花北商）
		2	佐藤　雄三（花北商）	佐藤・小原（花巻農）	桜　美智代（盛岡四）	阿部・小田島（東和）
47	7	1	中舘　聡（盛大附）	鳴海・佐々木（盛大附）	新渕　里子（花巻農）	本平・細川（前沢）
		2	平賢　淳一（花北商）	阿部・昆（盛岡南）	高橋　朱美（盛岡女子）	横手・坂本（盛岡市立）
48	8	1	菅原　真司（花巻農）	赤石・及川（盛岡四）	新渕　里子（花巻農）	新渕・畠山（花巻農）
		2	那須川智晃（前沢）	菅原・高橋（花巻農）	畠山　ゆみ（花巻農）	石崎・菅原（花巻農）
49	9	1	伊藤　俊幸（花巻農）	千田・佐藤（豪）（前沢）	青野　友希（盛岡市立）	佐藤・広野（前沢）
		2	千田　一馬（前沢）	白幡・小山（盛大附）	藤原　優子（盛岡北）	青野・福崎（盛岡市立）
50	10	1	伊藤　俊幸（花巻農）	伊藤・佐藤（花巻農）	小野　道代（前沢）	柿沼・山下（盛岡市立）
		2	川村　忠広（前沢）	千田・五嶋（前沢）	柿沼　裕美（盛岡市立）	平賀・佐々木（前沢）
51	11	1	川村　忠広（前沢）	千田・川村（前沢）	川村　益美（前沢）	平賀・佐々木（前沢）
		2	千田　達也（前沢）	五嶋・高橋（前沢）	平賀香緒里（前沢）	若槻・川村（前沢）

回 年度	会場地	順位	男子個人戦				女子個人戦			
			シングルス		ダブルス		シングルス		ダブルス	
52 平成12	北上市	1	尾形　工	前沢	尾形・伊従	前沢	川村益美	前沢	川村・千葉	前沢
		2	前田敬一	前沢	久保田・前田	前沢	千葉孝美	前沢	小野寺・那須	前沢
53 13	花巻市	1	小山　学	千厩	昆・佐々木	盛岡第四	川村益美	前沢	川村・千葉	前沢
		2	宮川　真	前沢	中塚・田鎖	盛岡大附	大澤皓子	盛岡市立	齊藤・村上	盛岡市立
54 14	盛岡市	1	宮川　真	前沢	昆・佐々木	盛岡第四	村上　桂	盛岡市立	尾形・那須	前沢
		2	藤田絢也	前沢	藤田・宮川	前沢	那須真由子	前沢	村上・浅沼	盛岡市立
55 15	一関市	1	髙橋　慎	前沢	髙橋・千田	前沢	藤田　祈	前沢	藤田・田鎖	前沢
		2	室岡大輝	前沢	室岡・齊藤	前沢	田鎖志穂	前沢	浅沼・武蔵	盛岡市立
56 16	江刺市	1	小原弘俊	盛岡市立	室岡・齊藤	前沢	吉岡絵里奈	盛岡市立	小田島・田鎖	前沢
		2	室岡大輝	前沢	小岩・岩澤	前沢	堤奈緒子	黒沢尻北	堤・澤田	黒沢尻北
57 17	花巻市	1	岩渕勇輝	前沢	中塚・千田	前沢	田鎖志穂	前沢	田鎖・三好	前沢
		2	千田拓也	前沢	鈴木・外川	前沢	阿部由香里	花北青雲	阿部・石川	花北青雲
58 18	奥州市	1	石川貴寛	前沢	外川・鈴木	前沢	阿部由香里	花北青雲	阿部・石川	花北青雲
		2	外川一也	前沢	石川・石川	前沢	石川温美	花北青雲	谷地・小原	盛岡市立
59 19	花巻市	1	多田祐太	花巻北	吉田・篠原	前沢	内藤　舞	盛岡市立	藤澤・加藤	盛岡第四
		2	平賀勇貴	花北青雲	外川・玉山	前沢	舘脇祐未	前沢	玉山・齊藤	前沢
60 20	奥州市	1	外川真樹	前沢	外川・玉山	前沢	熊谷安乃	黒沢尻北	齊藤・高橋	前沢
		2	菊地　長	前沢	小原・鎌田	花北青雲	石畠由美	花北青雲	熊谷・八重樫	黒沢尻北
61 21	北上市	1	外川真樹	前沢	外川・玉山	前沢	岩渕悠里亜	前沢	田邊・内藤	盛岡市立
		2	篠原宏季	前沢	鈴木・村松	前沢	上野美咲	前沢	上野・田鎖	前沢
62 22	一関市	1	藤谷誠仁	前沢	篠原・門脇	前沢	上野美咲	前沢	上野・田鎖	前沢
		2	篠原宏季	前沢	藤谷・若生	前沢	石畠由美	花北青雲	石畠・小笠原	花北青雲
63 23	奥州市	1	菊地裕太	前沢	室岡・筑後	花北青雲	小笠原理	花北青雲	小笠原・小笠原	花北青雲
		2	小原広紀	専大北上	津田・安部	前沢	古川佳奈	前沢	澤藤・田村	専大北上
64 24	奥州市	1	菊地裕太	前沢	菊地・木村	前沢	古川佳奈	前沢	玉山・古川	前沢
		2	筑後　和	花北青雲	岩渕・遠藤	前沢	髙橋　咲	盛岡市立	田村・久保田	専大北上
65 25	花巻市	1	菊地裕太	前沢	菊地・木村	前沢	古川佳奈	前沢	古川・浅沼	前沢
		2	筑後　和	花北青雲	小原・藤根	花北青雲	髙橋　咲	盛岡市立	遠藤・高橋	盛岡市立
66 26	一関市	1	村井聡紀	盛岡市立	村井・原	盛岡市立	畠山静花	花北青雲	畠山・中島	花北青雲
		2	千田拳士朗	専大北上	髙橋・藤原	花北青雲	平渡　咲	盛岡市立	佐山・平渡	盛岡市立
67 27	花巻市	1	菊地拓也	前沢	軽石・田村	前沢	畠山静花	花北青雲	畠山・中島	花北青雲
		2	軽石直人	前沢	髙橋・藤原	花北青雲	藤井　愛	花北青雲	藤井・金野	花北青雲
68 28	一関市	1	菊地拓也	前沢	軽石・田村	前沢	金野夕香	花北青雲	金野・藤井	花北青雲
		2	軽石直人	前沢	野田・三浦	花北青雲	藤井　愛	花北青雲	松好・長岡	前沢
69 29	一関市	1	菊地拓也	前沢	菊地・佐藤	前沢	中島陽菜	花北青雲	市原・中島	花北青雲
		2	千田壱郎	前沢	藤澤・阿部	盛岡市立	佐々木花鈴	盛岡市立	廣澤・森田	盛岡市立
70 30	花巻市	1	髙橋優飛	前沢	菊地・山口	花北青雲	中島陽菜	花北青雲	中島・古村	花北青雲
		2	藤澤　亮	盛岡市立	髙橋・佐藤	前沢	三瓶萌梨	花北青雲	藤井・千葉	前沢

岩手県高等学校新人大会

36年以降高校新人（団体戦）
38年以降高校新人（団体・個人戦）

回	年度	順位	男子団体	女子団体	男子シングルス	男子ダブルス	女子シングルス	女子ダブルス
1	昭和36	1	盛岡一	千厩				
		2	北上商	盛岡二				
2	37	1	北上商	岩谷堂				
		2	黒沢尻工	盛岡二				
3	38	1	北上	千厩	後藤郁夫（北上）	後藤・星（北上）	菅原栄子（千厩）	飯岡・岩泉（盛岡市立）
		2	盛岡一	黒沢尻北	佐々木彦士（盛岡一）	金子・吉田（北上）	岩泉憲子（盛岡市立）	菅原・村上（千厩）
4	39	1	東和	白百合	高橋英雄（花巻農）	高橋・久保田（花巻農）	佐藤葉子（盛岡市立）	佐藤・佐藤（盛岡市立）
		2	花巻農	釜石南	高橋康行（盛岡一）	及川・及川（岩谷堂）	熊谷里子（黒沢尻北）	山本・藤沢（白百合）
5	40	1	釜石南	黒沢尻南	菊池修一（岩谷堂）	柏舘・伊藤（釜石南）	菊池篤子（白百合）	藤田・寺島（盛岡市立）
		2	岩谷堂	白百合	山口泰広（釜石南）	村川・斉藤（盛岡一）	及川幾子（盛岡二）	阿部・八重樫（釜石南）
6	41	1	盛岡一	盛岡市立	西川佳夫（盛岡一）	佐藤・西川（盛岡一）	斉藤せつ子（千厩）	藤村・達増（白百合）
		2	千厩	白百合	熊谷正一（千厩）	山口・鎌田（盛岡商）	藤村洋子（白百合）	斉藤・藤代（千厩）
7	42	1	黒沢尻北	千厩	高橋一夫（一関一）	熊谷・斉藤（専大北上）	鈴木悦子（千厩）	鈴木・永沢（千厩）
		2	北上商	釜石北	佐藤政由（岩谷堂）	高橋・川村（水沢商）	菊池悦子（釜石北）	菊池・及川（釜石北）
8	43	1	盛岡四	修紅	近藤敏彦（盛岡四）	霞・近藤（盛岡四）	佐々木洋子（修紅）	藤原・古川（釜石北）
		2	黒沢尻北	千厩	菅野好文（黒沢尻北）	菅野・佐藤（黒沢尻北）	台野則子（大槌）	竹田・馬場（盛岡四）
9	44	1	専大北上	黒沢尻南	高橋信夫（専大北上）	高橋・阿部（専大北上）	白石光枝（千厩）	小野寺・時舘（盛岡市立）
		2	黒沢尻北	盛岡市立	阿部哲夫（専大北上）	豊田・佐藤（黒沢尻北）	洞口美奈子（釜石南）	宍戸・谷川（花巻農）
10	45	1	岩谷堂	盛岡四	永沢文史郎（盛岡四）	千葉・佐藤（千厩）	佐藤京子（専大北上）	佐藤・上野（修紅）
		2	黒沢尻北	専大北上	千葉博巳（千厩）	菅原・及川（岩谷堂）	谷千恵子（水沢商）	佐藤・小竹（専大北上）
11	46	1	大迫	千厩	村上信夫（盛岡四）	村上・佐々木（盛岡四）	斉藤洋子（千厩）	米倉・斉藤（千厩）
		2	黒沢尻北	盛岡市立	中山喜久雄（岩谷堂）	浅沼・中森（盛岡四）	小野寺米子（千厩）	小笠原・木下（釜石南）
12	47	1	花巻農	黒沢尻北	伊藤雅博（千厩）	伊藤・三浦（千厩）	対馬美智子（千厩）	対馬・鹿又（千厩）
		2	千厩	谷村学院	石崎信彦（花巻農）	橋本・松田（盛岡四）	小原和代（花巻農）	菅原・高橋（谷村）
13	48	1	千厩	花巻農	佐々木忠紀（大迫）	石川・菅原（前沢）	熊谷きよ子（千厩）	熊谷・平賀（花巻農）
		2	一関一	黒沢尻南	亀ケ森義広（盛岡市立）	佐々木・古館（大迫）	山田久子（盛岡二）	小笠原・藤沢（盛岡四）
14	49	1	一関一	花北商	菅原敬二（千厩）	菅原・金野（千厩）	渡辺みゆき（花北商）	渡辺・菊池（花北商）
		2	千厩	黒沢尻南	小野寺賢一（一関一）	菅原・小野寺（一関一）	菊池朋子（花北商）	高橋・高橋（黒沢尻南）
15	50	1	前沢	千厩農	畠山静夫（専大北上）	鮎田・二川（富士花巻）	菊池孝子（水沢商）	千葉・対馬（千厩）
		2	富士花巻	千厩	鮎田新一（富士花巻）	金今・金今（千厩農）	千葉裕子（千厩）	伊藤・小笠原（専大北上）
16	51	1	前沢	千厩農	岩淵裕光（前沢）	佐藤・鈴木（水沢商）	加藤とよみ（千厩農）	加藤・佐藤（千厩農）
		2	盛岡四	千厩	横道康博（盛岡四）	阿部・佐々木（前沢）	菊池文子（釜石南）	佐藤・菊池（千厩）
17	52	1	岩谷堂農	遠野	村上力也（水沢商）	石川・石坂（前沢）	継枝礼子（花巻農）	菊池・菊池（遠野）
		2	水沢商	水沢商	石川聡（前沢）	千葉・菊池（岩谷堂農）	菊池一枝（遠野）	大浪・小野寺（千厩）
18	53	1	千厩農	遠野	岩淵悦郎（前沢）	菅原・金今（千厩農）	菊池洋子（遠野）	幸田・上川（花北商）
		2	花巻農	前沢	菅原一行（千厩農）	菊地・山田（千厩）	佐藤富美（大東）	伊藤・石川（前沢）
19	54	1	千厩	盛岡市立	菅原伸行（千厩）	菅原・村上（千厩）	武田さなえ（盛岡四）	小川・武田（盛岡四）
		2	一関一	千厩	村上一雄（千厩）	高橋・高橋（黒沢尻工）	細川美佳子（釜石南）	桜・玉山（盛岡市立）
20	55	1	水沢農	盛岡市立	阿部慎哉（遠野）	佐々木・芳賀（千厩）	外川公子（盛岡市立）	佐藤・外川（盛岡市立）
		2	遠野	遠野	菅原良晴（釜石北）	高野橋・菊池（花北商）	宇夫恵子（遠野）	宇夫・前川（遠野）

回	年度	順位	男子団体	女子団体	男子シングルス	男子ダブルス	女子シングルス	女子ダブルス
21	昭和56	1	前沢	花巻農	山田 満（水沢商）	石川・阿部（前沢）	菅原明美（花泉）	菊地・佐藤（遠野）
		2	花巻農	花泉	阿部弘和（前沢）	小田島・久保田（花巻農）	小野寺浩子（一関一）	菅原・今村（花泉）
22	57	1	一関一	盛岡市立	渡辺隆雄（釜石北）	近藤・佐々木（前沢）	菊池和子（遠野）	菊池・佐々木（遠野）
		2	遠野	遠野	近藤秀信（前沢）	岩淵（英）・鈴木（前沢）	油井由美子（水沢商）	加藤・忠海（盛岡市立）
23	58	1	前沢	黒沢尻南	鈴木広志（前沢）	岩淵（清）・菊地（前沢）	細野ゆかり（黒沢尻南）	高橋（春）・細野（黒沢尻南）
		2	花巻農	盛岡市立	阿部 仁（花北商）	鈴木・岩淵（英）（前沢）	高橋春美（黒沢尻南）	桜田・高橋（花巻農）
24	59	1	花北商	花巻農	阿部仁（花北商）	阿部・高野橋（花北商）	桜田美知子（花巻農）	八丁野・坂内（盛岡市立）
		2	前沢	盛岡市立	佐々木清喜（前沢）	久保田・小野寺（花巻農）	八丁野愛子（盛岡市立）	細川・鈴木（由）（前沢）
25	60	1	花北商	黒沢尻南	黒川岳彦（釜石南）	佐々木・細川（泰）（盛岡市立）	斉藤美由紀（盛岡三）	照井・畠山（花巻農）
		2	盛岡市立	前沢	鎌田博之（釜石南）	佐藤・小野寺（花巻農）	本間清美（釜石商）	斉藤・小川（盛岡三）
26	61	1	盛岡市立	釜石商	渡辺清一（花北商）	渡辺・中澤（花北商）	本間清美（釜石商）	田中・坂内（花巻農）
		2	花北商	花巻農	小原智雄（花北商）	佐々木・細川（泰）（盛岡市立）	佐藤陽子（一関二）	菅原・諏訪（盛岡市立）
27	62	1	花巻農	盛岡市立	小原智雄（花北商）	佐々木・渡辺（花巻農）	坂内重子（花巻農）	桜田・諏訪（盛岡市立）
		2	花北商	花巻農	佐々木健治（花巻農）	古館・佐藤（前沢）	相沢沙織（盛岡市立）	相沢・千葉（盛岡市立）
28	63	1	前沢	前沢	古館英樹（前沢）	古館・佐藤（前沢）	桜田貞子（盛岡市立）	桜田・諏訪（盛岡市立）
		2	花北商	黒沢尻北	佐藤理光（前沢）	佐藤・長尾（花北商）	桐山博子（雫石）	佐藤（明）・今野（前沢）
29	平成元	1	花巻農	盛岡市立	三田秀治（花巻農）	三田・安藤（花巻農）	佐藤明美（前沢）	高橋・伊藤（盛岡市立）
		2	花北商	前沢	小原正弘（花北商）	藤井（純）・久保田（花巻農）	池端美杉（釜石商）	平賀・照井（花北商）
30	2	1	花巻農	盛岡市立	藤井 純（花巻農）	藤井・久保田（花巻農）	杉下信乃（盛岡市立）	杉下・諏訪（盛岡市立）
		2	前沢	前沢	久保田祐治（花巻農）	平田・吉田（前沢）	上山静江（大迫）	照井・平賀（花北商）
31	3	1	前沢	盛岡市立	菊地 淳（前沢）	村上・一本木（盛岡市立）	新渕明子（花巻農）	高橋・村上（盛岡市立）
		2	盛岡市立	前沢	伊藤弘敏（前沢）	中澤・高橋（花北商）	村上純子（盛岡市立）	佐々木・岡本（盛岡市立）
32	4	1	盛岡市立	花北商	桐山英夫（盛岡市立）	桐山・中島（盛岡市立）	菊地咲恵（前沢）	福田・古川（盛岡四）
		2	前沢	盛岡四	阿部鉄也（盛岡南）	吉田・上野（盛岡市立）	伊藤望美（花北商）	藤原・野口（花北商）
33	5	1	花巻農	盛岡女子	広田定美（盛大附）	菅原・佐藤（前沢）	野口美奈子（花北商）	野口・藤原（花北商）
		2	盛大附	盛岡四	佐藤正則（花巻農）	宍戸・久保田（花巻農）	阿部梨香（東和）	石塚・中村（盛岡四）
34	6	1	盛大附	盛岡女子	中舘 聡（盛大附）	梅木・菊池（花巻農）	新渕里子（花巻農）	本平・細川（前沢）
		2	盛岡南	前沢	梅木和也（花巻農）	小原・平賀（花北商）	安本綾子（盛岡三）	戸来・藤原（花北商）
35	7	1	前沢	盛岡女子	那須川智晃（前沢）	那須川・岩渕（前沢）	新渕里子（花巻農）	新渕・畠山（花巻農）
		2	盛岡四	盛岡市立	赤石幸信（盛岡四）	赤石・及川（盛岡四）	藤原由香利（花北商）	新屋・入間川（盛岡女子）
36	8	1	前沢	盛岡市立	菅原一由（前沢）	菅原・及川（前沢）	菅野友希（盛岡市立）	小野・渡邊（前沢）
		2	花巻農	前沢	小山 勇（盛大附）	千田・佐藤（前沢）	佐藤奏恵（前沢）	古舘・田鎖（盛岡市立）
37	9	1	前沢	前沢	伊藤俊幸（花巻農）	伊藤・佐藤（花巻農）	小野道代（前沢）	小野・佐藤（前沢）
		2	花巻農	盛岡女子	川村忠広（前沢）	小野寺・川村（前沢）	平賀香緒里（前沢）	福田・八重樫（盛岡市立）
38	10	1	前沢	前沢	川村忠広（前沢）	千田・川村（前沢）	佐々木歩美（前沢）	平賀・佐々木（前沢）
		2	盛大附	盛岡市立	千田達也（前沢）	五嶋・高橋（前沢）	平賀香緒里（前沢）	福田・八重樫（盛岡市立）

回数	年度	会場地	順位	学校対抗		男子個人戦		女子個人戦	
				男子	女子	男子シングルス	男子ダブルス	女子シングルス	女子ダブルス
39	平成11	水沢市	1	盛岡大付属	前沢	尾形 工（前沢）	平賀・室岡（前沢）	川村 益美（前沢）	川村・千葉（前沢）
			2	前沢	盛岡市立	高橋 万有（盛一）	高橋・石亀（盛一）	高橋 沙妃（盛岡市）	佐藤百・佐藤茉（盛岡市）
40	12	一関市	1	盛岡大付属	前沢	小山 学（千厩）	藤本・谷川（花巻北）	川村 益美（前沢）	川村・千葉（前沢）
			2	盛岡第四	盛岡市立	亀ヶ森 有（盛大附）	亀ヶ森・高橋（盛大附）	佐藤 千春（前沢）	尾形・那須（前沢）
41	13	一関市	1	前沢	盛岡市立	宮川 真（前沢）	昆・佐々木（盛四）	村上 桂（盛岡市）	尾形・那須（前沢）
			2	盛岡第四	前沢	藤田 絢也（前沢）	高橋・千田（前沢）	那須真由子（前沢）	村上・浅沼（盛岡市）
42	14	江刺市	1	前沢	盛岡市立	高橋 慎（前沢）	高橋・千田（前沢）	藤田 祈（前沢）	藤田・熊谷（前沢）
			2	盛岡市立	前沢	千田 祐也（前沢）	室岡・齊藤（前沢）	武蔵奈保子（盛岡市）	小野寺・澤田（黒北）
43	15	花巻市	1	前沢	黒沢尻北	室岡 大輝（前沢）	室岡・齊藤（前沢）	堤 奈緒子（黒北）	田鎖・小田島（前沢）
			2	盛岡市立	前沢	小原 弘俊（盛岡市）	岩渕・岩渕（前沢）	吉岡絵里奈（盛岡市）	堤・澤田（黒北）
44	16	水沢市	1	前沢	花北青雲	千田 拓哉（前沢）	鈴木・外川（前沢）	田鎖 志穂（前沢）	阿部・石川（青雲）
			2	千厩	前沢	中塚 粧太（前沢）	多田・藤本（花巻北）	阿部由香里（青雲）	菅野・川村（青雲）
45	17	一関市	1	前沢	花北青雲	石川 貴寛（前沢）	鈴木・外川（前沢）	阿部由香里（青雲）	阿部・石川（青雲）
			2	花北青雲	前沢	鈴木 秀治（前沢）	石川・石川（前沢）	石川 温美（青雲）	尾形・玉山（前沢）
46	18	北上市	1	前沢	前沢	田口 千晃（前沢）	篠原・吉田（前沢）	内藤 舞（市立）	内藤・小原（市立）
			2	専大北上	盛岡市立	菊池 祥（前沢）	田口・菊池（前沢）	渡邉 未紗（青雲）	藤澤・加藤（盛四）
47	19	奥州市	1	前沢	前沢	外川 真樹（前沢）	外川・玉山（前沢）	舘脇 祐未（前沢）	齊藤・高橋（前沢）
			2	専大北上	黒沢尻北	菊池 長（前沢）	木村・小山（前沢）	熊谷 安乃（黒北）	熊谷・八重樫（黒北）
48	20	花巻市	1	前沢	前沢	外川 真樹（前沢）	外川・玉山（前沢）	石畠 由美（青雲）	阿部・石畠（青雲）
			2	専大北上	花北青雲	藤谷 誠仁（前沢）	鈴木・村松（前沢）	浅沼ひかる（盛四）	大野・玉山（青雲）
49	21	奥州市	1	前沢	花北青雲	藤谷 誠仁（前沢）	藤谷・若生（前沢）	上野 美咲（前沢）	石畠・小笠原理（青雲）
			2	専大北上	前沢	篠原 宏季（前沢）	門脇・篠原（前沢）	石畠 由美（青雲）	上野・田鎖（前沢）
50	22	北上市	1	専大北上	花北青雲	室岡 大晶（青雲）	千田・石川（前沢）	小笠原 渓（青雲）	小笠原・小笠原（青雲）
			2	前沢	前沢	小原 宏紀（専北）	油井・門脇（水沢一）	小笠原 理（青雲）	澤田・田村（専北）
51	23	花巻市	1	前沢	前沢	菊地 裕太（前沢）	菊地・木村（前沢）	古川 佳奈（前沢）	遠藤・宮野（市立）
			2	花北青雲	盛岡市立	菅原 慎也（水沢一）	遠藤・岩渕（前沢）	高橋 咲（市立）	玉山・古川（前沢）
52	24	一関市	1	前沢	盛岡市立	菊池 裕太（前沢）	菊地・木村（前沢）	古川 佳奈（前沢）	古川・浅沼（前沢）
			2	花北青雲	前沢	筑後 和（青雲）	小原・藤根（青雲）	高橋 咲（市立）	高橋・遠藤（市立）
53	25	奥州市	1	盛岡市立	花北青雲	村井 聡紀（市立）	村井・原（市立）	畠山 静香（青雲）	畠山・中島（青雲）
			2	前沢	盛岡市立	原 優助（市立）	高橋・藤原（青雲）	平渡 咲（市立）	桐田・重石（市立）
54	26	奥州市	1	前沢	花北青雲	軽石 直人（前沢）	軽石・田村（前沢）	畠山 静花（青雲）	畠山・中島（青雲）
			2	花北青雲	前沢	野田 瑞貴（青雲）	高橋・藤原（青雲）	藤井 愛（青雲）	松好・長岡（前沢）
55	27	奥州市	1	前沢	花北青雲	軽石 直人（前沢）	軽石・田村（前沢）	金野夕香（青雲）	藤井・金野（青雲）
			2	花北青雲	前沢	菊地拓也（前沢）	野田・三浦（青雲）	木立千夏（前沢）	佐々木・市原（青雲）
56	28	奥州市	1	前沢	花北青雲	菊地拓也（前沢）	三浦・吉田（青雲）	中島 陽菜（青雲）	市原・佐々木（青雲）
			2	花北青雲	盛岡市立	三浦 大（青雲）	菊地・佐藤（前沢）	市原 杏奈（青雲）	佐藤・菊川（青雲）
57	29	奥州市	1	花北青雲	花北青雲	藤澤 亮（市立）	菊地・山口（青雲）	中島 陽菜（青雲）	中島・吉村（青雲）
			2	前沢	前沢	髙橋優飛（前沢）	髙橋・千田（前沢）	藤井 美波（前沢）	三瓶・柳村（青雲）
58	30	奥州市	1	前沢	花北青雲	千田壱郎（前沢）	千田・小形（前沢）	千葉ひなた（前沢）	吉村・佐々木（青雲）
			2	花北青雲	盛岡市立	砂川竜輝（青雲）	阿部・菊地（前沢）	高橋 美荻（青雲）	柳村・高橋（青雲）

岩手県中学校総合体育大会バドミントン競技成績

回数	年度	男子団体	女子団体	男子シングルス		男子ダブルス		女子シングルス		女子ダブルス	
11	昭和39	北上中	西南中								
12	40	北上中	花巻中								
13	41	花巻中	木細工中								
14	42	雫石中	玉里中								
15	43	千厩中	木細工中								
16	44	江刺一中	矢沢中								
17	45	江刺一中	湯口中								
18	46	川崎中	花泉北中								
19	47	川崎中	川崎中								
20	48	川崎中	侍浜中								
21	49	前沢中	川崎中								
22	50	川崎中	東山中								
23	51	川崎中	衣川中								
24	52	川崎中	川崎中								
25	53	千厩中	侍浜中								
26	54	平泉中	湯口中								
27	55	平泉中	侍浜中	袖林毅人	雫石中	浅利・岩淵	平泉中	谷崎裕子	侍浜中	平賀明・平賀千	湯口中
28	56	江釣子中	雫石中	三浦謙一	平泉中	鈴木・岩淵	前沢中	谷地春子	雫石中	熊谷・佐藤	下小路中
29	57	湯口中	雫石中	久保田佳二	湯口中	阿部・久保田	湯口中	横手智江美	雫石中	八丁野・坂内	雫石中
30	58	湯口中	大平中	佐藤洋一	湯口中	小野寺・高野橋	湯口中	中村靖子	雫石中	畠山・高橋	湯口中
31	59	湯口中	雫石中	渡辺清一	湯口中	細川・佐々木	雫石中	本間清美	大平中	諏訪・坂内	雫石中
32	60	湯口中	湯口中	中沢　毅	湯口中	佐々木・小野寺	湯口中	相沢咲織	雫石中	照井・田中	湯口中
33	61	雫石中	雫石中	古舘英樹	雫石中	志田・高橋	雫石中	諏訪美枝子	雫石中	桜田・袖林	雫石中
34	62	湯口中	雫石中	菅原幸基	雫石中	佐々木・畠山	湯口中	高橋智香子	雫石中	伊藤・晴山	雫石中
35	63	外山中	雫石中	藤井　純	湯口中	平賀・久保田	湯口中	照井真由美	湯口中	赤坂・山崎	雫石中
36	平成元	雫石中	雫石中	一本木久志	雫石中	村上・原	雫石中	高橋美和	雫石中	佐々木・石塚	雫石中
37	2	雫石中	米内中	桐山英夫	雫石中	阿部・中島	雫石中	村上純子	米内中	伊藤・戸田	江釣子中
38	3	湯本中	雫石中	広田定美	外山中	畠山・久保田	湯口中	桐山淳子	雫石中	畑中・立花	矢巾中
39	4	藪川中	湯口中	中舘　聡	外山中	佐々木・鳴海	藪川中	高橋美奈子	湯口中	佐々木・三浦	藪川亀橋中
40	5	矢巾中	西南中	及川耕平	矢巾中	那須川・千田	前沢中	新淵里子	西南中	菅原・畠山	湯口中
41	6	唐丹中	湯口中	熊谷　拓	矢沢中	鈴木・白幡	唐丹中	菊地絢子	城西中	平野・佐々木	東和
42	7	矢沢中	江刺一中	石崎誠治	矢沢中	照井・川村	矢沢中	菊地絢子	城西中	広野・千葉	江刺一中
43	8	藪川中	江刺一中	川村忠広	矢沢中	小倉・日野杉	藪川中	菊地絢子	城西中	宮沢・平賀	湯口中

回数	年度	男子団体	女子団体	男子シングルス		男子ダブルス		女子シングルス		女子ダブルス	
44	平成9	矢巾中	矢沢中	高橋万有	矢巾中	石亀・桜小路	雫石中	川村益美	矢沢中	佐藤百・佐藤実	下小路中
45	10	矢沢中	矢沢中	熊谷　徹	矢沢中	昆　・佐々木	矢巾中	川村益美	矢沢中	佐藤・鈴木	東山中
46	11	矢沢中	飯岡中	宮崎賢治	下小路中	昆　・佐々木	矢巾中	尾形真記江	大東中	那須・岩淵	大東中
47	12	小山中	矢沢中	川内崇士	小山中	高橋・佐藤	小山中	浅沼幸恵	飯岡中	藤田・多田	矢沢中
48	13	矢巾中	西南中	齋藤　毅	土淵中	松浦・上川原	矢巾中	吉岡絵里奈	矢巾北中	菊池・大森	小佐野中
49	14	矢巾中	江釣子中	村上竜也	飯岡中	松浦・上川原	矢巾中	菅野智巳	飯豊中	田鎖・三好	江釣子中
50	15	前沢中	矢巾中	佐々木翔太	矢巾中	鈴木・石川	前沢中	橋本由衣	白百合中	阿部・石川	矢巾中
51	16	湯口中	飯豊中	平賀勇貴	湯口中	伊藤・篠原	見前南中	玉山　希	紫波一中	森・齊藤	見前南中
52	17	矢沢中	矢巾中	外川真樹	藪川中	鎌田・小原	矢沢中	齊藤奈穂	見前南中	木原・阿部	矢巾中
53	18	前沢中	矢巾中	外川真樹	藪川中	佐藤・鎌田	矢沢中	石畠由美	矢巾中	上野・鈴木	見前南中
54	19	前沢中	見前南	藤谷誠仁	水沢南中	千葉・金今	川崎中	石畠由美	矢巾中	森・鈴木	見前南中
55	20	前沢中	赤崎中	小原宏紀	江釣子中	千田・石川	前沢中	齊藤佳奈	見前南中	小笠原・小笠原	米内中
56	21	前沢中	赤崎中	畠山主税	湯口中	安部・吉田	前沢中	齊藤佳奈	見前南中	志田・石橋	赤崎中
57	22	湯本中	前沢中	佐々木勇輔	城西中	筑後・藤根	湯本中	齊藤佳奈	見前南中	遠藤・宮野	城西中
58	23	前沢中	湯口中	村井聡紀	大宮中	富山・下坂	東和中	畠山静花	湯口中	佐山・平渡	雫石中
59	24	前沢中	湯口中	菅原慎也	小山中	大森・長谷川	前沢中	畠山静花	湯口中	久慈・長岡	矢沢中
60	25	飯豊中	矢沢中	野田瑞貴	赤崎中	田村・軽石	飯豊中	藤井　愛	湯口中	長岡・佐々木	矢沢中
61	26	見前南中	矢沢中	菊地拓也	江刺一中	三浦・伊藤	千厩中	中島陽菜	矢沢中	市原・佐々木	矢沢中
62	27	前沢中	前沢中	菊川旭飛	矢沢中	阿部・千田	前沢中	中島陽菜	矢沢中	小野寺・髙橋	前沢中
63	28	矢沢中	湯口中	菊川旭飛	矢沢中	千田・小形	前沢中	吉村美耶	南城中	照井・髙橋	湯口中
64	29	千厩中	衣川中	長谷川祥大	石鳥谷中	阿部・菅原	前沢中	佐々木梨子	湯口中	千葉・渡邉	衣川中
65	30	湯口中	見前南中	佐藤　悠	千厩中	篠田・渡邊	岩大附属中	熊谷　雅	松園中	吉田・鈴木	見前南中

岩手県中学校新人大会バドミントン競技成績

年 回数	種目	男子		女子	
		1位	2位	1位	2位
第1回	団体	平泉中	前沢中	雫石中	西根中
第2回	団体	湯口中	江釣子中	雫石中	大迫中
第3回	団体	湯口中	江釣子中	雫石中	湯口中
第4回	団体	湯口中	雫石中	雫石中	大平中
第5回	団体	湯口中	雫石中	雫石中	雫石中
第6回	団体	湯口中	雫石中	雫石中	大平中
1部第7回	団体	湯口中	雫石中	雫石中	湯口中
2部第7回	団体	外山中	雫石中	雫石中	湯口中
第8回	団体	雫石中	湯口中	雫石中	湯口中
第9回	団体	雫石中	湯口中	雫石中	大平中
平成元年 第10回	団体	雫石中	外山中	雫石中	湯口中
	単	桐山英夫 (雫石中)	佐々木一誠 (前沢中)	村上純子 (米内中)	小坂久美子 (雫石中)
	複	阿部・中島 (雫石中)	吉田・林崎 (雫石中)	福田・古川 (米内中)	平野・柴原 (大平中)
平成2年 第11回	団体	湯口中	湯本中	雫石中	矢巾中
	単	廣田定美 (外山中)	上川原和幸 (雫石中)	櫻　美智代 (藪川中)	桐山淳子 (雫石中)
	複	及川・遠藤 (小佐野中)	熊谷・鎌田 (湯本中)	八丁野・石塚 (雫石中)	上川原・高橋 (雫石中)
平成3年 第12回	団体	雫石中	湯口中	雫石中	西南中
	単	中舘　聡 (外山中)	煙山　誠 (雫石中)	高橋美奈子 (湯口中)	草葉美加子 (花巻中)
	複	佐々木・鳴海 (藪川中)	高橋・月折 (城西中)	横手・上和野 (雫石中)	小原・戸来 (西南中)
平成4年 第13回	団体	唐丹中	湯本中	西南中	湯口中
	単	赤石幸信 (外山中)	留畑丈治 (唐丹中)	新渕里子 (西南中)	石崎恵理子 (矢沢中)
	複	那須川・千田 (前沢中)	鈴木・白幡 (唐丹中)	藤原・阿部 (西南中)	菅原・畠山 (湯口中)

年 回数	種目	男子		女子	
		1位	2位	1位	2位
平成5年 第14回	団体	唐丹中	矢沢中	湯口中	西南中
	単	熊谷　拓 (矢沢中)	小山　勇 (川崎中)	佐々木芙美子 (滝沢南中)	安藤裕美 (西南中)
	複	川村・高橋 (矢沢中)	鈴木・白幡 (唐丹中)	高橋・中村 (湯口中)	平野・佐々木 (東和中)
平成6年 第15回	団体	矢沢中	湯本中	小山中	江刺第一中
	単	石崎誠治 (矢沢中)	阿部智章 (滝沢南中)	菊地絢子 (城西中)	佐藤美幸 (湯口中)
	複	小野寺・藤井 (湯口中)	大石・高橋 (湯本中)	小野・渡辺 (小山中)	平賀・平賀 (湯口中)
平成7年 第16回	団体	藪川中	北上中	江刺第一中	米内中
	単	川村忠広 (矢沢中)	千田達也 (前沢中)	菊地絢子 (城西中)	高橋久美子 (江刺第一中)
	複	小倉・日野杉 (藪川中)	及川・備前 (北上中)	遠藤・若槻 (小山中)	宮澤・平賀 (湯口中)
平成8年 第17回	団体	矢巾中	雫石中	西南中	矢沢中
	単	高橋万有 (矢巾中)	室岡翔太 (矢巾中)	川村益美 (矢沢中)	高橋由紀 (江刺第一中)
	複	城守・山影 (湯本中)	石亀・桜小路 (雫石中)	和賀・菅原 (江刺第一中)	高橋・及川 (前沢中)
平成9年 第18回	団体	矢沢中	矢巾中	東山中	矢巾中
	単	熊谷　徹 (矢沢中)	田鎖智士 (滝沢南中)	川村益美 (矢沢中)	佐藤好恵 (矢巾中)
	複	藤本・高橋 (矢沢中)	佐々木・昆 (矢巾中)	佐藤・鈴木 (東山中)	坂本・阿部 (小佐野中)
平成10年 第19回	団体	矢巾中	矢沢中	大東中	飯岡中
	単	宮崎賢治 (下小路中)	亀ヶ森　有 (黒石野中)	村上　桂 (飯岡中)	中田裕加里 (矢巾中)
	複	佐々木・昆 (矢沢中)	高橋・宮川 (矢沢中)	岩渕・那須 (大東中)	山形・太田代 (矢沢中)
平成11年 第20回	団体	小山中	前沢中	矢沢中	飯岡中
	単	川内崇士 (小山中)	大鷲剛広 (繋中)	浅沼幸恵 (飯岡中)	小野寺　温 (江釣子中)
	複	佐藤・高橋 (小山中)	立野・山ノ内 (水沢南中)	佐藤・佐藤 (東山中)	高橋・鈴木 (東山中)

年 回数	種目	男子		女子	
		1位	2位	1位	2位
平成12年 第21回	団体	矢巾中	矢沢中	矢巾北中	小佐野中
	単	室岡大輝 (矢巾中)	齊藤　毅 (土淵中)	吉岡絵里奈 (矢巾北中)	照井裕美 (小佐野中)
	複	上川原・松浦 (矢巾中)	村上・中塚 (飯岡中)	菊池・大森 (小佐野中)	澤田・小田島 (北上北中)
平成13年 第22回	団体	矢巾中	飯岡中	矢沢中	矢巾中
	単	村上竜也 (飯岡中)	多田和希 (矢沢中)	菅野智巳 (飯豊中)	多田香子 (矢沢中)
	複	上川原・松浦 (矢巾中)	中塚・石坂 (飯岡中)	田鎖・三好 (江釣子中)	阿部・石川 (矢巾中)
平成14年 第23回	団体	矢沢中	前沢中	矢巾中	矢沢中
	単	佐々木翔太 (矢巾中)	外川一也 (藪川中)	菅野智巳 (飯豊中)	小原安奈 (飯岡中)
	複	鈴木・石川 (前沢中)	川村・熊谷 (矢沢中)	阿部・石川 (矢巾中)	川村・簡 (矢沢中)
平成15年 第24回	団体	湯口中	千厩中	矢巾中	北上北中
	単	平賀勇貴 (湯口中)	田口千晃 (飯岡中)	橋本由衣 (白百合学園中)	小原安奈 (飯岡中)
	複	伊藤・藤田 (千厩中)	伊藤・篠原 (見前南中)	森・斎藤 (見前南中)	渡邉・山影 (矢沢中)
平成16年 第25回	団体	矢沢中	雫石中	矢巾中	飯豊中
	単	外川真樹 (藪川中)	玉山　駿 (紫波第一中)	舘脇祐未 (飯豊中)	八重樫瑶子 (飯豊中)
	複	高橋・菅原 (衣川中)	原・工藤 (雫石中)	加藤・佐々木 (矢巾中)	木原・阿部 (矢巾中)
平成17年 第26回	団体	千厩中	前沢中	見前南中	矢巾中
	単	外川真樹 (藪川中)	玉山　駿 (紫波第一中)	石畠由美 (矢巾中)	浅沼ひかる (飯岡中)
	複	佐藤・鎌田 (矢沢中)	篠原・斎籐 (見前南中)	上野・鈴木 (見前南中)	鈴木・山本 (矢巾北中)
平成18年 第27回	団体	見前南中	前沢中	見前南中	江釣子中
	単	篠原宏季 (見前南中)	藤谷誠仁 (水沢南中)	石畠由美 (矢巾中)	内藤　唯 (大宮中)
	複	高野橋・梅木 (湯口中)	門脇・岩渕 (前沢中)	小笠原・小笠原 (米内中)	森・鈴木 (見前南中)

年 回数	種目	男子		女子	
		1位	2位	1位	2位
平成19年 第28回	団体	川崎中	千厩中	雫石中	江釣子中
	単	室岡大晶 (矢巾中)	小原宏紀 (江釣子中)	玉山　巴 (紫波第一中)	高橋万緒 (水沢南中)
	複	千田・石川 (前沢中)	佐藤・髙橋 (小山中)	小笠原・小笠原 (米内中)	石橋・志田 (赤崎中)
平成20年 第29回	団体	前沢中	衣川中	赤崎中	見前南中
	単	畠山主税 (湯口中)	長尾正儀 (江釣子中)	玉山　巴 (紫波第一中)	齊藤佳奈 (見前南中)
	複	安部・吉田 (前沢中)	重石・藤野 (岩大附属中)	石橋・志田 (赤崎中)	齊藤・宮野 (城西中)
平成21年 第30回	団体	湯本中	城西中	前沢中	城西中
	単	佐々木勇輔 (城西中)	菊地裕太 (江刺第一中)	齊藤佳奈 (見前南中)	髙橋　咲 (南中)
	複	筑後・藤根 (湯本中)	菊池・高橋 (城西中)	遠藤・宮野 (城西中)	石畠・谷地 (矢巾中)
平成22年 第31回	団体	前沢中	北上中	湯口中	赤崎中
	単	千田拳士朗 (北上中)	村井聡紀 (大宮中)	畠山静花 (湯口中)	中島　葵 (矢沢中)
	複	鈴木・吉田 (前沢中)	平賀・久保田 (湯口中)	重石・昆 (矢巾北中)	森田・久慈 (矢沢中)
平成23年 第32回	団体	前沢中	千厩中	矢沢中	湯口中
	単	高橋拓夢 (北上中)	浅沼竜一郎 (前沢中)	畠山静花 (湯口中)	昆　佳代子 (矢巾北中)
	複	伊藤・伊藤 (千厩中)	久保田・平賀 (湯口中)	髙橋・千葉 (衣川中)	久慈・長岡 (矢沢中)
平成24年 第33回	団体	飯豊中	千厩中	矢沢中	赤崎中
	単	村上和真 (東水沢中)	菊地拓也 (江刺第一中)	外川実空 (城西中)	藤井　愛 (湯口中)
	複	田村・軽石 (飯豊中)	小野寺・吉田 (前沢中)	長岡・佐々木 (矢沢中)	照井・久保田 (湯口中)
平成25年 第34回	団体	見前南中	千厩中	矢沢中	赤崎中
	単	吉田侑生 (見前南中)	菊地拓也 (江刺第一中)	中島陽菜 (矢沢中)	菊川優月 (矢沢中)
	複	伊藤・三浦 (千厩中)	立野・菅原 (水沢南中)	佐々木・市原 (矢沢中)	久保田・佐藤 (湯口中)

年 回数	種目	男子		女子	
		1位	2位	1位	2位
平成26年 第35回	団体	前沢中	赤崎中	前沢中	滝沢第二中
	単	長谷川剛之 (石鳥谷中)	菊川旭飛 (矢沢中)	中島陽菜 (矢沢中)	吉村美耶 (南城中)
	複	阿部・千田 (前沢中)	滝本・千葉 (東和中)	小野寺・髙橋 (前沢中)	藤井・和山 (飯豊中)
平成27年 第36回	団体	矢沢中	前沢中	湯口中	南城中
	単	菊川旭飛 (矢沢中)	渡辺　翔 (滝沢第二中)	千葉ひなた (南中)	佐々木梨子 (湯口中)
	複	千田・小形 (前沢中)	砂川・藤本 (矢沢中)	宮崎・柳村 (滝沢第二中)	照井・畠山 (湯口中)
平成28年 第37回	団体	千厩中	前沢中	湯口中	東和中
	単	長谷川祥大 (石鳥谷中)	篠田楓太 (岩大附属中)	佐々木梨子 (湯口中)	阿部陽菜 (前沢中)
	複	阿部・菅原 (前沢中)	川畑・瀬川 (水沢南中)	千葉・渡邉 (衣川中)	上平・石畠 (矢巾中)
平成29年 第38回	団体	千厩中	前沢中	矢巾中	見前南中
	単	菅原　悠 (千厩中)	篠田楓太 (岩大附属中)	熊谷　雅 (松園中)	上平佳歩 (矢巾中)
	複	藤村・伊藤 (千厩中)	岩間・薄衣 (東和中)	佐藤・清水 (東和中)	吉田・鈴木 (見前南中)
平成30年 第39回	団体	前沢中	胆沢中	矢沢中	衣川中
	単	菅原魁吏 (矢沢中)	岩渕　凛 (前沢中)	鈴木蒼花 (見前南中)	長山紗千 (赤崎中)
	複	小野寺・岩渕 (胆沢中)	渡部・遠藤 (江刺一中)	川村・齊藤 (矢沢中)	千葉・佐藤 (衣川中)

岩手県中学校１年生シングルス大会

年・回	順位	男子	女子
平成８年 第１回	1	熊谷　徹（矢沢中）	川村益美（矢沢中）
	2	田鎖智士（滝沢南中）	佐藤好恵（矢沢中）
平成９年 第２回	1	宮崎賢治（下小路中）	中田裕加理（矢巾中）
	2	亀ケ森有（黒石野中）	佐藤夢子（矢巾中）
平成10年 第３回	1	千田祐也（前沢中）	浅沼幸恵（飯岡中）
	2	猪股佳樹（飯岡中）	小野寺温（江釣子中）
平成11年 第４回	1	室岡大輝（矢巾中）	吉岡絵里奈（矢巾北中）
	2	小原弘俊（乙部中）	砂森さや香（米内中）
平成12年 第５回	1	村上竜也（飯岡中）	多田香子（矢沢中）
	2	松浦翔（矢巾中）	片方美里（城西中）
平成13年 第６回	1	佐々木翔太（矢巾中）	菅野智巳（飯豊中）
	2	田辺武志（滝沢南中）	川村香純（矢沢中）
平成14年 第７回	1	田口千晃（飯岡中）	小原安奈（飯岡中）
	2	伊藤章（千厩中）	玉山希（紫波第一中）
平成15年 第８回	1	安倍慶（水沢中）	橋本由衣（盛岡白百合学園中）
	2	藤沢弘明（見前南中）	舘脇祐未（飯豊中）
平成16年 第９回	1	外川真樹（薮川中）	田邊郁恵（滝沢南中）
	2	玉山駿（紫波第一中）	浅沼ひかる（飯岡中）
平成17年 第10回	1	篠原宏季（見前南中）	石畠由美（矢巾中）
	2	若生吏氏（東陵中）	内藤唯（大宮中）
平成18年 第11回	1	室岡大晶（矢巾中）	小笠原渓（米内中）
	2	小原宏紀（江釣子中）	小笠原理（米内中）

年・回	順位	男子	女子
平成19年 第12回	1	畠山主税（湯口中）	澤藤真帆（江釣子中）
	2	遠藤拓郎（千厩中）	玉山巴（紫波第一中）
平成20年 第13回	1	佐々木勇輔（城西中）	齊藤佳奈（見前南中）
	2	内藤優貴（大宮中）	髙橋咲（北上・南中）
平成21年 第14回	1	千田拳士朗（北上中）	石畠美穂（矢巾中）
	2	村井聡紀（大宮中）	久保田知夏（湯口中）
平成22年 第15回	1	高橋拓夢（北上中）	中島葵（矢沢中）
	2	佐藤祐樹（矢巾北中）	久慈裕美（矢沢中）
平成23年 第16回	1	小原楓雅（江釣子中）	藤井愛（湯口中）
	2	立野裕人（水沢南中）	外川実空（城西中）
平成24年 第17回	1	菊地拓也（江刺第一中）	菊川優月（矢沢中）
	2	吉田侑生（見前南中）	市原杏奈（矢沢中）
平成25年 第18回	1	長谷川剛之（石鳥谷中）	中島陽菜（矢沢中）
	2	佐藤真心（千厩中）	三瓶萌梨（前沢中）
平成26年 第19回	1	菊川旭飛（矢沢中）	吉村美耶（南城中）
	2	渡辺翔（滝沢第二中）	千葉ひなた（北上・南中）
平成27年 第20回	1	柳原一翔（磐井中）	佐々木梨子（湯口中）
	2	長谷川祥大（石鳥谷中）	畠山遥奈（湯口中）
平成28年 第21回	1	篠田楓太（岩手大学附属中）	熊谷雅（松園中）
	2	佐藤悠（千厩中）	志田遥（赤崎中）
平成29年 第22回	1	菅原魁吏（矢沢中）	鈴木蒼花（見前南中）
	2	藤井海斗（飯豊中）	長山紗千（赤崎中）
平成30年 第23回	1	佐藤史隆（湯口中）	佐藤鈴緒（北上・南中）
	2	高橋響生（飯豊中）	久保田つぐみ（矢沢中）

岩手県中学校ダブルス大会

回・年・場所	順位	男子	女子
第1回 平成 7.5 雫石町	1	藤井　正樹・小野寺　理（湯口中）	平賀紗友美・平賀　千穂（湯口中）
	2	大石　洋樹・高橋　誠（湯本中）	小野　道代・渡辺　智子（小山中）
第2回 平成 7.10 紫波町	1	藤井　直樹・佐藤　優樹（湯口中）	福田　由貴・八重樫優佳（米内中）
	2	千田　達也・小野寺光春（前沢中）	高橋　伴佳・高橋　聡子（江刺第一中）
第3回 平成 8.4 紫波町	1	小倉　保大・日野杉智幸（薮川中）	福田　由貴・八重樫優佳（米内中）
	2	高橋　大吉・及川　恵輔（北上中）	高橋久美子・高橋　伴佳（江刺第一中）
第4回 平成 9.2 紫波町	1	高橋　万有・室岡　翔太（矢巾中）	高橋　由紀・和賀　洋子（江刺第一中）
	2	石亀　晃・中川原昌宏（雫石中）	折井千恵子・堀田早希子（西南中）
第5回 平成 10.2 紫波町	1	昆　和秀・佐々木和紀（矢巾中）	佐藤　千春・千葉　孝美（東山中）
	2	藤本　雄一・高橋　慎（矢沢中）	大澤　晧子・村上　桂（飯岡中）
第6回 平成 11.2 滝沢村	1	昆　和秀・佐々木和紀（矢巾中）	村上　桂・浅沼　幸恵（飯岡中）
	2	藤田　絢也・高橋　慎（矢沢中）	佐藤　未来・室岡　彩子（矢巾北中）
第7回 平成 12.2 滝沢村	1	高橋　慎・佐藤　貴博（小山中）	浅沼　幸恵・武蔵奈保子（飯岡中）
	2	川内　崇士・佐藤　誠（小山中）	藤田　祈・多田　夏子（矢沢中）
第8回 平成 13.2 滝沢村	1	上川原　祥・松浦　翔（矢巾中）	吉岡絵里奈・佐藤有里恵（矢巾北中）
	2	室岡　大輝・木原　侑飛（矢巾中）	堤　奈緒子・高橋　由紀（北上中）
第9回 平成 14.2 滝沢村	1	上川原　祥・松浦　翔（矢巾中）	田鎖　志穂・三好　奈々（江釣子中）
	2	村上　竜也・中塚　粧太（飯岡中）	阿部由香里・石川　温美（矢巾中）
第10回 平成 15.2 滝沢村	1	鈴木　秀治・石川　晋也（前沢中）	阿部由香里・石川　温美（矢巾中）
	2	川村　和俊・熊谷　収（矢沢中）	木原　佑彩・細川　奈里（矢巾中）
第11回 平成 16.2 滝沢村	1	菊池　祥・畠山　春樹（湯口中）	森　有利加・齊藤　奈穂（見前南中）
	2	伊藤　剛・篠原　裕季（見前南中）	三浦　慧・八重樫瑶子（飯豊中）
第12回 平成 17.2 紫波町	1	高橋　巧・菅原　丈志（衣川中）	木原　彩花・阿部明日香（矢巾中）
	2	鎌田　圭祐・小原　是（矢沢中）	藤澤　祥子・鈴木小百合（矢巾北中）

回・年・場所	順位	男　　子	女　　子
第13回 平成18.2 紫波町	1	吉田　昌平・菅原　功麿（小山中）	鈴木小百合・山本　和菜（矢巾北中）
	2	篠原　宏季・齊藤　雄太（見前南中）	石川　由実・岩渕悠里亜（前沢中）
第14回 平成19.2 紫波町	1	篠原　宏季・齊藤　雄太（見前南中）	鈴木　玲奈・森　真利加（見前南中）
	2	梅木　祐司・中村　　旭（湯口中）	小笠原　渓・小笠原　理（米内中）
第15回 平成20.2 紫波町	1	千田　康史・津田　謙太（前沢中）	小笠原　渓・小笠原　理（米内中）
	2	畠山　主税・照井　稲悟（湯口中）	澤藤　真帆・高橋　由維（江釣子中）
第16回 平成21.2 紫波町	1	吉田　達彦・安部　博紀（前沢中）	鈴木　佳奈・齊藤　佳奈（見前南中）
	2	津田　謙太・岩渕　貴文（前沢中）	竹原加奈江・遠藤　雪菜（城西中）
第17回 平成22.2 紫波町	1	筑後　　和・藤根　侑也（湯本中）	遠藤　雪菜・宮野いずみ（城西中）
	2	内藤　優貴・梶原慎太朗（大宮中）	古川　佳奈・森田　奈々（矢沢中）
第18回 平成23.2 紫波町	1	千田拳士朗・高橋　拓夢（北上中）	久保田知夏・畠山　静花（湯口中）
	2	下坂　竜馬・富山　大地（東和中）	中島　　葵・久慈　裕美（矢沢中）
第19回 平成24.2 紫波町	1	長谷川裕之・大森　悦生（前沢中）	中島　　葵・久慈　裕美（矢沢中）
	2	軽石　直人・田村　汰稀（飯豊中）	千葉　望美・高橋瑛梨奈（衣川中）
第20回 平成25.2 紫波町	1	軽石　直人・田村　汰稀（飯豊中）	伊藤　遥花・松好　奏海（衣川中）
	2	小野寺皓紀・吉田　梓紋（前沢中）	吉田　朋可・金野　夕香（赤崎中）
第21回 平成26.2 紫波町	1	伊藤　　望・三浦　　大（千厩中）	佐々木良幸・市原　杏奈（矢沢中）
	2	泉川　渓太・藤澤　　亮（見前南中）	菊川　優月・森田　　楓（矢沢中）
第22回 平成27.2 紫波町	1	阿部　幹太・千田　壱郎（前沢中）	中島　陽菜・伊藤　穂南（矢沢中）
	2	阿部　悠人・三浦　　凌（前沢中）	山根　穂香・中塚　沙更（矢巾北中）
第23回 平成28.2 紫波町	1	菊川　旭飛・藤本　　駿（矢沢中）	照井　瀬菜・高橋　南菜（湯口中）
	2	千田　壱郎・佐々木優宏（前沢中）	佐々木梨子・畠山　遥奈（湯口中）
第24回 平成29.2 紫波町	1	阿部　大地・飯坂　真生（前沢中）	千葉陽向子・渡邉　美月（衣川中）
	2	川畑　　光・瀬川　祐斗（水沢南中）	阿部　陽菜・石田　由希（前沢中）
第25回 平成30.2 紫波町	1	篠田　楓太・渡邊　拓也（岩大附属中）	志田　　遥・長山　紗千（赤崎中）
	2	佐藤　　悠・佐藤　　司（千厩中）	佐藤　南那・清水　美羽（東和中）
第26回 平成31.2 紫波町	1	藤井　海斗・髙橋　響生（飯豊中）	鈴木　蒼花・照井　玲那（見前南中）
	2	小野寺颯汰・岩渕　聖雅（胆沢中）	長山　紗千・森　　柑那（赤崎中）

JOCジュニアオリンピックカップ・全日本ジュニアバドミントン選手権大会岩手県予選会

年	順位	男子シングルス	女子シングルス
平成９年	1	熊　谷　　徹（矢沢中）	川　村　益　美（矢沢中）
	2	藤　本　雄　一（矢沢中）	大　澤　晧　子（飯岡中）
10年	1	宮　崎　賢　治（下小路中）	村　上　　桂（飯岡中）
	2	亀ケ森　　有（黒石野中）	中　田　裕加理（矢巾中）
11年	1	川　内　崇　士（小山中）	浅　沼　幸　恵（飯岡中）
	2	猪　股　佳　樹（飯岡中）	小野寺　　温（江釣子中）
12年	1	室　岡　大　輝（矢巾中）	吉　岡　絵里奈（矢巾北中）
	2	齋　藤　　毅（土渕中）	菊　池　智　美（小佐野中）
13年	1	松　浦　　翔（矢巾中）	田　鎖　志　穂（江釣子中）
	2	上川原　　祥（矢巾中）	小　原　安　奈（手代森小学校）
14年	1	佐々木　翔　太（矢巾中）	橋　本　由　衣（永井小学校）
	2	田　邊　武　志（滝沢南中）	阿　部　由香里（矢巾中）
15年	1	外　川　真　樹（フライングシャトラーズ）	橋　本　由　衣（白百合中）
	2	渡　邊　優　二（千厩中）	舘　脇　祐　未（飯豊中）
16年	1	外　川　真　樹（薮川中）	舘　脇　祐　未（飯豊中）
	2	玉　山　　駿（紫波第一中）	熊　谷　安　乃（和賀東中）
17年	1	玉　山　　駿（紫波第一中）	浅　沼　ひかる（飯岡中）
	2	長　澤　健　太（城西中）	内　藤　　唯（大宮中）
18年	1	篠　原　宏　季（見前南中）	上　野　美　咲（見前南中）
	2	藤　谷　誠　仁（水沢南中）	横　道　彩　子（見前中）
19年	1	室　岡　大　晶（矢巾中）	齊　藤　佳　奈（都南ジュニア）
	2	小　原　宏　紀（江釣子中）	玉　山　　巴（紫波第一中）

年	順位	男子シングルス	女子シングルス
20年	1	畠山主税（湯口中）	齊藤佳奈（見前南中）
	2	菅原慎也（水沢南中）	玉山巴（紫波第一中）
21年	1	佐々木勇輔（城西中）	齊藤佳奈（見前南中）
	2	菊地裕太（江刺第一中）	古川佳奈（矢沢中）
22年	1	村井聡紀（大宮中）	畠山静花（湯口中）
	2	原優助（雫石中）	浅沼美乃里（飯岡中）
23年	1	筑後恵太（湯本バドミントンクラブ）	畠山静花（湯口中）
	2	藤原望夢（飯岡中）	中島葵（矢沢中）
24年	1	田村汰稀（飯豊中）	藤井愛（湯口中）
	2	小原楓雅（江釣子中）	外川実空（城西中）
25年	1	吉田侑生（見前南中）	菊川優月（矢沢中）
	2	三浦大（千厩中）	中島陽菜（矢沢中）
26年	1	長谷川剛之（石鳥谷中）	中島陽菜（矢沢中）
	2	佐藤真心（千厩中）	吉村美耶（南城中）
27年	1	菊川旭飛（矢沢中）	千葉ひなた（北上・南中）
	2	千田壱郎（前沢中）	高橋南菜（湯口中）
28年	1	柳原一翔（磐井中）	佐々木梨子（湯口中）
	2	篠田楓太（岩手大学附属中）	阿部陽菜（前沢中）
29年	1	篠田楓太（岩大附属中）	熊谷雅（松園中）
	2	佐藤悠（千厩中）	上平佳歩（矢巾中）
30年	1	岩渕凜（前沢中）	長山紗千（赤崎中）
	2	菅原魁吏（矢沢中）	鈴木蒼花（見前南中）

岩手県バドミントン協会名簿等

岩手県バドミントン協会歴代会長・副会長・理事長一覧

年度	会長	副会長	理事長（副理事長）
平成11	佐々木洋平	竹林　克彦 佐々木隆夫 杉田　忠光 渡辺　勉	白澤　國雄 （佐々木彦士） （鬼柳　孝夫）
12	佐々木洋平	竹林　克彦 杉田　忠光 白澤　國雄 照井　猛	佐々木彦士 （鬼柳　孝夫）
13	佐々木洋平	竹林　克彦 杉田　忠光 白澤　國雄 照井　猛	佐々木彦士 （鬼柳　孝夫）
14	佐々木洋平	竹林　克彦 杉田　忠光 白澤　國雄 志村　正義 照井　猛	佐々木彦士 （鬼柳　孝夫）
15	竹林　克彦	杉田　忠光 白澤　國雄 志村　正義 照井　猛	佐々木彦士 （鬼柳　孝夫）
16	竹林　克彦	杉田　忠光 白澤　國雄 志村　正義 松田　文平	佐々木彦士 （鬼柳　孝夫）
17	竹林　克彦	杉田　忠光 白澤　國雄 志村　正義 松田　文平	佐々木彦士 （鬼柳　孝夫）
18	竹林　克彦	杉田　忠光 白澤　國雄 志村　正義 佐々木彦士 松田　文平	鬼柳　孝夫 （伊藤　張二） （村上　信夫）
19	竹林　克彦	杉田　忠光 白澤　國雄 志村　正義 佐々木彦士 松田　文平	鬼柳孝夫 （伊藤　張二） （村上　信夫）
20	竹林　克彦	杉田　忠光 白澤　國雄 志村　正義 佐々木彦士 澤藤　敏夫	鬼柳孝夫 （伊藤　張二） （村上　信夫）
21	竹林　克彦	杉田　忠光 白澤　國雄 志村　正義 佐々木彦士 澤藤　敏夫	鬼柳　孝夫 （伊藤　張二） （村上　信夫）
22	竹林　克彦	杉田　忠光 白澤　國雄 志村　正義 佐々木彦士 香川　博	鬼柳　孝夫 （伊藤　張二） （村上　信夫）
23	竹林　克彦	杉田　忠光 白澤　國雄 志村　正義 佐々木彦士 香川　博	鬼柳　孝夫 （伊藤　張二） （村上　信夫）
24	竹林　克彦	杉田　忠光 白澤　國雄 志村　正義 佐々木彦士 鬼柳　孝夫 伊藤　張二	村上　信夫 （伊藤　張二）
25	竹林　克彦	杉田　忠光 白澤　國雄 志村　正義 佐々木彦士 鬼柳　孝夫 伊藤　張二	村上　信夫 （伊藤　張二）
26	竹林　克彦	杉田　忠光 白澤　國雄 志村　正義 佐々木彦士 鬼柳　孝夫 高橋　正紀	村上　信夫 （伊藤　張二）
27	竹林　克彦	杉田　忠光 白澤　國雄 志村　正義 佐々木彦士 鬼柳　孝夫 高橋　正紀	村上　信夫 （伊藤　張二）
28	竹林　克彦	杉田　忠光 白澤　國雄 志村　正義 佐々木彦士 鬼柳　孝夫 大内　高志	村上　信夫 （伊藤　張二）
29	竹林　克彦	杉田　忠光 白澤　國雄 志村　正義 佐々木彦士 鬼柳　孝夫 大内　高志	村上　信夫 （伊藤　張二）
30	竹林　克彦	鬼柳　孝夫 伊藤　張二 及川　浩純	村上　信夫 （石川　淳） （伊藤　一郎） （菊地　亨）

平成30年度岩手県バドミントン協会役員名簿

顧　問	佐々木　隆　夫	佐々木　洋　平	
参　与	白　澤　國　雄	志　村　正　義	佐々木　彦　士
会　長	竹　林　克　彦		
副会長	鬼　柳　孝　夫	伊　藤　張　二	及　川　浩　純
理事長	村　上　信　夫		
副理事長	石　川　　淳	伊　藤　一　郎	菊　地　　亨
常務理事	石　川　　聡	佐　藤　彰　彦	鈴　木　満　弥
	髙　田　　満	千　葉　順　一	藤　澤　正　幸
	渡　邉　清　一	小野寺　政　博	鈴　木　広　志
	外　川　正　昭	下　村　智　徳	
理　事	阿　部　勝　志	伊　藤　俊　幸	伊　藤　政　雄
	亀　谷　　麗	菊　地　　進	北　野　和　敏
	菊　池　卓　磨	久保田　廣　美	小　岩　義　明
	佐　藤　憲　明	鈴　木　克　仁	谷　藤　さなえ
	千　葉　　惇	千　葉　昭　徳	千　葉　　圭
	新井山　浩　之	畠　山　静　夫	柳　原　　賢
	佐々木　優　也	石　川　貴　寛	石　渕　辰　男
	川　村　忠　広	佐々木　翔　太	多　田　祐　太
監　査	佐々木　邦　夫	日　向　由　和	

岩手県バドミントン協会審判員名簿

〔日本協会公認Ｂ級レフェリー〕

氏　　名	協会名	氏　　名	協会名
鈴　木　満　弥	岩手県協会	菊　地　　亨	高体連

〔日本協会資格審査認定員〕

氏　　名	協会名	氏　　名	協会名	氏　　名	協会名
鈴　木　満　弥	奥州市	小野寺　政　博	一関市	柳　原　　賢	一関市

〔１級〕

氏　　名	協会名	氏　　名	協会名	氏　　名	協会名
鬼　柳　孝　夫	北上市	高　田　　満	盛岡市	小野寺　浩　二	一関市
佐　藤　政　由	奥州市	菊　池　　敏	奥州市	千　葉　　圭	一関市
佐　藤　彰　彦	奥州市	畠　山　静　夫	花巻市	菊　池　卓　磨	北上市
鈴　木　満　弥	奥州市	阿　部　佳　子	盛岡市	高　橋　　奨	奥州市
千　葉　　惇	一関市	谷　藤　さなえ	盛岡市	佐　藤　智　徳	花巻市
石　川　　淳	奥州市	菊　地　　亨	奥州市	佐　藤　憲　明	北上市
石　川　　聡	奥州市	小　野　直　樹	奥州市	浅　沼　良　雄	盛岡市
伊　藤　一　郎	盛岡市	鈴　木　克　仁	釜石市	山　崎　　忍	釜石市
日　向　由　和	滝沢市	北　野　和　敏	釜石市	宮　田　幸　司	北上市
藤　澤　正　幸	盛岡市	柳　原　　賢	一関市	渡　邉　清　一	花巻市
伊　藤　政　雄	盛岡市	小野寺　政　博	一関市	畠　山　　崇	盛岡市
外　川　正　昭	盛岡市	菅　野　　徹	奥州市		

〔２級〕

氏　　名	協会名	氏　　名	協会名	氏　　名	協会名
上　野　　桂	盛岡市	伊　藤　俊　幸	北上市	及　川　　淳	奥州市
岡　市　善　敏	山田町	菊　地　　進	奥州市	菊　地　奏　子	奥州市
伊　藤　張　二	北上市	大　川　憲　一	盛岡市	熊　谷　文　利	一関市
竹　沢　惠　子	北上市	三　上　信　也	奥州市	斉　藤　　剛	盛岡市
田　代　　徹	北上市	佐　藤　慎　也	奥州市	寺　澤　　誠	盛岡市
村　上　信　夫	盛岡市	園　　博	奥州市	稲　葉　貴　文	奥州市
村　上　みゆき	盛岡市	田　口　千　晃	盛岡市	鈴　木　広　志	奥州市
安　部　　満	奥州市	畠　山　大　地	盛岡市	岩　渕　辰　男	一関市
久保田　廣　美	花巻市	下　村　智　徳	盛岡市	猿　舘　　透	久慈市
千　葉　昭　徳	奥州市	阿　部　景　子	山田町	那　須　崇　史	一関市
小　岩　義　明	一関市	関　口　　等	盛岡市		
千　葉　順　一	盛岡市	小野寺　浩　子	北上市		

岩手県バドミントン協会規約

第１章　総　　則

（名　称）
第１条　本会は岩手県バドミントン協会と称する。
（事務所）
第２条　本会の事務所は会長が別に指定する所在地に置く。

第２章　目的及び事業

（目　的）
第３条　本会はバドミントンの健全なる普及発達を図り、併せて国民体育の向上とスポーツ精神の涵養に寄与することを目的とする。
（事　業）
第４条　本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
(1) 普及、奨励、啓発及び宣伝
(2) 関係諸機関との連絡協調
(3) 調査、研究及び資料の蒐集
(4) 選手強化のための諸施策の実施
(5) 公認審判員並びに公認指導員等指導者の養成
(6) 競技会の開催
(7) その他本会の目的達成に必要な事項

第３章　組　　織

（組　織）
第５条　本会は本会の趣旨に賛同する次のものを以って組織する。
(1) 岩手県下の中学校、高等学校、大学のクラブ、各市町村バドミントン協会（以下、市町村協会という）及び個人
(2) 理事会の推薦する者
２　各市町村協会は、当該協会の規約、事業計画、予算・決算、役員名簿を本会に提出するものとする。
３　第１項の者は、全てアマチュアに限るものとする。
（入会・脱会）
第６条　会員の入会、脱会は理事会の承認を要する。
（登　録）
第７条　会員は別に定める登録規定により会員登録をしなければならない。
（他団体への加盟）
第８条　本会は次の団体に加盟する。
(1) 公益財団法人日本バドミントン協会
(2) 東北バドミントン連盟
(3) 財団法人岩手県体育協会

第４章　役　　員

（種　別）
第９条　本会に次の役員を置く。

(1) 会　長	１　名
(2) 副会長	若干名
(3) 理事長	１　名
(4) 常務理事	若干名
(5) 理　事	若干名
(6) 監　事	２　名
(7) 事務局長	１　名

２　前項のほか、必要により名誉会長、顧問、参与、副理事長を置くことができる。
（選　任）
第１０条　会長、副会長、名誉会長、顧問、参与は総会の議決により、これを定める。
２　理事長、副理事長、常務理事、事務局長は理事の互選により、会長がこれを委嘱する。
３　理事、監事は総会の議決を経て、会長がこれを委嘱する。
（職　務）
第１１条　会長は本会を代表し、会務を統轄する。
２　副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
３　理事長は、会長の命をうけ会務を執行する。
４　副理事長は、理事長を補佐し、理事長事故あるときはその職務を代行する。
５　常務理事は、常務理事会を構成し、会務を掌理する。
６　理事は、理事会を構成し、会務を掌理する。
７　監事は、本会の会務、会計を監査する。
（任　期）
第１２条　役員の任期は２年とする　但し、再任を妨げない。

第５章　専門機関

（専門委員会）

第１３条　本会は必要により専門委員会を置くことができる。

２　専門委員は、理事会の議決を経て、会長がこれを委嘱する。

３　本条ほか、専門委員会に関する規定は理事会の議決により、別にこれを定める。

（事務局）

第１４条　本会は会務の事務処理機関として、事務局を設置する。

２　事務局員は、理事会の議決を経て、会長がこれを委嘱する。

３　事務局に関する細則は、理事会の議決により、別にこれを定める。

第６章　会　　議

（種　類）

第１５条　本会の会議は、総会、理事会、常務理事会とする。

第１６条　総会は全役員及び評議員をもって構成する。

２　総会は、次の事項を審議する。

（1）事業並びに収支決算報告

（2）予算編成並びに事業計画

（3）諸規定の設定改廃

（4）その他重要事項

第１７条　総会は、毎年３月に開催する。但し、必要により臨時に召集することが出来る。

２　総会の議長は、会長がこれにあたる。

３　総会の議決は、出席者の過半数の同意をもって決し、半数のときは、議長の決するところによる。

（評議員）

第１８条　評議員は、学生連盟、高等学校連盟専門部各地域、中学校体育連盟専門部、各市町村協会において各１名選出する。但し、市町村協会は、第５条第２項による所定の手続きを経た協会とする。

２　前項の評議員は、本会役員を兼ねることが出来ない。

３　評議員の任期は、１年とする。但し、再任を妨げない。

（理事会）

第１９条　理事会は、理事をもって構成する。

２　理事会は、総会において議決した事項並びに本規約に設定された事項について審議し、執行する。

３　理事会は、会長が招集し議長は、理事長がこれにあたる。

４　議決方法は、第１７条第３項の規定を準用する。

５　理事会は、必要により監事、事務局員を出席させ、意見を求めることが出来る。

（常務理事会）

第２０条　常務理事会は、理事長、常務理事をもって構成する。

２　常務理事会は、理事会の委任事項について審議し、執行する。

３　常務理事会は、理事長が招集し、議長は、理事長がこれにあたる。

４　議決方法は、第１７条第３項の規定を準用する。

第７章　会　　計

（収　入）

第２１条　本会の会計は、会費、補助金、寄付金、その他の収入をもってこれにあてる。

第２２条　本会の会費に関する事項は、総会の議決を経てこれを定める。

（会計年度）

第２３条　本会の会計年度は、毎年４月１日に始まり翌年３月３１日をもって終わるものとする。

第８章　雑　　則

（会務の細則）

第２４条　本会の会務に関する細則は、理事会において別に定める。

附　則

この規約は、昭和３０年４月１日から施行する。

附　則

昭和３０年４月１日施行の岩手県バドミントン協会規約は廃止する。

附　則

この規約は、昭和５１年４月１日より施行する。

附　則

この規約は、平成６年４月１日から施行する。

附　則

この規約は、平成８年４月１日から施行する。

附　則

この規約は、平成２３年４月１日から施行する。

あとがき

岩手県バドミントン協会は今年度創立７０周年を迎えるにあたって、記念式典を挙行するとともに、５０周年記念誌以降の２０年間の内容をまとめた記念誌を発刊することとしました。

７月頃までに内容の検討を重ね、９月に各方面への原稿を依頼し、１２月末までには概要をまとめたいと思い進めてきました。しかし、なかなか予定通りにはいかず、やっとこの発刊に間に合ったという状況です。

内容については、「２０１６希望郷いわて国体」を大きく取りあげましたが、概要については５０周年記念誌の内容を継承しました。また、この２０年間に活躍した選手を中心に写真を多く取り入れて編集することとし、７０周年記念事業や東日本大震災の支援活動の記事も掲載することができました。

編集にあたっては、多くの皆さまのご協力を得て原稿、資料を提出していただくことができました。

原稿をお寄せいただきました皆様方に心から感謝申し上げますとともに、この記念誌が本県のバドミントンの歴史を継承し、ますますの発展に貢献できることを願っています。

平成３１年３月

編集責任者　岩手県バドミントン協会　伊藤　張二

岩手県バドミントン協会

創立70周年記念誌

発行日　平成31年3月10日発行
発　行　岩手県バドミントン協会
事務局　〒020-0853
岩手県盛岡市下飯岡15-151-2
村上信夫

印　刷　金ケ崎印刷

本書に記載されている記事の無断転載・複製などはかたくお断りします